

Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
1	ご意見なし
2	無論、学識経験者の方や工事関係者の方の意見も取り入れるのは当然であるが、人口が増え人の暮らしが向上するほど川にかかる負荷が高くなる。だから地域住民・県民も川・自然に対する意識を高める為、彼らもその場へ積極的に参加する必要がある
3	ご意見なし
4	住民意見反映させる話し合いの場を持つような方法をとって検討してもらいたい
5	私の別格(?)意見は、理解しがたい大人の人・川の近くで体験の少ない人には理解困難だと思います。いろいろの計画があるが、大抵予算不足等の不満が着きもの。私の案で除いたバラスから土工・建築方面に大助かり。金が浮く。中国からバラス輸入、●●●不要。瀬戸内海の底のバラスを取る苦労も不用。鳴門金時●●●の甘い芋が手近で食べられて、金時●●●の甘さを体験出来て八方得です。御検討下さい
6	治水と環境とで意見がまとまらない事もあると思いますが、やはり出来るだけ多くの人から意見を聞き、その中でより良いものを見つけていく努力が必要だと思います。ですから、それぞれの立場から意見を述べてもらえるような検討の場を設けて、検討に値する意見については真剣に考慮して下さい
7	検討の場に参加する人は、流域の人だけでなく県民の意見が反映されてこなければいけない。県民全体を代表する人をどのようにして決めるか。町内会(八万の個々の)での意見をまとめる→八万町の人々の意見をまとめる。流域以外の地区では大きな単位で(郡など)意見をまとめて参加
8	例文ので大体よい
9	ご意見なし
10	より良い吉野川づくりの為に先ず手がけることは、「条例」を制定すること。現行の河川法に頼っては何か固い感じがします。条例をつくる為に、できるだけ多くの住民から意見を求めるようにして下さい。その為に町内単位で話し合い、それを公聴会の場で意見発表する等にして下さい
11	利権を排除。意見を聞く耳をもって欲しい。お金をかけないで
12	治水・利水・環境のバランスのとれた話し合いができる事が基本。環境を大切にすることは当然であるが、多くの県民が流域に生活をし、洪水で苦勞してきた過去があった事を忘れないでほしい
13	郷文とか文化センターとかを利用して県民に大きなPRをし、多数の人が参加できたらいい。ただし特定の団体が大半を占めてはならない。身障者の方々の意見も聞くべき。老若男女問わず職場にも参加要請してはどうか?(同和問題みたいに)
14	政治家が介入するとロクな事を考えないので、政治家さえ抜きにすればどんな人が集まって検討してもよいのでは・・・
15	従来の如き、100年に1度の大水の例をあげては不可。100年に1度の大水は吉野川だけではない。大小の河川はどうなるのかが欠けている。県民の声を聞くというが、従来の如き方法でなく、一般公募をもっと増やすべきだ。政治的な色彩を除いて、まず意見を聞き、意見を集約すべきだ
16	実際に目で見えて話を進める方が良くと思うので、暖かい日などは(その日になってみないと分からないので難しいですが・・・)川の土堤などで話し合いをしたら良いのでは?と思います
17	ご意見なし
18	一部市民運動の原理原則に基づいた意見によって、検討の場が混乱する事は避けて欲しい
19	河川の整備は国・県でないと出来ないが、河川に関係するのは個人であり民間人の意見を聞く事
20	各年代層より代表者を出し、若い人の意見や高齢者の昔の吉野川のイメージを折り込んだ活発な意見の場があって欲しいと思います
21	意見が充分言える場が欲しい
22	中立・透明性を大切にする
23	皆の財産である大切な川を、一部の土建業者の金儲けの道具にして欲しくない
24	1)完全な情報公開の場であって欲しい 2)自由な意見を出し合うのは良いが、最終”誰がやるか”に行き着くので、私なら「吉野川に〇〇が出来る」私なら「吉野川を〇〇することが出来る」私なら「吉野川で〇〇したい」と言う場にしてはどうか? 3)民と官の役割はしっかりと話し合って欲しい
25	国交省が事務局となって河川整備計画の原案を先ず提示・公表し、学者・専門家の意見を添えて住民(特に流域の)にモニター的に参加出来る場としたいかがでしょう。美しい吉野川を将来に残す為に
26	誰もが意見を言い易いように予め資料を配っておき、又他人の意見に反対であっても真剣に聞く心構えが必要。まとめ役のレポート公開も前提
27	「初めに工事計画ありき」という行政の姿勢が嫌です。県民の中から吉野川を守っていきたい人々が大勢出ているのですから、川づくりという大それた考えを捨て、「川を守る」心を大切にして欲しい。工事に税金を投入する事はもう止めることです。県民も意識して川を汚さない努力をすべきです。
28	ご意見なし
29	吉野川がいかに流域住民に対し役立っているかを積極PRし、小・中・大・中学校などで自然学習を定例化する。企業・業界・商工会など、あらゆる団体単位での検討会を行う
30	公開であって欲しい
31	国の計画は間違っている。昔の自然に戻して欲しい。公共投資で土建屋を救う様なことは止めて欲しい。昔、岐阜の長良川の近くで20年余り住んでいたが、今は工事の影響でヘドロ化して下流はキタナク悪臭がしている
32	学識経験者の意見も大切ですが、現場と机上の理論とは必ずしも一致しないと思うので、他県等で同規模河川等の扱いなど前例の失敗・成功例等を広く住民に公表して意識を高めては。感覚だけで話し合っても混乱するだけだと思う
33	上からの押し付けでなく、色んな分野から公平に意見交換が出来、政治的なものでは決してなく、業界(ゼネコン等)的な片寄りもなく、経費を少なく、論理的・合理的で、あくまで地域の意見に忠実に。流域の住民の言い分を聞いて欲しい
34	私利私欲にとらわれず、100年単位で先を見通し、子孫に誇れる川づくりが話し合える場であって欲しい
35	利害関係のない中立的な住民を選出(能力評価は必要)して、地区毎に意見を出させる
36	A
37	専門家を含めた会議は必要。専門家だけの会議でも、情報公開出来ればOK。但し、お役人が選任した専門家だけの会議は絶対ダメ

Q12-1.「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
38	徳島には観光名所が少ないし、あっても大した所もないし、一度行ったら又行きたくなるような場所を造って下さい。ついでに言うときますが、土柱には世界的に有名な話は聞いていますが、あのままでは宝の持ち腐れとなるのではないのでしょうか。もう少し考える様、県知事さんにも言っというて下さい
39	勿論、国・県・市町村と学識者により議論して欲しい。我々の社会は言わずと議會制民主主義。国・県・市町村の首長及び議會議院の人々の党とか会とかに片寄った見方・考え方でなく、真に我が県民の生命と財産を守るという事を基本に討議を重ねた上の結論を、広く社会にその過程も含め公表し、県民各位様の理解と絶大の協力を拝し実行に移すべき。権者は言葉遊びや個人の売込みをしがちであるが、それでは人はついてこないし賛同を得る事は不可である。環境という言葉が武器にする人達もしおまねきより己が孫子が大切である事を知るべきである。順序よく国、町村市長、議會、学者と意見の統一をはかり行うべし。
40	流域住民で熱意のある代表を多く参加を求め、中立で透明性の開かれた場を希望・・・！
41	ご意見なし
42	ご意見なし
43	整備についても自然を守る事についても、理解ある中立の人が必要ではないか。その人が両方の意見を正しく相手に伝えていきながらの話し合いが進められたら良いのでは
44	開かれた協議の確立により、誰もが意見を出し合っている場を作る
45	1)様々な人々(地域・職種・年齢etc)が自由に意見を言い合える場。 2)上・中・下流等で地域や河川の特徴が異なる為、地域別のブロック會議を設ける。その代表で全体會議を！！
46	知識経験者・住民・長等関係者に検討して欲しい
47	地域住民の意見が反映されるような場であってほしい
48	片寄った団体のみの意見だけでなく、子供からお年寄りまでの幅広い、又流域全体の意見を集約できる場にして欲しい
49	ご意見なし
50	上流域と下流域のコミュニケーションが図られるか？
51	住民意見等を反映して欲しい
52	皆で川づくりを話し合う場
53	ご意見なし
54	行政が先行するのではなく、多くの人の意見を入れて
55	吉野川を眺めながら、河川対応の専門家を中心に皆で発言が出来、疑問が小さくなるように
56	子供から老人まで楽しめる施設をして欲しい。例えば、グラウンド・ゴルフ場・ゲートボール場・魚釣りが出来る場所の設置等を作って欲しい
57	土木・建設業者の出先機関でないことを望みます
58	いつもパノールを見かけるが、13k地点の洪水敷の川沿いがえぐり取られているが何も対策もしていない。川島の出張所長だった三好さんに見てもらった時には、国は知っていると言っていたが何もしていない。大きな洪水が来たら何mも土砂が流れるだろう。一度充分検討して大きな過ちが起こらない様にして欲しい
59	C
60	河川整備計画にあたっては、学識経験者等に色々な案を作成してもらい(自然を出来るだけ守り、災害の起こらない提案)、県民の声で決めるようにして欲しい！
61	運営等お金の工面、又充足する人など経理体制が、又予部に居ると重し、なかなか難しいな
62	治水については学者に任せる
63	皆で川づくりを話し合う
64	原案を作成後に、学識経験者・流域住民等の意見を取り入れ、知事・市長・国土交通省・流域住民代表者等が集まって原案について意見を交わすが、1回だけではなく2回・3回と回数を重ね、より良い川づくりを話し合う場にして欲しい
65	住民代表(地域住民・関係団体・担当行政マン他)「意見交換の場」、委員会・審議会(各種団体代表・知識人・行政管理者)「諮問機関」
66	地域住民には、県外の人や堤防が決壊しても直接被害に影響を受けない人は除外すべきと考える
67	大人だけでなく、これからの流れを作っていく子供達も一緒に考える場であって欲しいと思います
68	同じ意見は正しいと思いますが、たった一つの小さい意見にも耳を傾ける場であって欲しい
69	一時的な損得勘定で検討するのだけは止めて欲しい。工事業者の利権問題まで話が及ぶような検討の場であって欲しい
70	利権がからんだようなものではなく、周辺住民の意見を取り入れて欲しい
71	中立で、透明性を第一に考えて欲しい
72	河川整備(原案)→河川整備(案)作成、一番身近な地域住民→学識経験者等全体の流域住民→河川整備計画決定
73	多くの住民の参加があつて話し合う場が欲しい
74	家庭排水の浄化・不法投棄の取り締まり及び罰則等、地元住民・行政が一体となり話し合う場を早急にもつことが必要である
75	治水と利水の満足・自然環境保全・現況点検・安全な堤防の建設・引き堤等建設計画ありますか
76	行政と流域住民(学識経験者を含む)が自然豊かな吉野川を子孫に残していくために、どうすべきかが真剣に話し合える場であって欲しい
77	ご意見なし
78	ご意見なし
79	検討の場の意見を全て公表して、県民全てが取り込んでいけるような場にして欲しい
80	ご意見なし
81	上流から下流まで、町内会を中心にした清掃隊を作り、その中で川づくりを話し合う
81	アンケート方式は非常に良いと思う。なかなか住民参加といっても行ける場所が遠方だと行けないので、川に興味ある人間はこの方式は良いですね。吉野川は水もきれいだし、国土交通省の方は数年前から力を入れていられるのが充分分かります。頑張ってください

Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
82	先にも書きましたが、汚染されていない川を取り戻す事を話し合う場であって欲しいと思います。一人一人の意識を改革する必要もあるかと思ひますし、マナーを考え直す必要もあるかと思ひます。(ゴミ問題だけの事ではなくて・・・)
83	1)第十堰問題のしこりが残っていないかどうか。 2)吉野川整備計画の中での第十堰の位置付け。 3)住民等の立場に立ったうえで、どういう方向性をもたすか重要。
84	改修上、懸案となっているような所のPRで、住民に充分納得させて欲しい。水害が皆無である事が最も良い。歴史上もそれに苦しんできている
85	まずダムありき、といったような片寄ったものでなく、徳島全域から意見を集められるような場をゼロからスタートさせて欲しい
86	少数意見にも耳を傾け、行政に左右されない場であってもらいたい
87	大人だけでなく、子供の意見も聞く
88	子供からお年寄りまで皆の声を聞いて欲しい(一部の知識者では現実味が無い)。主婦・PTA等にもどんどん参加。アンケート等も利用して欲しい
89	多くのジャンルの人々から意見を聞き、総合的にまとめていく必要があると思ひます。多会議で多角的に検討されたい
90	ご意見なし
91	学識経験者等の意見がより多く取り入れられているように思えるが、一般人の意見の中にもハッとさせられるような事も有ると思ひるので、より多くの多種多様な人の意見を聞いて欲しい
92	生活面・観光面・教育面・防災面等の多面的な意見が集約される場に
93	一般市民の参加の方が、概して専門的知識の少ない人の声ばかりか表に出る事なく、更に政治的にも左右する事なく、そして環境ばかりでは人類の文化向上も望めない。特定の思想も除き、一市民が素直に賛成できるスタイルが良い
94	笑い声が絶えなくて、釣り人で溢れている
95	小学生も参加出来るような場にして欲しいです
96	政官対住民という図式でなく、本音で話し合う場が良いのではないかと。私達の町でも第十堰改築の署名を集めました。表は署名・裏は反対が大変多かった。吉野川に愛着がある人は、ダムは池田で飽き飽きしています
97	ご意見なし
98	今日の議会では、行政が頭から押さえつけては住民の協力得られない。小泉総理もしかり、反対する方々から一番に対話すべきです。吉野川の水で一生を多くの県民が終えます。水の大切をとく必要があるのではないのでしょうか
99	1)自治体の議会関係の人達。2)各種団体で、お役所との利害関係のある人。3)知事や市町村長・議長等から一括命名された人達。以上の人達以外の学識の比較的高い人の中で選ばれた人達の会であって欲しい
100	こうした会には必ず顔を出す一部の権力者や地域ボス・エセ自然保護者等のみの場であってはならないと思ひます。もっと広域な人々・本当に吉野川を愛する人々等の声なき声をフランクに聞く努力が必要です。又マスコミに迎合したり踊らされるような場には決してならない、真に吉野川を育てる場であって欲しいと思ひます
101	ご意見なし
102	ご意見なし
103	会合(発言者の顔が分かる場)では、発言を手控える県民が多いように思ひますので、「無記名式アンケート」との併用はどうか
104	水鳥の遊び場・渡り鳥の沢山飛来する川・豊かな私達の故郷にしておきたい。実像と夢を確保したいと思ひます
105	河川に対する意識改革。河川敷を少し入れればゴミ(廃棄物)が目につく。昔から川や海は生活廃棄物の捨て場として利用された。この考えはやっと新町川流域では少なくなったものの、他地域では徹底してなく現代社会が通過してきた大量消費のツケが河川に流入していると考えられ、流域住民の全員が河川を大切に意識の向上が望まれるので、現存する町内会等の組織でこの運動を継続して実施出来るような体制が欲しい
106	一日でも早く整備して欲しい(吉野川大好き)
107	中立・透明性が必要で、少数意見も切り捨てない運営が欲しい。地方自治体の長も圓藤知事のように腹に一物を持っており、かつ徳島工事事務所が国交省の出先である為、知事と同じ目線で対応し、我々が見ても「皆で川づくり」になっていないような第三者機関は反対する
108	ご意見なし
109	地域住民の意見も充分反映させて欲しいが、知識人や専門家の意見も充分取り入れて、そこに住んでいる人達だけでなく都会に出て行った人達や、住んでない人達にとってもかけがえのない自然に触れる場所として吉野川があるように、検討の場もつくて欲しい
110	どこまで話し合っても結論は出ないと思ひます。例えば、第十の堰の大工事をすればそれに反対する人が多くなる。反対に手をつけなかつたら開発の遅れを残念がる人が多くなると思ひます。当分の間、静観以外に方法は無いように思ひます
111	自然を守って欲しい
112	答えが分かるような試案でなく、もっと一般の人々に意見を聞くべきだし、情報公開してサバの開設により地元だけでなく徳島を故郷にする人達にも理解して頂けるようにして欲しい。官主導でなくホームページ上での意見も参考にすべきです。学識経験者という○○土とか付いている人で、実際に携わっていない人を選考する方が多いのには不満を感じます
113	流域の地域で公聴会を数多く開催し、後に学識経験者・地方公共団体の長・住民代表が参加して話し合う場を作れば良いと思ひます
114	充分な意見の発表・討論を行う(学識経験者・管理者・受益者・一般参加者etc)。将来性・環境問題。全国的な調査・成功例・検討(この中からも委員を選考する)
115	利権がらみの発・受注者は不必要である。地域住民の話し合いにより、必要に迫られたヶ所から見積り発注をし、県に予算申請をする住民主体の工事計画で、行政はその後押しをすれば良い
116	あらゆる意見を検討してもらいたい。幅広い年齢層・立場(職業?)など、利権のない率直な意見を集めて検討して下さい



Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
117	地域単位でコメンを会場として、誰でも参加出来るようにして欲しい。広く意見を求めるならば、制限しない方が良いと思う
118	中立で公平な場
119	ご意見なし
120	自然を大切にしたい
121	現在は護岸工事も進み、災害の発生も少なくなってきた。河川整備計画も特に必要と考えない。いかに自然の状態を残していくかが大切である(自然に人間の手を加えない方が良い)。水質管理の徹底を特に希望
122	事業とかの説明を主体とするのではなく、市民の意見を取り入れる場として欲しい
123	ご意見なし
124	吉野川を上流・中流・下流の地域に分けて話し合いの場をもって総合的に検討をし、下流なら下流だけの意見で押し切るようなイメージを与えてはいけないのではないのでしょうか。中流でも未だに遊水地帯といって、水の入る地域があるのです。又この事を政治に持ち込んではいけないと思います
125	釣りをしたり自然に楽しく遊べたらいいと思う
126	自然を大切にすることを、河だけでなく(空気も山も)しっかりそれぞれが意識する
127	住民の意見の反映として、右側の方式が良い
128	自由な発言のもと、自然を自然のまま保持する為に、出来る事を話し合える場所であって欲しい
129	1)先ず、治水の為にダムありき...では話し合いの場とはならない。 2)周辺での生活者は、それぞれの立場で川と付き合ってきている。その意見を行政が意図的にコントロールしようとする事には反対。 3)自然と共生する事を第一に考え、方法論へと発展する事が望ましい
130	土木会社・役所の偉いさん等、工事で儲かる仕事関係の人の人数を制限して欲しいと思います。色々な人の意見を聞いていく必要があると思いますが、私利私欲に走る人は除いて欲しいです
131	今回の様に新聞・HP等で、自宅でも現在の状況及び住民の意見が広く知られる場にして欲しい
132	広く意見を聞き、皆で決定して下さい。公開の場
133	第十の河口堰の様に、お上からの一方的な計画案より、地域住民の意見を良く聞いて工事を進めればよい。まともなれば事業を中止して自然のまま放って置けばよい。昔はよく洪水があったが今はそれ程なく、支流の中小川もよく整備されている。吉野川の決壊の心配よりも支流の中小河川の方が危ない。今まで洪水は不可抗力として4.5日の間辛抱して、身の安全・家財を守ったものだ。壊れたものは直す。それで無駄な金と時間を消費する方がおかしい
134	吉野川の歴史から、また第十樋門の開閉状況、台風時・渇水時とどうなっているか。下流の徳島市への十面は皆で話し合う事が必要。学識経験者とか首長は余り関係無い
135	ご意見なし
136	地域住民の意見を取り入れ「堰ありき」「堰が壊れたら水害になる」という事を全面に打ち出す事に疑念を抱く。堰が壊れたら旧吉野川への分水が出来ず、利水に困るといのが本当でありませんか？素人で学問的な事は分かりませんが
137	吉野川全体を再チェック(専門家)し、吉野川の流れを止めない。砂利採り等も採り過ぎると駄目だ。一時的な人間のおごりから吉野川に手を付けてはいけない。徳島県の吉野川ではなく、世界の吉野川だ。この素晴らしい大自然を人間の思い付きで失ってはならない
138	勿論川をきれいに保つ為には、沢山の人の努力が必要だと思います。ごみの問題・遊びの問題、沢山の課題点を皆が出し合って、良いと思った事を一つ挙げ一つ実行するよう、皆がしていけたらいいのになと思います
139	話し合いの場について、五感のバランスをとっていきけるリーダーの育成が必要です。昔からお互いに助け合う伝統的なコミュニティがありました。しかし最近コミュニティは「束縛される」「役員になると大変」等から嫌われる傾向にあります。美味しい水・きれいな空気・心温かい語り合いの出来るコミュニティ等が必要です
140	自然保護の立場だけでなく、その事の大切さは皆理解していると思うので、水辺公園的な箇所を増やしていくよう皆で協議していったら良いと思います
141	ご意見なし
142	ご意見なし
143	流域住民の川づくり参加はあるべき姿と思う。ただ、広範な人々の意見取りまとめに時間がかかり、有効な手が打てなくなる心配もある
144	恵みの川ですから、自然を大切にしたい
145	流域住民の幸せや想いが通じるような、小単位の話合いの場が欲しい。徳島市の場合、各公民館や各コミュニティセンター単位で検討の場を設けるとか、気軽に参加出来る所が良い
146	今までは、国や県の方に顔を向けている学識経験者の人達ばかりの様に思われます。住民の方に顔を向けた人達も選んで欲しい。とにかく中立・透明性
147	お互いの意見をよく聞き、何が一番吉野川及び付近の住民に良いかを、冷静に語り合えるよう求めます。自身の考えを無理強いする事なく、相手の意見も考慮するような余裕も欲しいです
148	ご意見なし
149	台風時の増水の恐ろしさは忘れられません。防災第一。岸辺のパトロールの専門員を雇って、不法投棄を絶対しないよう取り締まる事が大切
150	様々な分野の方の話を聞きたいと思います。グループディスカッション等をして、出来るだけ多くの方の意見が反映されるようになったらいいと思います
151	HWの波及効果。県西の振興を県が止めているとしか思えません。知事の地元ですが圓藤さん何を考えているのですか
152	流域住民による意見をまとめて、吉野川の将来像を決定したら良いと思いますが、住民全員からアンケートをとってはどうか？その結果に基づいた整備計画を決定して下さい
153	植林の保水力を高め、第十堰の補修でよい。1000億の公共投資を国土交通省の行っても、維持管理者は県の費用である。約年間40～50億ではないか。県税で出来るのか

Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
154	行政の方も熱心に考えて下さっていると思うのですが、皆が川を愛し育てるという観点に立てば思いは同じなので、結論を焦らないで意見交換する事が大切ではないでしょうか？感情的になっても「吉野川」にとっては良い結果とはならないと思う
155	自然を残すのを第一に考え、自然に配慮した川づくりを話し合う場にして欲しい
156	河川整備計画の決定に、きちんと流域住民の意見が反映されるように、河川管理者とも良好な関係を保つ場であって欲しい
157	ご意見なし
158	1)川づくりの専門家を加えた、住民・漁業・農業・企業等色々な人が幅広く意見を出せる為、代表者を幅広くから選び、代表になれなかった人達にも意見を出せるチャンスをつくる。 2)漁業だけの為・企業だけの為等の一部を考えず、徳島の将来が考えられる人。 3)子供の意見を聞くのも良い。 4)誰がどんな意見を出し、どうまとめ決まっていたか、一般の人にわかるように情報を出していく事。
159	何を今更「川づくり」等しなればいけないのか分からない。県民にきれい事を言って話し合う場等と言わないで欲しい。どうせ知事はじめ政治家共の利権絡みで考えている事に決まっているんだから、ごじゃごじゃ作意しないで下さい
160	なるべく自然を残す方向にもって行って欲しい
161	ご意見なし
162	色々な立場の方、業業・農業・林業・パドウォッチングの方・吉野川の絵を描いている方・吉野川兩岸の住民・水上バイク、レジャーモーター等で楽しんでいる方・河川敷の牧草等を作って営農している方・アドプトプログラム実施の方等、総て河川に何らかの係りのある方の意見を出してもらおう
163	私は第十堰を例にとっても建設省が正しいと思う。何も分からない住民が政治化し反対しているように思う。やはり交通面にも配慮した第十堰であって欲しい。堤防一つをとってみても、実際に増水した場合被害を受ける方の意見を尊重し、高台に居る住民の意見は聞く必要がないように思う。環境は次である
164	洪水と全く関係の無い左翼系の男の先導する住民投票結果によって、可動堰計画を白紙に戻した事が非常に残念だ。吉野川下流域(左岸)の各町でも住民投票し、計画に賛成している住民が多い事も知って欲しい。可動堰賛成派の男のテレビ出演を見てイメージが悪かった。もっと説得力のある人に出てもらうべきだった。検討の場には、反対派の左翼の男に負けないだけの理論を持ち、雄弁な人を選出して欲しい
165	C
166	吉野川流域の関係町村はもとより、他府県の見識者も交えた公平な議論の場にして欲しい
167	流域住民の話し合い
168	住民意見等を反映とする事。学識経験者等とする事
169	大きな完全な姿
170	話し合いの場について、誰でも気楽に参加出来る場になって欲しいと思っています
171	政治家・行政・各団体のエゴを捨て、真に県の将来・県民の願いを汲み上げられるような組織。(方法として)の中で、最後に地方公共団体の長の意見を反映するようになっていますが、圓藤知事のように住民の代表でありながら、住民を無視した判断をされる事があります。住民の意見をきちんと汲み取る場であって欲しい
172	一昨年まで県民に求めた意見を集約して下さい。私見の固・可動併用案など検討されましたか。固定と可動の欠点を補完し、両長所の連結で最も良いものである筈です。吉野川に実験場を設けて試して下さい
173	C
174	ご意見なし
175	市民レベルでの会
176	自然保護の立場で検討して欲しい
177	地域住民の意見がよく反映される場がいいと思いますし、子供達の意見も聞ける場であって欲しい。又、吉野川を使ってイベント等する人の意見を聞く場でもあって欲しい。学校の先生方も寄って欲しいと思う
178	無責任なヒステリックな市民団体を入れぬ事。吉野川の鳥瞰図を眺めながら話し合うと良いと思う。徳島為の吉野川ではないのだ
179	各市町村別に、住民が主導で吉野川を考える会を作り、住んでいる地域別の意見の集約をし、全体会議に発展さすべきだ
180	A
181	当初から片寄った意見の者は廃除(可動堰なし等の意見の者等)。あらゆる分野からの選出。学識経験者(治水・環境・魚類・鳥類)、流域住民(各市町村より1~2名)、漁協・農協、水利権者(上水・工水)
182	可動堰反対の運動は正しいと思うが、その後彼らが言ってる事が全ての様な風潮は変である。又、話し合う場については、出来るだけ各年代・各職業・各経験者等各般に及ぼす人選をされるべき。特定の組織を優遇すべきでない。公平に公正に！
183	ご意見なし
184	流域住民参加により、住民の生命と財産を守る整備計画
185	川の流域農業者のヒント。 1)草屋の家の瓦の下まで洪水の水がくる。 2)穀物倉庫の白壁の石積みの高さ(高さ1m60cm+基礎60cm=2m20cm)3mあるのが多い。
186	幅広い各層から意見をまとめて充分な検討をし、答えを急がずオープンな場でなければいけないと思います
187	様々な意見の交換の場であれば良い
188	A
189	広く色々な人の意見を聞ける会であって欲しい。例えば、美しい川を守り続けている県外の取り組みや外国の実例を参考にしては
190	皆で話し合う場づくりが第一ですが、各地域から行政代表・地域代表者・農漁村代表者・都市生活者・山林代表者・学識代表者を広く求めて、特に女性代表者を3割程度と配慮してもらいたい。若手と熟練者(生活)で構成してもらいたい。ただ賛成・反対の声でなく、どうして反対なのかきちんと意見の言えるメンバーであって欲しい
191	構成員としては、数多く各方面からの有識者を選出する。政治的に中立の人。常に情報公開し、住民総意を反映する方法をとる。(例・・・住民投票等)
192	幅広い年齢層の参加者と、色々な立場からの意見が出し合えれば良いと思う

Q12-1.「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
193	川は、その川と上・中・下流で最も係りを持つ住民の意見が反映されるような場が一番必要であり、公聴会等の開催は、まず住民の意見を反映する上で専門家の意見も必要な時にのみ行えばよく、河川管理者としての国土交通省が全面に出て計画・立案するのではなく、住民の意見の反映をいかに技術的・予算的にクリアするのかがという立場に立った国土交通省の運営である必要があるように思います
194	ご意見なし
195	A
196	吉野川の将来について、土木工学的話し合いでなく自然環境の保持と、更に良い自然環境作りに役立つ立場から、まず議論し、その上で土木工学でどう役立ち、どう実行させるか議論して欲しい
197	個々の現場で個々の意見を個々に聞く。それを要約してまとめる。(小・中・高・大・各職場・町内会等)
198	何事も(このアンケートの結果も)新聞に公開して是非を問う
199	中立かつ透明性が最重要。原案とそれに対する意見をメディアにて公表すべき。正・反の意見をそのまま反映したものでなければならぬ。主催者が結論をリードしてはならない
200	堤防が重要な道路になっている。その為に損傷しているのに補修に金をかけてない。堰等造らず堤防を保全せよ
201	学識者重視ではなく、洪水にあった人・河川周辺に住む人等、人間が生きていく事と自然を守る事のどちらが重要なのか等、きれいな話し合いが出来る場所にして欲しい
202	政治色もなく、穏やかな検討会にして欲しい
203	C
204	ご意見なし
205	河川法なんて止めたらどうですか。お金を無駄遣いする為の法律でしょ。今だって十分使いたい人は使っているではありませんか。皆で川づくりなんて、自然をいじくりまわすのは止めましょう
206	流域住民だけでは勝手すぎるものがあるが、学識経験者の意見も大事である。地方公共団体の長の意見は、町長の意見を充分配慮していないのではないかと。知事がこう言る建設省がこう言るけん等政治に繋がってはしませんか。本場の地域の吉野川を観ながらご意見を発して欲しい
207	川づくりの場をつくる
208	提言(普段思っている事)。日本人の特性たる熱し易く冷め易い付和雷同型で軽佻浮薄のマスコミ、一部のマスコミや世論に迎合するエセ環境保護団体や利権を食いものにする悪徳政治屋や土建屋等の圧力や響応に惑わされることなく、常に吉野川流域住民の生活の安全と安定を主眼とし、徳島県の将来を見通した確固不動の信念に基づいた施策を推進されたい。先人の叡知と英新と実行力に学んで！！
209	川づくりの結論結果でなく、過程が分かるような報告。(例)プレストミクパイレット法(各人より悪さを出さず)→4～5ヶのキーワード集約→改善案検討→住民が納得する(参画意識)*理解しやすい一目瞭然な進め方
210	生物学(科学者)の研究発表を各地で開催し、住民への知識を深める。挨拶・文書・ビデオ等々も。(昔住んでいた魚達が今住む事が出来ない原因の追求をすれば、今後の取り組みがどうあるべきか答えが出て来るのではないかと)
211	今回の様な県民全体の意見を聞いて、それを具体的に反映して、それを活かして欲しい。学識経験者の意見も良いが、それが全てベストではない。人それぞれの思いが違う
212	住民の意見を反映したものに
213	学識経験者の意見は別として、公聴会・検討会は多数の意見ではない。このようなアンケート解答の集計を基礎にすればよい
214	意見等の場では、学識経験者には特に地方公共団体の長との間に利害関係のない中立的な立場の人を選ぶべきであり、流域住民には第十堰問題で賛成と反対との人々加えて、流域住民でないまったく離れた第三者的な住民をも入れるべきだ
215	治水・利水についてオープンな意見が出せる場が欲しい
216	ご意見なし
217	四国一の大河吉野川の水域で生活している者として、その恩恵を謝し清流吉野川を守るのは責任があると 思います。アンケートをもとに話し合って下さる様お願いします
218	A、Cさん
219	意見を纏める機関が大切な役割を果たす事が必要
220	流域住民の意見を尊重し、住民主導の民主的な場であってほしい
221	1. 今までの「学識経験者」選定をみると、川の事を余り知っているとはいえない学者や官吏の古手が多い。こんな人が審議に入っても新鋭技術者の説明にはグーの音も出ないと思う。審議員の経験や予測で十分意見の出せる人を出す為には、人選の最初は多数の者をあげ、これを市町村や農協・漁協に選ばせ段々絞り込んでいく方式をとればよい
222	河川整備計画(原案)「一般の人が分かりやすく解説」→学識経験者・住民・地方公共団体の長と議員(検討の場)→河川整備計画の決定
223	会を開く前に、意見を聞くアンケートみたいなのをとってから開くといいのではないかと
224	PCネットワーク等で広く意見を聞いたり、放送メディア等を使い公開討論の場を作ったりして、流域住民・河川に携わる人の意見、県外の人の想いを反映させる場にして欲しい
225	町の環境課が中心になって、川を美しくする為に公民館等で話し合ってもらいたいと思う。三好町の●●●●
226	●さんがアプトで力を入れていますが、PRが出来ていない
227	準備会は中立・透明性等が重要だと思います
228	その人の立場により意見は違っていると思います。私には分かりません
229	ご意見なし
230	吉野川は県民の宝です。県民の意見を大切にすべきです
231	変な政治屋の変な意見が入らない場。(国土交通省の皆さんを信頼しております)
232	検討の場を、小さく分割した地域・地域で行うのが良いと思う
233	災害時の対応策を話し合う場に C. 第十コンクリート堰は、住民投票通して廃止になりましたがそれに代わる案はまだですが、現堰老化は事実です。現堰の上流部・下流部に15m位のコンクリートパイル打ち込み、特に下流、Wで現堰を再生させる手段は無いものか…。利害・政・行政関係者よりも全く中立で発言する人の意見が大事ですが、学者以外県外者では設問6を体験してないのでしょうか。(パイルは巾全部何万本もいるでしょう)



Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
234	メディア(テレビ等)を通じてテーマを絞り、具体的に討論し合う。(色々な人々)流域住民の代表とか河川に詳しい専門の人とか(学識経験者等)で話し合う事。(回数・時間を多くして、事前にPRが必要)
235	地域の人の意見をよく聞いて欲しいです
236	自然を守る人の話し合いの場への多数の参加を求めます
237	水利権や漁業権ばかりを主張する人は要らない。きれいな水と豊かな緑を考えて下さい。不便で利用し辛くてもいいじゃない。豊かな自然が自分達の孫の代に残せれば。そういう考え方で実行できる人だけの集まりでいい
238	まず、下水処理をきちんと各家庭で地方自治で設ける事。これが川づくりの基本でしょう。川は自分の道を作って流れているのだから
239	Cさんの言う通り、中立・透明性の高い人達のお力をお借りしたらいいと思います
240	皆で川づくりを話し合う場。治水を良くするのであれば場所はどこでもよい
241	干潟を潰し環境を破壊する事業に反対している市民の意見も十分聞き、費用の事もよく検討して、市民全体が納得出来るまで話し合える場であって欲しい
242	広い意見を聞いてもらう為には、こういったアンケートをして頂くのと有り難いです。(特別な場を設けると、参加出来る人が限られるから)
243	特になし
244	インターネットのホームページ等で、広く県民の意見を聞ける場を設ける
245	ご意見なし
246	学識経験者は多くが川遊び未経験者だ。純粋な気持ちがある子供・流域生活者等、川に密着している者を選んで欲しい。御用学者・利害関係者・役人は一切入らないで欲しい
247	国・県のデータをもっと分かり易くして欲しい。また河川事業に関する議論をもっと新聞等で伝えて欲しい
248	中立・透明性の地域住民を主体に、皆の意見をまとめてくれる学識経験者等の場で運営
249	流域を幾つかに分けて各地の意見を聞き、集約。地域に合った施策を
250	釣りや自然のままがいいですから、今の吉野川を壊さない様にして下さい
251	話し合いの場には、もっと川をよく知っている漁師とか、川と密接に付き合い、生活している人とかを話し合う場に呼んで、協議してほしい。本当に自然と川のためになる場であってほしい。
252	むづかしいことはわかりませんが皆が納得できるような話し合いの場になってほしいと思います。
253	住民の意見が尊重されること。五十年、百年先を見据えた検討をしてほしい。
254	吉野川流域の全体でやらなければならない。
255	昔は洗濯とか、プールがないため泳ぎ、生活の一部でした。多分今は子供達は川は近寄るなって場になってしまった。とても親としたら一人で遊ばせる場所ではない。私は五十歳ですが、孫が出来たら一緒に散歩をして、川で泳がせ、手作りボートを浮かべ乗せてやりたい。夢の話ですが、とにかく川へ行く事が一番川を大切にす最初だと思う。水は清く保つため排水を出さず、ゴミを捨てず、今のままの状態です川へ行く道を貞光町みたいに整備したら。
256	へドロに何故なるか。(人間がしている。)きれいな水を欲しながら汚している人達の無関心。自分さえよければよいという考え、汚いものは外へ捨てればよいとの考えをなくさない限り良くならない。物を作り良くなったつは困る事を身に受けることを知れと言いたい。
257	だから人間ごときの力で川を作るという考え方がおごっている！！川で人間が活かされているのだ。徹底的にゴミ拾いをして、奇麗にする。川を大切にす気持ちを持って接すること必要では。まずはきれいにす集まりを多くすること。
258	情報をわかりやすく説明して、住民が理解し、住民参加の場にして欲しい。中立、透明性が一番大事。夜の会でないと出席できない。
259	川にかかわりのある人々、の意見を重要に行ない、全体の意見は参考として、リーダーシップのある人が、河川の整備を早く実行することを望みます。
260	人々の意見もたくさん聞いたらいいと思うかな。
261	学識経験者、地方公共団体の長、流域住民の意見の反映は必要であるが、将来を担う学生(小中高生)の参加を望み、意見を充分に反映してやる必要があると思う。
262	最初から何々ありきでなく未来永劫に吉野川をト付き合って行く為に専門家、政治家等特定の方中心でなく住民中心の直接民主主義の組織作り。
263	小学生、中学生、高校生の意見を取り入れるために、作文、絵などで表現してもら。住民意見として、各市町村で年代別性別をほぼ同割合とする事
264	地域住民との対話がほしい、政治家のいない。
265	専門用語ばかり使わず、子供にもよく分かるような話をしてほしい。皆が納得のいくような吉野川にしていく為。皆が参加できる場を作る事が必要だと思う。
266	地方公共団体側と、住民側が一方向的に意見を言うのではなくお互いに歩み寄る形で、話し合って欲しい。最終的には、よりよい吉野川作りを目指していることを常に忘れず！！
267	参加者は共存共栄する家族であり仲間であること。従って気軽に考えを述べたり互いの考えについて批判できることが必要です。
268	住民意見を優先させる。Cさん
269	河川整備は国からのトップダウンで行うのではなく、地元の要望からなされるべきである。まず整備計画ありきでは、本末転倒税金の無駄使いになってしまう。
270	公平な意見を持つ流域住民を納得させる代表により、検討して頂きたい。
271	男性は釣りにでかけるので川のことはよく知っています。そうとう情報網と思います。流域住民。
272	下水排水の浄化設備の設置。昔のきれいな水に。
273	流域住民のボランティアをできるだけ集めてその中からリーダーを決め、その人たちを中心にテレビ・新聞等のメディアを巻き込みながら活動を展開してゆくような形が望ましい。
274	はじめに河川工事ありで今までは工事が行われていました。昨年山川町北島の河川工事は毎日行っている人も知らないまま工事が始まりました。その後、水路が変わり地下水が出なくなった時、国土交通省が住民に説明会を開くと言ってきました。国土交通省の人に何の説明会か？と聞くと工事のことと言っていたので住民が反対したら工事はしないのですかと聞くと工事はしますと言った。これでは何の意見もないと思います。

Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
275	準備会のメンバーからは各代表等の1人が参加するのが良い。流域住民と言っても、例えば徳島市と勝浦川流域住民等、上板町では山地住民の選定から除外してはどうか。可動堰の反対派、賛成派の両極端の人達も除外しておくべき、ただもめる原因で前へ会議が進みにくくなる。どうしてもと言うならオブザーバーとして認めるのではどうか。
276	上流の山々の水源地森林の保全や地すべり対策を充実し護岸も場所によってはコンクリートに又自然を破壊しない竹林とか石垣などを利用した自然にできるだけ近い建造物にするなど災害に充分配慮された利用者全てを中心に考えてほしい。
277	自分の利益のためだけに意見を出すのではなく自然にやさしいことを提案していただけたらいいと思います。自然にやさしくすると自分に必ず返ってくると思うので。
278	かたよらない人選をして大多数が認める人で
279	ご意見なし
280	一年間を四季にわけその四季ごとに清掃期間をもうけ清掃員を募り実施すること。年内をとおして実施する。
281	皆が幅広く意見を言える場。でも、ある程度の意見集約の出来る場。対立の構図にならない様な場。政治的に利用されないような場。
282	企業やお金の動きだけでなく、幅広く大きな立場で、目先の利益だけにとらわれず、自分たちの子供の子供の…未来のことまで考えたいと思います。
283	一部の地域の人や関係のない人々の意見より、周辺住民で話し合っほしい。
284	インターネット他で情報公開し、一般の人や広い地域の人からも意見が出せるようにしてほしい。
285	話し合いの場は小さいグループから大きいグループ。大、小をとりまぜた集会を持つといい。ある程度の専門家の話も聞きたい。現に恵みを受けている方々からの意見(農場に従事している方々、工場の方々)。河川についてのビジョンを示してほしい。
286	次の時代を擔う若い地域住民でよく話し合う。政治家を排除すること。
287	今のままでの保全を前提として話し合う。
288	いろいろな立場で議論でき全体の合意形成として。
289	ご意見なし
290	行政、いろんな専門家、いろんな趣味の人など色々な分野の人が集まって話し合ったらいいと思う。趣味でもスポーツ、動物愛護、美術、学習など、いろいろな人がいるだろうし…
291	みんなの意見をまとめてくれる人が必要だと思います。
292	誰もが気軽に参加できる場。
293	県、市、町、村及び国土交通省をまじえ、住民の一部の方だけでなく各階層の方々の幅広い意見を徴収し、前向きに検討していくべきである。
294	俗に言う官主導型は住民不参加となり、無関心さがやがては子孫に迄被害をもたらすことを憂慮すべきである。決して他人事ではありませんが、足許に火がつかなければ仲々その是々非々がわからず、いざとなつてあわてふためく！。住民の啓発により行政と住民の深い連携を。
295	1. 各人の意見を尊重。2. 始めから“××”ありきの場とはしてほしくない。
296	個人の利害を考えず、吉野川を本当に大事に思っ下さる人々の集まりの場であって欲しいです。長くつづけて行くと考えが固まってしまっそうですが、意見を出し合っいつまでも活発な行動をして欲しいです。勢いの場ですね。後はホームページでチャットで意見収集はどうですか？ボランティアにかこつけて、余分な時間や能力を使うところを見ることがあります。ボランティアも余分なところを省いてスピーディーに活動して行かないといけません。やっぱり集める人がしっかりしていないと活動的になれないんじゃないんでしょうか？
297	住民の権利を尊重し、政治家たちの利益になる方向へ走ってはならないと思う。(セキの建設等に関して)
298	Cさん
299	吉野川の下流域は潮の満ち引きで水量に変化があり、釣りやボートによる遊びなど、大変に観光にやさしい場所です。県外客にも楽しんで頂ける遊び方など工夫して自然を残し、将来に財産として残して欲しい。大きい輪(沢山の人)で話し合っ欲しい。
300	堅苦しい場ではなく、本当に吉野川を美しく保ちたいと望んでいる人が集まり、楽しく討論出来ればいいと思う。徳島の吉野川をもっと誇りに思っ自慢の川であることをどうすればアピールできるかみんなで考えたい。
301	吉野川は下流地域だけの川ではないのだからもっ中流、上流地域の住民の意見も取り入れて欲しい。
302	まず国土交通省が川づくりの為の基本整備案を出し、それをもとに検討すべきだと思います。個々の意見を聞くことも大切ですがそれではなかなか前進しないと考えます。
303	ご意見なし
304	従来のやり方でもいいと思うが、PR(住民への周知)がいきどいてないのではないかと。「ふる〜ぶ」等で各家庭に配布するか、徳島新聞の折り込みチラシで住民理解を深めてはどうか。徳島市での会合だけでなく、上流・中流・下流域で話し合いの場もっては。
305	積極的に進めるべきである。
306	テレビ番組などを通じて、勉強の場を与えて欲しい。集会だけでなく、メールやFAXなどの方法もあるといい。特に問題点をクリアーにしてもらえると分かりやすい。
307	川の流域で生きている人が、恵みや危険など川のことを一番知っているのだから、ただ意見を聞くだけでなく、その意見がそのまま反映されるぐらいのこと(意見を聞いたよといって正当化されるようなものではなく)がなければならない。学識経験者(ただ、治水だけ、利水だけの論理で考えると、もしかしたらダムや堰がいいなということになるかもしれないから)も住民の希望をかなえる為はどうすればいいかという視点で最善の策を考えるようにしてほしい。生態系を維持するなどについても大事だが、そういうこと以上に生活環境、その自然環境の下に実際に生きている人の視点を持って物事に取り組んで欲しい。
308	いろいろな考えを持っている人が一杯いると思うんです。いろんな人が話し合うことが出来ると思います。子供、大人、お年寄り、年齢が違っやっぱり思うことは違っと思います。また、県内でも住んでいる地域によってやはり思いはいろいろあると思うし、一部の人だれでなく、出来るだけ多くの人の話し合う場所であって欲しいです。話し合いも出来るだけ回数を多く、話し合う場も色々なところで。結果なども、新聞の朝刊などに乗せていただけたら読むのが簡単なので、ありがたいですね。小さい子にもわかる話し合いの場であって欲しいですね。



Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
309	具体的に即実践的な話し合いの場を望む。利害関係を無にして話し合える場でありたい。少数意見も大切にし、声なき声にも耳を傾ける取り組み。
310	あらゆる立場の人がいろいろな意見を述べられる場。発言が後日住民に情報公開されることも重要だと思う。
311	1. 若い人や将来に夢を持つ人。2. 利害で動く人を避けて、3. 人類の生命を尊ぶ、神を恐れる人が参加する。
312	全ての人が意見を出せるような場であってほしいと思います。
313	川を知る者の情報を十分提供してから(知りたい事をまず聞いて答える)＝情報の開示。
314	選出された委員のみによる検討会でなく、委員外からも検討会に参加できて意見を述べられるような委員外委員ともいうべき制度もいいと思う。
315	ほんの一部の人の言うままはやめましょう。全流域の人の意見を聞きましょう。
316	吉野川を誇る会でも審議員でもメンバーですすぐ結果がわかってしまうように思います。結局利権の工事業者が…。政治的になってしまっています。どうしようもないですね。
317	徳島県民や、吉野川を愛する人が将来を考えて!!
318	住民の意見と、学識者や役所意見をオープンにして議論してほしい。
319	ご意見なし
320	上流から下流まで吉野川沿線の住民で組織にとらわれない人により話し合ってほしい。いろいろな事業については学識経験者に提案してもらい参加者全員の意見を問う。吉野川と地域全体を考えてほしい。一部の何々保護団体の主張であってはならない。
321	漁業をしている人たちの意見。自然保護を重視する学識経験者たち、住民(県民)たちの自由に言える場であってほしい。
322	徳島の自然が宝であること、またここにはそれしかないことを知った上で大切に守っていかねばならないこと。小中学校の授業で取り上げてほしいと思います。
323	自然保護を固執する意見となりますが、河川法のなかに自然環境を壊さない思想を原点として取り上げて戴きたい。それは河川だけでなく国土全体に通じる危機であります。
324	感情論を排す事と思います。
325	ご意見なし
326	できるだけ多くの人が参加できるようにして欲しい。
327	気軽に話し合いの場に入れる場であって欲しい。公共団体学識経験者の押さえ付けのない(オブザーバー的)意見交換の出来る場であって欲しい。
328	A
329	広く多くの意見を取り上げ、本当に県民の川として大切に育てていく場。このような新聞を通して意見を聞く。単に聞くだけでなく、良い意見を大切に吸収すること。
330	新しいものを求める場ではなく、より自然に近い形で川を守るにはどう方法があるかについて語り合っ て欲しい。
331	ご意見なし
332	皆でよく話し合っ、エゴではなく本当に川を心配する心を持ってもらいたい。徳島市は若い人の反対が多いように思います。が、私たち老人は我々より年長者から聞いた吉野川の恐さは忘れることが出来ません。この心配をなくすようにして下さい。今、第十堰に反対している人は水害の心配は全然してないと思います。
333	ニュースなどでみる検討の場は、何か、賛成、反対の両者がケンカしてるみたい。もっと意見を聞き合い、本当の話し合いになる場になればいいと思う。そういう意見で、このアンケートとかも1つの方法として、いいのではないのでしょうか。
334	ご意見なし
335	いろいろな年齢や職業の人が意見できる場だったらいいと思う。
336	「みんなで川づくりを話し合う場」。一部の人々の場ではないでしょうか。もっと広く、多くの声を聞く場であって欲しい。
337	人前で意見を言うのはすごく苦手で、私には無理だと思っています。でも、どういうことを話しているのか、という事は気になるので、テレビなどでたくさん内容を伝えて欲しいです。(質問の意図と違う答えですすみません。)
338	各人の思いを出し合い、出来そうな事から行動する。その場合、自然環境を悪くしない事を考えておく。困っている事を出し合い、その解決策を出し合う。
339	学識者の意見も大切であるが、やはり地域住民の意見が大切。根気よく皆で話し合って勿も良い方法を考えたい。
340	ご意見なし
341	五者合議制(同数)。①各利用者(各年代別)+流域住民+学識経験者+各自治体+国交省。
342	金儲けのための工事の推進の場所としてでなく、一番大事な自然に手を加えなく未来のために必要の無い工事を止め、自然を守るような話なら。
343	まず、川に関する法がどうなっているのか住民に知らせる。現在どういう計画があり、実施しているのか皆に知らせる。識者に全国の取り組み方を紹介。流域住民の意見や話し合い。地域の代表が上へ言う。
344	県や国が一応原案を作り、その上学者や住民、首長等の意見を聞いた上で、最良の川作りを行う。
345	1人1人の意見を尊重し、いかなる場合でも中立で平等な話し合いが出来る場であってほしい。そして必ず結果報告をして欲しい。
346	情報は全て公開。公聴会検討の場にしても、傍聴人にも意見発表の機会を与えるべきだと思う。
347	特定の企業、団体などの利権誘導の場とらないようにして欲しい。自然と人間の共生を真剣にまた関連に話し合える場にして欲しい。可動堰賛成反対のしがらみを引きずらない場にして欲しい。偏狭な地元意識を捨てて、多方面からの参加を募るべきである。
348	出来るだけ幅広い層の人々の意見を聞くようにして欲しい。日本の他の事例、世界の考え方のすう勢を知り、参考にして欲しい。重要な決定は多数の人の賛否を聞く。(例:住民全員の投票)
349	①子供達に学校の場で。②若者の集いの場で。
350	①一部の人の意見に引きずられない、中立で中身の見える意見交換の場でありたい。

Q12-1.「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
351	少数の意見をも反映できる場。人間ではなく、動物のために一番いいのはどんなことかが冷静に考えられる場。動物の気持ちになって活動方針を考えられる場。
352	兼ねてより県案である第十堰の改良について、市民団体の一部の反対運動があるが、現況の認識に於いて不十分な点が多くあり、これの認識の為もっと手段を以て知らすべきだと思います。集会、パンフレット、看板、イベント等で時代と共に変わり行く川の被害、利用の必要面、交通産業の発展などを不望しない市民に周知すべきだと思います。
353	皆さんが白紙の状態で見え方を交わせる場。
354	自分の利益ばかり考えず、まず環境のことを考えて、和やかに話し合いができた方がいいですね。農業や漁業関係者を含む色々な分野の代表者で話し合う形が望ましい。営利目的者の参加は望ましくない。(ゼネコン各社及び関連企業。)
356	流域住民を中心に、公開された場になって欲しいと思います。特に政争の種にはしたくないと思います。
357	川を観光資源として考えるのではなく、住民のための川として考えを進め得るメンバーに限るべきだ。学識経験者の中に、建設、経済などの専門家は不要と思います。
358	中立・透明性などが大切。Cさんの意見。
359	中・高校生を含めた若い人に多く参加してもらおう。直接の利害関係者だけでなく、広く県民の中から。他県の状況等、良かったと思われる川の例などを知っている人。
360	新しいものを取り入れてより美しくなると考えられるものなら、一度試してみたいかと思う。前向きにやってみて、結果が悪くても、一度はやってみるのもいいかと思う。徳島の人は新しいものを取り入れるのを嫌う人が多いと感じるので、可動堰問題も大きな問題になったのでは。失敗したら取り入れたものをやめて、自然な形で吉野川を守って欲しいですね。
361	百年二百年それ以上の年月を考えてくれること。歴史・文化も大切。でも悪化するということも頭に入れて。あまり組織的なことはわかりませんし、好きではありませんので自分自身でただ川が好きであることに、こだわっていきたくと思っています。
363	私利私欲に走る学識経験者や流域住民だけではだめ。全県及び県外者も入れる。穴吹川へ遊びにきているのは県外者がほとんど特に香川県の人が多い。
364	公平に話し合える場であってほしいです。
365	まず、どう川を作るかという整備の事より先に、どんな吉野川を望んでいるかという目標を明確にするべきだと思います。目標が明確に見えた方が皆が強ししやすいし意見も出やすいと思います。学識経験者ももちろん必要ですが、環境問題に詳しい専門家や地域の活動家、住民の意見は絶対聞くべきだと思います。
366	当然、見識者の意見を直接聞く場も大切だけど、今回のように、新聞、テレビ、ラジオ、ネットありとあらゆるメディアに協力してもらって全ての人々が参加して考える場を作らないといけないです。それぞれの立場で意見が違うのは当たり前だけど、あくまで目的は同じでなくてはいけません。
367	私利私欲を捨て、吉野川の自然を一致団結して守る決意を持って協力しあう場を作る。
368	現在の状況が正確にはわからないが以前の「初めに可動堰ありき」という国土交通省の立場なのであるなら、話し合いの場とはならない。国が今どのようなことを考えているのか明確に示さなければわからない。
369	議論するのはいい。ただ、エゴをふりまわすことはやめた方がいい。長い目で見ること。災害に対する認識を大切にすること。
370	古くからこの流域で暮らしてきた住民の方々の、自然と共生する知恵を生かして欲しい。
371	意見がぶつかり合っても、最後には握手で終わるような話し合いの場であってほしい。今までの審議会や住民投票のような、「影にいる誰か」の意見を代表するようなものだったらいい。
372	国、地方の財政が厳しい昨今、無駄な公共事業をやらない方向で検討したい。
373	Aさんで良い。
374	多数の意見を取り入れ実行できる事が重要と思う。
375	ご意見なし
376	Aさん
377	中立、透明性お願い致します。
378	色々な業種の人や学識経験者の作る新しい第三者組織を作り、如何に吉野川を守り、そして上手に利用する対策等の話し合いの場を作って欲しいと思います。
379	吉野川を守る事が結局は県民の飲料水、農業、漁業を守る事だと思う。(県民一人一人の意識の問題だと思う。)
380	中立透明性が大切に強大な至誠の心話し合いを。
381	直接参加できない人達へ公報等できめ細かな公表、参加者が多いこと。
382	その会は、意味がない。決定権はない様だから。時間の無駄でしょう。
383	流域市町村から、代表者を選出し、これに学識経験者首長を加えた検討委員会を設けて検討し随時公開公表する。
384	ご意見なし
385	皆で話し合う場を作ればいいのだが、今度はその場の主導権争いが起こりそう。国土(官側)と反対グループが半々に入ればいいのだが。
386	公共放送を通じて県民や世界の人々に「吉野川の重要性、財産としての必要性」を訴えて欲しい。知事は「吉野川の一部を埋めてえしもう」という方針を打ち出しているが、県民や地域の住民の意向等を聞いた上で良識ある判断を期待する。
387	アスティ徳島などでまず分科会(郡別、市町村別など)を開き意見をまとめ、本会議にかけ関係機関の人々を集めフォーラム形式で意見の交換、質疑応答の場にする。
388	町内会の会合を利用し、吉野川についての皆様のご意見や希望を取りまとめ役員間で討議し、それを上部団体の意見具申。将来の吉野川のあり方に反映して欲しいと思います。検討の場に出席する人、したい人はその町内会の会合で選出する。個人参加も勿論認めている。
389	とにかく中立であること。特に透明性が大切。意見を言った人が不利益をこうむらないように。
390	検討の場、準備会との差異はわかりませんが基本として開発主体、効率化だけは避けていただきたい。吉野川のあり方をもし問題があるならば、鉄とコンクリートの構造物でなく旧来の技術で今後の土木事業としてのモデルケースとして位置づけることも重要では。

Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
391	「生き物や地球にとって何が一番大切か」を一番考えて、川作りの方法に取り組んでいただきたい。
392	広く参加者を募り誰でもが参加し意見が言えることが大切だと思います。特に現在吉野川の水を水道水として使っているわれわれ徳島市民にとっては、どうしても自然を守り、美しい水を保持していきたいと考えます。このことはどうしても譲れないことですので、そういう声が反映できる場であってほしいです。学識経験者も選び方が大事で、環境とか森林の専門家の方、動植物の専門家の方を多く入れてほしいと思います。
393	一部の御用学者や官僚が取り仕切ったり、アリバイ作りのためにするようなものではなく、広く市民の声を聞けるようにしてほしい。
394	吉野川の環境保全に取り組んでいる諸団体。流域市町村代表などが多く参加できる場であれば、できるだけ多くの人を集めて自由な発言のできる場であってほしい。各種委員などの肩書きを持つ人が集まる傾向をやめ、広い範囲の意見を聞きたい。大声で議論を制するのではなく筋のおつた意見の場でありたい。吉野川流域に対する知識が一般的に少ないように思う。上、中、下をどのように分けているか、国土交通省の啓蒙も必要である
395	特になし
396	a. いろんな立場の人が参加できる。b. いままでの他県でやってきた事例もふくめて(河川講座をもう一度する必要はあるのかなのか)
397	わかりません。
398	川づくりの話し合う場としては大勢では話がまとまらないので、小グループを作り、その中から広い意見を抜粋してその意見をもとにもう一度小グループを作り話し合うことが必要と思われる。
399	河川管理の専門家。地域代表者と受注者、一般住民。(農業・林業・水産・工業関係者も含めての会合)
400	第十の堰が中止になった以上、違った形で景色を失わないような事業をして、大水の対策をしないとイケないでしょう。孫や子の代まで自慢できる川であって欲しい。
401	ご意見なし
402	河川敷から農地を除外して、運動広場等に利用して欲しい。
403	水源域(高知県嶺北五か町村)の山林が大変な状態になっています。川下の流量・水質を維持するために、川上、川下一体となった森林保全の取り組みが必要です。
404	四国三郎と異称される川でもあり、地元だけでなく隣県の意見も吸い上げる場にされたい。
405	ご意見なし
406	ご意見なし
407	ご意見なし
408	大人から子供まで誰でも意見を言える場。
409	ご意見なし
410	机上での話し合いではなく、実際に現地を歩くなど体感しながら検討してもいいと思う。
411	特定団体の意見だけの場にならない様。(行政、管理者がどの程度まで実現可能か指針を示す必要と、自由な発言の場が必要。)
412	水源かんよりの河川であって欲しい。又、治山のためのダムであり、自然な河川であって欲しい。
413	ご意見なし
414	ご意見なし
415	ご意見なし
416	ご意見なし
417	ご意見なし
418	クリーン作戦にて、常時水がきれいな場であって欲しい。
419	全体で良くなるという考えに基づいた場であってほしい。もっと地元住民に管理面での責任を持たせるべき。
420	知事や市長などと活発に意見が交わらせることが出来る場であれば。
421	ご意見なし
422	住民の声を大切にして欲しい。人選が首長等に偏らないこと。反対団体も必ず入れたものにする。行政側は公平な情報提供を行う。反対団体との対立の解消に努力してもらいたい。
423	オープンで公正な場。
424	ご意見なし
425	直接に利益を享受する漁権、建設業は排除すべき。まともな漁業をしないで漁業数が肥大化している状況はおかしい。建設業は大きい事業ほどうれしい。河川管理の発想とは程遠い魂胆である。川の気持ちを代弁する代表者を要する。河川工学…は結果を統計すること。
426	可動堰賛成、反対でもない中立的な人達で構成しないと、どちらを排除しても駄目だし、少なかつたら苦情が出ると思います。その場では、ダム等の構造等に詳しい人にも入ってもらい、事業費が安く、新たな用地確保が少ない方法があれば一番だと思います。
427	吉野川くらい大きな川(自然)であると、ただ存在するだけで、その周辺に住んでいる人の心や考え方等に大きく影響していると思われるので、一時(50年や100年程度)の経済性だけを考慮して利用計画を立てて欲しい。
428	形式だけの検討の場は不要。第十堰問題の時も、住民の意見が反映されるまで行政の抵抗が根強いものがあった。
429	ご意見なし
430	ご意見なし
431	ご意見なし
432	少数意見を取り上げる場であって欲しい。単なる儀式であってほならない。
433	ご意見なし
434	ご意見なし
435	100人(全員)の意見全て採用すること。意見をランク付けすること(多い少ない)。意見を数値に置き換えること(事業費用)。
436	年齢、職業が様々な人が話し合えば、いいと思う。
437	地域と連携して老若等が交流し、良い(古い話など)も含めた地道な努力が必要である。
438	自由な討論の出来る場が欲しい。(関係する住民を対象にした討論会の開催。)



Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
439	吉野川流域の方々や若者、学識経験者達が、自由に意見を述べる事が出来る場であって欲しいと思います。
440	みんなが川づくりを通じて、学習の場になるような検討会。
441	第十堰の時のように、住民投票にまで発展するほどの反対意見がありながら、その声を無視し続けるような体制が改善されない限り、「場」を設けても形だけになってしまうので、意味が無い。また、リスクもディスクローズできる学識経験者陣でない限り、何を話し合っても無駄である。
442	自称専門家や文化人、大学の教授ばかりでなく、様々な分野の人を集め、その中から選別して30人位での会を作れば。
443	今までのような独裁的河川行政はやめて欲しい。
444	河川整備計画(原案)からの出発は過去の技法(誘導型)。原案そのものの公募もしくは全体集会でのたたき台作り等に透明性がある。学識経験者等も公募が望ましい。
445	学識経験者、住民代表、地方団体の長の三者で協議。百年万年の計を立て、実施する。
446	今まで考えたことなく、漠然としていて、今のところは具体的意見なし。
447	政治の介入の少ない常識溢れる場であって欲しい。
448	国、県の対応が遅く、勇気と、早い決断を持って、一部の人達に惑わされることなく進めてください。
449	誰もが参加できるような。
450	学者、文化人等の学識経験者は、保身的考え方が多く、一般大衆との考え方とは異なることが多々あるので、排除し、公募すること。また、オープンにすること。
451	水源地から下流までの方々の多くの意見を参考にし、保全をできる方法と実行について検討する場でありたい。
452	河川整備も必要だが、河川生物や、自然の保護も含めて、より多くの学識経験者の意見を取り入れて欲しい。
453	専門的なことは住民にはわからない。専門家を交えた勉強会が必要。しかし、建設業者への発注は、透明さを保つために、住民オンブズマンが行うようになれば、効率的に税金を使うことができるであろう。
454	検討の場に集まった人全員が意見を言うことができ、それぞれの意見を聞くことができるようにして欲しい。
455	中立。透明性が大切。
456	意見を出し合う場 ・第1部 治水 ・第2部 利水 ・第3部 環境 ・第4部 総合 ・整備計画案を集約する場 ・各計画案について ・総合計画について ・各具体的計画書について ・その他
457	ご意見なし
458	上流、中流、下流の吉野川の恵みを受けて暮らしている老若男女の意見を聞く場であって欲しい。
459	河川整備計画(原案)。
460	広域な住民の集まりでなく、小さなブロック別に話し合いの場を作り、身近に考える機会を与えてはどうでしょうか。そして、各集落で上がった声を集計してみてもどうでしょうか。もちろん、学識経験者等の同席も欠かせませんが、真実の言葉で発言しやすいような気がします。性格的に大勢の中では気後れしてしまいます。
461	21世紀は水の重要性がますます高まる時代。水は全ての生物にとって不可欠の存在である。従って、自然環境をいかに保全し、甦らせるかが重要になってくる。環境は、水質はもちろん、目で見える風景も含むものであり、それもきれいな水でなければならぬ。県民のみならず、国民の宝であるという観点から話をして欲しい。
462	各世代(子供から老人まで)が自由に話し合える場。ゼロからの出発の場。自分の立場や単なる主義・主張の発表の場であってはならない。
463	結局、可動堰を造りたいために、このようなアクションをしてるのでしょうか？話し合う場と言いながら、自治体は県民の意見を聞いていない。堤防補強と、現在の堰の補修だけで、十分100年に1回だかの洪水に耐えられるのではないのでしょうか。そんなに土木工事をして経済が良くなるなんて神話をまだ信じているのですか。徳島の訳の分からない姿を見てください。あのさびれた駅。福祉の行き届いてない現状。やるべきことは別にあると思います。
464	学識経験者、住民、色々な階層の人が話し合っ欲しい。
465	小さいグループの型で話し合えばと思います。
466	Cさんの意見
467	A
468	自分の主張を強調するのは取り上げない。大勢の意見を尊重して、取り上げる。人命財産を第一にして進めること。娯楽や景観は後から。
469	流域の住民が積極的に発言することが大事である。
470	「みんなで川を守り作る会」の設置。地域住民の代表(年令、層別、婦人)、町村議会議員の代表、町行政者(町長他)、教育関係者の代表、学識経験者、検討会の設置。定期的に会合し、意見を出し合っ、地域別の実情に即した実践を継続したらよいと思います。
471	自分達の欲を考えるのではなく、本当に自然の事、県民の事を考えて欲しい。中立で透明性に。
472	流域住民、有識者、自然保護団体等の意見を広く聞く。特定の利権にとらわれないように。
473	隠し立てのない開かれた場であって欲しい。
474	住民参加の、話し合いの場を設ける。
475	可動堰は反対。無駄な公共事業のため税金を使うのは反対。検討の場の委員の人選には、前回のような行政に都合のよい人ばかりを選ばないよう、特に気をつけて欲しい。
476	机の上で、資料や頭の中だけで吉野川の事を考えるのではなく、吉野川の事を一番よく知っている流域住民の意見を大切に反映して欲しい。学識経験者の意見が全てではないし、川と共に暮らしている生活の一部である吉野川の事を知りつくしている人たちがたくさんいることを知って欲しい。
477	ご意見なし
478	中立で誰にでも理解できるような場であって欲しい。
479	流域に生活する人々が語り伝えている、川とのふれあいの知恵を生かせるような話し合いの場。
480	検討の場には、国土省、県、関係町村長はオブとして参加するのはよいが、今までの会合を見ると、主導権を持って支配するから、住民の意見を聞くといっても信用がなくなり、反対者が多くなった。
481	学識経験者と言われる方は、四季を通じて吉野川で遊んだことはあるのでしょうか。川づくりとは我々一般の人には、川をつくりなおすとか手を入れるとかに聞こえる。

Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
482	年齢別に未来の意見があると思うので、一部の者だけに限らず、子供達の参加ができる集会がよいと思う。
483	ご意見なし
484	官と民が対立せず、話し合う場を多く持ち、共通理解を得た上で、川づくりの方向性を見出す。県内各地で、話し合う場を設け、時間をかけて共通目標、方策を見出す。
485	本当に、吉野川はみんなの川です。沢山の方達でこれからの川をいかに自然に、きれいにしていくかを話し合い、これから子供達が大きくなった時、私達が昔を楽しく思い出すことが出来ますように。子供達、そしてこれからの人達に残していけるのは何かを話し合ったり出来ればと思います。話し合う場は本当に大切な事です。
486	流域住民の意見が十分に反映される場。管理者により、吉野川の実態が明確になっていること。
487	世界や日本での先進事例に学んで、最も優れた河川管理(治水、利水両面)できるような検討を重ねて欲しい。
488	枠のない、自由な話し合いが出来、具体的な結論が出せる場が欲しい。
489	県の借金が増えないように。そして、自然を壊さないようにする知恵を出す場であって欲しいと思います。
490	高度の専門性を要する河川工学や土木技術の領域のある件を、住民投票で決めるのはどうかと思う。その打開のためには、学識経験者、素人の住民、行政奉仕者などで素案を作り公開し、討論の場を作り…。これで河川に対する住民の関心も深まり、より良い吉野川の在り方が見えてくるのではないかな。
491	上流、中流、下流ごとにフォーラムを組織し、農・漁業や商業・観光業者など幅広く人選(公募)し、自由に話し合える場であって欲しい。
492	ご意見なし
493	水が大切なことを知ること。人間の生きる元は「水」である。
494	ご意見なし
495	吉野川との付き合い方が違うとか年齢が違うとか、いろんな立場の人が集まるといい。徳島だけでなくいろんな他県の人や日本だけでなくいろんな国の人など、関わりの薄い人達から見た客観的な意見なども必要。公開の場であること。男女同数がよい。
496	どのような話し合いの場であれ、検討の場であれ、まずは開かれた場であって欲しい。
497	現場をあまり知らない学識経験者は要らない。長年、流域に住んでいる人達の方が鋭い感覚を持っているので、住民の意見を反映して欲しい。国、県、住民が偏りなく意見交換できる会を望む。いつもオープンで、傍聴人の参加O. K. とする。
498	誰もが(子供達もお年寄りも)自由な立場で意見を出せるような場であって欲しい。
499	便利、快適性等の名分で河川区域を造成することよりも、自然といかに共生するかを考えるべき！
500	河川法とか色々な法律があるようですが、法律が分からないので、法律の説明を同時に行う。話し合う場になって欲しい。
501	(改修の現場に集合して良く話をすること)古い歴史の説明でよく理解してもらおうこと。
502	具体的な案はわかりませんが、底辺の人の意見がひろいあげられるような場が必要だと思います。
503	住民の意見を取り入れたオープンな場。議事録は公開する。
504	広い地域で全体の意見を聞いてください。
505	昔のように魚類がたくさんおれるような川にしてほしい。みんなで話し合う場がほしい。
506	私はなぜか吉野川がほんとうに好きです。徳島県に生まれたせいかわいとき、三好郡あたりに住んでいたためか自分でも不思議に思います。よりよくするためにはえらい人が必要です。流域の人たちの中にも私たちのようなものが必ずおられると思います。愛する人々も含め、準備会、検討会、運営会をなさっては如何でしょうか。むつかしいことはよくわかりませんが、
507	現代ではテレビのBSなどあらゆるメディアで世界の河川の様子を知ることができる。人々は美しい川がどういうものであるかということをも十分に理解している。県民が黙っているから無知だと考えるのは早計である。地方公共団体の長などが安易に選ばれて検討会などが開催されているがまったく虚しい。私利私欲にとらわれないうるべし人々を人選すべきだと思う。議員や市町村長などのポストの人は除外して県知事も除外して話し合いをもつべきだと思う。
508	ご意見なし
509	ご意見なし
510	改修など(全域)とくに急いでしないように
511	吉野川の水が流れ出して「川」となったのが何年前のことなのかは知りませんが何百年、何千年かけてきた自然を一年や二年、十年、百年の記録をもとに1年2年の話し合いでくずさないようにしてほしい。何を工事するにしてもこの先100年200年たって、未来の人々が「昔の人はとんでもないことをしてくれたものだ」と言われないことをしてほしいです。話し合いは誰でも(子供でも)知りたいことは公表してもらいたい。
512	郵送で意見を送り集計するほうが自分の考えを言いやすいと思います。仕事の都合もありますし。
513	ご意見なし
514	①住民の意見が出やすい小集団。②建設業者、市町村の公務員、議員は入らない方がよい。利害に関係ない意見が大切。③話し合いだけでなくアンケートや文章でも意見が出せる機会も必要。④参加者に不適格者な人は排除。
515	検討の場をもつのはいいことですが子供大人老人とやはり世代にあった考えを持っていると思います。視察などをした上での検討会をしてほしいと思います。(子供、大人、老人の代表を選考した上での視察してほしいですね。)
516	冷静で中立、透明性な人の集まりであってほしい。
517	ご意見なし
518	このようなアンケートをまとめ公に発表してくれる。また市民の意見を国や県などの機関へ提示してくれるとよい。
519	吉野川が永久に決して氾濫することのない安全な川であることを継続していくようにする方策を考えることを主目的として話し合ってもらいたい。
520	皆さんの意見を聞いてどのような方法で誰がとめるのか？運営がどうなるか心配。
521	Aさんの意見。Cさんの意見。みんなで川づくりを話し合う場が必要。
522	公平な立場でものを言える人。どんな意見であってもそれぞれの意見を尊重できる人、傲慢でない人などの人たちが話し合っほしいです。

Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
523	住民の意見が反映される場であるべき。議論内容、決定の経過を公開すべき。
524	中立透明性の場であってほしい。
525	ご意見なし
526	できるだけ多くの機会をつくって関心のある人々の意見が取り入れられるような工夫が必要である。学識経験者、行政、住民、ボランティアなど別々が担当して保持・育成することを競争させてはと思う。もちろん協同した部分があってもよい。
527	様々な意見が出る、出せる場にしてほしい。
528	大きな会場ではなく本音の話ができる小会が適当と思う。
529	吉野川への思いや不満などをいたんなく話し合い、吉野川の将来のあるべき姿を手探りで探っていく場。
530	国が主導するのではなく川の将来をまじめに考えている人の意見を尊重する。政治主導で行わないこと。
531	どんな小さな声でも受け止めてくれる場
532	水量の確保と防災面での検討をするについて県益を守りながら本音で話し合える場をつくるべきであり本音を通る場であってほしい。
533	吉野川のよさを守りつつ同地域の人々の暮らしが安心できるにはどうすべきか。特に将来のことを考えて十分に話し合って欲しい。
534	①県民への無作為抽出アンケート調査の活用。②地方新聞を活用し意見を集約していく方法(10回～20回2年間で)。③意見のある者は原稿用紙800字程度にまとめて提出させる(何回かに分けて)。そのつど地方新聞に発表。関係流域住民へのアンケート用紙で意見を出させる。手法でよい(国土交通省徳島工事事務所)。話し合いの場は不要である。
535	巨大な構築物をつくることだけを願う方達には生態系の大切さを勉強してもらう必要があります。「小さな生き物のために人の命が奪われるのはごめんだ。」という人がいましたが小さな生き物を守る人間にとって必要ということをよく理解してもらうことが大切です。失った自然は容易には戻ってこないのですから。流域を含めて吉野川全体を考えること。こんな場がほしい。
536	中立、透明性、情報公開
537	ご意見なし
538	ご意見なし
539	できるだけ出席者の多くの方の意見が出るような場であってほしい。また思いつきの意見に対して、専門に川に長年に携わってきている人たちから見ればその意見は違うとかこうだよとかの素直な意見が出ればと思う。
540	何事も「全員賛成」はないと思っています。私心のない人々で検討してほしい(特に現代は金々の世の中になって政治屋ばかりなので望むことは無理かもしれませんが)。主義主張を超えて真に住民のため河川のために検討してほしい。
541	新河川法の改訂等、従来の方法と異なり、よりよい方式の考え方が取り入れられて、益々公共事業を進める上で、意思決定の段階から幅広い意見をいただく場が増大し、決定に時間が必要となりましたが、最後の決断は自らのプロ関係者等の正しい判定しかありません。従って、最後には各管理者の判断に委ねざるを得ません。
542	県外の専門家でなく、吉野川に親しんだ川の専門家、流域の住民からの意見も広く取り入れ、経過は常に公表してもらいたい。
543	基本は、現状のすばらしさをそのまま残す為には何を検討するのか話し合うようにして欲しい。
544	出張等で一時的に徳島に来て、時が経つと去っていく人が主体ではなく、腰を落ち着けて徳島に住み続ける人を参加資格にしてほしい。(後々責任を共有できる人であってほしい。)
545	検討会を作るのは構いませんが、吉野川にあまり人工物をつくらないようにして欲しい。人が川を管理するのは難しいことですよ。
546	色々な立場の人が参加するのが良いと思う。自由に意見が言えれば良い。川は大人だけのものではないので、小学生、中学、高校生、大学生も参加すれば良い。主催する側はいろいろな情報を集め、話し合う場に提供したらどうかと思う。例えば、世界中での川の取り組みなど。話し合う場はあくまでも中立な立場でなければならぬと思う。
547	一般市民による多数の地域住民の検討としたい。
548	みんなの意見を十分に話し合い、話しをしながら、そして透明性が大切。
549	なるべく多くの人の意見が聞けるような会。
550	住民だけで十分。
551	話し合う場は、地元の代表者とし、個々の考えを十分に言える事と、会社、個人などの利権のない話が出来る場にして欲しい。特に、(地域の長が出て来るのは良くない。)利権の代表者である。
552	多方面から考えた吉野川の利用計画をして欲しい。一方吉野川流域に関係ない人の意見で考えないように。多数決よりも少数意見が正しい場合もある。
553	学識経験者や住民等の意見を十分に聞き入れてもらえる場を沢山作って欲しい。
554	広い範囲の知識を知り、意見を聞くことが出来る場。一人の意見を大切に、真剣に検討できる場であって、互いの意見が出しやすく、またその意見を出すことによって発展、展開出来るような場とありたい(一部の頭の固い人や、利権絡みの人の意見はどうかと思う)ので、そのような人達は除いて欲しい。「互いに学習する」ことを大切にしたい。四国三郎、吉野川をこよなく愛し、深い思いを抱いている人の意見を大切にしたい。(私もその1人です)(母なる吉野川をいつまでもいつも思っております)
555	利権を争う場ではいけない。どうすれば清流吉野川を回復できるかがポイントであり、人間の利益を優先して考えるのは間違っていると思う。下水垂れ流しの行政からは、何も生まれないとと思う。
556	何も理解しない自然環境団体の意見を聞く必要はないが、幅広くできるだけ多くの住民の意見を聞く必要があり、色々な職業の人より、無差別な人達による話し合いをすれば良いと思う。
557	何か機会がある度に話し合う場。思い等を話し合う場。
558	みんなの意見をまとめて、実行に移す場であって欲しいと思います。
559	川と谷川とのイメージが違う。



Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
560	住民の意志を反映させることは大切と思うが、現実的にはなかなか聞き入れることが困難と思う。住民の理解を得ても良いが、程度の問題だと思う。ある程度は、行政主導で行かないと、保全是難しいのではないだろうか。すぐに住民投票や反対運動が起こるが、ひとたび災害が起これば、管理責任が問われる。この辺りをどうするかだ。
561	片寄ったメディア報道の為、前回の徳島市の投票結果となっている。中立の立場から再スタートできるような会でなければ意味がない。今のまま検討の場を作っても、第十堰反対を基点としたスタートとなってしまう。
562	イデオロギーや一部の特定のグループが大きく報道されている。自然保護団体の反対の為の反対に左右される話し合いには参加したくない。ナショナルトラストも含む、真摯な意見を持つ人には参加して話し合っ欲しい。ただ、第十堰問題のような徳島市の住民投票だけに拘泥する対応はほしくないで欲しい。可動堰を強行する政策は持ち込まないで欲しい。流域全体での話し合いの場であって欲しい。
563	国土交通省、県庁、市町村と、一体となった取り組みが必要である。第十堰の問題など、各出先がバラバラである。県のあり方、知事の取り組みにも問題がある。始めから、新しい堰を造ることが先行している。今ある堰をどうするか、なぜ今の堰ができていないか、検討が不足している。改良したらどうなるかという案の検討と、地域住民の両方の意見を公開するところがない。総合的な取り組みが必要で、合併決議会のような、周辺住民の意見の汲み取りが必要である。また、河口に新しい橋を作るらしいが、旧吉野川橋、新吉野川橋と、今度作られる一番東の橋とのつりあい、バランスが景観を保てる必要がある。それについて、兩岸の住民との意見を汲み取る必要がある。
564	反対、賛成の者も、お互いに話し合う必要がある。メリット・デメリットを県民に分かりやすく発表することを望む。反対する者は高い関心を示しているが、多くはあまり関心がない。学識経験者の意見を積極的に聞くこと。
565	敗戦後の日本の復興は、地方自治体が頑張ったので現在がある(特に戦災復興事業)。当時、内務省土木局は何をしたか。税金の無駄遣いをしただけだ。未だにダムだなど、良からぬ無駄な計画(道路に埋設した地下ケーブル等)ばかりだ。国土省を廃止せよ。維持管理は府県に委ねればよい。
566	利害に関係なく、住民一人一人の意見を吸い上げる場。
567	ご意見なし
568	平成9年度改正に基づき、治水、利水、環境のバランスをとり、日本一良い川であるよう、努力して欲しい。アさん
569	ご意見なし
570	ご意見なし
571	上流地域の人達が多数参加できる場であった方が良いですね。(上流=源流、支流→2級河川)
572	ご意見なし
573	ご意見なし
574	流域の住民意見を聴取し、それらを反映した場であって欲しい。形式であってはいけない。
575	ご意見なし
576	ご意見なし
577	住民の将来を重点に思考できる場に。①水、②自然の保持。営利とか工事関係者等の排除した場に。不快感を見ていて思考しない人選と進行を。県民が関心を持つ場に。
578	県民の意を尊重する。
579	吉野川流域の住民の意見が反映できる場となって欲しい。無堤防地域の関係者が少数であっても、実態を配慮し、一日も早く改修を促進できるよう希望したい。
580	結果よりも身近に住んでいる人の意見や川で仕事をしている人の意見も聞いて。決してダムにはしてもらいたくない。お金もかかるし、子供達の、自然がきれいだなと思う場所を減らさないで欲しい。
581	河川地区部単位で、住民代表利用者、またその他以外の人々にも、呼びかけ話し合う。個人的意見でなく、人と人との話し合いが出来る、大変うれしく思う。
582	川の勉強会が必要。情報が必要。情報が大事。昔、川がどんな姿をしていて、何が問題だったのか。どういう風に変化してきたのか。川に望まれていることは、地球が望んでいることは、世界の川。きれいな川。よごれた川。地球環境問題等。10年後、30年後、50年後、どんな徳島(吉野川)にしたいか。
583	多くの職業の人を選んで話し合っていたらいい(農業、漁業関係者や子供の保護者など)。できるだけ吉野川に関心を持っている人をお願いします。
584	検討の場に参加される方には、事前によく考えを発表してもらって、それらをまとめた物を、参加者全員に事前に手渡し、目を通してもらうようにして、当日は、意見を言わずに帰る方がいないよう、徹底した交流を心がけて欲しいと思います。
585	今回、新聞で初めてこのような記事に目を通すことができましたが、吉野川についての今までのアンケート等、ダムとかの事も少し気になっていたのですが、大変なこととは思いますが、すべての人に(各家)対して今までのアンケート等行われたのか、疑問に思う所です。検討の場として、各地域ですべてのことをまとめてくれる人が大切だと思う。そして私のように、吉野川について分かっていない人が多くいることも分かってほしい。よく分からないのですが、こういう機会に出会えたので個人の意見だけを記しました。
586	図式はできているが、要は内容であろう。声の大きな団体の意見が優先されがちであるが、利害のない「純」な本当に川を愛し、大切な財産と思っている人の気持ちが活かされる計画案の策定をお願いしたい。
587	法律や学識者の意見でなく、吉野川を自然環境を考え、県民そして住民の意見を反映した話し合いの場所。
588	矛盾しているかもしれませんが、吉野川の自然を守りつつ、土手上に、歩道、自転車道、自動車道をして欲しい。川風を感じながら走るのほとても心地いいです。
589	吉野川の水が出た後に、ビニールが竹に引っかかります。河川のゴミ拾いを月1回くらい、全部の住民が参加するように。
590	河川整備計画を作成して、①学識経験者の意見、②洪水等で堤防が決壊した場合の被害を受ける住民、③地方公共団体長、④自然環境も必要と思われるが、できるだけ残すようにすればよい。以上の意見を参考に計画を進めてほしい。
591	検討の場と準備会を分けると、物事の決定に時間を必要とすると考えられるので、一つの場とするとうまいと考えられる(分けなくてもよいのではないか)。川に関する法律が数多くあると感じますので、分かりやすく説明する必要があると存じます。

Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
592	住民の代表を尊重してもらえる場であって欲しい。
593	悪徳政治家は排除して、お金が一部の人間だけに回らないようにして欲しい。
594	利害関係の異なる人々の集って、有効で適切な整備計画案を作成することは非常に難しいと思います。しかし、洪水はいつ発生するかわかりません。流域住民すべてに良い整備計画の策定はどうしたらできるのでしょうか。私が(旧制中学生の頃)戦後、上流の池田川や三好郡の、吉野川の洪水は多くの犠牲者や被害を出し、通学も大変だったことを思い出します。自然を残したいが、自然の脅威も忘れてはいけません。
595	情報公開。1. 問題点、議論経過、その結論等を公開、周知を図る。2. 検討の場を一般に傍聴させる。3. 可能な限り住民の意見を聞く。批判や反対意見を恐れてはならない。
596	中立はもちろんだが、環境対策重視の立場でやってもらいたい。会合は吉野川沿いの各地で開いて欲しいです。現場をみんなで見てからでないと、やはり吉野川の川づくりとは言えないと思います。
597	住民参加。情報の公開。水に対する知識また恩恵を受けているので、これらの認識をってもらう。
598	時間はかかるが、アンケートにより、あらゆる角度から検討の場を設け、子々孫々まで自然破壊のない条件で意見聴取する場が必要ではないか。(無色で誠意のある人を選ぶ。●●系の思想を表に出す人はだめ)先生とは自分もまた取りまく人も偉いと思っているが、人間的にもだめだと思う。ただ自己満足の虚像だ。
599	長い川であるから、源流から河口まで一口には論ぜられず、まとめることも難しいと思う。最低、上流、中流、下流と三ヶ所くらいに分けて話し合いの場を設けては如何でしょうか。各市町村の担当者はもちろん、学識経験者また一般の川への思い熱く持っている方など、幅広い人材で検討されることを望みます。
600	河川整備計画の原案を作る前の段階での住民の意識調査がどうしても必要である。この住民の意識とか、住民の意見をきくことの重要さ、むずかしさは大変なことで、特に河川整備という特殊な、非常に専門的なことについてのことであり、不可能といっても過言ではない。学識経験者や専門家あるいは一つの意見をもったグループ等の調査は比較的簡単であるが、流域住民の殆どといっていい人々は意見どころか無関心といっていいと思う。これを意見がないものとしていると、いざ住民投票という様な場合には投票した住民自身がびっくりするような顕著な結果になることが多い。こうしたことをなくするには、この人達の意見をどう吸いあげていくかにかかっている。このためには河川についてのPRも必要だろうし、勉強会、研修会、講習会、講演会等々あらゆる機会を作り、意見をもってもらい、疑問を抱いてもらい、それに答えていく、そして国土交通省がもっているあらゆる資料をすべて公開し、議論を展開していく場を数多く設け、気長に議論していきけるような場をつくる必要がある。
601	吉野川懇談会の最終提言に基き推進されるよう期待する。
602	ご意見なし
603	住民団体やNGOが行政と対等に話せる場。行政は四万十川よりずっといい川なのに宣伝や利用が下手です。
604	中立、透明性は必須条件
605	良くわからないが、流域住民全体の問題としてとらえるべき(四国四県)
606	工事事務所や省が意見や計画をのべて、住民の理解を得るのでは無く、役所はあくまでも世話役に徹して下さい。昨今の各省の状況により住民は省を信じなくなっています。現に現場を知らない机上の計画で誤ちをおかすことの方が多し、利権にも仕方なく加担していると思います。工事事務所が省の出先としての立場を捨て、徳島の事務所と言う認識を持って活動して下さい。今までのtop.down方式では無く、地元から省の方へ計画を持ち上げる事により、政治家etcの利権集団の影響も少なくなり、安価ですばらしい計画が出来ると思います。学識経験者、地方公共団体の長の意見は必要なし。
607	皆が思っていることを、何でも主張できるような場所であってほしい。
608	検討の場を用いても、自然保護団体の方々が、非常にうるさいだけのような気がしますが、本当に人間と自然は、どうあるべきかを、考える事のできる人が集まって話し合いをして頂けたら、私はその結果に従いたいと思います。
609	住民の意見が尊重してもらえるような場であってほしい。
610	中立的な第三者機関にオブザーバーとしてデータを提供してもらい、住民意見を十分尊重するような場にしてほしいと思います。計画案を作る前に利害関係のない市民でも意見を言える場にしてほしいと思います。
611	① 住民の意見の反映 ② 広い学識を持った人々の意見
612	なし
613	河川法で国民も勉強し、より良い吉野川を残したい
614	『国土交通省徳島工事事務所』のことも河川整備の制度のことも今回のアンケートで初めて知りました。治水、利水、環境の総合的な河川制度の整備の中で、地域住民の意見を聞いていただけるので安心と希望のある生活ができそうです。吉野川は県民の誇りであり、大切な資源だと思います。今後広い分野の住民の意見を聞いていただけるよう願っています。
615	吉野川の上流、中流、下流の河原で話し合いの場をもてば(同一人物)実際の吉野川の現実の姿が、認識されて今後どうすればという具体案ができるのではないのでしょうか。
616	素人がいろいろ言って防災対策ができるのか？自然保護も大切だろうが、災害も自然のままに受けるという訳にもいかん！！防災の重大さを中心に考えるべき、専門家の判断で促進すべき！！雑音にまどわされるな！！
617	一人一人の河をよごさないという意識が高まっていくよう話し合いをすすめる。
618	ご意見なし
619	「新しい河川整備の制度」に従って地域の住民の声をよく聞くことが一番大切であります。
620	利水者ばかりでなく、生活者の意見も反映できる様に。徳島県在住者ばかりでなく他県の人からも吉野川についての意見を発言してもらえる様に。
621	川について話し合うのも必要ですが、子供から大人あらゆる人がもう少し川にしたしみをもってつきあえる様な情報が必要です。
622	自由に発言でき、みんなの意見をまとめるような会。管制の場、または反対派の場では駄目。あくまで自由であること。
623	河川整備は防災を優先し流域住民参加については環境保全について十分認識が得られる方法を考慮すべき。遊水地の運動公園など整備するには維持管理を含め多額の経費を要する。住民利用、必要としているだろうか。作って与える一方向でないだろうか。住民に問うべきだ。

Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
624	将来にわたる望ましい川作りに旺盛な意欲を持ち、かつ中立、透明性の確保された住民代表と学識経験者がそれぞれ適切な人数で互いに対等に話し合える場が欲しいと思う。このような場を住民参加のもとで(報道機関からも委員を選挙するなど)、意見などの具申のためにまとめ役(委員長)等の人選に心を配る。住民等の参加は全てボランティアとする。
625	「はじめに結論ありき」ではなく流域住民の意見や希望を最大限に吸い上げ、集約する場であって欲しいと考えます(河川整備、治水も政治＝住民自治の発現ゆえ、民主主義のプロセスに則ることが最低限必要です)。学識経験者などの専門家は、依頼者の希望に応じてどんな科学的結論も組み立てることのできる存在ゆえ、その見解を偏重するのは無意味なように思います(私も学識経験者のはしくれですが・・・)。
626	大学の先生、文化人、役人などが委員となっておまりのパターンの会ではなく、一般の庶民の代表の場であって欲しい。
627	インターネットで誰でも参加できる会。
628	職場、地区町内会等で意見の集約をして、市の意見にするように公開の場がよい。
629	よくわからない
630	治水、利水、親水の施設整備を上流から下流までの総合的な計画を一体的に進める場として位置付け、上流部会、中流部会、下流部会を設置して専門家を交えて話し合う。部会的人数は100名位。治水、利水、親水のテーマごとに別れて月に2回くらいのペースで話し合い、1年で河川整備計画を作り上げる。会議は公開とする。
631	例示にあるような第三者機関を設けて(地域住民の声を反映して)みんなで考え、みんなで取り決めたら良いと思う。
632	商業的利益を追求する場になってはならない。近視眼的な発想ではなく超長期的な考え方が必要である。吉野川の流域で育ち、誰よりも吉野川を知り、吉野川を愛する人たちは堅苦しい、かじこまった場では概して無口である。この人たちの意見をいかに聞き、いかに活かしていくかが肝要である。流域で生きた土地の古老の昔話を集録
633	ご意見なし
634	流域住民全戸にアンケートし意見を聞く→組織を作る→基本案を作る(第十堰については具体的に)→住民の意見を聞く→基本方針を決める(組織で)。
635	広い視野を持った委員が欲しい。デスクワークだけの知識だけでなく、もっと実践に根ざした意見を広く求めたものとなって欲しい。中央の意見でなく、地元の意見をくみ上げて欲しい。
636	学識経験者と流域住民。中立。透明性のある人。コンクリートを使用しないで。
637	大人だけでなく、子供の意見も取り入れられるような場が良い。個人の利益に絡むような場であってはならない。検討の場に出席する代表者は無作為に選出する方が良いが、その際、交通費、日当を出さないと利益に伴う人しか来ないような場になる。出席者、意見はガラス張りにすべき。
638	中立、透明性重要。
639	学識経験者、流域住民検討をする。
640	情報公開を優先に。
641	ご意見なし
642	できる限り多くの人の意見を聞き、その意見をまとめて本を作り、みんなに見てもらうことも大切ではないか。インターネット上に公開するのも良いのでは。
643	地域と一体化し、公園やスポーツの場として利用していきたい。
644	ご意見なし
645	意見をまとめてくれる。
646	ご意見なし
647	ご意見なし
648	川作りの場であって、工事計画を推進する(護岸、堰、ダム)流石に利用してもらいたくない。40年前の川に戻すにはどうすればよいのか、流域住民だけの問題でもありません。国の問題、世界レベルの問題でもあります。国土交通省だけではできない。農林省、厚生省、林野庁、全ての関係者で話し合い、実行できる体勢作りを。
649	中立・公正さも大切だが、流域の住民意見(堤防欠損がある危険箇所)を取り入れること。
650	中立、公正、透明性を重視しながら学識経験者や流域住民により組織され、地域住民のためによりよき川作りを目標に関係団体に働きかける機関の設置が必要だと考える。
651	吉野川のことをよく知った人。吉野川は北岸を切れやすくしてあることを分かってくれてる人。
652	中立、透明性が大切。
653	話し合いの場をテレビなどで見れたらどうか。
654	みんなで川作りを話し合う場とありますが、川を人工的にすることの話し合いでなく元の水量豊かなきれいな水にするためにはどうするかと言うことを話し合っ欲しいものです。河岸には水際公園等景観はとても清潔的で良いのですが、それが川にとってそして人の癒しにとってどうなのかと思います。
655	オープンにするのが一番である。NHKか四国放送にも参入していただき、TV討論と言うのはどうだろうか(生放送)。インターネットでリアルタイムに住民たち(参加できない県民たちも)が意見を述べることを可能にするため、ネットで、メールで、意見受付をしてくれて、テレビでリアルタイムに話し合えるようにしては。仕切る役割の人には民・官・マスコミと3種類の人物を同数参加させて公平性を持たせる。
656	世界中からこの吉野川をみてもらいたい川にしたい。
657	流域住民の方々の意見を取り入れた、分かりやすく説明のできる場であれば良いと思います。
658	広域的な住民参加型の公開討論会の開催。年間2回程度以上のべ5回以上(準備会を含む)。
659	記載の通りでよい。
660	色々な地域、年齢、職業、性別を入れた多くの人々。そして知識のある人々を網羅した会で、気安く話し合える会であってほしい。ただ多く集まってガヤガヤ言うだけでは駄目である。
661	透明性が重要だと思います。賛成と反対、色々な意見の人がいると思います。無理に整備計画を進めようとしない。できるだけ多くの人が納得できるようにしっかり話し合いをしてもらいたいです。
662	子供がいたら参加したくても出来なかったので、子供も一緒に楽しめるキャンプをしたり、魚釣り教室や川の生物の観察会などして欲しい。
663	ご意見なし



Q12-1.「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
664	国土交通省は流域住民の声を反映ができる川にするとともに、30年余り底をさらえていないので毎年台風が来ているので、上流から土砂が流れてくるので底をさらえるのが当たり前と思います。税金は道路、橋を作って欲しいです。
665	住民の意見を良く聞き、ゴリ押しのないような場になってほしい。
666	多くの専門家に集まって欲しい。営林署も参加してください。
667	役人だけでなく一般の人、上流、中流、下流の人たちの中から年齢も多様にして参加して話し合えば良いと思う。子供でも良いヒントをもらえるかも。急ぐことはない。計画を緻密に。10年の計。
668	特定の団体の意見も必要であるが、吉野川の恵みを受けている流域住民の意見も反映すべき。
669	意見の場と責任ある意見とは違うと思いますので、建設的で長い将来に渡っての責任ある意見を主として考えていけば良いのでは？単なる意見を無視はできませんか。より責任性を明白にし、説明責任はお互いにある話し合いの場としていくべきだと思います。
670	ご意見なし
671	「初めに開発ありき」的な会は辞めてください。
672	ご意見なし
673	ご意見なし
674	ご意見なし
675	河川に対して利害関係のある人だけで構成されること、それは単なる利水者という意味ではなく、景観等を共有する人々も含め広く考えている。まとめ役が必要であるが、話し合う場の状況を広く外へ発信し、意見を求めながら進めることも重要である。中立性のため、河川管理者以外が運営を実施すべきと言うことが那賀川などでは見られるがこれは河川管理者に責任が問われることを逃れるための措置としか受け止められない。情報を公開することにより、中立性は確保されるため、運営は県・河川管理者等川を知るもの、責任をとれるものが行うべきである。
676	公の場であって欲しい。広報誌のみでなくテレビ、新聞などのメディアを通じて検討した方が一般県民にも公表されることを願います。
677	ご意見なし
678	多面的な意見が出て、話し合える場であって欲しい。
679	流域住民の意見を大切にす。
680	河川に限らず都市計画などにおいても住民投票で行うシステムを作っていくのもひとつの方法だと思う。身近な場所がどうなっていくかは住民にとっても非常に関心が高いはずであり、住民の対策参加のきっかけになる。
681	こちらの封筒には吉野川と直接関係の少ない、鳥居、天才政治等封入しました。 別紙あり
682	①国の管理よりも主たる県の管理に戻すべき。 ②官僚の皆様は選挙の洗礼を受けながら巨大なる工事の推進をする。結果、環境破壊が生じる。 ③県で充分管理でき、意見が言い易い。 ④それら全国を統轄する建設省でよい。
683	別紙あり ご意見なし
684	吉野川の水を使っている人たち(住民)が出来るかぎり参加し、だれもが発言出来る場、及びシンポジウム等を企画して話し合う場をもったら良い。それには意見等をまとめて運営(進行)等がうまく行く人が必要である。
685	川にたざざわっている人、生活している人、様々な立場の人が参加出来て、かつそこで話しあっていることを情報公開して、更に多くの人の意見をとり入れるようにする。 その場に行政の人はオブザーバで参加して、むしろ黒子に徹してもらいたい。「まず〇〇ありき」の場ならだれも信頼して話し合いに参加できない。
686	一人一人が吉野川の為に何が出来るか、吉野川の将来をどうしていきたいのか、率直な意見を言える場であって欲しい。
687	市町村民が参加出来るような場であってほしい。
688	特定の組織や政治とつながった人が、特定の持論をくりひろげる場であってはならない。吉野川の歴史や教訓をひもといた上で将来像に向かって建設的な意見交換の場になることを願う。
689	ご意見なし
690	町村を中心にし、地域住民の意見を聞きながら吉野川の川づくり検討して下さい。現在、穴吹町明連川改修のやり方を脇町土木事務所が行っている様な方法がよいと思います。
691	ご意見なし
692	今の社会は少数の意見が大きく取り上げられる傾向があるが、無視するのはいけないが、それにこだわりすぎると、正しい意見が無視されたようになってしまう。
693	むつかしいことは判りませんが、吉野川が何時までも豊かで美しい川であるようにと願う人たちの集まりであれば、目的の為(同じ)に話し合いもスムーズに行くのではないかと思います。
694	一方的な政治の押しつけの形で物事を進めず、住民の意見を元に専門家は助言をして欲しい。
695	「検討の場」→会議室とするのでない。現場・保安林、川岸・・・で生の姿をみながらやってほしい。本当にこのままでいいのか？どうか。
696	ご意見なし
697	あらゆる場合を考えてほしい。
698	1.フリートリーニングな場所であること。(でないとも自由な発想は生まれないと思う。) 2.年齢、ステータスは関係なし。参加経験等を考えて遠慮しては前向きな意見は出ないのではないだろうか？ 3.オリジナリティーな体験と物の見方をもつ人達の集まりであること。
699	4.相手の言いたいことを理解し得ること。 公共の会議場(役場等)
700	第十の堰などで一部の過激な反対運動にまどわれず、住民の安全を第一に考えて、住民の意見が反映されるような場があればよいと思います。

Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
701	堤防補強、森林の保全や植林、自然にやさしい護岸
702	地方分権型の行政は地方の実情に即応した対等の模索だ。合意形成を図る前提条件に「検討の場」つまりシチュエーションは不可欠だ。その中で多様な価値観のディスカッションだろう。国土交通省の主導性の発揮と県の献身的な努力が重要。徳島市も関与する。よい潮流だ。
703	学識経験者等との公聴会
704	川を愛する者がふえる様に話せる場であり、そして自然に川が好きになる様に遊べる場(話だけではなくて、川遊びをしたり)
705	検討会の内容を新聞やテレビ等で流し、それに対しみんなが意見でき、又関心を持てる様にして欲しい。一部の熱心な人だけでなく、吉野川の恵みをうける人全員の問題だと思う。
706	土建業者やその意をくむ役人、政治家の思いどおりになる会は不要。
707	県民の意見を十分反映する場であってほしい。学者とか、役人はあくまで補佐的な役割であり、主体は一般の県民である。水利組合、建設業者、漁協など利益団体の意見ばかりでなく、一般県民の意見を十分に聞かなければならない。
708	高齢者が多く足腰の悪い方の為、集会は地区の1番便利な公民館、集会場等へ、代表者がその場へ来て1人でも多く参加出来る事が良いと思います。
709	いい計画をして欲しい。あと意見をまとめてくれる人が必要。
710	河川近くにすむ人も含め話し合う場があればよい。
711	ご意見なし
712	河川整備計画(原案)に対して意見を言う形になっており、この検討の場が川作りを話し合うと言っても何を検討するのか、どこまで意見がいえるのか等明確にして、それらの共通認識に立った場を作って欲しい。
713	官民間わず幅広い提案が出されることを期待する。河川を管理するものの考え方、川で遊び(釣、ボート)等をして楽しめる方、そして環境保護するものの考え方を柔軟に取りまとめる。
714	ご意見なし
715	誰もが自由に参加できるようにすべきだ。
716	話し合う場については希望する人を参加させる。
717	自然環境を第一に考えた河川の整備を考えるべき。世界的にも日本の環境に対する取り組みは遅れている。地域住民の意見を反映してくれる。ゆとりのある河川の保護、事業の推進であってほしい。
718	ことさら法や政令で拘束したり、特定の政治目的をもつ団体に悪用されては困る。努めて自然(自然人のマナーを尊重し)自由に開放し、親しめるものであって欲しい。
719	農協か公民館で農家の話を聞く。
720	話し合いの場についてみんなが建設的な意見を具申し、より良い川づくりが出来ればこんな望ましいことははない。
721	ご意見なし
722	流域住民の意見を尊重すると同時に学識経験者の意見を加味して、河川計画案を作成すること。
723	流域住民。
724	ご意見なし
725	ご意見なし
726	自然に対する配慮のある人を委員会に。中央、上流、下流などで支部会。それぞれの専門部会(植林、治水、水の汚れ、バードウォッチングの人、農業者、観光業者)。
727	個人の意見でも良いものであればどんどん採用して欲しいと思う。
728	委員の顔ぶれが可動堰推進派に偏ることのないように会を密室でおこなうことのないように願っておきます。重ねて会が儀式的の場にならないことを望む。しかし、準備会さえまだ発足していないのであれば慌てることはないと思う。
729	流域住民、それも古老の意見が大切だと思う。若い人は口は出しても金を出すのはいや、という人ばかりである。徳島市が実施した第十堰・・・投票結果がそれを示している。
730	吉野川についての過去の上にとって未来を忌憚なく話し合える場。安全面を含めたもの。
731	みんなで話し合い中立的な人の話も聞いて欲しい。
732	もともとこの問題は第十堰改築にあたり可動堰案に対する反対運動に端を発しているが、堰の問題はかなり専門的な知識が必要であり、一般市民の大半は判断が難しいと思う。そのため委員の多くは専門的な知識がある人(学者、技術者など)がもっとも望ましい。その上にこの問題は吉野川流域全体の問題であるので関係地域、全地域からと、関係団体からも公平に委員を選ぶべきである。検討することは、吉野川全体の治水と環境のあり方を検討すれば、結果として第十堰を改築しなければならないことになり、その改築方法を広く流域住民から聞く場になることを希望する。
733	官の作った河川整備計画を追認するだけの組織になりそう。学識者の選定方法に公開性が必要。
734	上中下流域で検討し整合させる。
735	ご意見なし
736	本当に検討できる場であって欲しい。
737	「吉野川第十堰の未来をつくるみんなの会」のこれまでの地道な活動をぬきにしては(検討の場は)語れない。あの人たちは、打算や損得を考えず真に自然の恩恵に感謝し、吉野川を守ろうとした人たちだから。県民の大きな支持を持つ理由もそこにある。
738	広く衆議の場であって欲しい。
739	流域住民のためになる河川整備が第一義。ゼネコン又は一部の人のための整備は反対。可動堰のようなことは2度と望まない。異常気象が最近、生じるが自然事象の全てに対処するのは不可。防災対策の整備など視野を広げた住民意見を反映すべく検討の場が必要である。
740	子供から老人まで参加できる場
741	特定の人だけ集うのではなく、普通の人が気軽に参加できる場。自由にものが言える場。話し合いはゼロからの出発にして頂きたい。
742	何が話し合われたか、すばやく住民に公開するような。
743	大規模な公共事業を行う場合には必ず反対と賛成があるが、マスコミは反対の声を大きく報道し、賛成者の声を聞かない。報道は平等にするべきだ。賛成側、反対側が同じテーブルで話し合い討議をすべき。

Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
744	地球の温暖化という観点からいえば、コンクリートで何かをと言うことは少し考えてみるべきではなかろうかと思う。
745	各種の意見を尊重できる場。それぞれの環境に配慮できる意見交換の場。
746	中立性を保つことが重要であると思う。また透明性も重要である。「みんなで川づくりを話し合う場」で検討された内容について流域住民に報告して欲しい。なるべく広い分野からの多くの流域住民が参加することが重要であると思う。
747	既得権がらみの団体、個人は当然、全員はずして本気で吉野川を永遠に安全で美しく自然を現状のまま残すことを考えられる団体、人を選ぶことが第一。レベルの低い話は今までで充分。
748	流域住民の代表真に(吉野川を昔からよく知っている人)であり中立に物事が判断できる人を人選してよく検討して欲しい。県外のえらい人の応援はいらないと思います。
749	流域住民の声をもっと反映すべきである。流域外の政治的な圧力で左右されすぎている。東京、香川は流域外である。自然は大事に守れ。流域住民の話し合いの場をもっと多く作れ。
750	ご意見なし
751	ご意見なし
752	資料を作成。勉強会がまず必要でなかろうかと考えられあらゆる面から検討を進めて行くことが大切。
753	ご意見なし
754	ご意見なし
755	100年の計を見ていくような建設的な意見の場にして欲しい。
756	ご意見なし
757	ご意見なし
758	偏った意見だけを聞くのではなく、みんなの意見をまとめてもらう場にしてもらいたい。
759	より多くの方の意見を聞くことが大切だと思う。HP, 討論会、ご意見箱設置など意見交換、提案できる場が可能な限りたくさんあれば良いと思う。
760	組織的な団体の意見は良く通る昨今であるが、声なき声こそ大切であると思う。吉野川は徳島市民のものだけではない。勝浦川流域の徳島市民の声も大切であるが、流域住民の声に耳を傾けるべきである。マスコミ関係者に一言、吉野川を報道する場合、河口の記事が多すぎる。河口の写真を「とうとうと流れる吉野川」などの解説はもつてのほかである。「滴々とたたる海の水」とするべきである。
761	学識経験者の意見は偏りがち。地域住民、団体など流域の代表、また県内から幅広く選ぶ。討議場として公開して欲しい。
762	ご意見なし
763	学識経験者等の意見及び住民意見を反映できること。
764	困っている市町村の意見を聞いてみんなが豊かな水を分け合うようにしたいです。
765	吉野川の川づくりについては流域の一部の住民投票で決めるのではなく、流域全体で話し合うのが最良である。しかし防災上の観点からは技術者、防災関係の各種の実務者があたり、公開の場とするのは良いだろう。審議会、委員等が決めたのではまずくないか。一般県民の中から希望者などを参加していただく。いずれにしても第十堰は早急に改修が必要だと思います。
766	吉野川兩岸住民参加型。
767	ご意見なし
768	住民だけでなく企業やボランティア団体なども参加すべき。小中学校の生徒なども加わって行くことが「将来の川作り」という意味では意義があると思います。
769	住民、行政、学者、その他色々な意見をもった人々が集まり、一部の人(建設、土建屋)の利益になることだけ避けて欲しい。自然は現在の人のものだけではない。将来に残すべきです。
770	ご意見なし
771	ご意見なし
772	ご意見なし
773	ご意見なし
774	本当のことをいって、何で徳島工事事務所から度々通知が来るのかよくわからないのです。吉野川を美しくすることは良いことで賛成ですが自分の所の勝浦川の掃除がなかなかできないのに、と思ったりします。
775	ご意見なし
776	ご意見なし
777	ご意見なし
778	学識経験者主導型の検討の場。
779	ご意見なし
780	色々な場所(郡部)で開催して欲しい。
781	多くの人の意見が出せる場。上下流域、産業、自然保護団体。ただし官の人間は意見の集約のみに徹して欲しい。
782	ご意見なし
783	一部のかたよった意見の人が話すのではなく、何でも自由に話をする場所であって欲しい。
784	学識経験者や流域住民という中で人選が一番大切と思う。公募してはどうかと思う。できるだけ中立の人を決めるべきである。
785	学識経験者及び専門家に充分調査研究し整備計画を進め、住民の意見を反映できる場にして欲しい。
786	ご意見なし
787	利害関係の少ない者での話し合い。偏った人でないものでの話し合い。悪い部分も公表しての話し合い。
788	河川整備計画がどのようなものかわからないが専門家でない住民が意見を反映できるか疑問。吉野川全体をとらえて住民が考えれるとは思わない。(住民は小さな箇所、所をどうして欲しいとかは要望できるのだが・・・)
789	特定の利権者主導であってはいけけないのでは。その方々の意見も大事にしなくてははいけませんそれは第2の問題かと思う。地区ごとに話し合いをして全体にまとめるのがよい。
790	一部の人のみだけの意見でなく、住民の意見が届く場にして欲しい。
791	吉野川グラウンド周辺。
792	ご意見なし



Q12-1.「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
793	意見反映が徳島市の意見でなく流域住民(特にこの水を必要としている人)。話し合う場は県全体、県外の代表者。
794	河を整備して文字通り四国三郎の名に恥じない魚介類の豊富な自然環境の保全に努めてもらいたい。兩岸の河川敷が大変良くなっています。運動場や各種イベント行事に利用されています。私もハングライダーの体験を2回ほど受け、楽しい思い出が一杯あります。ゲートボールの大会には毎回参加して楽しんでいます。夏は毎日のごとくシジミ採りを楽しみにしています。シジミは大勢が行って採ると益々増える。日本でも最高に美味な良いシジミが大量に育つ立派な川です。
795	ご意見なし
796	吉野川に関係する住民の意見を代表するよう配慮し、関係町の意見を集約すべく関係町より代表者が意見発表できるようにしていくべきだと思います。
797	ご意見なし
798	特定の人だけでなくたくさんの人の意見をすい上げて欲しい。
799	ご意見なし
800	ご意見なし
801	反対のための反対を称え、他人の声に心を開かない人々を突出させない場の運営と治水に関しては吉野川出水の実体験や大河川の洪水の流勢をみたことのある人の意見を家の前の小水路を流れる水しか見たことのない人の意見が前者を抑えてしまうような運営にならない様なシステムになって欲しい。一案として学識者間で正反対の意見がよくできてきて一般人の判断を誤らす場合が多いので一般人から出た意見も含めて学識者で徹底的に議論し、正論が生き、悪論が退く進行が出来ないだろうか。
802	みな意見1本にまとめて反映できる場が欲しい。
803	ご意見なし
804	吉野川を遊びの場としている人の意見が強すぎる。周辺に住んでいる人の本当の意見を取り入れるべきと思う。もっと流域住民の意見が言える場にすべき。利害抜きで。
805	ご意見なし
806	中立であって欲しいと思いますが、吉野川流域に関わる住民の意見も大きく取り上げていただきたい。
807	いつまでも吉野川上流～河口まで清流であって欲しい。治水管理と整備、台風等大雨に対する堤防補強。増水時の連絡。警報発令などの準備。
808	長い間周辺の住民は水との戦いに苦労したことである。その苦労の結果が水の姿を見つめて、共存の道が生まれ築いたのが今の姿であり、体験より生まれた結果が現状である。今はこの基本を修復することで机上論で壊してはならない。
809	検討の場が河川整備計画(原案)を色々作る場であって欲しい。計画案に対して意見などを言うのでは今までどおりではないでしょうか。原案作りのところに参加できることが改革ではないでしょうか。
810	できる限り多くの人の意見を聞き、集約して原案を作る。学識経験者、地方自治の長などの意見はできる限り排除し、実施段階での工法優先順位などで意見を聞く程度とする。次回以降もっと具体的な上流中流下流など区分して川の利用法のアンケートをとり、結果発表してより個別的な意見提案を再度県民に聞く。
811	ご意見なし
812	検討の場には色々な分野の方の出席を求める(中立性)。一方検討内容は公表(透明性)し、県民にもすべてオープンにするべき。
813	護岸工事で人工的な川にしてしまうのは反対。水と緑が生き生きして心の安らぐ風景が一番吉野川らしいと思うので、水が汚れないことを考えて欲しい。
814	このような住民が直接参加できるアンケートなどを生かして話し合っ欲しい。話し合いの内容など新聞、テレビでわかりやすく説明して欲しい。
815	川作りを話し合う場については大きく2つに分けるべきだと思う。堤防が完成している地域と完成させない地域では基本的な考え方が異なるからである。基本的な考え方が物理的に同じになるように上流の堤防を促進し、それから川作りを話し合う場を考えても良いと思う。
816	和気あいあい話し合える場。
817	できるだけ大勢の人の参加が望ましい。そのために知ってもらうこと、周知にあらゆる手段を利用する。あくまでも公正でみんなで考えあう場にする。そのため小さい地域(コミュニティ単位とか)で話し合える場を作る。1回したらOKとしなくて何回も全体合意が得られるか、理解が進むことを目指す(第十堰のときは1回だけであった)。私の考え方の基本は「吉野川は命の川」で吉野川が大好きです。だからみんなで充分すぎるほど話し合いを持ち、もちろん行政とも対立することなく事を進めればと思い上記のようにするのが良いと思います。
818	ご意見なし
819	これからの川のあり方、子供たちに受け継いでいけるよう、自慢できる川作りについて知識などを判別できるよう。
820	上流域、中流、下流に分けて検討。第二段階、具体化、地域の取り組みと具体性をもたせないと全体を平均していくにはできないのではないのでしょうか。
821	吉野川の歴史や現状をよく勉強し本当に吉野川を愛し吉野川の将来あるべき姿を考える人達の集まりであってほしい。一部考えの違う人々に多くの人々の思いが曲げられては困る。
822	今では物を作ることを前提として公聴会等をしてその意見を参考にしなく物事を運んでいた。百年に一度の災害と言うが、40年50年前の吉野川と今日の川とは水系にダムもなかったが今は水系に3つも大きなダムがあり、堰は修理しておくべきだ。それが自然の吉野川と思う。最終的に決定機関が県民の大多数の意見を無視するのであれば形だけの会合は必要ない。本当に吉野川のことを考えるならまず修理。堰は自然体だ。
823	住民、市民が話し合う場所。
824	意見を聞くだけでその結果どうなったかいつもなしのついででウヤムヤになってしまう。住民だってレベルは高いですから、住民の意見を反映してくれないのなら死んだ川になってだんだん意見がいえなくなる。ほなけんしっかり住民意見を反映すると約束してください。
825	ご意見なし
826	より多くの人々に関心をもっていただくため様々な情報の提供と生活とのかかわりをPRし、開かれた場で意見を広く求め集約し、住民のニーズが反映できるような活動の場作りを数多く作っていただければと思います。

Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
827	あまり難しい学者の意見の発表の場でなく誰でも気軽に外向いて普段の言葉で話のできる場であって欲しい。
828	行政側も市民(県民)側も一部の人だけが参加するのではなく、幅広い年齢層の人が参加できる場。
829	ご意見なし
830	思想信条(特定の地域)に片偏りのない、住民参加と情報公開の場であって欲しい。
831	自然保護も大切ですね。水の利用も大切だろと思ひます。難しいかと思ひますが両方とも安心できるように話し合う場であって欲しいです。
832	WS活動。吉野川講座の認知度向上のための活動PR。
833	あまり主義主張に偏らないようにした方がよい。
834	将来にわたって洪水の発生しない対策が必要で地域住民との”検討の場”が必要なことは無論のこと。ゴネ徳をねらう徳島県民性への説得は容易なものではない。時には強い態度、姿勢も必要かと思ひます。
835	まず中立で透明性を持たせた場とすることが不可欠。そのためには良い意見を述べても何でもかんでも反対される集団がいては困る。人選も大事である。透明性は大事であるが、ジャーナリストの方々に混ぜられないように時には公開せずに行うことも大事。主観の入らない方法を講じてもらいたい。
836	国・県の持っている情報が適切に提供されることに特定の団体の意見のみが通るような運営はやって欲しい。第十堰では情報提供のまずさもさることながら環境団体などの意見がマスコミに大きく取り上げられるなど、必ずしも適切な運営がなされたとは思ひません。可動堰がいいというものではありませんが。自然とのふれあいや環境も大切であるが、治水についても十分検討してもらいたい。築堤等のハード面だけでなく水防活動。上流の森林の保護。保水力の検討。
837	協議の場は広く開放される。自由な話し合いが出来ればと思ひます。一定の良識は必要である。
838	地域住民の意見を重点的に反映するようにして欲しい。
839	ご意見なし
840	ご意見なし
841	専門的知識を有する人々。(本当に吉野川の将来について考えてくれる人。)を多く入れた集まりにして欲しい。声の大きい、マスコミの喜ぶ意見を出す人は控えてもらいたい。
842	徳島市中心部でなく、何箇所かで場を作って欲しい。
843	私は以前に吉野川懇談の時のメンバーです。そのとき思ひたことは●●●●●と聞きました。それにしたらメンバーには無料と言うのはおかしい。やはり忙しい時間に行くのだからお金は支払うのが当然であると思ひます。
844	ご意見なし
845	みんなの意見を吸ひ上げ、できるところから改善していくよう話し合う場が合っても良いのではないかと思ひます。
846	ご意見なし
847	ご意見なし
848	ご意見なし
849	学識経験者等のみならず目先のことより将来未来の世界を熟慮して第十堰問題解決が良いと思ひます。
850	下流住民(特に徳島市)の意見ばかりでなく、上流域、中流域住民ならびに支流流域住民の声を聞いてみるのが大切。人間の身体でいうと、心臓に吉野川は当たるが、各部の器官(本流、支流)が正常でない心臓も正常に作動しない。
851	今の世の中大変難しいと思ひますが、各方面からの意見を取り入れ、相手を思いやりながらの会議をしてもらいたい。
852	色々な年齢の方々をどう巻き込んでいけるか。魅力ある川作り。
853	極端とは思ひますが、1歳~ずっと年齢に関係なく学生、主婦、自由業、会社員、職業にも幅広く学者とか、政治家とか専門職にとらわれず、小学校では社会の一環としてまた企業では吉野川の現状及び今後のテーマとして色々な場所で吉野川を守る会として話し合いの場を選定する必要があると思ひます。
854	真に吉野川のことを考えている人が自由に意見を述べられるような場。
855	学識経験者やお役所の人々で定めていただいたことを私たち流域住民ができるだけのことを少しでもお手伝いさせていただくのが一番いいのではないのでしょうか。私等家庭の主婦として過ごしてまいりましたので、これからは少しでも外へ目を向けなければと時間の許す限り参加させていただく心積りです。
856	河川整備計画の作成の役に地方公共団体の長の意見というのはいかがなものかと思ひます。それでは流域住民の意見が反映されないのでは。地方公共団体の意見は先に出すべきと思ひます。
857	詳しい知識をもった人、知識がない人でも入り交ざったような、しかし知識がなくてもたくさん意見が出来るような場であって欲しい。
858	誰でも発言や提案できるような平等な場であって欲しい。
859	吉野川流域各町村会場現場または公民館。なるべく多く参加できるような場所。
860	専門家、学識経験者であっても各々の方の意見に大きな開きがあるように、どの人の意見が正しい等の判断は困難である。私が小さい時は支流河川の増水、氾濫があったが過去50年ほどでそうした記憶がないので分水していること(他県へ)、森林への配慮、堤防の維持管理で今後の不安などは考えられない。少ない費用で県民の税負担が増えない方法で管理が可能と思ひます。
861	広く開かれた夢を語る場。お互いがいがみ合うのではなく、堅苦しくなく、フランクな場であって欲しい。
862	住民との話し合いの場であり、原点に立って話し合う。(担当者は中立であること。)
863	住民の意見を主体にして話し合う。個人の利益を考えない。環境、景観、経済性等の専門家あるいは相当の知識を有する人の意見を取り入れて流域で一貫した方向性をもった整備を進めて欲しい。いずれは恒久的な観光資源として四国の財産となるような整備を目指して欲しい。
864	みんなで川づくりを話し合う場。
865	整備の名のもとに作るのではなく、なおすという気持ちで。新しい施設はいらないくらい。利用できるものをなるべく自然な形で生かし、必要最低の施設にとどめて欲しい。
866	ご意見なし
867	明治18年に吉野川のほとりで生まれた祖母は、川の恐怖を語りながら宝としての誇りにしていた。その思いを大切にしたい。流域住民の意見は重要ではあるが、まず徳島県民全ての宝という自覚が第一だ。今後は役人の知見よりも住民の考えを重視し、情報公開を中心とした透明性を保証すること。学者、美術家だけでなく、子供から老人まで各層で語り合う機会を作り、それらを集約するようにすればよい。

Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
868	透明性と公平性が必要です。諫早湾であったようなウソの調査結果は話し合う場自体を無駄なものとしてしま
869	みんなで将来の吉野川の自然を残す話し合いが必要です。若い人、子供、経験豊富なお年よりなど。
870	決めたことを実現できる。
871	特になし
872	住民主導の話し合いの場であって欲しい。
873	なし
874	学識経験者・流域住民を含め、透明性を持った討議の場。
875	ご意見なし
876	ご意見なし
877	ご意見なし
878	意見が出しやすい場。
879	特になし
880	ご意見なし
881	上中下流をまんべんなく参加させて欲しい。
882	住民の安全を守ることを基本として住民意見を反映して欲しい。
883	様々な立場や思いのある人が集まる場所であって欲しいです。
884	中立。
885	各職業別の代表を集めて議論して欲しい。
886	ご意見なし
887	徳島市の意見(南岸)が強くて北岸の意志が聞かれない気がする。どちらも公平にやって欲しい。討論会が
888	あれば参加したい。
889	偏ることのない中立的な場。
890	子供でも意見が言える場。
891	河に背を向ける(河は怖いもの)ではなく、河と私たちの住む場の境がない様な親しみのもてる河川にしても
892	参加者が発言、提案あるいは運営できるような場であればよいのでは・・・。当然、まとめる人も必要だと思う。
893	具体策いつから始めるとかいうのも明確に。
894	ご意見なし
895	ご意見なし
896	難しい言葉を並べるだけの会だけでなくいろいろな年齢そして立場の人たちが普通の言葉で語り合える話を
897	きかれる、そんな場所であって欲しいと思っています。
898	ご意見なし
899	ご意見なし
900	中立。透明性で意見をまとめる人が必要。
901	多くの人の意見を活かせる場で公開が必要。
902	政治色のない場であって欲しい。地球的環境をこんな小さな会からでも守っていける意義ある場にして下さ
903	い。
904	ご意見なし
905	Aさん、Bさん、Cさん。特に何でもかんでも反対はよくない。
906	かつて国及び徳島県の考え方と、地域住民の考え方に温度差があり、しまいには住民運動にまで発展した
907	経緯を考える時。上意下達を根底から再考し、住民の意識を反映した河川整備計画を作成し、その検討に
908	当たっては学識経験者及び住民の代表等も公平に選び話し合いの場をもてれば良い。
909	話し合ったことをみんなに知らせて欲しい。
910	難しくて分かりかねる。
911	1人でも多くの人と吉野川のことをじっくりと話し合ってみたい。
912	川の近くの公共施設利用。
913	昔吉野川には小動物がたくさんいた。そのような川に戻る対応、対策。いい川になるよう。
914	ご意見なし
915	表示されている内容でよいのではないかと思います。
916	自分の意見を気を使わなくていえる場。ワークショップ方式など。
917	ご意見なし
918	住民が十分に発言できる場。
919	全ての情報の公開。
920	コンベンションで日本中から自然を生かした護岸工事と河岸の案を募集して欲しいと思っています。きっとす
921	ばらしい専門家たちの案が集まるでしょうし、ニュースにもなるでしょう。
922	上流、中流、下流の人を問わず川の恩恵を受けている人全て話し合う場に出席する権利があると思う。しかし、
923	全ての人が出席するのは不可能なことなので検討内容を新聞に掲載して、内容を周知し、色々な方法で
924	意見を言いやすい場を作って欲しい。
925	もっと色々な立場の人が自由に(立場にとらわれず)話し合える場であって欲しい。
926	分からない。
927	民主主義は合意形成だ。しかし国土交通省主導の企画、立案が根底だから異なる意見の対立は当然だ。みんな
928	の意見集約の結果の同意が必須条件だ。●●●●で「第十堰保有」に努力している。徳島市は税金の
929	投入によって「代替案」の模索につとめていて県民的課題は「協同の課題」と位置付けた。「検討の場」の設
930	定で議論すべきだ。私は「共通の土俵」に立って異なる意見を述べる機会が欲しい。「検討の場」は県民の意
931	見を反映する絶好の機会だ！自己責任を発揮することだ(反対でも賛成でも)。
932	ご意見なし
933	ご意見なし



Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
924	ご意見なし
925	ご意見なし
926	参考例のようなものが良いと思われる。
927	ご意見なし
928	ご意見なし
929	国土交通省からの一方的なデータだけで議論しないで参加者からの資料で検討して欲しい。
930	ご意見なし
931	利権などからまない。公平なもの。住民感情を理解できている。学識経験者の思い上がることのないようなもの。流域住民の偏見の少ないようなもの。以上当たり前のこと。準備会の委員は誰がどいういう基準で選ぶの？
932	それぞれ自分の立場だけで意見を言わず、広い範囲で話し合ってもらいたい。野鳥だけ、農業だけ、建設会社だけ・・・トータルで。1つのことが正しいとは限らないので、人の意見も聞くような場。
933	第十堰問題等政治色が強く、なんでも反対という運動も問題があると思う。流域住民と中立、透明性のある方たちの話しやすい場であって欲しい。
934	分かりません
935	多くの人の意見や考え方をできるだけ多く聞くことも大切だが、聞きすぎるとまとまらなくなる。そして違った方向へ行くこともある。まとめるためにあまり妥協せず理解を求める説明に時間を費やす場であって欲しい。
936	河川法に基づいて学識経験者の先生方と責任者である地方公共団体の長と一般の住民の方と(ただし一般の方は意見の発表は下手)十分に施策を話し合いたい。
937	ご意見なし
938	ご意見なし
939	自然と共に生きることについて。環境について。
940	ご意見なし
941	ご意見なし
942	様々な社会の仕組みを超えて、自然を残しながら共生、生存していける方向を第一に考えて欲しいです。
943	ご意見なし
944	1人が1案でなく、いろいろな柔軟性をもって川のために考えて欲しい。
945	ご意見なし
946	ご意見なし
947	自然と生活が調和が取れたものを検討し、必要以上のことは考えないで欲しい。
948	なし
949	ご意見なし
950	住民の意見が多く反映されるような場。
951	この件はやや専門的な考え方が色濃いようです。方法については基礎を作られた事務所の方法がベターだと思います。
952	一部の人間(特に国主導の)の思い通りにならないよう、色々な話し合いが出来る、大切な意見を尊重して扱うことのできる場になるように。
953	話し合う場ではもめるだけでなく、明確な合意形成を目指して欲しい。そのためにも画一的なマニュアルに基づいた話し合いではなく、行政と住民と研究者の積極的な係わり合いを期待したいです。また話し合う場ではどうしても大人だけの話し合いになってしまうので次世代(子供たち)の意見も反映できるシステムを確立して欲しい。例えば小中学校と協力してアンケート調査をする等。
954	長い吉野川について、広く深い知識をもっている県民は少ないと考えられる。池田ダム上流、岩津の上、下流で区分して場を設置した方が良いと思う。
955	公共事業(大型)の場にはいけない。利用するにしても経済効果を考えて子孫に負担をかけない程度に着実に整備を続けて欲しい。住民パワー民意をどうこうといえる時代ではあるが、専門職の国土交通省の方々の技術者に任せておけば最適と思っはいるが、役人はすぐに予算をたくさん取れるだけ取ってそれを残さずに使いたいという慣例はやめてもらいたい。
956	専門的なことになるとわからない。
957	地域住民、特に吉野川周辺の住民の意見を聞くこと。川ですから危険がないとは思わないが政治に利用したり、利権者の具にはしてはならない。アンケートは繰り返し行っても良いのではないかと。
958	ご意見なし
959	市町村は市町村独自で市民の住んでいる川の支流単位で検討の場を持つのが良いのではないかと。そして次第にその輪を大きくしていけばよい。大きな単位の会より自分の住んでいる支流単位の川、自分たちの川という意識を持つことにより真剣に考え、行動に移すことも可能になるのではないかと。
960	ご意見なし
961	ご意見なし
962	必ず賛成派と反対派に分かれると思いますが、つつくよりも自然が一番ではないのでしょうか？。とりあえず相方が話を聞く立場になって欲しい。
963	ご意見なし
964	県という枠をはずした取り組みが必要だと思います。色々の団体の意見も狭い視野での主張ではなく、吉野川全体を考えた話し合いの場であって欲しい。
965	本当に吉野川を愛し、将来子供たちのためにこのすばらしい宝物を残してあげられるような有意義な話し合いができる場にして欲しいと思います。
966	流域住民の声を十分取り入れた保全計画をお願いしたい。
967	ご意見なし
968	ご意見なし
969	ご意見なし
970	ご意見なし
971	ご意見なし
972	ご意見なし

Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
973	誰もが自由に提言でき一部の意見のみに流されないようにし、しかる後に検討の場に進んでいける方法。EX 流域住民のアンケートが重要。
974	ご意見なし
975	人間にとって(地域の人)、吉野川の役割が何であるか?。一部の考え方だけでなく(環境面だけを捉えた)全体について考える場にして欲しい。
976	自然を大切に残して欲しい。
977	ご意見なし
978	住民意見が反映される場であって欲しい。一部の人の意見を聞くのではなくできるだけ多くの人の意見を聞く必要がある。
979	わかりません。
980	一部の人のみだけでなくあらゆる分野、地域の住民が参加、発言できる場であって欲しいと思います。
981	まず吉野川は徳島県民全ての人共有する財産であり、一部流域の人だけ、下流域の人だけ(吉野講座についても開催されるのは徳島市内ばかりでありもっと全県的に開催されていいのでないか。)でなく全県的に考えなければならないと思う。又吉野川にかかわりを持つ全ての人の考えを反映できる場であって欲しいと思います。PC PIの充実も不可欠であると思います。
982	ご意見なし
983	机上論にとどまらず小さいものからひとつひとつ実行させてゆく必要有り。交通安全のトランペット隊を組織しているように“吉野川をきれいに”、をテーマとしたPRも大切であろう。一人一人の粗大ゴミ、家庭ゴミの投棄はすでに捨ててあるから自分もいじらうとの間違った考えがあとをたたないように思う。
984	利用者(住民)と管理、指導者(国土交通省)が本音で語りあえる場にしてほしい。現場(漁業・農業)の意見を<7割>行政の意見を<3割>程度にして行政はあくまで補佐する立場に住民主体で進んでいけばいいと思う。
985	学識経験者(中には自分の研究が最良と思っている人もいるが)、流域住民(関係ない住民の声や過去の災害等を知らない人もいるが)の意見を反映。日和見主義の政治家等に惑わされないよう。
986	ご意見なし
987	中立。透明性。情報の公開。
988	いろいろな人から意見を聞く場所を開催してくれればよい。
989	わかりません。
990	幅広くいろんな立場の人の意見を聞く場
991	声の大きい人、理想論の意見が往々にして意見が重要視されやすいが、流域住民の治水等意見を第一議として検討してほしい。
992	ご意見なし
993	住民または河川流域の方々意見が反映される会議になってほしい。また自然の力を強める目標で。
994	ご意見なし
995	最初から根回しせず、好きなだけ発言させる。(日本での検討会は海外に比して形式的)
996	このような場はTVなどで見ていると役所、学識経験者などがいつも主導権を握っているように思える。役所学識経験者はオブザーバでよいと思う。それと学識経験者は若い人(60才迄)のほうが良いのでは。構成も60才までの人でし、皆んながいろんな意見を言えるような場がよい。過去統計も大事かもしれないが「150年に1回」とかいうような統計は持ち出さないでほしい。150年もすると環境も施設の工法も殆ど変わっているし、住んでいる住居も改良されている。
997	○学識経験者として、防災や土木の面だけでなく、林業・漁業・農業まで含めたグローバルな視野に立った議論をしていく必要がある。各専門分野の方々のご意見を踏まえた上で、将来にわたって自然とうまく付き合っていける整備を考えなければならない。この機会に縦割り行政といわれないためにも国土交通省だけでなく、徳島県を主体とした農林水産省や環境省さらには文部科学省・経済産業省などの立場からの総合判断が必要である。○流域住民として、流域住民としては水資源の利用(飲み水・防災・農林水産業など)が大切であるが、自然とふれあう場としての利用も視野に入れて意見を聞いてほしい。徳島市の小学校では、河口のシオマネキの観察や清掃などに取り組んでいる。そのほかにもさまざまな取り組みがあると思う。是非、広く意見を聞いてほしい。
998	1. 意見をまとめる人、学識経験者(専門家)の中から選出。2. 運営の方法、共通のテーブル ○中立・透明性を確保するため情報公開にすること。○構成員は30名程度とし。3. 「吉野川流域協議会」(仮称)の設置
999	ご意見なし
1000	特になし
1001	住民全員が参加できる場になってほしい。
1002	まずは吉野川流域(0/0~40/6位まで)の長年、川とかかわりのある人、例えば、漁師(入漁券購入者)や出張所で特に維持管理の作業をしていた人、この様な人達をあつめて現地現場の話が聞ける場を作る事。特にこの段階に学識経験者や地方公共団体の長は必要ナシと考えます。今迄の活動がうまくいかない大きな原因の1つにはこの事が起因している。車座になって話しの出来る場所作りから始める事。”迂遠なようであるが、一から始める以外手はない”と思う
1003	ご意見なし
1004	ご意見なし
1005	各界代表者、沿川一般住民も交えて将来について自由に話し合っ、素晴らしい計画を作ってもらいたい。
1006	国や県で出している事業だとしてもこれからのことを思うとお金を使わない方法がよいと思う。災害が起きたらその時皆で力を合わせて土手を直すとか、また害にあることが人生には必要、戦争があったから平和を感じ強くなったし、地震に出合った神戸の人は「生きていてありがたい」家をなくしたことに不幸だと言わず払ったものが大きかった。あまりこぼぬ先の杖はしないのがよい。
1007	できる限り多くの方が納得できる内容であってほしい。
1008	1、吉野川の環境、特に汚水対策に力を入れてほしい。2、人工的にあまりよしの川を変えないでほしい。
1009	ご意見なし
1010	参加しやすく参加しない人でも結果とか内容がわかるような方法。
1011	ご意見なし
1012	皆の意見をまとめる必要だね。中立。透明性など大切だ。





Q12-1.「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
1050	公平な立場で資料を提供しあって討論できる場。政治的な利害を排除して欲しい。わかりやすい内容。透明であること。
1051	住民側から率直に意見を述べることができやすい雰囲気のある場。
1052	自然に発言できる場であって欲しい。多くの整備実例等も紹介して欲しい(良い例、悪い例)。
1053	ご意見なし
1054	公正な判断、計画が進められる場であって欲しい。
1055	自主的に参加したい人に集ってもらい意見を集約。
1056	中立的立場のものが立会いし、話し合うことが大切である。
1057	住民の意見を反映できる場。より多くの人の意見を聞ける場。
1058	皆んな結論は同じ答えと思います。一人一人の川を愛する人達の意見を参考にするより仕方ないのと違いますか。
1059	誰でもが意見を言える場であって欲しい。
1060	問題提起があれば振り向き、立ち止まり、ゆっくり考えてもらいたい。
1061	ご意見なし
1062	吉野川を常に使用している人が一番良く知っているので学識経験者も結構とは思いますが、漁師さん、常に吉野川を散歩し見ている人等を交えた検討の場であって欲しいと思います。
1063	いろんな立場の人が利害ばかりにとらわれずに話し合える場にして欲しい。
1064	ご意見なし
1065	ご意見なし
1066	ご意見なし
1067	国土交通省で原案を作りこれを基本にして公平な意見を集約する。
1068	住民の共通の認識が得られるような、ゆったりとした時間をかけた運営が良い。
1069	大人も子供も参加でき「川」を身近に感じられる環境づくりをしてほしい。
1070	ご意見なし
1071	ご意見なし
1072	流域住民、生活している生の声を取り上げる。その為にこのアンケートのようなわかりやすい広報活動を展開して欲しい。
1073	とことん話し合うこと。
1074	公聴会の開催をテレビなどでオープンにして、広く意見を求める。
1075	流域小学校や中学校の子供の感性でとらえた意見をくみあげたり、示したりできるシステムや場があればもっと意外なヒントが出てくるかもしれません。学校の中では授業の中で取り組み、故郷の中の川として勉強しているところもありますね。
1076	ご意見なし
1077	公平で誰でもが意見を述べやすい場であること。
1078	できるだけ多くの流域住民の意見が反映できる場。
1079	ご意見なし
1080	専門的知識ももちろん大事ですが、川は利用する(工業、農業、漁業)だけのものではないはず。そこで暮らす人達の意見を反映できる場であって欲しいと思います。「検討の場」は公開で行われることが求められると考えます。
1081	ご意見なし
1082	意見は近くの住人に必ず聞くこと。街の人が地元の自然を勝手にあだの、こうだのと言って絵に書いたようなことになって欲しくない。地元には吉野川は自然だが遊び中心に考えすぎないで欲しい。生活の場、地元の子供の遊びの場をかき回してほしくない。一緒に遊べるようにして欲しい。地元の学校(小、中)の意見もPTAなど父兄(夫より母)も。
1083	地域で集会をし、意見を出して河川の整備を計画し実行に移して欲しい。地域の話合いの意見が最後まで通ってその中で地域にできるできないの返事ははっきりと返ってこない。実効のある話し合いを期待します。
1084	ご意見なし
1085	ご意見なし
1086	今までに講座などへ参加したことがありませんので良くわかりません。
1087	ご意見なし
1088	徳島を東、西にわけるなど吉野川フェスティバル的なイベントもあれば西の者もどんどん参加できるのでは。
1089	住民の意見を良く聞いてくれて、みんなの意見をまとめて国や県の人に意見を言ってくれるような場。一番大切なことは生命です。水害で苦しんでいる住民の事も考えて欲しいです。みんなが納得する話し合いの場にして欲しいです。
1090	行政、学識経験者、住民による話し合いの場であって欲しい。全ての意見が一本化することは困難と思われるが、一部の人のためにより有利となり偏ることのない場となる必要がある。
1091	ご意見なし
1092	ご意見なし
1093	ご意見なし
1094	県民にとって安全第一住環境の確保が第一義である。例えば、可動堰、可動橋であっても、自然とうまくマッチング出来れば最良。
1095	住民の意見、民意は重大です。たとえそれが治水や利水、環境等への理解が乏しい意見であっても。近年環境への関心が高まっているが、一般的にまだまだ理解度は低い。一方、長引く不況で公共事業を求める声も高まっている。今、行政に必要なのは①これら流行の意見に流されず、正しいことを押し通す判断力と説得力②逆に間違ったことは認め、中止や後戻りを恐れない正義の二つです。これがないと「検討の場」はいつまでたっても「住民の身勝手言い放題の場」「行政の頭痛の種を増やす場」のままだと思う。
1096	ご意見なし
1097	情報が的確にわかりやすく公開される場。
1098	子供を含めて、子供と一緒に話し合っていくような形。大人ができていない。
1099	ご意見なし
1100	ご意見なし

Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
1101	①流域住民の意見を聞く会にしてほしい(他県の人、関係流域で無い人の参加は認めない)。②吉野川を愛する人から意見を聞く会であってほしい(ゴルフ会社、河川敷農業団体、漁業権を過剰に主張する団体、その他〇〇団体は別に会を設ける)。
1102	色々な人が参加できるイベントをつくってほしい。
1103	地域住民の意見を尊重し、納得のいく話し合いの場である事は必要であると思うが、一番必要であるのは洪水などが起こった場合に被害をこうむる。流域地域住民の実情を把握し、その人達の意見をもっとも尊重すべきである。対岸の火事の野次馬的な立場の人達の意見は無視しても良いと思う。
1104	吉野川を高知県側と徳島県の上流域、中流域、下流域の4つぐらいにわけて話し合い代表で全体を話し合う様にする。
1105	流域の住民の意見が直接見える場所でなければならない。利益代表者のための場にならないように。NGO, NPOが主催。
1106	誰でも来たい人が来て話を聞き話せる場をつくってほしい。方向が決まっているそれに沿って進める場にはしてほしくない。
1107	ご意見なし
1108	毎日生活をしている住民の意見を多く取り上げる様な場であってほしい。
1109	・市民、県民の上の方の方だけで話し合ったりせず、子供からお年寄りまで幅広い年齢で。・話し合いに行けない人については文書でもいいと思う。・公平な立場で！！
1110	ご意見なし
1111	行政の意見を住民に押しつけるのでなく色々な立場の人、河川流域だけでなく川から遠い所にいる人達の意見を聞き、その意見を反映させるように働きかける事のできる会であってほしい。
1112	川から遠い地域に住む人の意見より、川の近くに住む人の意見を大事にしてほしい。
1113	住民の意見を聞いてほしい。
1114	選挙に選ばれた人などの、県民の代表者達によって厳正中立に話し合ってほしい。
1115	公平で広く住民から意見が取り入れられる様な場であってほしい。
1116	話し合いの場を設けても意味が無いと思いますが、吉野川は国の川ですからもっと国の方へ働きかけたほうが良いと思います。
1117	吉野川の水の利用ばかり、又水防のみを話し合うより、もっと吉野川の自然を大切に上流の山林を保全するための話し合う場を検討してください。石とセメントばかりの川にしないように。
1118	メンバーの人数が常に問題になると思われる。何らかの方法でランダムに選び目当を払うなどして対応してはどうか。無理かな？
1119	中立透明性の高い組織が管理する検討の場をつくって欲しい。上流から下流まで治水のプロ、芸術家のプロが相互に提案できる話し合いの場が必要。
1120	このアンケートの流れは、河川整備を前提とした意見を求めている私はもっと川に対する気持ちや本来のあり方や、山との関係、海との関係生活との関係などをみんなで話し合い川に対する知識を高めるための時間と労力が欲しい。全ての人が川への敬意を持たずにどんな整備をしても意味がない。
1121	話し合い。町から町内会(流域住民)の意見を聞き、町から河川管理者にお願いしたいと思います。
1122	私的には「学識経験者」という方々にはあまり信頼がありません。それより昔から川の事に携わっている漁師の方や流域に住んでいる人の話を聞きたいと思います。その上でこれからの吉野川を考えて行きたいと思えます。
1123	自由な意見が飛び交い、会ばかりでなく意見が実施される事を望みます。
1124	多くの人が集まって賛成者、反対者などと話し合いたいです。
1125	学識経験者等と流域住民の話し合いにおいてやはり、流域住民の意見が重要視されるべきだと思います。
1126	「上流」から「河口」までの流域住民、「産、官、学、住民」参加の話し合いの場を根気強く行う事が必要。(世界中の良いサンプルをPR)。
1127	誰もが話をまとめるという事もなく議論するのでもなく各それぞれが、自分の意見を言い、人の話を聞く。自由な場であれば参加しやすいと思う。
1128	わかりやすく、参加しやすい会。あまり固いイメージがあると参加が。
1129	意見が自由に発言でき、周りにその内容に良くわかるような場がよい。
1130	ご意見なし
1131	住民の意見発表の場として、一部の主義主張に惑わされないようにしてほしい。
1132	私利私欲にとらわれないで、将来性のある考え方のできる人達で、透明性のある場であって欲しい。
1133	全員が納得できる様な場であってほしい。
1134	20歳、30歳、40歳代は子供がいる人がほとんどで参加したくても子供がいるから出席できない事がある。子供たちからも(小学生、中学生)意見を聞いて欲しいので、吉野川の河川敷などで、木工教室やゲームなどをしながら〇×ゲームなどで川のことをよく知ってもらい、参加賞付きにすれば人もたくさん集まると思う。夏に吉野川フェスティバルなどあるがもっと季節の春秋などにもたくさんイベントをして欲しい。
1135	住民の意見が反映されるようにして欲しい。
1136	官民一体で、みんなの意見が聞き入れられるような場であってほしい。
1137	上流、中流、下流に分けて学識経験者や流域住民で話し合う場であり、常に中立・透明な立場で意見をまとめてくれる人がいる場であって欲しいと思います。
1138	特になし
1139	河川整備計画を作成するにあたって、学識経験者とか公共団体等、流域住民の意見を聴取して参考にしてもらいたいと思います。
1140	住民の意見を聞くようになっていますが、私が心配するのは、行政側がアリバイ工物的にそれを行う事です。過去の日本が、そして日本の自然が(自然を全く理解しない政治家、業者たちによって、どれほど取り返しのきかないほどの破壊と財政負担を国民にもたらしたかを本当に反省すべきです)。駄目に近い状態になったかは明白です。今までの方法で自然を考えていたのでは50年後は人間が住めなくなる地球になると言われています。吉野川を少しでも守るために、この様なアンケートをとっていると思いますが、行政の側が今まで、人間生活を豊かにするための公共工事であったものを改め、完全に自然保護の為に公共工事を変えるべきです。
1141	広く皆さんご意見を聞くのもよいが、最後は責任ある人(国、県)の意見に従うべきであると思う。

Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
1142	学識経験者の意見も大切だが、直接生活の中で河川を何らかの形で利用している地域の方々の意見も、積極的に取り入れていかないといけないと思います。机上の学問と実際は異なる事も多いと思います。
1143	学識経験者もよいが、実際現場で自然と向き合っている人々を多方面から呼ぶべきだ。机上の意見など現場の一日分にもならない。
1144	ご意見なし
1145	広い年齢層。地域。広く意見を聴取できる場。
1146	子供、孫を連れて心の潤いをもらいに行きたい。含みに困らないように保存してください。
1147	ご意見なし
1148	地域住民と学識経験者を交えたもの。中立、透明性の保持。
1149	ご意見なし
1150	利害、利権をなくして人間が住みよく動、植物にもやさしい「共存、共栄」の川であって欲しい。
1151	しっかりとした考えがなければ勿論いけないが、主張できる能力に聞く耳を持つ姿勢を持ったほうが参加できる場となって欲しい。必要以上に凝り固まった方が、一方的に持論を展開する事がないよう、うまく主張できない、声が小さい等発言することに不向きな性格の方にも発言できる機会があるような運営を願いたい。意見をまとめてくれる方の人選は難しいが、徳島県のことなので、県外から招くのはいかがなものか。せっかくの話合いの場なので、それが政治的問題にまで発展するような展開だけは避けたい。(発展させるようなイデオロギーの持ち主の参加は拒みたい)
1152	色々な立場、流域の人々が考えを話し合う。
1153	ご意見なし
1154	生命財産を守る事をまず第一義とし、加えて環境美観に対応するような場であって欲しい。
1155	水質の向上。観光資源としての利用方法。
1156	ご意見なし
1157	世代を超えたみんなが、意見を話せる場。価値観の違う人達が集まっているんな角度より考える場。
1158	学識経験者といってもあまり吉野川を研究した事のない学者であってはよくないと思います。住民の立場から吉野川を研究した学識経験者を希望します。流域住民が参加するときは一時的な意見を持った団体でなく、多くの人の意見が聞ける人でないと、前向きな検討の場にはならないと思います。具体的には河川工学、植生、水中動物の専門家、教育関係者、漁業関係者など具体的意見を持った人達が参加することを望みます。
1159	色々な立場や環境の人々に、幅広く意見を交換できる場にして欲しいです。子供や高齢者の方々の意見も大切にしてください。
1160	ご意見なし
1161	ご意見なし
1162	ご意見なし
1163	自分の主張のみを取り上げるのではなく、他の意見もよく聞き総合的な判断に導くための検討会であって欲しい。白紙撤回ですかどうですか、絶対反対ですかどうですか、といった極端な問いかけで全てを判断し処理してはいけないと思う。みんながよく研究し合い、そこから良い意見や成果を積み上げていくべきだと思う。そんな検討の場であって欲しい。話し合う場では専門的な研究も必要になってくるので、テーマごとの専門委員会も設ける必要がある。審議会等の意見も十分取り入れられるよう公表していくことが大切です。
1164	ご意見なし
1165	ご意見なし
1166	ご意見なし
1167	いろんな人達が自分の考えを述べ、思い出を語る。吉野川の川岸の護岸工事について多自然型工事にして水辺の生物や川の淡水魚が海と川と往復し卵を産み、幼魚が育ち成魚になっていくだけの自然を保護して残していかなければならない。単に洪水を防ぐのは勿論大切なことではあるが、これからは新しい河川法に基づき治水、利水自然保護を考えみんなで話し合いをしていかなければならないし、その事がとても幸せな徳島県民の生活になると思います。自然保護と開発が対立をするときではないと思いますし、避けなければならぬ事であると思います。
1168	学識経験者に加えて、地域住民の意見を集める事。例えば徳島市のみの意見でなく吉野川の上流から下流までの各地区の住民代表による会合をもち決めて欲しい。
1169	素人にわかりやすく説明して欲しい。利害関係にない人間の客観的意見が取り入れられるよう、参加者(決定者のほうも)厳選して欲しい。
1170	みんなで川づくりを話し合う場(検討の場については)学識経験者を始めとして、流域住民、意見をまとめる事にご苦労があると思いますが、農業、工業、水道水、漁業などの代表者を含めた中での検討の場とする必要があると思う。
1171	ご意見なし
1172	検討の場については、初めて耳にしました。住む人々一人一人の意見が反映される場を持つことは素晴らしい事だと思います。少数の意見も汲み取ってくれるような場所であって欲しいと思います。
1173	ご意見なし
1174	ご意見なし
1175	少数意見も公平に検討し、計画作成を進める。
1176	中立、透明性が大切だと思います。
1177	以前第十堰問題で、住民投票が行われたように、国や公共団体が独断で決めるのではなく、地域住民や県民などが参加できる場であって欲しい。
1178	ご意見なし
1179	ご意見なし
1180	一方的に「こう決まりました」では話し合いの意味がないので、3つぐらいの案を提案してもらいその中から専門家の意見も聞きながら案をつめていく。話し合いの場にいる人がみな対等で話し合える。
1181	中立な立場で公表してほしい。
1182	ご意見なし
1183	目先の利害などでなく、将来を見据えてしっかり検討する会であってほしい。



Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
1184	現状の吉野川を知り、吉野川で遊び、吉野川で魚釣りし、吉野川の水量(日頃)を知り、吉野川に今も昔も携わってきている人の意見を取り入れるように。三好郡在住の人が「第十堰」の意見を述べる事が間違っている。現状も昔も知らないのだから。
1185	ご意見なし
1186	できるだけ多くの人に参加できるものでなければならないことは言うまでもありません。そのためには事業者、河川管理者である役所ではなく、第三者機関による主催、運営である事が望ましいのでは。
1187	治水も自然保護も大事な事です。素人の私共にはあまりよくわかりませんが学識経験者の方々や公聴会などご提案の検討の場で充分時間をかけて長期的展望にたつてよりよい吉野川づくりを望みます。
1188	学識経験者の意見、主導型は駄目(話のペースはいつもその様に流れているのでは)。時間をかけての住民主導型でなければ全流域住民には受け入れられないのでは。
1189	現時点より、自然を残し育成して、親しめる吉野川へ。
1190	ご意見なし
1191	せっかく検討の場を設けても、参加者が少ないのは残念。気軽に参加できて、自由に意見が出せる場所、日程、イベントなどを盛り込んだ検討の場を考えて欲しい。
1192	公聴会の開催、住民意見を十分取り入れてほしい。
1193	ご意見なし
1194	ご意見なし
1195	みんなの意見を検討して欲しい。
1196	ご意見なし
1197	利害関係がない人達による検討の場であって欲しい。過去のわだかまり等をなくして未来の吉野川を創造できる検討の場であって欲しい。
1198	中立。公正。公開。源流から河口までの総合的な施策。何年に一回の洪水というのはわかりにくい。
1199	ご意見なし
1200	多数の意見を汲むのは無理であるが、一方的な押し付けはもつてのほか。臆することなく、発言できる場作りが必要。
1201	純粹な気持ち。片ひじはらず議論のできる場に。
1202	多くの人々が気軽に意見を言える場であってほしいです。
1203	市民、県民の意見を聞いてくれる場所がもっといっぱいあればいいですね。
1204	国土交通省、住民の意見も取り入れて話し合うのは良い事と思います。もう一つ取り入れて欲しいのは、吉野川に住んでいる生き物たちの意見も取り入れてください。彼らが住みよい環境が私たち人間にも住みよい環境だから。(生き物の数が減ってたら、政策は失敗してます)。
1205	地域住民の人達と学識経験者そして地方公共団体(町役場など)との話し合い(検討)を活発に行い出来上がった意見と、要望を無駄にせず、国はおおきに活用して欲しいと思います。
1206	現状を自分自身が良く理解できるようデータなどを準備してほしい。
1207	学識経験者などによる意見のほか、具体的な河川整備計画(原案)に基づく地域的住民の意思を集約することが最も重要である。即ち、各種の計画も予想されるが計画案ごとに住民の意思を集約し最も原案と合致する方向で維持する必要がある。
1208	自由に意見を言える場所を作る。人選は県下で募集して広く人を選ぶ。
1209	役所の人や、学者、そして市民すべての人の参加が必要。さらに市民も吉野川の上流、中流、下流の全地域の人々が参加しなければならないと思う。以前の第十堰の選挙の時のように、一部の地域の人のみではいけないと思う。あと吉野川のみについてだけでなく、ダムや堤防建設はもっと慎重にすべきだ。お金の回りや一部の人の利益のみを考えているような開発をする時代はもう終わったと思う。
1210	ご意見なし
1211	ご意見なし
1212	自然・環境に優しい場所や、ゆとりが出来る(ゆっくりと話の出来る場所)。
1213	ご意見なし
1214	ご意見なし
1215	ご意見なし
1216	ご意見なし
1217	自然を大切にしたい川づくりと少しでも永久的のある方法を重視していただきたい。
1218	情報を公開して欲しい。
1219	吉野川流域全体を知り、住民の生活、歴史などを考え豊かな自然を残しつつも住民のことを考えられるような場。
1220	自由に意見を述べ合え、お互いの意見を尊重し合える場であってほしいです。
1221	ご意見なし
1222	まず沿川の小地域の声を反映できる検討の場を立ち上げるのが良い。
1223	中立公正な話し合いの場が必要。もっと多くの学識経験者の方や海外の河川事業などについても参考にしたい。広く、子孫に喜ばれるためにあせらずゆっくりじっくり検討して欲しい。
1224	学識経験者、専門家だけでなく、漁業、農業、男子、女子又、年齢に関係なくあらゆる人達による場とする。
1225	利害を乗り越えて、国家国民とか抽象的なことを言うのをやめて、当たり前、常識が通る具体的な話が出る運営をして欲しい。今までは市民は遠慮して言わなかったが良いことはほとんど役所も取り入れれば徳島も良くなるから市民の力を利用して欲しい。
1226	中立透明。
1227	学識経験者や公聴会の開催などによる住民の意見を反映させる必要があり、又地方公共団体の長の意見も必要。
1228	Cさんの意見。中立透明性が大切です。
1229	全て公開のオープンな会議。傍聴も全て可の場。各世代の参加。
1230	ご意見なし

Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
1231	様々な立場の人が意見を交換できる場であってほしいです。でも私のように吉野川は大好きで関心は持っていても、子供が小さかったり、一日中仕事だったりでなかなか話し合いの場に参加できないこともあります。今回のような手紙でのアンケート、またパソコンを使っている意見広場などを利用したいと思うので是非続けて下さい。そして、そういう、意見も反映される場であって欲しい。
1232	ご意見なし
1233	話し合う場であるのであるから考え方、発表など制限を加えるのではなく、話し合える場とする。必要に応じ分科会を設けそのことについては話し合う事が出来る。
1234	老弱男女を問わずあらゆる県民の層の代表が参加して熱意を持って話し合って欲しい。場所としては中流付近。例えば鴨島町、山川町などの公民館などどうか？。
1235	吉野川の周辺の事第一に考えるべきだと思います。(例えば10対1でも必要な物は必要)。
1236	何時、どこで、開かれるので出席というのでは多分出られない。自宅でインターネット、FAXなどで意見の出せる場所を。
1237	何でも多数決で決めるような場ではなく、専門家を多く集めてよりよくより高度な技術によりきれいな河川の構築を望みたい。特に下水道の整備を進めて汚れを川に流さないようにするのが先決と思う。今の吉野川は誰も美しくきれいな流れとはいえない。
1238	意見を活発に交わしてもらいたいと思う。
1239	私達の子供や孫たちが安心して生活できる水が流れる川にして欲しい。コンクリートなど使ったダム、護岸などは川の水は汚れることはあっても清流は望めない。川辺の小石や砂が青々とサラサラとした昔の吉野川を望んで県民一体となって汚れのない川に努力したいと思います。(例)那賀川のダムによる汚れは永久に消えない
1240	川には堤防を作るという方向で政策を進めていますが、この辺りで堤防の構築は中止に。遊水地帯としての場を広く保つ事が大切だと思います。太古の昔から大水及び洪水は総じて遊水地帯が解決してきている。建設省的川には堤防思想は中止して大自然的な水との付き合いの方向が必要のように思います。人の作ったものは必ず壊れるのである。
1241	川づくりは川の中で工事をするための計画でなく、人(生活)と川のかかわり方を本質的に考える場にして欲しい。
1242	人間にはそれぞれの個性により片より勝ちの意見と出会うことがある。なぜなら大学の学識経験者専門以外の方であれば小学校の先生なら小学らしく中学も同じく自分は先生であるのポリシーをもっている。それが悪いわけではないが意見を選ぶばかりで聞こうとしない体質を持っている先生とは鼻持ちならんが、学識経験者となるのはまたいただけない。私自身大学教授に馬鹿にされた事がある。私の言い分とするとそれ以外何にも知らんであろうその人でもそれのみで相手を馬鹿にするなんて私のほうが一般常識は教授より豊富であろうと思った事である。
1243	相手の意見に耳を傾ける姿勢で検討されるべき場であって欲しい。
1244	学識経験者(河川、環境)と流域関係者(利水者、漁業者、河川利用者、(各種団体)河川占有者、関係自治体、清掃活動団体)と河川管理者(国、県)の参加により運営する。検討内容を公表しアンケート調査等により、意見をまとめ河川整備計画に反映する。
1245	河川整備計画(原案)をだし流域住民の意見を聞き、学識経験者などに相談。吉野川の自然環境を損なわないように押しつけではなく公明正大な方法で対処して欲しい。
1246	行政と住民が一体となって協同参加参画するものにしていただきたい。
1247	原案作成から市民参画する。
1248	ご意見なし
1249	まず近隣の住民の話しをよく聞き意見をまとめる。その上でどんな対策が一番良いか検討する。
1250	住民の声を主体として行政はそれをサポートする。
1251	ご意見なし
1252	設ける必要なし。吉野川に費やす経費を、県市町村に回し、小規模水路の整備を実施すべき。
1253	責任を持って、決定したことは実行につなげられる場。
1254	ご意見なし
1255	何時までも水質が良く、美しい川であってほしい。心がいやされる川であって欲しい。環境を守って子供達も安全で親しみが持てるような川となって欲しい。
1256	ご意見なし
1257	ご意見なし
1258	ご意見なし
1259	ご意見なし
1260	例であげている意見をまとめる人が必要だと思います。
1261	誰もが参加でき、いろんな意見が言え、また、川についていろんなことを教えてもらえるようなわかりやすい場。
1262	一人一人に必ず意見を出してもらいその中で検討すべき、又問題点たくさんあると思います。意見に基づいての話し合いとなりますので、皆さんに聞き考える事が大切だと思います。
1263	参加するのに面倒な手続きや時間の制約があるのはマイナスなので、これからのブロードバンド化にともなうインターネットでのリアルタイムな電子会議のようなものを取り入れていくべきだと思う。
1264	決めた事を実行できる会。
1265	ご意見なし
1266	ご意見なし
1267	ご意見なし
1268	ご意見なし
1269	ご意見なし
1270	ご意見なし
1271	ご意見なし
1272	協力して吉野川の自然を守る場であって欲しい。

Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
1273	1.まず(原案)を流域住民に説明。その上で住民代表(数名)が学識経験者に原案を計る。2.その際原案の作成者、住民代表者、学識学籍経験者の意見と途中経過などを公表する。3.10人いれば10の意見があり(検討の場)で話し合う事は最大公約数であっても良いと思う。4.(案)の作成から以後も透明性のある事が大切だと思われる。
1274	ご意見なし
1275	川の安全にスタンスを置いての住民意見を反映するのであれば良いが、住民以外の関係者の声が大きくなるのはおかしい。また少数の意見に、川のことを充分理解していない人が誘導されがちになるのもおかしい。
1276	国土交通省にがんばっていただきたい。
1277	ご意見なし
1278	わからない。 誰でも出席でき、忌憚のない意見が言えるような場であってほしいと思う。またその意見には聞く耳をもってほしい。
1279	“川づくり”という言葉がすでに変です。川は自然にできるものです。上流に雨があればやがて下流に来ます。大雨が降れば洪水になり反対のときは水不足なる。これが自然だと思えます。人間が自分の都合で川づくりをしようとするのはおかしいと思う。特に河川整備計画に携わっている人々は自分たちの仕事のためとか経済的な為とかが一步先んじているように思えます。
1280	河川法にそって行うほうがよい。学識経験者、流域住民の意見を多く聞けば。
1281	まず人数が多く集まる事。積極的な意見が出て、すぐ行動できるような雰囲気を持った会であること。
1282	「イベント」のための川づくりはやめてほしい。
1283	ご意見なし
1284	ご意見なし
1285	ご意見なし
1286	ご意見なし
1287	ご意見なし
1288	ご意見なし
1289	ご意見なし
1290	ご意見なし
1291	ご意見なし
1292	法律に基づき、整備計画は行政が策定し、パブリック的な件について地域住民の方のご意見を伺うことが必要であると思う。安全性の確立のため、技術が活かされる様にお願ひし、条文に巾を持たせる事が必要だと思ふ。
1293	学識経験者、住民代表、環境保護団体、漁業者、水利権者などなどの意見が取り入れられる16ページの図は理想的であると思う。
1294	小学生や中学生からの意見も取り入れられるような場をつくれたらいいですね。
1295	ご意見なし
1296	誰でもが参加しやすくする事。
1297	ご意見なし
1298	ご意見なし
1299	第十堰では反対住民が多く、住民投票によって中止になったことは残念でなりません。流域住民でない吉野川に関係のない市民の方々への投票を優先したからだと思う。川づくりには流域住民の意見が最優先すべきである。多くの人の意見は参考程度でよい。
1300	ご意見なし
1301	案は地域住民に出してもらい、以降は官で作業を進め早急に対応して頂きたい。
1302	ご意見なし
1303	ご意見なし
1304	様々の意見をまとめてコンセプト作りをするためには皆が納得するような人格者のまとめ役が必要(有名人)。
1305	多面的な話し合いが出来る検討の場は是非必要です。
1306	思惑にとられない自由な発言が出来る場であってほしい。職務上の立場以外での本音の発言が聞ける場であってほしい。
1307	ご意見なし
1308	水利用と川の利用を区別することなく、利権がらみで考え、町、村のためと思う前に近くに生きる人のため、吉野川のために生かされていることに感謝して欲しい。確かに大水はいやだし洪水は人の生をも、もぎ取る。話し合う前にどこをどうするか、さすればこうなるだろう位意見を誠意として受けとめるゆとりが欲しいしそうあるべきだ。
1309	ご意見なし
1310	やはり住民の意見が反映される事が一番大事だと思う。同意見を大事に扱うように、少数意見も貴重に大事に扱って欲しいと思う。
1311	ご意見なし
1312	河川法にあまりとられないよう、専門家も必要ですが、地域の若者のご意見を聞いて欲しい。
1313	法をもっと弾力的にして多くの県民との対話をしてほしい。
1314	ご意見なし
1315	良識のある人格者で中立の立場で検討される様に望む。金儲けや政治的に利用にしたり自分のために行動する人がいるとよくない。又住民にわかりやすい言葉で情報公開し、説明すべきだ。例えば新聞に連載で吉野川講座の内容などとしてはどうだろうか(経費がかかるのであれば無理と思うが)。
1316	ご意見なし
1317	ご意見なし
1318	中立、透明性のあるように望みます。
1319	流域住民の意見を回覧などで求める。
1320	河川法に基づいて専門家と国が行えば良い。



Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
1321	まず小川からどの様にしたら良いか住民の意見を聞き、その土地土地の人の話をきちんと検討する会にしたら良いと思う。机の上や書類、統計の上での話し合いじゃなくて、その川をよく知っているそこに住んでいる人の意見を大切に作る会にしてほしい。
1322	ご意見なし
1323	住民に関心を持ってもらうためにも堅苦しい場ではなく、つまらないことでも自由に言える場であって欲しい。よく先生と呼ばれる方が中心になるのではなく、参加しやすい、言いやすい場でありたい。町内会的な単位でも良いと思います。
1324	ごく少人数で話し合える場(10人辺ぐらい)で、大勢集まっては話はおさまらないと思う。
1325	ご意見なし
1326	ご意見なし
1327	国、県、地元の人々みんなが集い長期的な保全と豊かな水を大切に利用する案を検討してほしい。
1328	ご意見なし
1329	ご意見なし
1330	机上の考え方だけではなく、人間生活の安全第一。
1331	ご意見なし
1332	できるだけ地域住民と触れ合う話し合いの場。
1333	ご意見なし
1334	運営は各人が自分でやる心組を土台にして、机上学術論は好ましくない。やはり昔からの出来事経験によって悪い事、困る事を改善していきたい。流域住民だけでなく真剣に考えてくれる人を参加する話し合う場を設けたらどうですか。河川法に及ぶ前の段階をもっと煮詰める必要はもうありませんか。
1335	ご意見なし
1336	ご意見なし
1337	流域住民の意見を出し合い、とりまとめて国土交通省で将来の吉野川つくりにしてほしい。
1338	ご意見なし
1339	ご意見なし
1340	地域住民の声ができるだけたくさん意見として出せる場となってほしい。子供から、大人、お年寄りまで幅広い人の関心を引く場になってほしい。
1341	ご意見なし
1342	ご意見なし
1343	ご意見なし
1344	流域全体で考える場。公平の負担。
1345	幅広い年代(子供から老人まで)の意見を聞いていただけるようお願いしたい。
1346	堤防の清掃を毎年3~4回しているが、参加している人達が年1回ぐらいは作業終了後(吉野川を大切に)等などの話し合いの場を作ればどうか。
1347	1全県的な場と各市町村単位での場をつくる。2高校生程度も参加できるように、土曜日や日曜日に行う。3意見の公表。インターネット、パンフレット、新聞での公表。
1348	上流、中流、下流域の住民が同じ目標に向かい、話し合える場にして欲しい。
1349	ご意見なし
1350	ご意見なし
1351	損得無しで本当に川のことを考えている人、本当に川のことを考えている人ひいては徳島県のことを考えている中立の純粋な方の場であってほしい。又住民だけでなく色々な立場の人の意見もとりまとめて、国とか地方にも堂々と意見とか言える人は絶対必要だと思います。
1352	ご意見なし
1353	大人だけの話し合いでなく、各年代の人(小、中、高生)なども含めた話し合いの場になってほしい。できるだけ参加人数が多い話し合いをしてほしい。
1354	各河川での地域別に分かれた各種代表者による会議を開催し、地域独自の利用の仕方、活用の仕方があると思います。
1355	フィールドワーク。あくまでも現地での説明会。机上の空論では前進しない!!。
1356	ご意見なし
1357	ご意見なし
1358	ご意見なし
1359	ご意見なし
1360	みんなの代表である県市町村の長議員、学識経験者。
1361	できるだけ多種の人(例えば地域、職業、年齢など)に参加して頂き、「川をいかに守っていくか」という事を大前提に意見を出し、行政と一体となって取り組んでいって欲しいと思います。そしてその話し合いの場をできるだけ多くの人にインターネットなどで公開し、意見を出し合い又検討する事をして、できるところから実行していく事が良いと思います。
1362	ご意見なし
1363	ご意見なし
1364	ご意見なし
1365	人間と川は古代より切っても切れない関係であったと思うので、形式にとらわれず自由に話や意見が言える場をつくること、又年齢も幅広くした方が良い。それぞれの地域から村おこしの立場で意見を出す方法が良いのでは。
1366	不正なく、川の水も運営も澄み切っている。
1367	川の環境を大切にしたい検討の場にしてほしい。生物(動、植物)を中心にしたものにしてほしい。
1368	学識経験者及び流域住民の意見を公聴会などで話し合い、最終的には、災害などがあつた場合の責任者である河川管理者側がまとめ決定すればよいと思います。みんなの意見を取り入れるとまとまらないと思います。
1369	ご意見なし
1370	すべての流域住民の意見の反映が一番だ。(一部でない)。それを学識経験者がどうまとめるかだ。
1371	ご意見なし

Q12-1.「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
1372	ご意見なし
1373	ご意見なし
1374	多くの人の意見を聞いて欲しい。
1375	老若男女あらゆる層の人の意見が尊重される場であって欲しい。
1376	これ以上汚さないために、ゴミを捨てるのを止めさせないといけないと思う。
1377	ご意見なし
1378	ご意見なし
1379	ご意見なし
1380	堤防などが切れても、関係のない人達の意見を聞き参考にするのはどうかと思います。
1381	ご意見なし
1382	ご意見なし
1383	流域住民の意見を反映できる検討の場をつくってほしい。
1384	いろんな方面の人から意見を出し合って欲しいです。
1385	できるだけ多くの参加者が出席でき、多角的な見方や様々な意見が出せれる場であってほしい。
1386	住民の意志を反映した公正な意見が必要です。
1387	計画の作成が柔軟であることを望みます。話し合う場が設けられても、意見を取り入れられないというのでは、困ります。
1388	川に携わって人の意見も尊重して。学識経験者や長などの人達よりよくわかっていると思う。会の情報を公にしていくべきだと思う。
1389	前回の可動堰のときは、ある意見を持っている人物をマスコミが大きくバックアップする形で、住民投票が行われ、可動堰を作ることを反対するのが正義であるかのような感じで、皆が引きずられていったように思えます。非常に危険な事であると思いました。たとえ嘘の宣伝でも百回言えば本当のことになるとヒラーが言ったかそのように思いました。検討の場があったとして公正な意見を持つ者がいたとしても、又このようなことになるとなら話し合っても無力感に襲われるばかりなので、そうゆう方向に向けない為には一体どうすれば良いのかと思います。残されているのは地道な話し合いだけなのでしょう。
1390	まず国の方向性の説明、国民に対し何を問いたいかが明確とす。国の整備の一貫性を説く。年内平成14年12月末にて閉じてください。税の無駄と取る。
1391	1吉野川の流域住民(団体等を除く、昔から住んでいる人が大切)の意見をもっと聞くべきである。2次に県や国の人の意見を参考にする。3反対団体は話し合う場に入れるな。
1392	ご意見なし
1393	県民の声を生かした場。
1394	中立。透明性。
1395	大きな声人の意見だけとか肩書きのある方の意見だけを取り上げるのではなく、子供達の意見、若い女性の意見、おじいちゃん、おばあちゃんの意見も取り上げてくれる場として欲しい。これ以外に、昼間働いている勤め人の意見も聞ける場であってほしい。
1396	ご意見なし
1397	ご意見なし
1398	ご意見なし
1399	ご意見なし
1400	ご意見なし
1401	ご意見なし
1402	各界各層から幅広い意見を求める事が大切。将来展望(100年、200年先など)に立ち、大所高所から判断できるまとめ役が必要。
1403	一番生活に密着した立場の人をより多く相談の場へ参加させるように。
1404	ご意見なし
1405	吉野川を愛する人々の素直な意見を多く採用するのが大切だと思います。特定の意図を持った人や団体の考え方に乗せられない専門家の活用が必要で。
1406	様々な立場の人が運営に携わって欲しい。話し合いがいつ、どこであるか、知らせて欲しい。話し合いの結果(解決、未解決)をすべて知らせて欲しい。有能な専門家の参入(治水)。
1407	みんなの意見をまとめ、その結果を公正に発表して欲しいと思います。
1408	民意と河川工学技術の立場で検討してもらいたい。決して政治や暴力を持ち込んでではない。整備計画が大きい場合は実現が困難となっているのではないかな。日本自体の体力がなくなっている。
1409	長い時間が必要では。
1410	皆が参加できるようなイベントづくり。
1411	ありとあらゆる年齢層の出席のもとに、それぞれの意見を統一して一番良い意見の出る雰囲気の間であればどこでもいつでも、といった場所が良い。
1412	書類による意見の集計。強引な人集めは駄目です。年齢が高いものは出席不能です。
1413	公共工事の思惑が入らないようにしてほしい。ランニングコストのかかるものは作るべきではないと思う。個人的にはできるだけ人の手は加えず自然のまま残して欲しいと思います。
1414	ご意見なし
1415	ご意見なし
1416	役人(公務員)や大学の先生だけの集にならないよう、地域住民の代表、漁師の意見も必要。ボランティア参加の若い青年の意見など尊重したい。
1417	参加者にはそれぞれの立場があると思う。私利私益でなく相手の気持ちを思いやり、吉野川(徳島県)を全国に自慢できる川にする話し合いであってほしい。
1418	水を守っていくことは、中央行政と違いよりは地域社会に根ざした問題なので「皆が話し合う場」については、各町内単位でミニ検討会を開いて(子供から老人まで歩いて参加できる範囲)広くみんなの声をくみ上げていく方が各地域での問題にも対処すべき、多くの人々がかかわれる時間をかけて計画を進めて欲しい。
1419	先に結論ありきでなく、公平にきちんと話し合える場であって欲しい。
1420	すべて公開の上で運営して欲しい。
1421	ご意見なし

Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
1422	話し合いの場については、中立で透明性があるのが欲しい。川づくりを話し合う場の運営についても公開してみんなの意見をまとめるシステム作りが必要。住民の意見を聞くための住民投票の方法も一つのやり方である。第十堰の可動堰化は県民、特に吉野川流域住民は反対が多いので将来の選択肢からこれを外して国と住民が話し合いの場にするべきと思う。国土交通省が可動堰に固執するなら流域住民に投票してもらって賛否を問えばよくなると思う。
1423	ご意見なし
1424	ご意見なし
1425	一般市民の意見が取上げられるような場にしてほしい。
1426	ご意見なし
1427	国、県、町、地域が共通理解の基美しい川づくりについて話し合えるような場を求めます。
1428	いろんな意見が自由に述べられる場。
1429	ご意見なし
1430	吉野川沿いの住民協議。
1431	ご意見なし
1432	計画段階から、流域住民の声を反映させる事が必要ではないかと考えます。片側通行的なプラン作成よりは良いかなと思うのですが、関係市町村単位、流域単位での意見交換を何度も設けるべきだと思う。確かにPR面でイベントは欠かせませんが、これからは対話重視の会を数多く設けるべきだと思う。
1433	住民意見の述べられる場。ダムを管理する企業も含め一緒に話し合いのできる場。
1434	学識も良いが、昔の山や川を知っている高齢の方の意見は重要だと思うので、河川法に基づき昔の意を聞くこと。
1435	ご意見なし
1436	ご意見なし
1437	平衡感覚のある人が話し合う場であってほしい。
1438	ご意見なし
1439	ご意見なし
1440	ご意見なし
1441	検討の場を設けるのに時間をかけると、結論を出した時には社会のニーズに合わなくなってしまう恐れがある。早く結論を出すようにすべきだと思う。検討の場には、色々な立場の人が参加されると思いますが、その時は反対の立場の方にごくまで譲れるかが、大切な要素になると思います。譲れる方を会のメンバーに選んで欲しい。
1442	情報がHPで見ることができたり、電子投票できるなど、広く発信して意見が言えたらと思う。
1443	ご意見なし
1444	川の水に関する地域住民が、一堂に会する必要がある。上流から河口まで支流があれば含めた地域、住民の全体を含める。
1445	ご意見なし
1446	ご意見なし
1447	中立で今現在の段階を何カ月おきに公表し、そのたびに皆の意見を得、集成しながら出来る場であってほしい。(テレビの存在も大きいと思うので、マスメディアを利用し、アピールして色々な人の意見を収集して欲しい。)学識経験者の人選も若い頃から現在まで、徳島で育った、もしくは徳島で生活してきたという方を選んで欲しい。(知識だけの方は遠慮していただきたい)。
1448	ご意見なし
1449	流域住民の声が届く場になってほしい。
1450	良くわかりませんが、反対のための反対意見がまかり通るような場であってはいけなと思う。
1451	検討の場に参加する、しないにかかわらずすべての人に平等に情報公開して欲しい。吉野川づくりに対する国の考え方、思想をまず流域住民にわかりやすく説明してほしい。河川整備(川づくり)を考える上で必要な一般的な知識を流域住民にわかりやすく説明してほしい(住民は素人であり知識に乏しい)。国は吉野川がどうあるべきであると考えているのか、それに対して住民はどうしたらよいかと考えているのか、川づくりに対して積極的な意見、消極的な意見など様々な意見をクリアーにしてそれらの情報をすべての人が共有できる状態で検討の場を運営していただきたい。
1452	気軽に参加できる様にし、あまり堅苦しくしない。自由に意見を言える雰囲気にする。
1453	住民の意見を反映。自分の利益や他人の意見や圧力などに惑わされることなく、真に吉野川のためを考えている場がほしい。
1454	1. 地方だけでなく、全国的シェアを持つ、マスコミ関係の討論。2. 国土交通省主催の技術者の研究発表、今何が出来るのか将来の構想。3. 小、中学生にわかる程度の講演、討論会。4. 学識経験者と流域住民、地方公共団体の長の意見交換会等も必要だが、これは理想論である。船頭多くして舟、山に登るとえだ。5. 私権は公共のために利用する義務があることを強調し、国土交通省の責任において作業を進める事が大切だ。ただ手段はソフトに「羊を鳴せずに毛を刈る」これも担当官の技術である。考える事は自由だが、一つ一つ実行しなければ無に等しい。
1455	流域の人々も参加すること。学識経験者はアドバイザーに徹すること。役所は結論を急がない事。あらゆるジャンルの人々の参加を広く求め制限をできるだけしないこと。県外の方にも呼びかける事。
1456	自分中心に考えるのではなく、豊かな川をまず守るということが一番に考えるのが良いと思う。
1457	ご意見なし
1458	ご意見なし
1459	ご意見なし
1460	ご意見なし
1461	川を綺麗にして、多目的に利用しあえて、第一印象をよくしてください。
1462	ご意見なし
1463	中央、上流、下流域等地域に分けての意見。自然環境の専門家の意見。まちまちと考えられます。
1464	学識経験者等と県民(流域住民に限定しない)。
1465	ご意見なし
1466	日本の川を知って、知識のある人の話し合いの場であってほしい。
1467	小学生など、10代の人も多く参加でき、囲いのない場であってほしい。



Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
1468	短期、中期、長期に区分した検討の場が良い。短期は1から5年程度で実施できる、参加できること。中期は5から20年程度で今参加している人々が実施、参加しようと思うこと。長期は20年から次にバトンタッチするようなこと。よって理想を目標にしつつ、実現可能なものを探していくような場が良い。
1469	私は大勢の前へは行けないけれど、陰で話を聞き考えたい。以前から三好郡の川と山それは宝であり、何か有効に使用できないものかと考えていた。私個人として憩いの場としたい。夏には川に行く、弁当食べて山、川の美しさにふれ、スケッチをして今を残したい。
1470	河川の重要性についてもっと啓発すべきでないのか。
1471	限られた人つまり学識経験者だけでなく、あらゆる職業人から検討委員を選ぶべきであると思う。徳島市で過去に行った住民投票での結果が説明している。
1472	河川法ばかりを表に出さず、地域住民の意見を多く取り入れたい。気軽に発言出来る場として欲しい。
1473	皆で川づくりを話し合う場は、まずこれからの問題に高い関心を持っている人々がNPOや市民団体を作り枠組をつくるとともに、多くの市民を引き込めば良いと思う。もし話し合いなどが収束しなければ、そのつど住民投票を行ってより多くの市民の意見を反映させる。
1474	ご意見なし
1475	その地区、地区の住民の意見を参考にして川づくりをするのが一番適当だと思う。
1476	ご意見なし
1477	皆が上流から下流を見学し吉野川を見て話し合う場。
1478	国会を国民。検討の場を流域住民、地域住民、関係市町村(報道関係に参加をお願いし、明確に新聞、テレビ等に報道)一検討内容の透明性を確保。目的計画の明確化。
1479	管理者と市町村行政と民間(産業界学者、住民団体)の最も良い意見が集約できる組織をつくってほしい。
1480	ご意見なし
1481	普段着で誰もが気軽に集まり、話し合える場にしてほしい。
1482	ご意見なし
1483	ご意見なし
1484	ご意見なし
1485	なかなか自分から話し合いの場に行こうと思う人は少ないと思うので、気軽に誰でもが参加できる様な場所作りを工夫してください。子供達が参加できるイベント等と合わせて開催するなど。
1486	遊びを知っている人の集まり。それを支える専門家集団との会。
1487	ご意見なし
1488	ご意見なし
1489	本当に自然のことを大切に思っている人が必要だと思う。
1490	ご意見なし
1491	主に流域住民の意見反映することが第一。なんでも事業の為の河川整備はいかがなものか。
1492	川や山の学識経験者、地域住民、下流域住民、農民、漁民、子供、旅行で立ち寄った観光客など広く皆の意見を集約して河川整備計画をする必要があります。
1493	河川法に従い、流域住民、山林所有権者等が水に関する問題等を広く話し合うことが大切でしょう。
1494	ご意見なし
1495	過去建設省が住民の意に反して行ってきた工事事業が環境を破壊し、何の為の国の事業かと…。又、絶対大丈夫と言い切ったものの大変な結果を生じて取り返しの付かない状態が多く発現している。その責任すら取れないでいる。公明、正大、透明性のある意見交換の場でありたい。
1496	ご意見なし
1497	大人も子供もともに吉野川で安全で楽しい水遊びの場であることが大切です。美しい水の豊かな吉野川であってほしいです。
1498	ご意見なし
1499	様々な意見が融合され、夢のある新しい意見が生まれる場。
1500	現地で各市町村の代表で。

Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
1501	ご意見なし
1502	より多くの人々が参加することが、望ましいと考えます。今の若い人々(小、中、高、大学)の学生はあまり関心がないように思えます。特に徳島文理大学などで講演会を行ったりするのはどうでしょうか。
1503	今の各地域、地区の農産物生産の実態を本当に、これまでの会議の議論の中で検討、反映されたのか疑問に感じます。会議に参加した学識経験者や住民代表者などはどのような基準で選ばれたのですか。現場の事情をよく知っている生産農家やJA組合長、または土地改良区やJA中央会、全農本部など多くの識者の意見を聴き取る必要があると感じます。また農業大学校や農業高校の生徒、教職員なども県内農業の実情をよく知っているはず。もっと多くの人々に目を向けて本音のプランを構築して欲しいと思います。
1504	ご意見なし
1505	多方面からの情報が得られる場であって欲しいです。あと世界の取り組み状況を生の声で聞ければ。
1506	気楽に意見を言える場であってほしい。(通常は堅苦しいので本当の意見が言いにくい。)
1507	ご意見なし
1508	広く深く全員がなるべく納得のいくように意見を集約出来る場。
1509	ご意見なし
1510	透明性が必要。
1511	ご意見なし
1512	検討の場以外に県民の10分の1くらい無作為のアンケート調査も必要。
1513	吉野川流域住民の方や直接吉野川にかかわっている人の意見を尊重してください。
1514	ご意見なし
1515	ご意見なし
1516	住民皆で考え、皆で環境作りをするように意識を高めるような場を持つ事。小学生から老人までを含めた場。エコロジストなどの意見を聞く。
1517	ご意見なし
1518	ご意見なし
1519	漁業組合、カヌー等のスポーツ愛好家を支えて、最終的には、国会議員さんにも参加してもらって、話し合っていける場であれば良い。
1520	学識経験者等および流域住民の選定に疑問が残らぬよう検討してほしい。
1521	河川の整備は安全のために必要であり、交通問題も考えて有効な利用を考えてほしい。自然を残すのも大事だが、何もしないと安全とはいえない。
1522	話し合いの内容が不透明でないことを希望します。内容等は何らかの方法で知らせてほしい。
1523	ご意見なし
1524	公開討論会。(自由参加が出来るような場。)
1525	皆が納得するように。もめごとがないように。
1526	関係団体の代表及び漁業、農業、行政、青年、婦人、環境、老人、舞中島、善入寺、土地改良区など20名程度。
1527	この話し合いが無駄にならないようにしてほしい。
1528	ご意見なし
1529	ご意見なし
1530	河川管理者がきちっとした理念を持って議論できる場。
1531	ご意見なし
1532	検討は時間との戦いと思う。意見集約のためのルールを確立して議論の後戻りのない場であって欲しい。早く対策をやってほしい。
1533	ご意見なし
1534	ご意見なし
1535	自然と安全を両立させる方法を話し合って欲しい。
1536	ご意見なし
1537	皆が意見を出しやすい場。
1538	なるべく自然の場を残すように、みんなで話し合う場。
1539	ご意見なし
1540	ご意見なし
1541	いろいろな意見が言えるものがよい。一箇所に集めて話し合うのも良いが、まずはいろいろなグループ分けをして話を行い、それからいろいろな意見を吸収してはどうかと思います。今ある環境団体等の方々が集まると、今までの経緯から自己主張が強く、話し合いにならないと思います。子供から老人まで、いろいろな職業、いろいろな趣味の方が「川をよくする」という観点に立って話し合いを始めればよいと思います。今の吉野川で性急にする必要は余り無いので、ゆっくりと話を進めていけばよいと思います。官主導はあまり良いとは思いますが、官が世話していき、話を進めていく事が良いと思います。
1542	各地域でサークル的な会合が下部にあり、その代表が全体で話し合う場であって欲しい。
1543	本音で話し合える場であってほしい。理想と現実のギャップをどこまで詰めていけるか等。
1544	ご意見なし
1545	ご意見なし
1546	ご意見なし
1547	徳島県民の各層の意見が反映される。
1548	ご意見なし
1549	ご意見なし
1550	自由な討議(中立)。透明性(公開)。
1551	単に意見をいう場でなく、言った意見が河川整備計画(案)に、ちゃんと反映されているか検証を行う場も併せた場とすべきである。
1552	現在河川整備をどの様に計画しているか、それさえもわからない。もっと周知すべきである。
1553	透明性が必要(議事録など)編集無しで。(住民の意見がどのようになるのか。学識経験者はどのような意見などを言っているか。)
1554	いろんな立場の人の意見が公平に反映される場であってほしい。また話し合いの内容を周知してほしい。

Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
1555	ご意見なし
1556	役所主導でなく、一般多方面の人語り場。自由発想の場。提言重視。
1557	小さな意見でもきちんと耳を傾け取上げてくれるような場。
1558	住民の意見が十分くみ上げられる場であって欲しい。
1559	ご意見なし
1560	各町の実情にあった計画、構想などを話し合えるようにする。
1561	流行や利害にとらわれず、まじめな意見を議論する場であって欲しい。
1562	ご意見なし
1563	理想論ばかりを追求するのではなく、現実を見極めて行って欲しい。
1564	利害にとらわれず、中立的かつ幅広い意見の集約の場であって欲しい。
1565	ご意見なし
1566	広く一般の意見が取り入れやすい場。例)このアンケートのような形式。
1567	ご意見なし
1568	ご意見なし
1569	ご意見なし
1570	開かれた場にして欲しい。
1571	一部の特殊な考えを持った人が全体の方向性を誘導する事のない場。「衆愚」にならないように。但し、いろんな考えを持った人の意見を広く聴くことが出来るような方策は必要(メールの活用等)。耳当たりの良い言葉に流されない場に。(例、「税金の無駄遣いは止めさせよう」、「自分達で決めよう」等々のスローガンは皆の心にスッと入り込む。しかし、その結果に責任を持たねばならない事に気がつく人は少ない。洪水対策に税金を使わないと決めた人は、洪水で家が流され、借家に移ってローンのみ払い続ける事を覚悟した上で決めねばならない。(その時になって災害補償を税金で頂戴などとは言えない。)
1572	ご意見なし
1573	特に川の利用者(水道、農業用水、漁業、高水敷の利用自治体 注:片寄った意見となるからで)の意見を優先しない事が大事です。吉野川は源流から河口まで流域に住む人全部のものだからです。地区ごとに直接住民に出張先単位で聴くことはできないでしょうか。
1574	ご意見なし
1575	川だけでなく、徳島の自然をこれ以上汚くしないよう前向きに話し合える場にしてほしい。
1576	ご意見なし
1577	徳島県の人だけでなく、構成メンバーに他県の人を入れる(他の大きな河川を所有している県を参考とするべきだ)。
1578	ご意見なし
1579	セメントや鉄のかたまりの見える川ではなく、自然のままの姿に見える形の川づくりが出来るように話し合っ て欲しいと思います。
1580	いろいろな人々の意見を出し合っ て、どうやったら調和のとれた川づくりが出来るか、お互いの主張をいつまでも言っ ていても良い川づくりは出来ない。お互いに譲りあえるところは譲り合い、バランスの 取れた川づくり ができるような場が必要です。
1581	国が国として例えば吉野川を国民のためこうすると決めたことに何の意見も無かろうと思うが、(決めたことが最善の策ならば)とすれば、住民の意見を前段として聞いてやるのも一つの方法かなと思われる。ただ住民が「イラン」と言っ ても国として必要と考えるなら実行すべきと思う。
1582	皆の吉野川、ただ自然が良いと言っ ても川の直近で住み、もし氾濫をおきた時被害を受ける方々の意見を主に検討するの が必要で、全く災害を受ける心配のない方々の意見を平等に意見として尊重するの はいか がと思う。
1583	ご意見なし
1584	イベントの中にセミナーを取り入れ、自然に対話が出来るようにしたい。
1585	直接意見の交換ができると共に、インターネットなど忙しい人の為に参加しやすい場を提供して欲しい。
1586	主に、住民意見を取上げるべきだと思 う。
1587	正確な情報に基づいて、議論出来る場であるべき。偏った意見や、こうでなければなら ないという決めつけ でなく、将来の吉野川の姿を真剣に議論するべき。
1588	「検討の場」が出来た事をこのアンケートで知りました。この検討の場があることが多くの人が知るようにPRを もっとすべきではないでしょうか。
1589	目先の事だけでなく、長い目で見 る事の出来る人が必要だと思 う。
1590	生物学に詳しい人の意見を聞きたい。
1591	ご意見なし
1592	ご意見なし
1593	ご意見なし
1594	公平中立な場。
1595	いずれもあまり信用できない。川は自然に、色々人間が人工的に何かすることは個人的に反対。防災等や川の活用は最小限で良い。
1596	ご意見なし
1597	やはり何を言っ ても検討場所付近に住む地元の人 の意見が第一なので地元の人達とじ つくりと話し合っ て 欲しい。
1598	世論(特にマスコミの論調)は、環境とか自然保護等の「耳障りのいい言葉」に偏りがちであるが、利水、治水も含めてトータル的な意見が言える場であってほしい。
1599	住所(吉野川の上流、下流等)性別、職業、年齢等の制限がなくあらゆる人(代表)が参加できる場。
1600	ご意見なし
1601	町内単位で、この問題を話し合える場をつくりそのグループ毎に意見を集約する。吉野川本流域の住民だけでなく、支流域または上流域の人々を参画させてほしい。



Q12-1.「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
1602	言いっ放しで終わって欲しくない。そこで発言する人は勿論、責任を持って発言してもらい、その後の川に対して損害賠償を行う気持ちで望んで欲しい。周りの取り巻きにしても、そこで決まったことに対して反対であっても従い協力して、発言した人をサポートするような場にしてほしい。結果、川が良くなったなら発言者(実行者)には評価を与えるべき。長期の計画では、結果はすぐには出せないために評価は難しいが、一度決めた以上信じて実行を続けるか、修正するべき点は直ちに修正するなどハッキリした方針で行うべき。
1603	ご意見なし
1604	ご意見なし
1605	良く分からないけど、取り合えず住民の意見を良く聞き入れて無理な結果は出さないでほしい。
1606	ご意見なし
1607	各地域の住民によって川に対する思いが違っている。山村で住む人々、都市部で住む人々によって、水の利用の仕方が大きく違っている。国土交通省主催の公聴会を多く開催、またPR活動を住民に積極的にしてほしい。
1608	ご意見なし
1609	様々な前向きな意見交換をしてほしい。川がどれだけ大事なのかという事を。
1610	人はそれぞれ違った意見や考え方を持っています。一人の考え方が通るのだけは絶対あってはならない。権力にものを言わせるのはもってのほかである。皆の川である。意見をまとめるのは大変難しいが何らかの解決策はあるはずである。何でも言える場であってほしい。
1611	見識者も交えて、地域住民が参加し討論できる場。偏った意見や感情に流されず知識と正しい判断に基づいた進行ができる人が必要!!
1612	一方的な考え方の人を集めずに対立する意見の人も同じ場で話し合ってもらいたい。話し合いの場は、テレビカメラなどを入れマスコミに開放して欲しい。他の場所での失敗例なども話す人を呼んで欲しい。(ダムの建設で漁業がダメになったとか、砂がたまってダムが使い物にならなくなったとか)
1613	吉野川全流域を管理する国土交通省徳島工事事務所管理者は、河川管理施策に新制度により地域住民の意見を重視するあまり、公共事業が遅延傾向にある。十分計画策定を反映させて決定してゆくべきである。
1614	ご意見なし
1615	国土交通省主催のイベント、会議時等を活用して水辺の人々だけでなく住民のあらゆる層からの種々の意見を話し合い、本当に日本の大切な自然を後世に残す方法を模索すべきである。
1616	C. 住民の意見。
1617	ご意見なし
1618	
1619	中立。透明性。
1620	生活に密着した課題を検討するにふさわしい人選が最重要である。専門的知識や技術論も必要とするケースも多いと思うが、積極的に活用を求めべきだ。単に議論だけのダラダラ会はだめ。
1621	まず人間最優先でなく、自然、生き物とかどの様にしたら共生できるかということが基本の姿勢であってほしい。
1622	水道水の水質を第一にして、安心して飲める水道水を確保するため可動堰は絶対に作らないという事が前提。土建屋は話し合う場に入れないことも前提。
1623	ご意見なし
1624	活発に意見がでてほしい。又検討の場で今回はどういうことを話し、どういう結論に至ったかを分かりやすく説明できる様な検討の場であれば良いと思います。
1625	今回は吉野川の場合であるが、何にせよ新しい制度を設けようとする時は反対意見が必ず出る。例えば水源税が挙げられるが、少なからず住民の中には「なぜ、そんなもん払わなあかんのな？」と言う人もいる。このような人たちにはその制度の導入に対する情報量の少なさが起因している場合がある。そのために「検討の場」はその制度に関わる情報を利点・欠点に関わらず開示する場であることを望む。
1626	堅苦しくない様な場であれば全て良いと思う。
1627	世代の違う人が集まり、それぞれの意見を判断できる場であって欲しい。独身から家族を持った人、また老人等。
1628	ご意見なし
1629	ご意見なし
1630	一般の方々(利害関係なし)(地域区分なし、老若男女、専門家)→一般の代表、学識者、管理者→意見の集約、ビジョン作成→一般の方々(利害関係なし)
1631	河川管理者、地方公共団体の長、学識経験者、流域住民が話し合う場。
1632	ご意見なし
1633	ご意見なし
1634	第十堰の問題から県民の関心が高くなってきて、皆が意見を出すようになったことは喜ばしいことだと思うが現在でも反対派、賛成派が別れて話し合うことに抵抗があるように見受けられる。現在の様な状態では可動堰の賛否の双方に別れ、お互いのフランクな話し合いの場が持てないのではないかな。もっと原点に立ち帰って、資源(水資源、漁業資源、観光資源、自然環境)としてのあり方、防災対策としての在り方から話を進めて、可動堰の問題以前に戻らなくては住民の話しは進まないと思う。
1635	学識経験者等と地方公共団体関係者等と対等もしくはそれ以上に流域住民の意見を尊重してもらいたい。熊本県の川辺川ダムのように中央官庁(この場合国土交通省)のゴリ押しで何が何でも計画通り実施せねば・・・というような態度は勘弁願いたい。
1636	広く皆の意見を聞ける場。上から圧力などかからない場。
1637	流域住民、学識経験者の意見が何時でも見れる状態を作る。HP、広報紙、新聞に生の声を載せる。TVでの公開討論もいいかも。小学生から年寄りの意見をよく聞く。
1638	現在吉野川は不法投棄が多い。これをいかに阻止するか。また1ヶ月に1度か3ヶ月に1度位、ボランティアを募ってごみ掃除をしてはどうか。
1639	Aさん。Cさん。
1640	透明性の確保。地域住民の意見の尊重。
1641	全ての情報公開が前提。

Q12-1.「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
1642	従来の手法ですと、用地関係者だけに説明を行い、工事を実施するだけであったが、今後は住民の意見を反映することとなった。住民は今まで関わりたくてもそうはならなかった訳で、いきなり話の場を持つと言っても鳥合の集でまとまりにならないのではないのでしょうか。川に対する思い入れとか、河川工学の知識とか、過去の言い伝えとか、川にどれだけの意識を持っているか。人によって、温度差がかなりあると思う。「検討の場」ではあらゆる立場の人が、吉野川に対して知識を持った人が集まって話し合うこととなるのですが、その人選の手法をどうするか。過去の経歴や作文などによるか。①氾濫区域を知らせて、住民の自治に任せる(河川整備計画は作らない)。②氾濫区域から外に出て行く住民に補助金を出す。③避難を第一に考える。④堤防はいつ壊れるか分からないことを住民に知らせる。(超過洪水)
1643	住民の意見も充分反映できるような民主的な会議にして欲しい。
1644	小さい頃は遊び場でも大人になるとどうも縁遠くなり、ニュースなどでたまに目にするくらいでした。整備事業や色々な案など、一般の者には分かりにくい情報がその大半です。そこで、実際に話し合いに参加できない人たち(子供を含む)の意見などをこのようなアンケートなどで集め、参考にするのも大切だと思います。私は小さい頃に家族でお弁当を持って水遊びに行った風景がいつまでも残っていてほしいです。難しい計画などはわかりませんが、そう思います。住民1人1人が思う吉野川に対する思いが、話し合いの中で取り上げられることを望みます。そして私たちも何か参加しているという意識が川を守ることにもつなげるのではないのでしょうか?
1645	ご意見なし
1646	ご意見なし
1647	この検討会が有効に機能し、意見が反映されるように。
1648	ご意見なし
1649	ワークショップみたいにはじめは小さな塊で議論していくべき。時間はかかるけど。
1650	本当に住民意見が反映されるのか疑問である。要望とかはやっぱり聞いてもらえんのですよ。
1651	様々な分野の学識経験者及び利害の相反する流域住民で構成しその場から河川管理者に計画案を提案できる力を持ったものにして欲しい。流域住民はそれぞれの立場を理解し合い、一つの考え方にこだわらないよう努力して欲しい。そのためには吉野川が河川、農業、森林など広範囲の分野のことを十分学習してもらいたい。
1652	学識経験者の意見も大切とは思いますが、吉野川と共に一生暮らしていく地域住民の声が大切だと思う。全国各地に河川はあるが、それぞれ地域によって違うのだから。行政の立場も理解できるが、ゆっくり話し合っただけで欲しいと思います。
1653	ご意見なし
1654	ご意見なし
1655	学識経験者ばかりでなく経験の多いお年寄りの意見も聞いてもらいたいです。
1656	ご意見なし
1657	色々な分野の人から意見を求めるようにして欲しい。
1658	地場の農業などの産業(いわゆる地場産業)の振興のために、いつまでもきれいな水と水量が確保されるための公正・公平な検討の場であって欲しい。
1659	住民の意見が活かされる場であって欲しい。又学識経験者の方の多くの参加を期待します。
1660	ご意見なし
1661	ご意見なし
1662	住民の意見や提案が可能な限り実現していくようなシステムになれば良いと思います。
1663	安全でごみのない美しい川を目指した検討の場であって欲しい。
1664	いろいろ話し合いがもたれるが日程、回数は無制限として結論が出るまでやるべき。前もって検討の回数を決めてやるのはおかしい。また建築費用は知事が出すのではない。徳島県民と日本国民全員が納めた税金によるものであることから県民、国民の総意が反映されなければならない。
1665	ご意見なし
1666	流域の教育機関(小・中学校)で吉野川講座を開き、研究する必要がある。
1667	上流、下流の住民の本音をできるだけ多く聞くこと。
1668	地域住民の大勢の意見、少数の意見も加味した検討の場であること。
1669	ご意見なし
1670	ご意見なし
1671	ご意見なし
1672	ご意見なし
1673	特になし
1674	ご意見なし
1675	ご意見なし
1676	ご意見なし
1677	ご意見なし
1678	自由闊達に発言できる場。(職業に関係なく耳を傾けてくれるような場。)
1679	ご意見なし
1680	ご意見なし
1681	イメージ図にあるような場。
1682	ご意見なし
1683	業として社会的に認められていない人達の権利から発生する利益を得ようとする不心得な人達を除いた場としてほしい。例えば漁業を業としていないにもかかわらず権利から利益だけ得ようとしている人達(業としていないなら確定申告をしろ!!)。
1684	学識経験者を集めるにあたり、行政の都合のいい人を選ぶのではなく、色々な考えの人を偏り無く選ぶ。今後長く吉野川と関わっていくであろうと考えられる若者からも話し合いに参加してもらおう。最初に各委員のより良い吉野川への施策、アンケートからの提案を出し、各施策提案のランク付けを行い、実行目標年を決定する。全ての会議において議事録を作成する。地方公共団体の長の意見はあくまで意見として受け、検討の場の決定が優先されるべき。そうでなければ検討の場の行動が無意味になる恐れがある。河川整備計画というものは100年の計であり、住民の意見を重視すべきである。

Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
1685	ご意見なし
1686	よりよい吉野川づくりアンケートも十分参考にしてもらいたい。
1687	ご意見なし
1688	ご意見なし
1689	話し合いの場について住民の意見を取り入れ、住民アンケートをとりながら整備計画の作成をしていったら良いと思う。
1690	地方公共団体長の意見より住民の意志が大切である。
1691	河川整備計画＝ダム(無駄)等のハード整備であってはいけないと思います。河川を多方面から利用(遊びも含めて)する方法等(イベントでは駄目)も検討してほしい。そのための施設ならばOKです。やっと思い始めたソフト事業(案内看板等の設置)を行って欲しい。
1692	ご意見なし
1693	地域住民の意見が反映されるような組織体制作り。
1694	ご意見なし
1695	自己主張するだけではなく、協調するような話し合いの場が必要。上流の人の意見だけ、あるいは下流の人の意見だけが通るようでは困る。一方的な主張が通るようではいけない。自然を守ることも大切ではあるが、洪水のことも考える必要もあり、また水資源の活用(工業用水etc)も考える必要があり、バランスが第一である。
1696	検討の場であるのだから、自分の意見を他人に言える場である事を願います。それから少し川づくりという観点からズレていようと、その人の意見は意見として受け入れる場であって欲しい。また自分の地位や肩書きは取り除いてほしい。つまり、それぞれ一人が平等に話し合えることを望みます。
1697	形だけの話し合う場でなく、広く一般住民の参加を要求。
1698	学識経験者の選び方ですが、一人が重複(公共の会)して関わっている場合が多いので、①現在や過去で選出されていない、②一部の人には交替してもらおうなど考慮。
1699	原案をもとに専門家、政治家、住民代表がフランクに話し合ってよりよい吉野川の今後のあり方を討議すること。ただし、その間のプロセスは公開、透明、自由な雰囲気が必要。始めに行政の姿勢や案があり、そこへ引きつける手法ではいけない。
1700	ご意見なし
1701	流域住民等の吉野川を良く知っている人が中心になって検討してほしいと思います。
1702	検討する人の公募。
1703	学識経験者及び公聴会による住民意見も良いと思うところはあるが、時間が長かかすぎ、目的である整備が遅れ遅れしている。話し合う場については、後退することなく前進する場であってほしい。後退とは一からデータの取り直し、話し合う場での意見のどうどう巡り等意見を聞く場が多すぎる。
1704	直接吉野川に関係のある方々の参加が良いと思う。例えば、東京、大阪、阿南、木頭など直接関係のない方々の意思が強すぎるように思う。
1705	行政担当者、学識経験者(専門家)、地域住民(流域)、漁師、環境団体、企業、老人、婦人及び学生、児童の参加による検討の場。
1706	ご意見なし
1707	各市町村単位そして、吉野川フェスティバルのような場所ですでにたくさんの人を集めてフォーラムをしたらどうだろうか。
1708	ご意見なし
1709	ご意見なし
1710	県民の検討結果が施策に反映される検討の場であってほしい。
1711	学識経験者という馬鹿な者達の集まりで、机上論をいうのではなく遊漁者、体育協会、地域住民を抽出したくさんの意見を聞き、温故知新の精神を持って検討する。昔は阿波麻植中央橋から川底の石、魚が見えるほどきれいだったし、水量も多く深かった。
1712	以下特になし
1713	ご意見なし
1714	学識経験者、地方公共団体の長、消防関係者、用水管理、理事会員(例えば北岸用水理事など)、吉野川ボランティア員、河川愛護モニター員、流域住民等々、幅広く上流から下流まで地区を分けて年に数回話し合い検討の場を持つ事。
1715	検討の場については気軽にものいえる場にしてほしい。また地元の意見も吸い上げる場にしてほしい。委員については、中立の立場をとる人が良く、地方公共団体、各種団体、企業等の代表者の方々、一般住民代表者等が良い。
1716	子供の意見を反映してくれる場。
1717	住民の意見が最大に反映される場であってほしい。
1718	自由に意見を交換できる場である事は大切であると思う。しかし、個人的な意見が中心になってしまい、公共性がなくなるような場になる事があっては困ると思う。何が皆のために一番大切かを考えられる場であってほしい。
1719	吉野川を守るためには、政治家や地方の有力者に左右されず、住民の意見を反映し地域住民の吉野川でありたい。
1720	ご意見なし
1721	いろんな人の意見が集まる場であつたら良いと思います。
1722	ご意見なし
1723	ご意見なし
1724	都市、山村などの流域住民の生命や財産を災害から守らないといけないので、中立、透明性などが大切だと思う。又、効率的な運営をしてほしい。
1725	各地域で話し合いの場をつくって欲しい。
1726	ご意見なし
1727	公聴会の開催等による住民意見の反映。学識経験者。
1728	ご意見なし
1729	私は透明性が大切だと思う。



Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
1730	政治がらみでなく、土建屋の言いなりでなく、心から川を思う、愛する人達にこそ加わってもらって話を進めて欲しいと思う。自然を壊すためではなく、守るために。住民投票の結果を無駄にしないほしい。無駄な税金の浪費は止めて欲しいから。
1731	各町出身者によって(5から6名)立案。検討。国土交通省が認可する。
1732	今日の前にあることから解決できる場。
1733	ご意見なし
1734	Aさん。Bさん。Cさん。
1735	①吉野川に面している、町村自治会にお願いし、住民に吉野川の意見を聞く。②又、自治会で住民意見をまとめて検討。③自治会で3～5人の役員さん新設しゴミ、不法投棄(川面)などお願いする。不法投棄は夕方、土、日、休日など見られる。④吉野川に通じる道を年1～2回美しくする(雑草、雑木など整備する)。⑤道を美しくしていれば不法投棄はできない。
1736	過去の公聴会の「欺まん」性の反省がない。統括後再出発しないと事務所の信頼は取り戻す事が出来ず、以後の計画もうさんくさく見られる。
1737	老齢のためわかりません(83歳)
1738	行政の意見でなく、生活をしている人。農業・川で生活している人。一般主婦の人を沢山(%としては多いので)の比重でもっといい易い意見発表の場をもって欲しい。
1739	私の家は、河口に近い所で毎年台風に見舞われその都度ゴミが大量に流れ出て、テトラに流れ付きます。27日の新聞に支流での清掃活動しているという記事が有り今年はいくらか少なくなるかも知れません。堤防の道路へ、夜ドライバーが飲み食いした容器など散らかし捨ててあり、ビンなど割れたら危ないので掃除する事もあり、これを少しでも止めさせる立て札、川に降りる段に手すりを取り付けるようにしてくれたらと思います。奉仕活動の立て札600m～800m～600mと立っていますが、掃除に来て戴けたら有りがたいです。色々思う事がありますが、上手に表現出来ず御免。
1740	流域住民の範囲を明確にし、期限を定め多数決の精神でまとめる。いつまでも“ダラダラ”やらない。
1741	より多くの人が意見を述べやすくする必要があると思う。そのために今回のような新聞を利用するのもよいし、ホームページを作成したり、世論調査や住民投票を行ったりするのもよいと思う。
1742	ご意見なし
1743	住民意見の反映方法として、地方公共団体の長の意見とありますが、日頃から町長等が河川についてどう考えているかわかりにくい。流域にこだわらなく住民(誰でもみんな)としてほしい。
1744	学識者や企業側の、特に経済効果を考えた話に向かないよう、もっと生活感ある話し合いを求めます。もう少し哲学的な発想ができないものかと思えます。ただの主婦の一人ではありますが、やはり科学的な数値での証明など絶対的に正しい事実があるでしょうか(貴事務所に限ったことではありません)。これだけの山地等の環境があったからこそ、吉野川が生まれたのでは。都合のいい事も悪い事も全て公表していただくことを望むこと「話し合った」という結果を残すための話し合いにならないことを願っております。
1745	議論百出おそろくまとまらないであろう。地区住民でなく、関係外(外野)が多すぎます。
1746	検討が生かされる様な場。
1747	官と民と住民と全ての意見をつぶさず、なお且つ監査的な人を立ててほしいです。そうでないと“住民反対”などのプラカードが川のほとりに立つと思えます。
1748	第1に学識経験者と流域住民による検討の場を設立し、その後流域各市町村に分科会を設立し討議する。利水地域、治水重点地域に分類して、各市町村によって、利水・治水のかかわりが違っている。治水に関係のない市や町村が治水のことをとやかく言うのはおかしい。だから間違った方向に結論が出てしまうので最も関係の深い問題を検討してもらう必要がある。従って北岸のように利水・治水にも関係の深い所は両方の分野で検討してもらうことが必要だと思ふ。
1749	検討の場には、吉野川の水を使っている人で構成すること。つまり農業用水5割、工業用水3割、水道水1割、吉野川の水を利用していない人1割の割合が良い。
1750	広い立場で意見を聞き、上流～下流域の多くの意見が生かされる様に。
1751	自然をこわしてまで必要とは思わない。徳島県人の心のふるさとを守り続けてほしい。
1752	検討の場がかたよりすぎている。もっと地域で呼びかけをし、学生や子供の意見も考慮しながら進めてほしい。
1753	四国4県の川を見歩き、川についての討論会などを開き、川と共に生きる認識を持てる話し合う場となつてほしい。川を美しく、また守って行く事に市民が何が必要で何が出来るか。出来る事からまず参加。
1754	ご意見なし
1755	知識人が話し合うことは良い事だと思いますが、一部の反対運動家に左右されない様願いたい。
1756	吉野川の恩恵を受けている。各地域の方々が、自由に想いを語れる場。
1757	オートキャンプや釣り大会など、人が大勢集まるとすると川の本来の姿を壊したり、工事することになると思うので、催しや受け入れは整備された場所で行うべき。自然をつつき壊さないように守って欲しい。そんな意見・助言の場。
1758	上流・下流と割り切るのでなく、吉野川一本として考えてほしい。
1759	ご意見なし
1760	ご意見なし
1761	ご意見なし
1762	正確な情報を住民に提供したうえでPC方式で、但し原案は選択できるよう複数ではどうだろうか。
1763	ご意見なし
1764	今、何かと「・・・を考える会」等、市民団体の声大きいのが、所詮好きな事をアピールしていると思える。やはりこの場で国土交通省は、より建設的な案を先行し実行に移すべきだ。災害はいつまでも待ってられない。
1765	ワークショップを開催して、地域住民の意見の集約。情報の公開。
1766	川は一部の人や少数の団体の占有・利益の場であってはいけない。河川整備が往々にして力関係で進められる傾向にあるように思う。出来る限り、多勢の住民の声が反映されるよう、計画づくりの段階から留意されるべきであり会の構成員選びに神経を使うべきだと思う。
1767	ご意見なし
1768	利害関係等の不公平さがなく、透明性・客観性のある場であってほしい。

Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
1769	吉野川の恩恵を受け影響も受ける漁師の意見を充分聞く。(一般の人よりも身近に川を感じ関心が多いと思う)。
1770	吉野川の事がよく解っている人の集まり。吉野川の影響をよい面悪い面を受けあまり遠くでない人。良い面・・・自然環境の水辺等、何時までも変わらぬ自然の遊び場。悪い面・・・大洪水の恐怖。
1771	どんな事を実施するにあたって、反対・賛成の意見になるが、いつまでもそれをくりかえしていても前進しないので、いかに自然と人間が調和していくかを一番に考えて話し合う場であってほしい。
1772	公聴会の開催等による、住民の意見が反映された河川整備計画の決定をして維持管理をして欲しい。
1773	ご意見なし
1774	Cさんの意見に賛成。
1775	個人や団体等の利害関係のない皆の為の川づくりとして考えてほしい。
1776	多くの人々が参加でき、意見が述べられること。
1777	知識も経験も豊富な市民は沢山いますが、情報は限定的です。国や県の情報・学識経験者・第三者機関等のデータを提出してもらいみんなで共有する事で、いろんな意見やアイデアが生まれてきます。市民の意見を十分尊重してもらえるような場であってほしいと思います。
1778	いつも大学の先生・学者・文化人等で検討しているが、一般庶民も対等の立場で話し合うようになって欲しい。中立・透明性が大事。沢山の人の人々を無作為で選んで意見を聞くことが必要。
1779	ご意見なし
1780	ご意見なし
1781	県民が協力して話し合う場として川づくりや自然保護などの検討の場がほしいです。
1782	治水利用者・学識経験専門家・住民(吉野川流域)及び地域外の住民等との間で、フリートークが広げられる様な自然な場に育てないことには、やはり利害を持つ人々・学者達等の押し付けの場になってしまうのではないかと。まず市民の勉強会的な所からのスタートを望みます。基本的な知識を身につけたいと思います。
1783	人権を守る、住民の意見を反映するのがよいと叫ばれているが、全部を話し合いの場で決められるものではなく、河川について専門的な人、河川整備に詳しい人、学識経験者等によって計画をたて、これを素人・流域住民によく理解出来る様に説明し、納得のいく計画。自然を壊さない吉野川作りが出来る検討の場が持てたらと思う。
1784	ご意見なし
1785	ご意見なし
1786	学識経験者等の意見及び公聴会の開催等による住民意見の上。
1787	ご意見なし
1788	自由に意見の出せる場。
1789	一般市民の意見を大事にし、検討していくべきだと思います。
1790	オープンである事。
1791	みんなで川づくりを話し合う。そして意見をまとめてくれる人がいいと思う。
1792	学識経験者、そして住民が心をわってお互い話が出来るといい、そんな所であればと思います。公平に。素直に。
1793	ご意見なし
1794	ご意見なし
1795	ご意見なし
1796	河川整備計画の段階で、住民の意見を聞くのではなく、基本方針の内容についても住民の意見を反映すべきである。例えば、基本方針で基本高水・計画高水などが大きな値に決定されれば、ハード的な治水対策を採用せざるを得ない。
1797	ご意見なし
1798	ご意見なし
1799	中立な立場での多くの意見を吸い上げる機関を設置し、自由な意見交換が出来るようにする。
1800	河川の整備計画は専門家の人にまかせるべきだと思う。しかし、皆んながイメージする吉野川に近づけるため、皆んなの意見を聞き整備計画の中に折り入れてほしい。どこまで安全性を求めるのか、どこまで自然を大切にするのか、人により考えはまちまちでまとめるのは大変だと思うが、意見を十分聞き、最終的には行政が判断すべきだと思います。
1801	行政を通じて、水洗トイレの清掃など定期的に清掃の実施をして下さい。
1802	小さい地区で話し合う。
1803	ご意見なし
1804	流域に(上流、中流、下流)住む人達の意見の調和。
1805	ご意見なし
1806	吉野川は、みんなの意見でよりよく変わると思いますので、たくさんの人の意見を積極的に取り込んで欲しいと思います。吉野川のこれからの期待しています。
1807	年齢、職種等、市広い地域住民の意見が検討出来、その内容が透明性が多ければ良い。
1808	ご意見なし
1809	ご意見なし
1810	一方的な意見、又偏見にとらわれず、中立第三者的な人、又学識経験者等を交え時間をかけゆっくり話し合ってもらいたい。上・中・下流域の農林漁業者も含めばいい。
1811	憩いの場です。
1812	誰もが参加できる場であって欲しいです。インターネットで参加したり、内容を公開したりしてほしいです。
1813	ご意見なし
1814	利害関係のない中立な立場の人がメンバーになって欲しい。情報をオープンにして欲しい。
1815	住民の意見を反映出来る仕組み作り。学識経験者の意見及び吉野川による被害等を直接体験してきた人達の意見をより重視した方がよい。(日和見感覚で意見を言う人が多すぎる)責任感がない。
1816	定期的に話し合う場を作り、いろいろな人達の意見を参考にしながら地域の老人会などにも話しかけて、花の世話をしたり、又花のきれいな季節には老人会の人々を呼んでねぎらいをして、交流を深め、老人の人達の生きがいにもなると思う。
1817	ご意見なし

Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
1818	様々な職業に従事している人々に集ってもらって、意見を出してもらおう。
1819	1.当面の課題は第十堰改修の件と思う。その際、学識経験者の選定には過去の轍を踏まないようお願いいたします。単に学者の肩書きにとらわれず、その道の有識者の参加を求めます。又、議員等政治家の関与をなくし無用の疑念を県民に与えないようにしてもらいたい。2.河川整備計画(原案)はP16図によると国土交通省の提案によるものと思われませんが、之を改め、同省と有識者(又は関心者)とが協議し成立した案を原案にしてはどうでしょうか。その際、原案は最高のも一本に極力しぼるよう双方で努めるべきだと思います。なお国土交通省におかれては、検討の場委員の要望に応じて、関係資料を「場」に提供して欲しい。3.検討議事録を、その都度広く公開し、県民に正しい判断ができる材料を提供して欲しいと思います。
1820	各地域での公聴会が必要で住民の意見が反映する河川整備計画が必要。各地域によって意見はまちまちであろうが、それぞれが反映する計画が必要。
1821	ご意見なし
1822	自由に意見が言えることが大事。政治などの力がかかってこないように…。
1823	吉野川は徳島、高知を流れ、徳島でも話し合いにならない、高知だけでも話し合いにならない。町村でも話し合いが出来ない。徳島、高知、両県の人々が会を組織して国の話し合うべきです。美しい吉野川にするのは上流、下流吉野川をきれいにしゴミを捨てない。
1824	お委せする。
1825	この話し合いの会は良いと思いますが徳島中心の会場ばかりでは郡部の者は参加出来にくいので、分割会場をしてよいのではないかと思います。
1826	ご意見なし
1827	徳島市内の人だけでなく吉野川に関係する地域の人々全体の声を聞いてほしい。
1828	1.学識経験者等の意見は自分の専門分野に片寄る傾向があることが多く知名度に惑わされてはならない。2.流域住民の参加者は一部の人に片寄り、中には活動を私事のために利用しようとも考える。3.上記を踏まえて、片寄りを是正、中立、透明性を確保するためには国土交通省がリーダーシップを発揮することを望みます。世論を利用して無責任な要望が多々あると思いますが、何が住民の為になるか国益を考えた治水が必要だと思います。
1829	わかりません。
1830	元に戻すことは出来ないんだから今から手を加えても税金の無駄だと思う。それより他の事に大事な税金を使って欲しい。土木工事業者の潤いの為ですか？
1831	特定の利害関係を持つ人たち(土建屋など)は排除して欲しい。
1832	生活の場。
1833	ご意見なし
1834	川は皆のもの。汚さない、ゴミ捨て場にしない。それぞれ県民の意識改革が先決ではないか。R-32、R-439、R-192の吉野川沿を見れば判るように、ビールの空缶、カップ酒、コーヒ&ジュース類、電化製品、フトン、机、野菜くずetc、極めつきは使用済紙オムツ、スーパーの弁当の空箱、なんでもあり。従って国道県道から下の吉野川間にある杉、桧は伐採しみみじや桜を植る。(杉林などはうす暗く絶好の捨て場となっている)
1835	ご意見なし
1836	流域毎に住民が中心となった話し合い。学識経験者はほんとうの現場に馴染まないことが多い。
1837	ご意見なし
1838	河川法などがあることなど知りません。昔のようなきれいな川になります様に私達も気をつけて暮らしたいと思います。
1839	上流から下流の人々が本心を、住民の言葉で話し合えるような場であって欲しい。検討の場が出る意見とは別の意見がマスコミで大きく取り上げられてしまうような場にはならないようにして欲しい。
1840	流域住民だけでなく、徳島県全体の住民意見を出し合える場にして欲しい。
1841	前提条件・充分な情報提供を行う。・住民が関心を高めるよう働きかける。・検討結果を河川管理者が尊重する。
1842	運営・公平性、公正性を担保した運営。(流域のニーズの収集、多領域の専門家による科学的検討、政治的バイアスの規制など)・流域住民の合意形成をうながす運営。(現地討論会、説明会、公聴会などの開催、関連情報のていねいな開示)
1843	住民参加で広く、県民の意見を取り入れるところであってほしい。
1844	特になし。
1845	役員に任ず。
1846	公平でオープンな場。
1847	ご意見なし
1848	1.住民の立場であれば前記したとおり吉野川本川のことについては事が大きく広くて意見を述べにくい。2.自治会にまで検討の場が入れば良いが。
1849	自然保護も申すまでも無く大切であるが、まず人の生命、財産の安全を第一に考慮すべきで、今何かをすると言えばすぐ、「あの虫がああ魚が」と言って反対するが出来る限り共存できるようすり合わせすべきだと思います。
1850	住民の意見などを集約して河川整備計画を立てる。流域住民(アンケートも重視して)の希望をも聞き将来に悔いのない工事を樹立すること。
1851	未来をになう若者(小・中学生も)の意見を汲み上げられる場であって欲しい。
1852	ご意見なし
1853	学識経験者、地域住民、市町村の意見を聞いてすみやかに進めてもらいたい。何もかも反対は通らない。
1854	ご意見なし
1855	どの川もそうですが、吉野川は徳島県民に残してくれた(与えられた)大きな財産です。その時代の我々が簡単に手を加えられるものでしょうか。先人先輩の苦勞や歴史的に見ても、亦将来の子孫に受け継がれるものへの大切なものです。軽々に考え、議論し負の遺産としては残したくない。吉野川こそ徳島県民がいつの時代でも世界に誇れる川でありつづけてほしい。その為の議論と整備をして欲しい。100年～300年時代を越えて、吉野川永遠なれ。



Q12-1.「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
1856	いろいろな立場の人の意見を聞いて、まとめてくれる場であって欲しい。
1857	AさんとCさんに同じですが、流域住民や直接利益を受ける者に限らず、吉野川を愛するものの意見が反映される場所であって欲しい。
1858	外国の事例なども参考にして欲しい。(何案かの選択肢を事前に準備しておく)中立の進行役がいる。
1859	ご意見なし
1860	守る会でなく、新しい川づくりの会にして欲しい。
1861	住民の意見が反映されるようにして欲しい。
1862	ご意見なし
1863	ご意見なし
1864	皆が出席しやすくあらゆる意見を聞ける場。直接住民の声が聞ける場。
1865	住民の意見を一番に尊重される場であってほしい。だれでもオープンでクリアなもの。
1866	アンケート用紙20ページの円線上に描れた、治水、利水、環境の三つがうまく機能する為には、河川管理者は別として、出席者の顔ぶれのバランスが重要だと思います。
1867	ご意見なし
1868	河川整備計画の原案の時点から、計画案の作成までのどの段階においても、地域住民の意見を取り入れる必要があると強く思います。本当に多くの人からの意見があるとは思いますが、人々の地域間や公共団体の間の交流が行われるなかで、やはり限られた意見しか公には出来ないと思います。さらには、流域住民、といても限られてしまうために、偏った内容になる可能性もあると思います。どちらにしても、意見は最大限に取り入れて、情報提供、共有をすべての人たちで行っていかない限りは、狭義の話し合いでしかないと思います。また学識経験者、と出ていますが、河川、漁業、水産なども、地理的な様々な視野の人間であると思いますが、具体的には、どういった人たちなのか、住民(関係する人たちすべてに)に明確にして頂きたいと思っています。
1869	沢山の人達と会話するには町ごとに町民体育館みたいなどころで集まってもらったほうがいい。
1870	最初から白紙の状況での話し合い。
1871	吉野川をどうしたいのか、どうしたらよくなるのかを基本に話し合いを行う。
1872	流域住民を多数参加させてもらいたい。
1873	ご意見なし
1874	特に希望、要望はありません。
1875	先の吉野川関連の委員会の成案が最終的に目の目を見ることが出来なかった最大の理由は、委員会発足の初期段階において地域住民側との話し合いの場が持たないことにあると考えられる。これは単に行政側の責任ばかりでなく、初期段階において住民側の意向を反映させようとする住民側の努力欠如の責任も同時に問われてしかるべきと考えられる。一度掛け違ったボタンは仲々元に戻らないよい例であったと思われる。この反省を踏えて、委員会や話し合いの場を考えることが肝要である。
1876	実行性に乏しくては意味がないので、でた意見をまとめてまとめ、それを実行する力が必要であると思います。
1877	大学の教授や県外の偉い人が来て、吉野川のことを色々言うのはよいが、直接流域に住んでいる人の参加が十分でない。一部の人間しか参加していない。又かつて徳島県から三木武夫氏が出たクリーンな政治家と言われた。あの方は吉野川のことを言ったことはない。自分は内閣総理大臣になるために吉野川の水を香川県に譲ったと言われ、その結果は吉野川のきれいな清流はなくなり中下流域の塩水化が進んだ。国土交通省の地下水の塩水化の調査をしたこともない。毎日朝洗面する時、水が塩からなくなってきている。近所で地下水が悪くなって住めないようになってきている人もいる。こういう現実を話し合う場もない。吉野川の改修の上からの計画が通ればよいというのではなく将来も流域住民として住む者達の考え方や意見も聞き、その人達に対して配慮も大切だ。
1878	ご意見なし
1879	ご意見なし
1880	できるだけ多くの人の参加を希望します。
1881	ご意見なし
1882	どこでもよい。
1883	四国三郎川と言う様に、日本でも大きい川です。今さら川づくり等何を言っているのかと思う。川か上流より下流(紀伊水道)へ如何に流すべきかです。
1884	◎徳島県の各種団体よりの代表者、各市町村の各種団体よりの代表者による検討会。◎それぞれの各市町村ですれば、その結果を持ち寄って又その代表との検討会を数回に渡ってする。
1885	川づくりをすることは、ひいては山づくりを考えていくことが必要であり、山の性質により木の種類を考えて、木が育ちやすい場所に適材適所の木を育てていくことが重要である。ドイツの育林方法を参考に、長年(50~100年)の計画を立て、四国の山を守れば、その水が流れ出る川についても連動して考えていけるのではと思う。それが大事だと思う。
1886	透明性の高い場。
1887	第十堰可動化については、学識経験者などの審議会が長年に渡って充分過ぎる話し合いをしたし、反対派の言いまくっていた堰上げが計算より40cm低いとか、深掘れはないという誤った云いがかりに対して、建設省は模型実験も行ない、公開してTVでも分かりやすい方法で見せたり、●●●●●●がゴネマクツが結局ゴーサインは出ているし、あれ以上の結論は出しようもないと思う。本来もう討論の場は不必要と確信している。小田原評定となるのは分りきっている。そうでない検討の場はまず無いと思う。出来るだけマトモな人(まず無いと思うが)をかき集めるしかない。マトモな人の話し合いしかないと思う。
1888	川づくりを話し合う場は政党にかたよらず、上・中・下流の立場になって、また将来のことについても考えられるような人。
1889	?
1890	河原から上に桜や色々な花を植えて、緑と水で心がいやされる自然環境を作る事。
1891	川は活きている。各々地域の自然環境の相違もあるので。①池田ダム上流。②三好、美馬。③上記より下流域。以上の3ブロック単位にしぼり検討の場を開いて欲しい。
1892	私はもう年寄りで、その場で話す事も出来ませんが、若い人達が将来のために考えてほしい。
1893	流域住民の代表者、学識経験者等の参加。

Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
1894	ご意見なし
1895	ご意見なし
1896	ご意見なし
1897	ご意見なし
1898	検討の場で話し合ったことが、実際の河川整備に反映されるような、力のある場であってほしい。
1899	みんなの意見が反映される、話し合いの場になるといいですね。
1900	中立、且つ透明性を確保できるメンバーの選定と、一般人にその都度情報を開示。常時一般市民の声も公開し、それに対する検討結果も公開。
1901	ご意見なし
1902	「河川法」の普及徹底。人々の意識改革の必要性。担当者・流域の準河川管理者の積極的な指導を望みたい。
1903	自然の中に住んでいる吉野川流域の人々の意見を、最大限に取り入れる事(大人～子供まで)。
1904	ご意見なし
1905	川をつくらぬと言う発想ではなく、川と共生する。更には流域のくらしや経済的基盤づくり、教育面など総合的な活動を実行している各方面からの活動を連結していくことが大切。討論ばかりでは空廻りする。ほほえましい小さな活動を、どう大きくし連結していくかに注力すべきだと思う。
1906	ご意見なし
1907	ご意見なし
1908	何をするにも多くの人の意見を反映してほしい。そしてすべてを公表し、クリーンな会にしてほしい。
1909	ご意見なし
1910	ご意見なし
1911	一度決定したら、変更はしないという様な態度でなく、いろいろな意見も取り入れて行くようにしてあってほしい。
1912	流域住民といっても全員が参加する訳にもいかないの、どんな人が参加できるようにすればいいのか意を十分に用いて欲しい。老人から子供まで年令的にも、また流域の範囲は香川用水の流域を含めて、あらゆる角度から広範囲にしかも回数も多く開催して案の作成をされたい。出来上がった案に対する最終の意見公聴に地方公共団体の長だけというのは、ちょっと心配な感じがする。学界・財界・農工等産業界、その他一般の団体の長等の参加も考慮されたい。
1913	ご意見なし
1914	ご意見なし
1915	いい意見も悪い意見も含めて、吉野川を良くして欲しい。県民の意見が充分取り入れられる話し合いにして欲しい。
1916	ご意見なし
1917	第十堰、早期着工されたい。
1918	ご意見なし
1919	とにかくゼネコンや一部の関係者たちの利益のために、とりかえしのつかない姿にすることが肝要ですから、その目的が達せられるようにする話し場であってほしい。一度こわされた自然は二度と元に戻りません。
1920	河川法。改正された河川整備の説明を郡体位で。1.河川整備の意見…意見をまとめ…整備計画(原案)作成。2.原案作成は…工事事務所…市町村…自然保護団体…地域住民各代表…学識経験者。検討の場は…集合しやすい場所(徳島・石井・鴨島)。3.整備計画(案)を市町村長の意見。
1921	ご意見なし
1922	吉野川の大切な環境を保全すること。
1923	特にありません。
1924	特定の団体の意見を重要視することは避けるべき。
1925	ご意見なし
1926	①各町村で年二回位の会合を開き話し合う。②一部の人に迷わされず行政の力でやってほしい。気安く意見を述べることの出来る場づくり。発言を得意としないひとがいるので、参加者の考えを充分聞く工夫がいる。
1927	ご意見なし
1928	ご意見なし
1929	Aさんと同じ。
1930	ご意見なし
1931	ご意見なし
1932	流域住民は良く知っている故に、又夢や理想も高い。資料Aさんの通り、検討の場の前にまとめる必要があると思う。
1933	ご意見なし
1934	ご意見なし
1935	ご意見なし
1936	ご意見なし
1937	偉い人が話し合う場ではなく、一般市民が話し合える場。
1938	ご意見なし
1939	ご意見なし
1940	ご意見なし
1941	政治的な背景は排除し、真に流域住民の意見が言い易く、前向きに討議出来る場が必要と考える。(流域の行政区域別に作る等)。
1942	みんなが気軽に行ける様な場所。そして色々な意見が言える様な雰囲気があれば行けると思う。
1943	ご意見なし
1944	ご意見なし
1945	明確な河川整備計画の説明。住民が納得する計画の検討。
1946	流域住民の意見が反映されるような場であってほしい。
1947	形式的に行う会ではなく、特に流域住民が広く意識を高め、多くの人が意見を言えるような場とし、一方的に反対する意見ばかりに対応するのではだめであると思う。

Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
1948	プロとアマ、公と私、立場の違う人が意見を言い、まとめるのは問題が多すぎる。住民ももっと知識を深め、役人も悪いシステムの見直しを図る必要がある。
1949	風土を大切にすることで、吉野川と実際に関係のある人の意見を重要視する。
1950	ご意見なし
1951	最近の吉野川といえば、第十堰のことが頭に浮かぶ。反対運動がお祭のように見えたのは私だけでしょうか。みんなで話し合うことは大切であり、賛成意見があれば反対意見があるのも当然である。日本人は議論することがとても下手であり、意見が違くと敵対視してしまう。また、多数派の意見が正解のように勘違いしている人が多いように思う。人の意見のあげあしを取らず、自分の意見に責任を持ち、おおいにみんなで話し合うべきである。費用がかかっても必要な物はたくさんあるし、無駄なお金は使うべきでもない。
1952	主義主張を貫く場ではなく、話し合いの場であるということを認識し、対立する意見が噴出した場合は、お互いの妥協点を見出し、そこに生活する人が納得できる計画を議論できる場であって欲しい。また、地域外の人、マスコミが主導するような場にはならないと考える。
1953	実際に住んでいる流域住民の意見を反映できる場。
1954	将来目標を、1/150(治水)とした場合、一般的感覚では過剰整備の感が否めないはず。長期間かけて“川を育てていく”過程の一部が河川整備計画であることを説明し、国土交通省主導を意識させない運営が肝要では。
1955	四国地方整備局がリーダーシップをとり、関係者は全員揃って参加し、毅然と仕切ることが必要(誘導は県)。住民等にゆだねても本気になってくれない。現場をよく見せる運営。開催はできるだけ多くし、生の声が積極的に出る場づくりが必要。話し合い結果を随時公表し、それに対する外部の意見も反映したらよいと思う。
1956	中立・公平性・透明性の確保。
1957	できるだけ多くの住民が参加し、意見の交換を行い(現実にはむずかしい)、それらの意見ができるだけ反映されることが大切。
1958	できるだけ多くの住民の声が聞けるよう、参加しやすい雰囲気がほしい。
1959	①多面的に川のことを知る努力をすることが参加条件になると思う。②互いに持つ意見は異なるけれど、互いを尊重し、真摯に川づくりを話し合える場であることが望ましい。
1960	参考の意見の場として留める。
1961	河川流域全体を見据えた検討の場であって欲しいと思います。
1962	各人が発言し易い場であってほしい。開催者ほどの様な内容の質問であっても明確に答えてもらいたい。配布される資料については、分かり易く面白いものを期待します。
1963	多方面にわたるので、その考えの軸となる学識の深い方と、それぞれに興味のある人を5~10名集めて議論し、それをもとに各分野の代表者2~3名を総合的に集めて議論し、取りまとめてはどうか。第十反対の方のように、一面的なものを強調したのではムードだけで事がまとまる可能性がある。すなわち、それぞれの分野の専門知識を高めた議論でない、ムードだけで多数決でのまとめは本質をそこなうおそれがある。
1964	ご意見なし
1965	机上の話し合う場も大切かと思いますが、実際には話し合いの場に来ない人、美しい河川を守りたいと考えられない人達を、いかに川を守る事が大切かと教えて指導することも重要なのではと思う。河川法の改正も、今の時代にあったのに手直しするべきだと思います。
1966	国や県主導の話し合いの場は良くない。住民主体の場をつくり、広範囲な人達により100人ぐらいの人が一同に会して話し合うべきである。
1967	河川整備計画(原案)をみんなで話し合う(学識経験者・流域住民)。→河川整備計画(案)(地方公共団体の長・関係住民代表者)。→河川整備計画の決定。
1968	公聴会の開催により、住民の意見を反映する。
1969	ご意見なし
1970	川の事を良く知っている人が、話し合っていけば良いと思います。
1971	ご意見なし
1972	ご意見なし
1973	いろんな立場の人が、多様な意見を活発に出せる場。最近素人の意見が多く出、それがオールマイティーのようなムードにあるのは少々心配。このような意見の真意を汲み取る感受性が、行政側に必要。行政側は専門家として、素人にわかるよう世論をリードすることが必要。アドプト事業に参加して、川岸のゴミに閉口している。アドプト者から、ゴミを減らすような行政を発信したい。それは国土交通省のみならず、環境省・産業経済省など、関係者全体を拘束するものになって欲しい。リバーキーパーの会にも出ているが、行政側の現場の苦心話が少ない。素人の話を聞くことも大切(行政側はそんな話は百も承知のはず)その上での苦心話を提供すれば、検討の場が花を開き実を結ぶと思う。
1974	特になし。具体例があるので、それで充分いいのではないのでしょうか。
1975	ご意見なし
1976	学識経験者の意見、及び公聴会の開催等による住民の意見の反映できる場であって欲しい。
1977	みんなの意見をまとめてくれる人が必要だし大変だと思います。大人の意見ばかりでなく、小学生の意見、また魚を釣りに行っている中学生の声をよく聞くので、そういう子供たちの意見も大切にして欲しい。
1978	ご意見なし
1979	住民の美、思い出、生活の場等の感情論ではなく、長期的展望に立つ川づくりの場でありたい。反対賛成の住民投票は役に立たないと思うが、川の将来像は美しく、自然が生き生きと残ることを忘れてはならないと思います。むつかしくて、よくわかりませんが川は流域住民だけのものではありません。
1980	多くの人の意見を取り入れてほしい。
1981	広く県民に呼びかけ多くの意見を聞き、大枠を示す。結局は隣接する人が利害関係を交えながら色々出てくると思うので、各地域で聞ける場であって欲しい。出来るだけ多くの場で。
1982	検討の場は出来る限り大勢の人が参加できるようにすること。100人位は必要。討議の場は、公会として傍聴者も見ることが出来るようにする。委員は10人や20人では少ない。
1983	ご意見なし
1984	ご意見なし
1985	ご意見なし



Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
1986	ご意見なし
1987	アンケート提出者を含めての検討の場にしてほしい。
1988	どうい事が話し合われたのか、地域の住民にわかるような公開された場であって欲しい。
1989	県内の方のみでは無く、県外の吉野川に魅力や興味を持っている人の意見を聞いてみるのも面白いと思います。また小学生・中学・高校・大学生等の若い方々の意見を多く取り入れられる様な場を持つ事も、非常に参考になるのではないかと思います。
1990	川づくりには、どの様な事が必要か具体的に話し合う場。
1991	基本的には治水推進派と自然保護派に分かれると考えます。それぞれの考えを十分に理解した上で話し合いを行い、小さな事から少しずつ進めていくべきと考えます。
1992	たくさんの方が参加でき多くの意見を集約し、みな参加できる会。(場)
1993	行政側主導ではなく、住民の意見を充分反映して進めて欲しい。
1994	治水工事をもしするのであれば学識経験者の意見を尊重しながら環境保護活動をする人の意見を交えて十分な検討をした上で進めて欲しい。治水工事が必要でないと言う学識経験者の意見が出されたなら、吉野川の自然をどのようにすればそのまま後世に残せられるか活発に討論して欲しい。
1995	どこそで検討会を開くので集まれ、ということではなく、家に居ても参加出来る場で有ってはどうか。
1996	ご意見なし
1997	ご意見なし
1998	ご意見なし
1999	地方公共団体の長で検討の場を設けても良いと思います。
2000	ご意見なし
2001	徳島というと遠くの方は阿波踊り、鳴門の渦、吉野川くらいしか知らない。きれいであり、全国にアピールしてほしい。
2002	色々な人からの意見を集約できる場であってほしい。
2003	特になし。
2004	ご意見なし
2005	ご意見なし
2006	県民の多くの人の意見の集約。
2007	行政とか机上だけで決めずに、実際に吉野川と関係のある人々とか周辺に住む代表者、老若男女いろいろな人から意見を聞いて、何事にも取込んで行かねば、この間のような「第十堰問題」になると思う。堤防、堰も必要だが「話し合い」を十分に。
2008	ご意見なし
2009	学識経験者や流域住民の方。いつも吉野川と関わっている人などの話し合いをする場。
2010	ご意見なし
2011	ご意見なし
2012	県全体も必要だが、各市町村単位で色々な人の意見が大切。行政が会合する時決まって昼間にするが、本当の意見を聞くには夜の会合が集まりやすい(公務員は夜の仕事を嫌う)。
2013	ご意見なし
2014	1. 率直に意見を交換しあう場。2. 客観的な資料に基づいて検討しあう場。3. 環境問題や住民の経済的負担等も考慮にいれ幅広い視野に立って検討する場。以上のような場であって欲しいと思います。
2015	一人でも多くの方が参加でき話し合いをし、実現出来るような会にしてほしい。
2016	ご意見なし
2017	ご意見なし
2018	県民全てが納得いく様な場であるべきだと思います。河川を利用するのは全ての県民です。行政、住民、業種等各界の意見が反映される組織としてほしい。また、その場は勿論公開とし、県民の全体の意見が集約出来るような機会、方法も取り入れるべきです。
2019	利害を無視し、一つ一つ話し合いを持ち、共有できる意見とし、皆がほんとうの意味で吉野川を守ろうと言う会であって欲しい。
2020	ご意見なし
2021	公民館、集会所等を利用して話し合いをする場を持って欲しい。
2022	ご意見なし
2023	ご意見なし
2024	ご意見なし
2025	ご意見なし
2026	ご意見なし
2027	ご意見なし
2028	ご意見なし
2029	ご意見なし
2030	ご意見なし
2031	ご意見なし
2032	ご意見なし
2033	ご意見なし
2034	ご意見なし
2035	ご意見なし
2036	ご意見なし
2037	ご意見なし
2038	ご意見なし
2039	ご意見なし
2040	ご意見なし
2041	公共事業予算の執行に対して、民主、公正、効率が大事である。ただし、行政がイニシアチブを取るのには重要。
2042	ご意見なし

Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
2043	私利私欲を捨て、本当に将来にわたり吉野川が自然の流れ、水の恵を与えられるよう保護していく必要あり。地域住民が先立って清掃や不法投棄をなくするよう官民一体となって推進するとよい。(民にはゴミ袋代もすくない)特に恩恵を受けている(早明浦ダムにより)下流の県、市町村は目覚める時期が来ていると思います。香川県ありがとうございます(交付金は)。
2044	ご意見なし
2045	行政が必要とする事業については、地域社会に対し提案し、事業の必要性、工事方法、事業費の確保方法等の協力を依頼し、地域社会においては公共性、公益性、自然社会に対しての環境問題等を協議し、双方が折り合える工事内容について充分協議検討し、自然を大切にしたい弱者にいたわりの心を持った事業を実施して欲しい。
2046	ご意見なし
2047	ご意見なし
2048	吉野川について意見を求める機会は多いのですが、ほとんど聞き入れてくれない建設省に大きな問題があります。意見を求めたらなるべく実行できることからやってもらいたいものです。吉野川の堤防上をなぜ通行規制するのか、市内同様、堤防補強+道路認可の検討を強く望みます。できないのであれば、こんなアンケートは止めたほうが良い。検討の場を「検討だけの場」だけにはしないであらう。
2049	一人でも多くの意見が反映される場であってほしい。
2050	どんな場合でも一番に吉野川を誇りに思っている。吉野川が大好きだと思える人が集まり話し合っていく人達であれば、未来に向かって変わっていても大丈夫ではないでしょうか。
2051	公開されるべきと思う。
2052	ご意見なし
2053	特定の意見などを持った人達だけでなく、色々な分野(漁業、農業、工場)等の意見を広く発表出来る場であってほしいと思います。
2054	全ての人の意見を反映させる事は利害が相反する人々もいるので、不可能である。したがって、意見のある人の立場に配慮し、意見に重要度を考えた検討の場であってほしい。
2055	ワークショップ等による関係者の意見を反映しつつも、治水上の安全に重点を置いてもらいたい。川づくりに誰もが参加しやすい会であってほしい。
2056	誰もが参加できる場(幅広い年齢層)で意見の言える場であってほしいです。
2057	一般人の意見が取り入れてもらえる場。
2058	話し合いは感情的な議論に収拾せず、河川管理者と住民が相互理解を深める場にしてほしい。
2059	吉野川が素晴らしい川になってほしい、徳島の人々は皆そう思っていると思います。「第十堰」で吉野川が身近になったかと言えば決してそうではない人の方がほとんどではないでしょうか。じゃあどうすれば、一般の人々が「第十堰」みたいな難しいテーマについて参加することができるのでしょうか。そこで私は提案したい。それは移動図書館のように公聴会を郡部へ出張することは不可能なのではないでしょうか。河川行政に携わる方々(プロの集団)が「吉野川」について先ず広報することで、話し合う場の第一歩を構築できるのではないのでしょうか。
2060	吉野川は県民皆(いや、国民、地球の大事な財産)のもので、広く意見を集める必要があります。しかし生活に直接影響をうける流域住民の意見を発表しやすい場にして欲しい。そして河川管理者は目先のムードに流されず、将来の吉野川のあるべき姿を見据え、河川整備計画を決定して欲しい。
2061	流域の住民意見を小さなことでもピックアップしてもらえ。
2062	国土交通省が主体となるのではなく、住民が主体となる場であって欲しい。住民が意見を出して、それに国土交通省が答えるといったかたち。また、場合によっては吉野川についての勉強会等も必要ではないだろうか。
2063	当方は河川整備が必要な流域と異なりますので以降遠慮します。
2064	「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」を作るについて、流域住民、学識経験者が今現在吉野川に対してどんな生活をしているか、また今までにどのようなことをしてきた人なのか、そういうことから調べて選出しなければいけないと思います。只、学があるから、地区の・・・だからと言っただけで選ばないでください。自分の家の水洗トイレの排水は、生活雑排水は、日常使っている洗剤は、等々数えると切がありません。口ばかりの人を選んでダメです。今まで知事にしても市長にしても市民を説得できるような説明がありましたか?学識経験者も同様だと思います。色々とする前に各県市町村の人を教育をする必要があると思います(教育というより勉強でしょうか。学識経験者も同じだと思います)。
2065	ご意見なし
2066	吉野川、四万十川、四国88ヶ所をセットして世界へ観光資源として発信する。
2067	ご意見なし
2068	ご意見なし
2069	ご意見なし
2070	ご意見なし
2071	検討の場として四国は一つと良く言われますが、みんなで川作りを話し合う場についても、四国四県の県民代表の集まりの検討委員会もあればいいと考えます。四県民代表として、おじいさん、おばあさん、お父さん、お母さん、お兄さん(大、高、中、小)、お姉さん(大、高、中、小)も含めてお考え下さいと思います。
2072	ご意見なし
2073	ご意見なし
2074	ご意見なし
2075	ご意見なし
2076	川に河川工作物をどのように作るのかを話し合うのではなく、多くの自然を残した吉野川にどのように接していくか心を話し合う場としてほしい。
2077	多くの意見を取り入れてほしい。まとめてくれる人、お世話してくれる人、大変ですが、専門的知識のある人も必要だと思います。
2078	みんなの意見を吸い上げ検討し構築してほしい。県民に良くわかる場であって欲しい。
2079	色々意見はありますが、我々普通人の意見など取り入れてはくれない現状?ではないでしょうか。
2080	えらい人ばかりの話でなく、子供やお年寄りの話を聞ける場がほしい。

Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
2081	いろいろな年齢や職種の人々の意見を参考にしてほしいです。
2082	昔ながらの生活の場、教育の場である川の役割を取り戻せるような、親しみのある川になってほしい。
2083	ご意見なし
2084	ご意見なし
2085	ご意見なし
2086	行政、学識経験者、住民と幅広い中より選んでいただき、透明で中立、また住民にできるだけわかりやすく公開して欲しいと思います。
2087	ご意見なし
2088	アンケート方式が一番良いと思う。話し合いの会場へ出れない人も十分意見が出せるので良い。
2089	ご意見なし
2090	ご意見なし
2091	ご意見なし
2092	堅苦しい形式ばった場ではなく、子供から年配の方まで幅広い方々と気軽に意見を出し合える場が良いと思う。中立な立場の人々をファシリテーターにグループディスカッションetcをするのもいいと思う。
2093	いろんな立場の人が意見を出し合えるような場であって欲しいです。
2094	いろんな分野の専門的な意見が必要であると共に自由な発言ができる場であってほしい。
2095	ご意見なし
2096	ただ表面的に話し合いでなく、有効な話し合いの場になればと思う。
2097	国、県、行政と住民が一体となって守れる。四国三郎の名流にふさわしい場づくりであってほしいです。
2098	公共性を一番に考え自然を大事にしてほしい。利権に利用しないほしい。
2099	いろんな年代、いろんな職種の人々からいろいろ案を出してもらい、それをまとめるのですが、行った事も見た事もない川の話はできません。また、遊びに行く人と住んでいる人の立場や考え方も違います。川づくりをする前に川周辺に住んでいる人の意見は大切だと思う。会議になると発言できない・・・という人もいます。世間話の中から思わぬ良い意見が出てくることもあります。今書いているようなアンケートは常時設置して常に新しい意見を聞くようにするのはいいと思う。整備のことばかりに重点をおくより、今の自然をどのくらいこわさずにこのまま存続させるかを第1に考えて欲しいと思う。全国でいろんな川づくりの会があると思うけど、その会の成功例や失敗例も参考にしてもらいたい。また、小中学生の研究テーマとして、学校でも話しあった意見も将来の川づくりをまかせる子供達の案としてとりあげてほしい。そしてこれらの意見は改善できるころははやくできるような判断力のある方々にがんばってやって欲しい。意見を話しあってもいつになっても決着のつかない書類のたらい回しのような仕事にしないようにしてほしいと思う。
2100	ご意見なし
2101	県民の生命と財産を守るための治水に関して十分な対策を講じる事はもちろんであるが、川に対して潤いや憩いの場としての役割がますます求められているという観点から、幅広く県民の意見や要望を反映できる場としてほしい。
2102	ご意見なし
2103	ご意見なし
2104	情報公開。国土交通省が選ぶ(学識経験者も含めて)のではなく公募などにより検討会を設ける。話し合いにより意見のまとめ役や運営方法を定める。
2105	まず一人一人の言葉を聞き、その後全員を集めて話し合う場所。
2106	ご意見なし
2107	ご意見なし
2108	ご意見なし
2109	ご意見なし
2110	川づくりについての意見は、川に対するその人の親密さやイメージによって大きく異なってくるというのが本当のところではないでしょうか。たとえば、遠く離れた他県の見知らぬ川に深い関心を持つ事は難しい事です。このような例から考えると、身近な吉野川に対する思いも人それぞれ違う為、意見も異なってくるのはやむをえない事です。今後必要なことは、時間をかけてゆっくり話し合える場を作っていくことではないでしょうか。
2111	ご意見なし
2112	ご意見なし
2113	もう少し町の人に山、川のありがたさを知ってもらいたいですね。
2114	遠くへ行けないと思うが、より多くの人が集まれるようお願いいたします。
2115	ご意見なし
2116	流域住民の代表は行政機関の上部の人よりも、昔から吉野川にたずさわってきた人たちを中心に考えてほしい(年齢は幅広く)。どこかの研修室を借りて開くより、吉野川の現場(いろんな場所)で話し合う方がよい。(バスで移動)まとめは別です。吉野川の流域住民だけでなく、他の地域の他の川に関わってきた人達にも意見を出してほしい。検討の場をビデオにとって香川・徳島・高知のTV局で流してほしい。インターネットで討議するのもいいかな。
2117	工事をするときだけでなく、常にみんなの関心を持ってもらう事。そこで今後の方向を話し合いを検討してほしい。
2118	ご意見なし
2119	みんなでよく話し合い、意見をまとめる。
2120	意見を上手くまとめてくれる人がいてほしい。
2121	みんなが意見を言えてまとまっていけばいいと思う。
2122	ご意見なし
2123	ハートに熱いものを感じられたらたぶん間違いなしと思う。
2124	ご意見なし
2125	一部の民意だけでなく、多く(広く)の民意を反映できる場とする必要がある。
2126	①ホームページ。②学校。③集会。④報道。



Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
2127	吉野川の百年の計を作る場なので検討会の委員の選任については慎重に行ってもらいたい。学識経験者、流域市町村長、議長、利水事業者、関係官公庁技術関係者。以上及び、出来るだけ多くの人に出席してもらい公論にて決すべきであるとする。(市町村代表は公選で行う)
2128	学識経験者とはどんな人達でしょうか。人選が偏ってるように思います。
2129	子供が遊べるようにしてほしい。
2130	水の流れは必ず蛇行します。そのことを認識したうえで、話し合ってもらいたいと思います。川づくりというと、直線の川にして、ひたすら洪水の起こらないようにすることをイメージしてしまいます。百年に一度くらいは浸水家屋が出るのが普通だと考えるくらいの気持ちで、川を眺めたいものです。
2131	川のことを真剣に話すことができる場。
2132	ご意見なし
2133	ご意見なし
2134	ハード面では実際に河川敷に出て、吉野川の現状を体感できる場づくりと、ソフト面では参加者の多くが将来の吉野川の姿を描けかつ、共通の認識が持てるような場づくりが必要。
2135	ご意見なし
2136	流域住民は、吉野川流域全てを対象として人選すべき。また、香川用水等取水地域の住民も参加させてはどうか。
2137	中立公正であること。少数意見を大切にすること。流域住民の気持ちを特に大切に。議論を一定方向に導くような会でないこと。年齢や職業が出来るだけ全般に幅広く参加してもらうこと。
2138	子供が遊べる場にしてほしい。
2139	子供でも、安心して大人に対して意見を言える場にして欲しい。
2140	ご意見なし
2141	ご意見なし
2142	子供も意見を言える場にして欲しい。
2143	誰もが意見を言えるような場。
2144	子供の意見も聞いてほしい。
2145	他の人の意見をもっと聞いて、川を綺麗にして欲しい。
2146	特になし
2147	子供が遊べる場所を作ってほしいのと、話し合いで子供も話し合えるようにして欲しい。
2148	子供が、遊べるようにしてほしい。
2149	わからない。
2150	子供も意見を言える場所を作る。
2151	個々の意見を大切にすることが必要。
2152	子供が遊べるようにして遊びたい。
2153	皆が安全で遊べる川。
2154	子供も話し合いに参加して、意見を言えるようにしてほしいです。
2155	小さい子供でも安心して遊べる綺麗で安全な川にして欲しい。
2156	Aさん(絵の男性)の考え方が同じです。
2157	少しでも水が綺麗になるための場であってほしい。子供も参加できるような場がいい。
2158	皆で遊べる川がいい。
2159	わからない。
2160	住民の意見や子供の意見も聞いて綺麗な川づくりをする場であってほしい。
2161	大人が子供のためにある場。
2162	大人だけでなく子供も意見が言える場であって欲しい。
2163	地域の人(子供やお年寄りなど)がもっと意見を言える場であってほしい。
2164	ご意見なし
2165	5年先、10年先50年先を見通して、それぞれの時代の人々が潤いのある場となるような会議等であって欲しいと思います。
2166	ご意見なし
2167	ご意見なし
2168	地元の人だけでなく、現在は故郷を離れて暮らしているが昔の吉野川の良さを知っている人にも話し合の場に加わってもらったら良い機会ができるように思う。
2169	ご意見なし
2170	ご意見なし
2171	ご意見なし
2172	ご意見なし
2173	学識経験者等それぞれの専門分野を含め、色々な立場の人が話し合うことが必要であり、その意見が河川整備に反映されるのが良いと思う。
2174	ご意見なし
2175	ご意見なし
2176	学識経験者の意見に住民の意見を反映させるという考え方でなく、地域住民の意見に学識経験者の意見を反映させてより吉野川を作っていくという考え方が大事と思う。
2177	川を利用している人(漁業、農業)レジャーを楽しんでいる人、学識経験者、山林の所有者などいろんな分野の人の話し合いの場であってほしい。行政とか国とかで進めるのはどうかと思う。
2178	なかなか集いに参加できない。
2179	ご意見なし
2180	ご意見なし

Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
2181	「住民」とは何か。その定義が必要だと思う。個人の資格で参加するのか、組織の代表でもいいのか。組織の代表は「意見」をいうことあるいは「議論」する事に慣れていて私のような一般人から見ると何を言ってもとてまかなわないと思う。そういう意味で所謂声の大きな人ばかりの意見が反映されるような気がして「検討の場」へいくことさえ億劫になってしまう。「公聴会」というと一見誰もがそこへ行って意見を表明出来る場のような気がするが、実は「行き慣れた」「しゃべり慣れた」人ばかりが参加して組織に属さない。日常生活でも「大きな声」を出さない、出せない人の意見は取上げられないのではないかと。マスコミの報道姿勢も大いに問題があると思う。
2182	吉野川講座に4,5回案内もらって郷土での会に参加しました。仕事を持っているため毎回は参加できず最近では参加できていないので国土交通省に対してお詫びいたします。未来に美しい川を残すために出来るだけ多くの意見を集約してよりよい川のあり方を勉強したい気持ちです。
2183	わかりません。
2184	群衆心理に惑わされることのない、ほんとの意見を発表できる人を選んで整備計画等を立案して欲しい。
2185	形式ばらずに本当に地域の人が発言できるようにして欲しい。学者や住民運動家や一部の特殊な人だけで行っているように思う。
2186	河川工学を一般の市民にも教える必要がある。
2187	住民の意見が反映できる場であることは重要ですが、その意見を取りまとめる人(代表者)が必要。徳島市で行った第十堰の住民投票の結果、堰に反対という意見が多い事も事実ですが、実際に洪水の被害に会う可能性のある住民(徳島県及び徳島市)の少数の意見も反映できる場でなければ、それこそ数の倫理で不公平だと思います。検討の場においても将来被害を受ける可能性がある(すでに受けた事がある)地域住民の人々、学識経験者、自然保護団体等の人々が参加して検討できる場であってほしい。
2188	ご意見なし
2189	水道、工業用水、農業等の利用者の代表、行政、森林所有者(水源)による自由な意見の発表。
2190	上の人ばかりが話し合いをするんじゃなくて、色んな人の意見、小、中、高校生等の意見を聞いていけるような会であってほしい。長々と話し合うのではなく、活発な意見でその意見を上手にまとめてくれるような人が必要。
2191	有力者だけの会ではなく、一般町民等も交えて思う事を軽く発言できるような場所であって欲しいと思います。場をつくる時にはもちろんリーダーは必要とは思いますが、一部の人間の圧力で思うように事が運んでいくような会では会にならないと思います。吉野川に直接関わっている方の声を直接反映できるような、机の上だけで全てが見えているような人が話の検討会には難しいのでは？
2192	ご意見なし
2193	ご意見なし
2194	ご意見なし
2195	ご意見なし
2196	大澤さん、湯佐さんが議長になって川下の漁師の若い人を入れ、川上の山城町から川下の徳島市まで20から30歳の男女10名で話し合う場を各町、市で作ったらと思う。ただし建設業、国、町、市の職員、県の職員は入れずに作ったら新しい考え方利権に絡む事も無いと思われる。以上。
2197	学識経験者等の選定についてどのように選んでいるかなど明確にして欲しい。県民の意見をもっとも反映して進めていけるようにしたい。
2198	各種方面より、小地域で集って話し合う場を、と思います。例えば、小学生、中学、高校生、PTA、婦人会、老人会、官庁、魚釣り人、写真家、画家など、小地域での集会はいかがですか。そして、大きい場へ結果を持ち寄る。
2199	ご意見なし
2200	最初から答えが出来ている、前回のような、見せ掛けの検討会であってはならない。
2201	45年前の吉野川の状態をよく研究してから下流域のことを考えること。高知県の穴内川も暴れ川であったが、穴内川ダムを造り、水を土佐山田町及び南国市に流している為、暴れることは絶対になくなりました。また、山城町を流れている銅山川も上流に新宮ダムもう一つのダムを作って水を川之江および伊予三島市へ流されているので、吉野川へ流れ込まなくなったのです。45年前の上流研究会を作って、住民に聞いてください。
2202	人間の考えたもの、作るもの全てが完全良質とはいえない。長所もあれば欠点もある。自然もまた、恵みもあれば災害も起こり得る。要はどちらを甘受するか。そういった話し合いの場を。
2203	ご意見なし
2204	有事の際に、行政の責任をすぐ問うような世論が間違っていることを、行政、住民双方で確認することも必要では。マスコミや県外の環境家と呼ばれる人たちには静観してもらいたい。
2205	一般住民の自由な意見が反映される場にして欲しいと思います。
2206	住民が進んで参加できるようにPRして欲しいし又、官が提案するだけでなく、いろいろ勉強している民間人を中心にした場であって欲しい。
2207	あらゆる階層の意見が反映されるように望む。
2208	各立場の利害をつき合わせるのではなく、本当の川の姿は何なのかをまず思い出し、本来あるべき姿をまず考えて欲しい。そこから吉野川の現状と課題を、いかにあるべき姿の中で構成していくかを検討して欲しい。
2209	川について法的にも学識ある人々により意見を出し合って住民に説明し、住民代表にも検討参加するのが良いのではないのでしょうか。
2210	学識経験者や住民の意見を聞いて欲しい。
2211	全体計画は学識経験者や各自自治体の長等で決定しても良いが、第一は流域住民の意見を聞くことが大事であると思う。
2212	利害関係の絡まない人々を参加させるべきである。
2213	ご意見なし
2214	ご意見なし
2215	Aさん。みんなの意見をまとめてくれる人が必要。
2216	地域住民代表、行政の人、有識者の会。将来的展望に立った話し合いが必要だと思います。

Q12-1.「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
2217	なるべく、多くの意見を集約し反映させることが大切だと思います。単なる代表者だけの話し合いの場にならないようにして欲しいと思います。そのためには、各地域で話し合いの場を設け、その代表者の話し合いの場をさらに設けるという形で意見の集約をしていけば良いのではないかと思います。
2218	ご意見なし
2219	ご意見なし
2220	ご意見なし
2221	ご意見なし
2222	ご意見なし
2223	自由な討議ができる場であって欲しい。
2224	ご意見なし
2225	ご意見なし
2226	中立。全体として、一つのことに捕らわれない場であって欲しい。
2227	各家庭にアンケート方式で、町ごとに意見をまとめ、県全体で話し合う場を設け一人一人の意見が反映されるようにする。
2228	ご意見なし
2229	ご意見なし
2230	吉野川に水が流れているということは、川の流域全体が自然に溢れているという事であって、生態系があって、植物・動物の輪回があるということである。この自然環境に触れてみたいと思って、色々な方法で目的で近づいてみると、普段の生活から解放されるといった事。また、川を私達の毎日の生活の中にうまく利用する事と言ったような多様な恩恵を受けております。このような生活に密着した吉野川でありますので、これは一つの財産だと思って検討会に臨んで欲しいものです。
2231	「いつまでも自然を残して欲しいです。」というような小さな意見も届く場であって欲しいです。
2232	自然を守りながら、多くの人が訪れるようにするにはどうすればいいのか話し合う場。
2233	専門家でない立場の人と、専門家である河川管理者の立場の人とは、河川整備についての認識が大きく食い違うことになりがちです。専門家の立場の人は、誠実に分かりやすく情報提供を行い、専門家でない人から不信感を持たれないようにすることが大切かと思います。
2234	ご意見なし
2235	ご意見なし
2236	ご意見なし
2237	分かりやすい説明をしてもらいたい。
2238	図式でよいのではないのでしょうか。
2239	ご意見なし
2240	学識経験者や住民の代表の選び方を考え直し、全年代の意見や、何かを作ろうとするときは使うべき人たちの意見を汲み取れる場であって欲しい。学識経験者(机の上で考えるだけの人)、住民の代表(やっているのを見ている人)
2241	水と空気は「タダ」では生まれない。そのことを理解できるような場とする。
2242	ごく普通の人たちが参加して発言できる場であって欲しい。
2243	川づくりリレーフォーラム。子供も中心とした「キッズ・リバー作戦」。例えば、自然と触れ合う機会が少なくなったJr.達に、「河川敷ドッジボール大会」や「キッズ・リバー球技リレー大会」。夏休みを利用して、親子の憩いの場を持ったりできればいい。
2244	男女、年齢を問わず、色々な人が率直に意見し合える場であって欲しいです。
2245	ご意見なし
2246	自然を残して、その自然を活かし、又住民にも安全な川づくりを話す会。
2247	ご意見なし
2248	様々な人が様々な意見を自由に発言できる状況でないといけないと思う。
2249	治水だけを考える場なのか。水をきれいにするのなら、下水道の件もあるし、農業に使う薬もある。流域に排水する企業もある。木を植えるなら林業も関係ある。色々な方面の者が入る必要がある。
2250	住民の意見を1つでも多く取り上げ、みんなに開かれた場であって欲しい。
2251	政治的にすべきでなく、長い先を見通した意見が通る場を作って欲しい。害を受け続けた、私の場合遊水地帯(被害を受ける地帯)に長年住み続けた苦勞を知っているのかな。
2252	無理矢理参加させられる人がいないよう、本当に自主的参加の人ばかりにする場。
2253	園藤知事逮捕に嫌気差しました。関係のない職員の方にはお気の毒ですが、アンケートも嫌な思いの中で書きました。
2254	ご意見なし
2255	ご意見なし
2256	情報公開。透明性。代表の公平な決定等。
2257	学識経験者による公聴会を開催して、住民の意見を反映した河川整備計画を作成する。
2258	ご意見なし
2259	きれいな川づくりのために、一人一人が家庭から流す水に気をつける点について話し合う。ボランティアなどで河川の掃除などを行うことについて。
2260	(1)吉野川の可動堰建設は、徳島市の住民投票により圧倒的多数で「NO」の判定がなされたのであるから、可動堰を除いた話し合いの場を作るべきである。(2)吉野川流域の他の市及び町の人達が「それは徳島市だけの結論で、我々は従えない」と言うのなら、徳島市と同様に自分の市または町で、可動堰の是非を問う住民投票を実施して、結論を持って来ればよい。(3)住民投票も実施できないで、徳島市民と対等の話し合いの場に於いて、可動堰の是非を議論したいなどという考え方が間違っている。(4)今さら、可動堰の是非など話す必要はない。可動堰以外の話し合いの場にしなければ、この「検討の場」は成り立たないであろう。
2261	環境団体が入ってくると思いますが、本当の流域住民の老若男女の各世代を積極的にお誘いして、公平に日頃思っている事などを聞いてあげてください。かつて災害に泣いた吉野川下流北岸域の住民の苦勞を知っている人々は、故人になられています。
2262	自由で幅広く。



Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
2263	ご意見なし
2264	学識経験者とともに地域住民の意見を十分に生かされる組織。学問的裏づけの説明が必要。
2265	ご意見なし
2266	ご意見なし
2267	河口より10kmぐらいごとの地域の住民の意見を聞き、その結果を踏まえ全体像も検討していただきたい。
2268	専門的な意見でなく、平易な言葉で、文章で河川法の中で必要な案も、不必要な案もその河川に応じた対応を。「Bの工事をするためにAをしなければならない」ではなく、「Aを抜いてBでできないか」の検討。
2269	ご意見なし
2270	ご意見なし
2271	吉野川は四国代表の川だから、香川、高知の意見と香川へ分水しているから意見とボランティアを出してもらえたらと思う。
2272	川を汚さないモラルを教育して欲しい。
2273	別になし
2274	公聴会の開催等による住民意見の反映。
2275	色々な立場で川に関わっている人達が集まり、それぞれの憩いを語り合う。子供、孫と代々続いていく自然を語る。お互いの立場や生活を考慮しながら、譲り合い、川との長い付き合い方を研究する。上流・中流・下流とお互いのことを気にかけて話し合いの場。
2276	検討の場に単なる人を集め、イベント等を開催する会にして欲しくないと思います。美しい吉野川をどのようにして守っていくか、という会にして欲しいです。
2277	イデオロギーや利権を排除した自由な立場で。人間性豊かな各階各層の人々で。
2278	それぞれの意見を出し合い、良い所を反映させる場になればいいと思う。
2279	ご意見なし
2280	一回、第十堰の地元説明会に出席したが、皆が意見を十分に検討する雰囲気ではなかった。最初から反対者の声が大きく、帰ってきた。壇上に説明者側(国土交通省)という形式でなく、司会者が場を仕切る形式にして欲しい。
2281	学識経験者の意見も大変重んじなければならないと思います。しかし、川の周辺の住民の意見はもっと大事にしなければならないと思います。目先の考えにとらわれないで、将来の子孫のためにどうするのがベストなのか、それぞれの立場の利害を捨てて、純粋に真面目に考えなければなりません。住民の方々と学識経験者と政治的な正しい判断を結集して、議論をして決めて欲しいと思います。
2282	利権のない関係者の集いの会であって欲しい。
2283	ご意見なし
2284	ご意見なし
2285	住民の意見が反映されれば良いが、一般の人々の意見はなかなか出ない。発想の自由な小学生や中学生の意見を取り入れる。
2286	ご意見なし
2287	学識経験者が先導しつつ、前向き姿勢のみんなの意見を尊重できる余裕のある場。
2288	老人の意見を良く聞く場であって欲しい。
2289	地域住民参加型の川づくりを話し合う場であって欲しい。
2290	ご意見なし
2291	子供から老人、または、地元住民、学識経験者が自由に意見交換できるような場にして欲しい。出来るだけ多くの人の意見を聞いて欲しい。
2292	学識経験者・流域住民の代表者を選挙すること自体がなかなか難しいことではないか。どこまでの人選をするのか。住民意見を反映することであるが、どこまで反映するのか。
2293	ご意見なし
2294	ご意見なし
2295	ご意見なし
2296	河川整備を行うにあたって、最も河川のことを思い、影響を受けるのは流域住民であるから、流域住民の意見を尊重し、納得のいく計画を検討する必要があると思う。
2297	ご意見なし
2298	子供から大人まで皆が親しみ、川の大切さを実感できるような川づくりを検討するため、学識経験者だけでなく、教育の現場に携わる人々、また生徒、地域の人々等々、幅広い意見を聞いて欲しいと思います。
2299	ご意見なし
2300	関係省庁、学識経験者、流域住民、特に若い世代層の参加を図り、意見をまとめ上げる取り組みを望む。
2301	検討会で出た意見は、必ずファイル化して保存する。その上で同じ意見が多数出ている案件については、レジメにして次回検討会に提出し、出席者の問題意識と共有出来るような会であって欲しい。
2302	識者による客観見地を積極的に取り入れてほしい。
2303	流域住民に、漁業組合・建設業協会等、なんらかの利害関係のある団体を含むこと。
2304	流域住民の意見を中心に聞いてしまうと、災害に備えることが不十分になる可能性があるため、「部分」的に少しずつ意見を反映させることができるような会議にしてほしい。
2305	ご意見なし
2306	「川づくり」というのがわかりません。そのまま川ではいけないのでしょうか。どうしても検討の場が必要であるなら、当然検討の場が必要だと思います。目的をオープンにした上で、考えてはどうでしょうか。
2307	これまでのように行政が強引にダム建設等を押し付けるための会ではなく、地域住民やさまざまな形で川と関わっている人々の意見を反映させる場であってほしい。
2308	危険だ危険だと言い、ダムは生命と治水の為とかを声高にいいますが、何mmの降雨量で、水位は何cm上がるのかを明示してほしい。100年に1度に備えるなら、震災にはどうして備えないのかと思う。
2309	ご意見なし
2310	行政主導でなく、住民主導にして進める。
2311	個人の利益とか、損得勘定だけでなく、本当の自然環境の将来を真剣に考えて実行できるような会である様に。絶対に中立の人達の集団。学識経験者の方も中立で。(問われていることが難しく理解できないので、回答になっていないと思いますが、悪しからず)。

Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
2312	子供たちの意見も反映するような場であってほしい。そのため「食ing・子どもサミット」のような場を設けるのもいいのではないのでしょうか。
2313	日本の川の本と考え、土木・農業関係者は申し訳ないが排除し、100年前の水質に戻す事を第一に。一部の選ばれた者だけの決定でなく、広く住民一般の意見に従って決めてほしい。田宮川では大きな工事が行われているが、住民はその目的・効果・工事内容等が全く判らない。洪水のときどうなるか心配でたまらない。吉野川でもこんなことにならないよう望みます。
2314	上流・中流・下流域と、地域によって考え方が異なると思うので、それぞれの流域住民の意見を聞くべきだと思います。
2315	清水の流れる河川。Aさん。
2316	私は学識経験者等の意見及び住民意見を反映する事が必要だと思います。
2317	ご意見なし
2318	ご意見なし
2319	池田ダムを境に、上流と下流の流れなどが違うので流域の住民の意見を聞けるような検討の場が望ましいと思います。
2320	清流の流れ。
2321	第十堰によって、治水・利水に関係のある人達によって話し合いの場を作る。
2322	多くの県民の声が反映でき、大人だけでなく、学生やいろいろな方面の人たちの一般の声をに入れて欲しい。
2323	私は年寄りで、詳しい事はわかりませんので、ごめんなさい。
2324	ご意見なし
2325	行政側において、しっかり信念を持って押し進める部分と意見を聞き、取り入れる部分を明確に区別すべきです。何もかも意見を聞いては始まらないと思います。
2326	川を汚してほしくないから、川に落ちているゴミを拾うといいと思う。
2327	自然を第一に考える場であってほしい。
2328	魚釣りやキャンプのできるゴミもない川がいい。
2329	直接、利害関係度の深い河川近辺地域住民の意見を尊重して欲しい。
2330	意見はいろいろな人から聞くのに賛成。できれば常に川に行っている人(釣り・バードウォッチングをしている人等)
2331	学識経験者・流域住民等、みんなの意見をまとめる場。
2332	住民の意見等を聞く場、話し合う場を設け、みんなで美しい川づくりをしたいと思います。
2333	ご意見なし
2334	みんなで楽しく遊べる場所。
2335	その人その人の職業により思いも違うだろう。田畑を持つものは、風水害もあるが、清きこの川の水を忘れては生活出来ない。尊き恵をいただき日々暮らしている。その職・地域のつどい。
2336	ご意見なし
2337	ご意見なし
2338	子供も大人も、昔の様に川に対して関心もなく知識もない様に思いますので、各町で身近に楽しいイベント等の会を開き、釣り名人とか魚や生き物の話を聞かせてほしいものです。川辺で一刻を過ごすのも良いものです。
2339	ご意見なし
2340	キャンプ場。みんなで遊べる水の遊び場。
2341	ご意見なし
2342	ゆたかのできれいでやさしい川であってほしい。
2343	いつまでも、きれいな川でいてほしい。
2344	情報をもっと出してくれる場所だったらいいと思います。
2345	ゴミのない、きれいな川であってほしい。
2346	どこの人でも楽しく遊べる場。
2347	P.16には中立透明性が大切とあるが、私は「利便性」を考える人と「環境」を重んじる人と両方の考え方の人が入ることが中立、透明性を保つ上で必要と思う。
2348	公聴会の意見の反映。色々な意見があるが、当局が責任を持って対応を。後世の批判に耐えられるものを作れ。
2349	公聴会などの開催によって広く意見を求め集約する。行政の一方的な介入は極力排除すること。
2350	ご意見なし
2351	穏やかに色々な意見が言え、聞ける場であってほしいと思います。それぞれの立場が違い、意見も違うと思いますが、違った意見も受け入れながら前向きに考えていって欲しいと思います。感情的、批判的な意見ではよい方向にはいかないと思う。
2352	ご意見なし
2353	ご意見なし
2354	話し合う場。あまり考えた事も無いですが、皆が平等に利用できるような川づくり。今は色々騒がれているような事にならない様に。難しいことはよく分からない。
2355	ご意見なし
2356	学識経験者が男性ばかりにならないようにして欲しい。検討の場において学識経験者等、流域住民だけはおかしい気がする。納税している県民の側からも参加するべきでないでしょうか(別グループとして)必要なのに必要な金額でつくられるかどうか、第三グループの様なものと良いと思う。ここでも出来るだけ片方の性別にだけ偏ることなく選出してほしい。
2357	吉野川のことや地域住民のことを考えた地球に優しい人に優しい自然に優しい場であってほしいと思います。
2358	ご意見なし
2359	徹底的にあらゆる角度から話し合える場とする。吉野川にかかわる全ての人の意見、考え方が反映される場となる。
2360	

Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
2361	地域中で皆が真剣に話し合っ代表を決め、上流から(農業、又山の仕事をしている人)何人かの選出し下流へ下流へと色々な職業の人の中から代表を選び漁業の人の中でも漁師、養殖、わかめの仕事、のりの仕事、というように色々な人の意見を聞き、この吉野川を考えていけば良いのでは。
2362	ご意見なし
2363	わからない。
2364	現状を皆んなで改善する方策を考え、少しでも昔の吉野川に復元する努力をしなければならない。このような事が実現できる川づくりの話し合う場をつくり、その話し合ったことが実現できる会であること。全関係者による会であることがまず条件でなければならない。
2365	吉野川上流から下流の地域住民の意見が反映される場があると思う。ということは上流の住民の人の川から受ける恩恵と他の地区の住民の恩恵は違うので上、中、下流の人の意見が聞けるような大きな場所ではなく小さいところで多くの人の意見が反映できる場所が良いと思う。
2366	行政機関は公共工事の目的物も明確に表に出さず、例えば地域として電気が不足している、どうするかと問題を投げかけ意見を聞く。住民より水力発電、火力発電、原子力発電等の意見。行政より、住民の意見について長短を説明する。住民より再度とりまとめる。例えば火力発電と決定すれば、行政より具体的に説明する。A地区、B地区等環境アセスメントの結果を報告する。住民より地域の選定をしてもらう。行政より住民の意見を沿った計画を説明する。住民より同意を得る。行政より工事に掛かる。
2367	近くの集会所で多くの人がいけるところ。
2368	ご意見なし
2369	机上で計画するのではなく、実態をよく研究し本当に今必要かを検討する。
2370	ご意見なし
2371	ご意見なし
2372	河川道路の改修、新設等にあたっては計画立案の段階に於いてその内容を地域住民に開示し共に合議の上決定する为上策とする。決定した後公開するのでは問題を残すこととなる。なお地域住民との説明会は小規模にて回を重ねる事が大切である。
2373	県民(小学生から老人まで)に個別アンケート取ったら面白い結果がでるのでは。
2374	流域住民と学識経験者等によって話し合う場をつくるのが良いと思います。
2375	ご意見なし
2376	関心のある人は誰でも参加できるシステムが必要。政治的に利用されない事。
2377	下流と上流の人々の対等な交流を望む。下流の人々は上流の人々を馬鹿にしているのではないかと思うことがある。下流の人々は山をもっと知るべきだ。
2378	ご意見なし
2379	様々な年齢の方の意見を聞きたい。
2380	色々な年齢層の意見が必要。
2381	ご意見なし
2382	流域住民の意見を第一に考えてもらいたい。
2383	ご意見なし
2384	学識経験者等と流域住民で話し合う。
2385	ご意見なし
2386	識者、名士の検討でなく、昔からその地域で生活している多くの人々の代表者を多く入れての場としてほしい。東京に住んでいる人に現場、現地が見えるはずが無いと思う。
2387	一部の政治家や権力者によって支配されることのない民意にも耳を傾け取り入れてくれる様な場であってほしい。上流から下流まで多くの人々の意見を取り入れてほしい。川に関心を持って活動している人もいるが、何が目的か理解できない。漁連、建設業者、自分達の立場で物事を考え、肝心な事を忘れてる。公的な調整が必要ではないでしょうか。コンサルや業者はお金のかかる事しかししない。工法の決定はコンサル任せにしないで。
2388	ご意見なし
2389	印刷物(貴省提案)のような形で良い。
2390	河川整備が行われる場合「住民の意見」を聞いての検討が重要であり、たいいていの場合このように行われていますが、最終結論を出す場でも住民の意見が反映されるようにするべきであると思う。原案→意見(住民)→案→決定(住民代表者等)。
2391	ご意見なし
2392	住民の意見も反映して欲しい。みんなの意見をまとめてくれる人が必要。
2393	ご意見なし
2394	皆の意見を考えてもらいたい。
2395	住民の意見を第一に考えてくれる場にして欲しい。
2396	ご意見なし
2397	河川法とかは私たちには分からないので、検討の場については流域住民の代表さんをつくり、意見も聞いてもらい流域住民も勉強が出来るよう出来たらいい。
2398	ご意見なし
2399	ご意見なし
2400	みんなの意見をまとめてくれる人があって良いと思う。
2401	上流から下流までの流域住民の意見がよりよく反映されるような場が必要ではないだろうか。学識経験者等については中立透明性などが強く要求される。公聴会などはマスコミや特殊な団体などが扇動したり利用するのに好都合で民意の反映にはならないと考えられる。流域住民の代表によって公正な運営がなされるべきと思う。
2402	部落範囲でした方がまとまると思う。
2403	ご意見なし
2404	ご意見なし
2405	自然の状態を守りながら利水、治水の営業者と行政間において話し合い、出来るだけ最小限の人工的な施工に抑える事と一般県民の意見も尊重する。



Q12-1.「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
2406	それぞれこの吉野川によって住む人々には大変な恩恵を得て、生活をしているのだから若しこの川が何かの理由で利用出来ない状況にあったとしたらどのように考えますか。お互いにこの川がなければ生きていけないというのを先ず自ら理解できなければ前進はあり得ないと思う。そのためにはどうすればいいか、一人一人理解できるのではないかな。治水、利水に日常苦勞されていないから理解できないと考えられる。県民一人一人が100年から200年前のこの川の生い立ち、姿をよく思い起こしたら理解が得やすい。祖先の方々がいかに苦勞して日々を送ってこられたか。
2407	住民の意見が反映される場。
2408	住民からの意見の吸い上げは非常に難しい。一部の発言力のあるものの意見が、全体的な意見となる恐れがある。できるだけ多くの人からの意見を求めるため、小さなグループ単位で念入りに聞き取る必要がある。又本当に吉野川のことを理解している人が少ないことも念頭に置いておく必要がある。局部的、一面的な意見が多い。
2409	政治的に利用されやすいし、また予算を伴うものなので政治家の介入がされるようで細川内などの悪例を吉野川に持ち込まれたいと思います。無駄な税金を使わせたくないような第三者の立場が必要。
2410	吉野川を真に愛する心を持った人々の集まりであって欲しい。自分の思いと反対の意見がでもすぐ否定するのではなく、よく話し合い歩み寄り最善の解決策を考える場であって欲しい。反対反対と顔色を変えるのは恥ずかしい。決して良い結果は出ない。地方公共団体の長は、自分の利害を考えないで欲しい。
2411	徳島の発展、吉野川を純粋な気持ちで中立な立場で考えられる人(儲け主義では駄目)。
2412	自然はとでも大切なんだという意識を持った人達が大量参加してくれたら良い。
2413	自然で楽しい場
2414	子供から老人まで安全な場づくり。ダムになって一度も下に下りた事が無い。魚釣りでも出来る道を県道から何箇所かにつくってほしい。子供も老人も安心して参加できる場。何か計画すると必ず学識経験者、各役職の長とかでなく、地域の古老、吉野川を訪れた人達の意見を聞くことが一番大切だと思います。
2415	Aさん:意見をまとめてくれる人が必要。環境がいた地域のもので大豊町内に於いて検討の場をつくったらと思います。
2416	昔からの自然を守って欲しい。
2417	皆で楽しく遊べる川にしてほしい。
2418	専門家にお任せする。
2419	地域住民の声が反映できる様な話し合う場をつくってほしい。
2420	皆で川づくりを話し合う場(地域住民)があってもいいのではないかな。
2421	本当にこの吉野川を愛する人々に集まってもらい、みんなで和気あいあいと話ができればと思います。そして、吉野川の自然を守り、もっともっと栄えるよう努力していつてもらいたいです。
2422	わかりません。
2423	ご意見なし
2424	ご意見なし
2425	民間の自主実践グループの育成に力を注ぐべきである。大学教授などの学識経験者は理論ばかりで実態をしらなすぎる。行政が真剣になって河川環境汚染について流域住民へのPRと汚染の根源を見極めてそれを排除する手立て(企画)を行政チームもつくって行うべきと思う。川べりで行うイベントの奨励は川をきれいにしようと呼びかける場ともなり、住民の川への関心を高めるきっかけとなる。(例、いもたき、石の探検、魚介類調査など)。
2426	建設会社の利権を排除して、本当に環境のためになる川づくりを話し合える会になればいいと思う。
2427	ご意見なし
2428	ご意見なし
2429	ご意見なし
2430	国の方で色々住民の立場に立って大所、高所からご検討されていられる方向で十分でないかと考えま
2431	Aさん。
2432	ご意見なし
2433	ご意見なし
2434	中立。透明性は絶対だと思う。
2435	学識経験者の意見も大事と思いますが、先ず住民の意見を大事にして少数の意見も聞き改善していくのが好ましいと思う。そして住民第一とし、吉野川流域の住民の生命を一番に考えて欲しい。何十年、何百年に一回の水害でも吉野川流域住民の方々は心配であると思う。
2436	各市町村で住民にアンケートをもらったり、集会場でも大人数でなく、皆で意見が言える人数で色々話し合ったら良いと思う。
2437	ご意見なし
2438	ご意見なし
2439	ご意見なし
2440	源流から河口までの町村で工業、農業、漁業、観光、文化、水道、環境等についての意見を出して代表者が検討の場に持ち寄り検討をすれば上流、中流、下流と分けて考えれば、良いものが出て上流から下流までの一本のものにすればどうかと思う。
2441	ご意見なし
2442	ご意見なし
2443	年齢を問わず、楽しめる川であって欲しいため広く関係者の意見を聞いて整備するようにしてください。
2444	ご意見なし
2445	河川法は誰の為に作ったのか考え直す必要がある。
2446	国土交通省で国、県、流域市町村の行政の代表及び環境保護団体、地元住民代表で公開方式により話し合うことが必要と思われる。
2447	自由意思を色々出して皆でまとめる。
2448	学識経験者を中心に地域単位の代表者により意見を聴取の上、これらをオープンに関係住民に開示、住民投票により決定する。
2449	他県の例なども参考にしながら、早期に結果(結論)を出していけるような検討の場にしてほしい。全員の意見を反映することは不可能であるので、住民投票等も取り入れていくことも必要。

Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
2450	年齢を問わない人(小学生から大人)による自由な発言の場所であるべき(強勢の無い)。また各職場の代表者による自由参加も望ましい(利益を求めない)。河川の維持、保全などは行政が住民に真摯に持ちかけ提案し、学識経験者の意見等を尊重の今今後取組んでもらいたい。結論は多数の人の意見が尊重され反映されなければならない。(一部の人の押しつけは駄目)。
2451	川の水が汚れる原因は家庭用排水が川へ流れ込む事にある。一部地域で浄化槽を作っているが全域となると無理なので、各戸が排水時に排水をできるだけ浄化して流す努力をする事が大切だと考えます。水を売ってるこの時代ですので、各家庭に浄化を義務づける法律が出来てもいいのでは。綺麗な小川にめだかが泳いで・・・昔の話です。川作りは水が基本と考えます。ドブ川になる前に皆で話し合っ欲しいと考えます。
2452	流域住民だけでなく、川の資源の恩恵を受けている。香川県や徳島県民全体の声を聞くべきだ。
2453	河川整備制度を重要視し、長期計画の樹立を図り早急に流域住民のシンポジュームの場を設ける。
2454	官主導でなく、住民、利害者、全員意見が出せる場が必要である。
2455	多方面のそれぞれの専門家の集まりと、昔から川辺に住んでいる住民の集まりの中で話し合いが必要である。目先の人間の利益より、自然を守ることを優先しないと、将来長い目で見た時に、得にならない。(何億年もかけてできた自然のバランスを人工的に変えると、調和が崩れて人間も住めない、生きていけない世界になってしまう。)これらのことを基本にすえて話し合っ欲しい。
2456	ご意見なし
2457	ご意見なし
2458	皆が寄り合うなら若い人達にその良さと、自然の恵みの大切さを話し合っ子供達に大人が教えていくべきでしょう。幸せとは、自然の中から生まれるもの。その暖かさや他人を思いやる心、やさしさ、木や花を愛する心、人を愛する心こそ吉野川が恵みを与えてくれるでしょう。
2459	ご意見なし
2460	ご意見なし
2461	住民意見等が十分反映できるようなシステムであって欲しい。
2462	地域と共に成長し、密接的な関係に。
2463	ご意見なし
2464	子供や若者の意見や考えを取り入れた話し合いの場にして欲しい。役所や一部の人の考えに偏らないように配慮して欲しい。
2465	学識経験者の意見により検討するのは勿論ですが、流域住民の長い間の身近な付き合いがあった人達の意見も取り入れる様にして欲しいと思います。具体的には色々な意見を持ち寄って検討すればよいと思います。
2466	情報がない現状がわからない(者)私達が集まって話し合っても“委員は知っていた”と言われ反対は無も出ない。国(管理者)と住民、国民の間で「検討の場」が国民への「楯」となる場であれば無意味。水資源が不足しているのであれば、需要計画と供給計画を出し、一議題ずつ部会を作る。それも専門家の部会。大学教授とか水道管理者の意見を聞けばいい。堰が必要であれば、堰のみの専門部会でいいのでは。
2467	自然を第一に考える場であってほしいと思います。
2468	川を皆でどうするのかを決めてきちんと川を綺麗にしたり、魚とかに害を与えないような作業を決めてほしい。
2469	ゴミのない綺麗な川であって欲しい。
2470	キャンプ場を作してほしい。
2471	ご意見なし
2472	たくさんの方の意見をしることが大切です。インターネットの活用を是非。お勧めのページ。検索エンジンで「未来樹2001と大内正伸」水源の森についての論議録。「自然の中へ」香川のどんぐり銀行。地元住民の意識のアップに努められたらいいと思います。
2473	インターネット(コンピューター)でも、すぐ調べられる場所を作ったらいいと思う。(人気が出る所)
2474	自然を第一に考える場であってほしい。
2475	皆が納得してくれるような、まとめ方をしてくれる素晴らしい人がいる所。
2476	魚がたくさんいて釣りなどができて虫なども住めるような川がいい。
2477	ゴミについて考えてほしい。
2478	自然が多くていつでも楽しめる豊かな場所。
2479	ご意見なし
2480	後で文句がでないように皆が納得できるように話し合っ欲しい。
2481	ゴミのない綺麗な川であって欲しい。
2482	ご意見なし
2483	いろいろな地域の人とかの意見を聞いたりしたらいいと思う。
2484	自然を第一に考える場であって欲しい。
2485	ご意見なし
2486	開発あるいは保護という名のもと、それに関わる大手企業の利益に荷担するようなことのないように、より多くの市民と将来のために真剣に考えあう会としてほしい。
2487	一つの小さい小屋やキャンプ場を作ったらいい。
2488	ご意見なし
2489	学識経験者や流域住民の意見をまとめるためには行政側のリーダーシップが必要であると考えています。「皆で川づくりを話し合う場(検討の場)」においては行政側の手腕に期待しています。
2490	ご意見なし
2491	皆で意見を述べられる5から6名を単位とした円卓会議。
2492	一般住民は各年齢層を考慮した代表、各職種代表、地域代表、学識経験者、地方公共団体代表等で組織した整備計画委員会。目標期限を設定した委員会開催。
2493	皆の意見をまとめてくれる人で中立透明性などが大切だと思う。
2494	流域住民を含めた全国民を対象に意見を聞いて検討したい。
2495	学識経験者等の意見を吸い上げることが必要。中立な立場、意見が住民にもよく分かるような周知の方法が必要である。
2496	地元の人達と一体になって、皆が集まりやすい場になれば良いと思う。

Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
2497	私はアンケート原案に賛成する。常に話し合いの内容などについて情報公開をしていただけると多くの住民は納得できるのではないかと思う。
2498	気軽に参加でき、自由な意見を言える場。
2499	住民の意見を取り入れて話し合える場。
2500	ご意見なし
2501	公聴会の開催による住民意見の反映。学識経験者、流域住民等の意見をまとめる無作為の意見交換。
2502	中立性、透明性を保つ事。
2503	町の公民館。各分館。
2504	流域住民と学識経験者が話し合う。(適当な規模で地域ごとに。流域全体で。)
2505	住民の意見を尊重してほしい。(一般市民は消極的なので行政まかせという気持ちの人が多と思うが。)
2506	学識経験者と住民の意見を充分反映できる場であってほしい。
2507	ご意見なし
2508	ご意見なし
2509	学識経験者は全体の1から2割が良い。5割は源流から河口までの川の恩恵住民の代表者、1割は海洋漁業者、残り1割は国土交通省と県関係者で構成され、源流ばかり河口ばかりにとらわれない、現実と未来とがマッチングするような企画や活動が持てるような話し合いの場がもてたら良いと思う。(個人的には余暇はほとんどボランティア活動にあてて埋まっているので今のところ新たな会には参加できなくてすみません。)
2510	ご意見なし
2511	行政についてなんでも「川づくりを話し合う場」といった場合、施設ありきに考えがちだが、ソフト面の方をもっと充実すべきだ。話し合う場は一回きりで終了するのがいいのか。話し合う時間帯は地域住民の労働に差し支えないか(差し支えるのであれば参加は少ない)。職員は一人の参加者であり、決定者ではない事。また近頃の族議員対策の為お金の流れの明示化またその委託業者からの政治献金の有無。以上のことがハッキリしなければ住民たちの意欲も落ちるのではなからうか。(結局は上手利用されたと考えるだろう)。検討の場は本当に真剣に考えたいと思っている人が多い。その人のモチベーションを低下させるべきでない。
2512	ご意見なし
2513	今までの制度の中では住民の意見の反映が難しく、自然と強い意見に引っ張られる可能性が大きい。新しい方法としては、住民の意見が尊重され、後々問題が残らないと思う。いずれにしてもそれに対して真剣に取り組む指導者の選任が一番大切だと思う。
2514	沿川の市町村、漁業関係者、観光業者、各部落単位の代表者が地域を区切りフリートーキングの形態で検討されるのが望ましい。
2515	ご意見なし
2516	漁業者も一般の利用者もお互いに話し合いにより、より良い川の利用を検討する場が必要。漁業組合員だけの川でもないダム湖の多面的な利用も考えてみては。
2517	現実が心と言葉を切って、場を失う。諦めにも似た心が流されてゆく。検討の場には自然への心使いがある人達の集うことが大切である。
2518	流域住民の意見を話し合いまとめる人が必要だと思う。
2519	ご意見なし
2520	情報公開を十分に。公共事業(雇用対策)のためにダムを建設するなどしてはならない。100年後のあるべき望ましい姿をえがく。
2521	吉野川は徳島県内を東西に長く流れている為、地域ごとに生活環境に与える川の状況は千差万別であると考えられる。地域にあった行政が必要ではないか。
2522	ご意見なし
2523	居住する地域によって考えは自ずと違ってくると思いますが、役所、首長の政治上の都合に左右されない方法。もちろんCさんの考えに賛成。
2524	ご意見なし
2525	護岸の方法や森林の保全の方法などは、“みんな”で十分に検討に時間をかけて話し合っても良いと思うが、流域住民としては堤防決壊の恐れがあるのに“みんな”で話し合ってもとまらず何十年も手付かずというのは不安である。
2526	これまでの公聴会には建設省の都合の良い学識経験者や専門家が集められていた様に感じる。(役所の意見に反対する結論が出たことがあるのか)望むことは中立で、透明性の高い運営をして欲しい。また重要な案件は公聴会の結論で決定するのではなく、住民投票などで決めて欲しい。
2527	住民参加の場を検討してもらいたい(住民代表を出す)。
2528	誰でもが、参加できる場が良いと思う。
2529	話し合いの場では地域と自然との密着を中心とする場であってほしい。
2530	政治色の無い自然を活かす吉野川を基本とした話し合いの場としたい。
2531	住民の意見を反映。
2532	ご意見なし
2533	三好郡、美馬郡、麻植郡、阿波郡、板野郡、名西郡、徳島市、鳴門市、各市町村役場。
2534	ご意見なし
2535	ご意見なし
2536	ご意見なし
2537	吉野川の中流あたりで、宿泊も出来る景色の良い場所でこんなに綺麗な大きな吉野川をどんなにアピールするか意見の出し良い場所が良いと思います。
2538	ご意見なし
2539	ご意見なし
2540	ご意見なし
2541	ダム建設や土木工事等の経済面を重視した考えが支配してなければ良いなと思う。暮らしが何ら吉野川と関わってない学識経験者の意見が横行しなければ良いと思う。それぞれは各々の立場で主張するけど、広い視野でそれを取りまとめていく場であれば良いと思う。
2542	ご意見なし
2543	吉野川の水は誰のものか。国、県、市町村か。四国の人々。徳島県民。流域市町村。その他の人。



Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
2544	ご意見なし
2545	地域性、例えば上流、中流、下流域、支流域とか実際に地域に関わりを持っているし、生活の一部であるという人々の意見や考えが大事に思う。感情的にとくなりがちである様に思われるがもっと冷静に、判断できる様各人に望む。
2546	産、官、学、民がそれぞれの立場で意見を述べ、連携していけたら良いと思う。参加者は吉野川を総合的な視点からよくしていこうという共通の認識が必要であると考える。
2547	気軽に自分の意見を言える場であって欲しい。
2548	「明日の吉野川と市民参加のあり方を考える会」あたかも徳島市民の意見が優先されるような事であってはならない。あくまでも吉野川の治水、利水、安全はどうすれば良いのかを第一に考えるべきで、関係(特に生命、財産)のある地域県民の意見を重視すべきである。きれいごとでは生活は出来ない。選挙の票を集めるために左右されるべきでない。
2549	ご意見なし
2550	ご意見なし
2551	吉野川のような県全体に関わる問題については、それぞれの郡市の意向を掲示できる場があり、その上に学術面、技術面、地球環境面から検討され、しかもそのプロセスがガラス張りで行われる検討の場であって欲しいと思う。
2552	ご意見なし
2553	ご意見なし
2554	川に関係する人々、全員が検討の場に出てその人から見た意見をどんどん出し合える場であってほしい。そのためには意見をまとめたり中立(逆に川に関係して無い人など)にまとめてくれる人が必要。そして検討の場に参加する人々は自分たちと異なる川との関わりを持っている人の意見もきちんと受け止めて考えて欲しい。最終的にはみんなの思いやりが川を守っていくことにつながると思います。河川整備によって、それを担う建設業(職としての人は、大変かもしれませんが利益中心でなく、本当の意味で川の利益が得られる工事をしてほしい)の利益だけの為に不必要な工事が行われぬように祈ります。
2555	本当に吉野川を愛する人々の集まりであれば、利害にとらわれず、流域住民のための話し合いがなされるのではなかろうか。そうあってほしい。
2556	現場を見学してそれからミーティングをしたら良いと思う。色々の分野の人の意見を聞いたら良いと思う。
2557	ご意見なし
2558	流域住民の意見等を聞いてくれるような場であってほしい。
2559	全てガラス張りなら、どんな会議でも良い。
2560	川について知識が乏しいので何とも言えない。川について勉強していない者に正しい道が分かるはずが無いのだから。検討の場など不必要。
2561	以前合った第十堰の時のようにみんなでよく話し合えるようにしてほしい。長良川のようにはなつてほしくない。
2562	様々な方向性と専門家のご意見を聞いて自然を大切に植物や動物、魚がいなければ川ではないと思います。
2563	過去の吉野川第十堰建設事業審議委員会のようなはじめから結論が決まっているようなまやかしの機関にならないよう、公正で広く住民の意見が反映されるような検討ができる環境を整え、その経過を公開するようにしてもらいたい。(参加も公開もインターネットなど多数が参加できるメディアを使用するのがよい。)発信元は国土交通省でなく川づくりを審議する第三機関とする。
2564	吉野川に関係市町村へ出張しての吉野川の「あれこれ」の講演会の開催を。
2565	本当に一般の人の意見を聞ける場。
2566	楽しく話し合える場。できるだけ大勢の人が出入りできるように学校、公民館単位で。
2567	アンケート、インターネットなどを活用して地域の住民、あるいは全国各地の人の意見なども取り入れられるようにしてほしい。
2568	ひらかれた透明性のある場であってほしい。
2569	学識経験者および中立透明性の方々との意見。流域住民等も含めて反映するのがよいと思う。
2570	ご意見なし
2571	利害にからまない学識経験者の方に調査研究をしていただくことにお金を借しまないで一度や二度の調査にとどまらず納得いくまで調査、研究し、それを公の場で発表し市民に県民にすみずみまで考えさせる機会を作ってほしい。あまりにも無関心の人が多すぎる吉野川の価値、大切さ、貴重さなどもっともっと県民にアピールしてほしい。
2572	1. 自由にものが言える場であること。2. 学識経験者に時折見かける机上の空論のみに力点を置き吉野川の四季を知らない人はご遠慮願う。3. 地域住民が川に何を望んでいるのかを十分に汲み取れる場であってほしい。
2573	現地、現場(点を定めて)で住民の方々と交えて話し合いの場をもてばどうでしょう。小さな会合の積み重ねで準備会とか検査の場が自らできるのではないのでしょうか。はなはだ僭越なことを申し上げて失礼しました。
2574	学識経験者などと流域住民の意見を聞く。
2575	河川工事や自然界のことについて何も勉強していない、ただ回りに流されて反対したりむきになったりする人が多すぎる。専門の知識を持った人たちがその中で意見し合い、最もよい方向へ持っていくべき。ただ周囲の住民に迷惑をかける！というのが一番前提になければいけないが。住民投票だのとはやしたてて何かと文句をつけ反対したりする人たちを見ると情けない。すべて河川のプロにまかせるべきと思うので特に必要ではないと思う。
2576	まず最初に地域住民の声を聞き、それらの意見をふまえ、学識経験者が原案をつくり最終は住民代表、公共団体長、学識経験者等により河川整備計画を決定したらよいと思う。
2577	ご意見なし
2578	住民の意見はどこまで重視してもらえるのかよくわからないができるだけ、公平にたくさんの方の意見を聞きまとめてもらいたい。それなりの時間を要するとは思いますが。
2579	ご意見なし
2580	透明な場所
2581	学識経験者等+流域住民

Q12-1.「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
2582	地域住民の意見を聞いて検討すること。
2583	ワンマンな人や1個の機関だけが決定するようなものならつくらないほうがマシ。特定の人だけでなく、1つのテーマに参加する人数が100人でも1000人でも自由に出入りできるくらいにしてください。
2584	自然を生かした方向で話しを進めてほしい。
2585	ご意見なし
2586	ご意見なし
2587	まずブロック毎の話し合い場を持つこと。高知県は嶺北5ヶ町村の役場関係の者とその地域の住民の代表者などの集合体で話し合う。川の沿線に親しみの持てる憩いの場をつくってやはり観光面に力を入れる事が必要である。四国の吉野川はどこに行ってもすばらしい眺めであると言われることが大事で徳島から始まって本流の上源まで泊りがけで行ってみようと言えるくらいになることである。
2588	自然環境保全について京都議定書による温暖化防止が国際的に取り上げられ自然との共生またゴミ処理などについて関心が高まっており河川についてもほかの環境保全と同様、組織的に河川整備につとめるべきと思う。具体的には現社会を構成する異層の人の意見を聞くこと。たとえば漁業、農業、林業、商業、観光業、土建業、ダム関係者を始め学校、史学、動植物、医学など、老若男女問わず検討する場であればよいと思う。尚吉野川に接する地区によって様子は違い地区毎との意見も尊重すべきである。
2589	吉野川は本流だけでなく旧吉野川、今切川などをすべて含めた総合的な管理と自然を守る事を目指してほしい。本流だけの施策では県民の方々の共感を得られない。(本流が清らかで、支流が汚れたのでは何にもならない)私個人的には第十堰は必要と思う。自然を残すことと環境を守ることと水資源の有効利用、防災は努力により共生し得る。堤防道路の拡充(左右護岸上の道路拡充)と展望スポットの設置。
2590	ご意見なし
2591	色々なジャンルのN.P.O.やN.G.O.が協議会をつくり、それぞれが自分達を違う立場のN.P.O.やN.G.O.だったらどう考えるかをまず話し合い、それぞれの思いを吐き出し分かちあう。そして、共に将来のこの川について考えていけるような場所であって欲しいと思う。それには、学識経験者が住民の上に位置してはいけない。学識経験者も一住民として同じレベルで話しあっていく必要がある。それぞれの立場の人の思いを一度皆の前で吐き出させるということが絶対必要です。またそういう場を必ず設けることが合意形成の初めの一歩だと思えます。
2592	流域住民の話し合う場としては小中学校や自治会等、既にある地域活動の組織を活用してはどうか。公聴会などの場では一般の意見が言いつらく、身近なものにならない。
2593	みんなで川をきれいにする(話し合う場)
2594	河川流域の住民の意見を熱心に取りいれてくれる場所が欲しい。
2595	学識経験者特に吉野川と一緒に生活してきたような人を多く参加してもらって上流域の人達の考えを取り入れるような場が必要だと思えます。
2596	ご意見なし
2597	河川整備計画を検討するに当たってはその目的、そのメリット、デメリットをはっきりと、出来れば数値化して話し合いの場に提示する必要があります。話し合う場は国土交通省、地方自治体、学識経験者、地元住民または代表者からなり意見交換と十分な調整を図ることが重要と思います。話し合う場には常に、個人的意見、各利害が絡んできます。意見は重要ですが、個人的利害を排除した建設的意見が出される場を設定する必要があります。
2598	学識経験者等の人選が大切である。いろいろな考え方の人の意見を公表すること。
2599	Aさん
2600	円満公平であってほしい。例えば流域住民や直接利害のある人や河川の治水、利水についての知識のある人とそうでない人では自ら結論を得るための方向や手段が大きく変わって来る。今回の徳島市のように公共事業反対というような住民投票は一方的である。吉野川流域の人が那賀川について賛否を取れば反対かどちらでも良いになろう。
2601	専門家の計画、地域住民の考え。それをよく討議して進めるべきである。
2602	ご意見なし
2603	別に意見はありません。
2604	学識経験者と流域住民との検討の場は必要ですが、お年寄りの意見が言える場、聞ける場が欲しい。世界に目を向けて、色々な場所、取組などの映像などが見たい。流域住民の意見は必ず聞いて反映して欲しい。
2605	必要ない。川作り話し合う前に吉野川という川は何ぞ。
2606	ご意見なし
2607	市民みんなが対話ができる場所であってほしい。
2608	子供たちと一緒に話し合える場所。
2609	個々の利害によって左右されないようにしっかりした方向を獲られるような人選が大切と考える。
2610	建設省がもっと主体性をもって、責任を持った行動を。
2611	ご意見なし
2612	開かれた場、誰でも自由に意見が言える場所であってほしい。このアンケートなどたいへん良い事だと思う。
2613	住民の意見をもっと反映した場所であってほしい。
2614	どんな会合や勉強会であっても取りまとめる行政、実際に執行していく行政が住民の福利の為に動いてくれなかったこれまでの反省して、自分の利権や利害を捨て、人間として、大人として恥ずかしくない人たちに(検討の場)の取りまとめをお願いしたい。
2615	特にありません
2616	わかりません
2617	流域住民、市民団体が参加する話し合いの場である事は言うまでもないが、ぜひ市町村の代表県議会等の行政関係者も参加できるシステムが必要と思う(公平、同等の立場での参加)。専門的な議論にはきちんと専門学者の意見を求め、結論が導かれるようなシステムが必要と思う。公平、公正、透明性の確保された話し合いの場であってほしい。自由な発言が出きる場であるが、一定のルールのある話し合いの場であってほしい。
2618	いつまでも第十堰の事で対立するのではなく、前向きな議論ができるような場になってほしい。
2619	将来を担う子供たちの意見を尊重してほしい。

Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
2620	いろいろな立場の方が参加されると思います。実際に吉野川で仕事をし、生活の糧とされている方の意見も聞ける場であって欲しいと思います。
2621	吉野川の水資源の確保と安全という点から、国土交通省は災害防止対策の上に立って、改築等について計画的に強力に推進できるよう、努力を重ねるべきだ。
2622	ご意見なし
2623	ご意見なし
2624	吉野川は上流から河口まで地理的にも生活環境が違うので4～5地区に区切りグループを組む。長期計画と5～10年程度の中期計画を立てて話し合う。今日までのダム、治水工事等により水のコントロールが出来たとは思いますが、まだ十分で無い点もあります。最下流の処置(水の無駄な放流がある)の完成と堤防の強化がまだまだ必要ですが、それを進めながら中、長期計画に取り組む事が大事です。日本人の生活文化としての大自然に畏敬し自然と共存する為に堤防敷周辺の土地を大きな自然公園にするのが良い。
2625	地域で吉野川と共に生活してる人(漁民)や、吉野川と親しんでいる人(サーファー、スイマー)、吉野川の自然に親しんでいる人(バードウォッチング、干潟の観察)なども話し合いに加えてほしい。
2626	住民の意見を事前に集める方法の見当。
2627	第十堰の事も大きな社会問題となったが、狭い範囲でなく吉野川流域の広い地域で検討してほしい。
2628	各方面から意見が出るよう、偏らない人選をして意見をまとめてほしい。
2629	ご意見なし
2630	ご意見なし
2631	村の公民館
2632	政治的なものが入らないような会。
2633	ご意見なし
2634	ご意見なし
2635	質問の真意をつかみにくいのですが、どのような場がよいと言えば、1. 町村ごとに話し合う場を持つ。2. 自由に意見が言える場にする。
2636	ご意見なし
2637	わかりやすく誰でも納得できるようにしてほしい。その内容をテレビなどで広く知らせてほしい。
2638	1972年水質汚濁防止法、吉野川という名前の由来などいろいろ勉強したい。日本三大河川とか全長194kmとか長さが12番目？県民は水に恵まれすぎて当然のように幸福感がある。
2639	吉野川流域の各々の地域の人々によって、各々の立場から意見もいろいろあろうと存じます。若い人こそ川の未来について考えてほしいと思います。
2640	管主導でなく、また住民エゴも排除できる良識と見識のある人がリードできる場であって欲しい。
2641	ご意見なし
2642	自然をきれいに保存出来る様に、河川法新しい制度の案に基いて、方法として話し合う場も必要と思います。
2643	学識経験者、地方公共団体、地域住民による話し合い。
2644	ご意見なし
2645	ご意見なし
2646	ご意見なし
2647	吉野川を良く知り、又吉野川に思いを持つ人でだれでも参加出来る自由に話し合える場が良いと思います。特定の人たちの参加はよくない。
2648	ご意見なし
2649	偏らない柔軟な意見交換のできる場。
2650	川と全ての方が共にしているのでいろいろな職業の方、多くの人の意見が交される、かた苦しくない場所。
2651	安心できる場所であってほしい。
2652	美しい川であってほしい。
2653	幅広い年齢の人々を入れて欲しい。
2654	意見が出しやすく、そこにいても安心するような所。
2655	一部の営利ではなく、県民の意見をまとめてくれるような場であってほしい。
2656	保護政策の見直し(保護でなく共存)。
2657	専門家と住民がバランスよく話し合える場。
2658	誰か一部の人が利益、得を被る場とならないよう公平な場であってほしい。又河川がいったい人間にとってどういうものか本来の立場に戻って考えてほしい。「自然は人間の物ではない」という事を皆忘れてる。
2659	わかりません
2660	特定の職業、特定の地位の方々の検討の場としないで広く、自由な立場、あらゆる階層、職種の方、あらゆる年齢層の意見を聞いて欲しい。
2661	ご意見なし
2662	あらゆる意見が出され、どの意見が良いかをきちんと話し合われる場であってほしい。建設業者の利益増進のために不必要な工事が行われないようにしなければならない。
2663	吉野川は規模が大きく、上流域と下流域では課題も整備方針も異なると考えられる。そのため「検討の場」も分割する事を考えたらどうか。
2664	よりよい吉野川をつくる為には、どうしたら良いかを総合的に考えようとする人々の集まりの場とするべきで、過去の「堰反対、賛成論者」はできるだけ避けるほうがいい。又会の運営には中立、透明性が大事と思われる。
2665	幅広い職種の人の参加。学識経験者という学校の先生とか会社重役とかが多いようだが、直接吉野川の関係で関わっている人達の参加により意見を聞いて欲しい。
2666	ご意見なし
2667	住民の意見を反映できる会。
2668	多くの人が吉野川へ気軽に出かけられる川にして欲しいので、地方公共団体の長などが参加しても意味が無い。広く住民や学識経験者の中から参加できるようにするのが望ましい。住民の意見が反映できる事。
2669	11でも触れましたが、検討会、協議会となれば当然住民の代表者ではありますが、本当の意見はアンケートの小さな声も活かしていく事も大切だと思います。



Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
2670	過去の色々な検討の会の様に最終的に目標を設定して、その方向に誘導するような会であれば何回会を重ねても意味が無い。
2671	ご意見なし
2672	「吉野川を語る会」のような会を各職域の代表者などから集め、月に一回ほど会合を開くと良い。例えば農業委員会、水利組合、森林組合、商工業会、市側、住民側、などからの各代表からの会を持ってよりよい吉野川について語る会をすること。
2673	ご意見なし
2674	ご意見なし
2675	ご意見なし
2676	例示された案も良いと思う。
2677	少数の意見も大切にされる場であってほしい。
2678	ご意見なし
2679	地域住民と学識経験者で話し合いを持つ場合、世間の通例で得てして学識経験者が理論で押そうとする。私たち住民は利用する立場、生活する立場から実際に不便を感じたりして、利便性の上からも絶対守らなければいけない。水質の問題、自然の問題等地域住民の密着している人の意見を大切にしたい場であってほしいと思います。
2680	川に遊歩道を設け、いつも眺める事のできるようにする。
2681	誰でもが気安く発言できお互いの意見交換により、吉野川の自然に対する負荷(吉野川生態系への人為的負荷)をいち早く除去し、流域に生活するすべての人が豊かな吉野川の生態系の恩恵を享受できるような方向を目指した検討の場でありたい。単発的なものでなく、地域に偏ることもなく、色々な職種の人が、吉野川の色々な面に興味・関心を持つ人が話し合える場。
2682	住民や行政など皆が自分の知りえる情報を出し合い、共有する事によりより良い川づくりを行える場。
2683	図に書いてあるように、それで良いと思います。多くの人の意見を聞いて話し合い、まとめて下さったら良いと思います。
2684	第一に公平、公正、透明な場であってほしい。あくまでも検討の場で、もし整備するにしても利益(利権)のある人の言うことばかりに流れないで欲しい。恐らく、こういう場でものを言う人って、一般の人は少ないと思う。圓藤さんや鈴木さんが話題になっている今こそ尚更です。
2685	出席者全員が自分の今の事を考えるのではなく、将来或いは子孫にどういふ吉野川を残していくのかを考える場として欲しい。
2686	吉野川に対して受益者と、洪水に対して実際に被害を被る町村を対象に入れて欲しい。
2687	ご意見なし
2688	ご意見なし
2689	誰でも参加できる場。
2690	ご意見なし
2691	男女、年齢を問わずみんなの意見が言える場。官に屈しないで。
2692	皆の意見がまとまればいいのだが。
2693	昔の吉野川を知っている人の意見を聞ける場があっても良いと思います。昔の台風で大正の傷跡が私の家には残っていますが、最近では池田ダムとか治水のことが出来ているので学識経験者とかの意見、地域の人とかで意見を交換すること。
2694	ご意見なし
2695	広く公開され、住民の意見が正しく反映されるような運営の仕組みが必要。
2696	多様な考え方を発言できるような公正な場づくり。
2697	ご意見なし
2698	ご意見なし
2699	治水、利水は住む人々にとっては本当に大切なものであるが、現在の吉野川は昔と違って香川県に分水しているし、水道に利用して川の流れるは昔に比べものすごく少なくなっている。何か水害、水害を第一名文にして何とかして工事をしたくて仕方が無いのでしょうか。ゼネコンから賄賂をもらった圓藤知事の味方をして何としても色々な工事をしたくて仕方が無いように見える。堤防をもう少し高くし、広くし、自動車道として利用する。それで良いと思う。
2700	皆で川づくりを話し合う場。学識経験者、流域住民、自由に話し合うことが出来るように。
2701	重複するが、学識経験者の意見も大切。住民の意見も大切。よりよい吉野川作りのために本音で話し合っていける場であってほしい。
2702	国、県の考えだけでなく、一般の人々の意見が自由に出せる場。県外の場所や人々の意見も取り入れてほしい。
2703	話し合いの場が出された意見等は多くの人を知ることが出来たらよりたくさんの方が川の事を深く考えられると思います。
2704	農林水産業、河川及び水に関する団体、学識経験者、流域住民団体、地方公共団体の長、まず各団体で話し合う。そして各団体の代表者が検討の場に・
2705	学識経験者とは御用委員ですか。川をしらない人々が鉛筆をなめなめ考えるより、何十年も川を見て暮らしてきた人の意見が正しいですよ。知恵の無い人達は何もしないのが一番良い。
2706	皆がそれぞれ意見を言えるように。
2707	ガラス張りのように透明性が必要。絶対に完全に利権が絡まないよう運営して欲しい。
2708	河川の整備計画も必要であるかもしれませんが、吉野川周辺に住む人にとっては心を癒す場所にもなっている。学識経験者のみの理想論だけでなく流域住民の話にも耳をかし、住民意見を取り入れた整備が行えるような話し合いの場をつくる必要があるのではないのでしょうか。
2709	流域住民の意見がたくさん聞けるように小集会から始める。中立的学識経験者の話を聞く。みんなの意見をまとめる人は、公明正大な人であること。
2710	自然のままが良いと思います。そして工事によって良い思いをする人より流域の人々の話を聞く。
2711	美しい吉野川のほとりに数十年暮らしている幸せを感謝し誇りに思う。
2712	生活に基づいた川への対応は知識学識だけの川への対応よりまさると考えています。したがって一般の住民の発言を重視する場であって欲しいと考えます。

Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
2713	話し合いの場について、仕事があるので夜に会合には出来ないのですが、このようなアンケート等で意見を聞いて欲しい。
2714	1. 十分な情報公開する会。2. 積極的な広報活動。3. 入退会自由な場。4. 利権先取り業者の影響排除。5. 汚職排除体制の確立。
2715	ご意見なし
2716	①流域住民、学識経験者等の意見を市町村単位にまとめ河川管理者に意見書をだす。②計画案を作成し、住民に公聴会等で説明する。③地方公共団体の長の意見をいれて計画を決定する。
2717	流域住民の意見を最大に反映してほしい。学識も必要ですが。
2718	ご意見なし
2719	ご意見なし
2720	中立である。流域住民が参加しやすい。検討に必要なデータも公正な機関から出された物を用い、オープンにする。情報を開示して参加できなかった人からも意見を得られるようにする。
2721	難しいことはよく分かりませんが、中立、透明性が大切とのCさんの意見に賛成。
2722	ご意見なし
2723	行政の参加が一時的、一部の利権のみを考えず、本当に必要かどうかを充分検討出来る場であってほしい。最終的に工事等決定するのは、国や地方公共団体の長であるのでそれにバランスできる仕組みも必要である。そうしないとまた一方的な方策となる可能性がある。
2724	中立である。透明。
2725	押しつけでなく、官と民が対等な立場で言えるように。
2726	ご意見なし
2727	利権やエゴを排除すること。
2728	よくわからない。
2729	吉野川流域住民の意見を反映できる場。
2730	中立、透明性で尚皆んなの意見をまとめてくれる人も必要です。
2731	「お役人」が決めるのでなしに、「普通の人」が「普通の考え」で参加できる場がほしい。又、情報公開もしっかりやってもらいたい。
2732	ご意見なし
2733	話し合いの場について、私は流域住民として長年の吉野川との付き合いの上、水量、水質、自然状況の移り変わりが話ができ参考にさせていただけると思います。
2734	様々な人の意見を聞くべきだ。学識経験者もよく似た意見の持ち主に偏らないようにしてほしい。流域住民に限る必要はないと思います。
2735	行政担当者と学識経験者等と流域住民との話し合いが断絶しないように何度も話し合いの場を持ったり、HP等で呼びかけをしてほしい。また小～高校生にもいろいろな意見を出してもらいたい。是非この話し合いに参加してほしい。
2736	川は自然のまままで治水、また利水することができれば、何もすることなく問題になることもありません。しかし現在何をどうすれば本当の川作りなのか。地域住民に説明する必要があります。徳島県民にとって吉野川はどうあるべきか、県民のために最大限生かさなければなりません。このようなことから河川整備計画は住民(県民)に理解されるものでなければなりません。したがって住民の意見を取り入れた計画であって最終的には住民投票もいいのではと思いますので。
2737	単に形式的に過ぎないようなものであってはならないと思う。これまで行政が行ってきたことを見ると、この「場」もそうなる恐れが強いので十二分に注意してほしい。
2738	ご意見なし
2739	ご意見なし
2740	ご意見なし
2741	ご意見なし
2742	何もかも反対というのではなく、いいものは良い、悪いものは悪いという是々非々の姿勢が必要であり、そういう場でなければいけない。広く意見を聞き、柔軟な対応のできる場であること。
2743	ご意見なし
2744	官、学、住民の三位一体の運営で、よりよい川作りを話し合う場を作ることができれば良いと思うのですが、具体的な意見とか構想はもって居りません。
2745	様々な立場の流域住民が主体性を持って話し合える場であってほしい。お互いの立場を尊重し、相手の意見も聞くことができるワークショップ形式も一つの方法と思う。話し合いのルール作りと、ファシリテーターが重要と思う。住民主導で運営することも大事。
2746	将来に続く長い目で自然との調和を図っていくことを目的とした場であってほしい。自然が失われれば、人間は生きていくことができないうし、自然の美しさ、素晴らしさを語り継いでいくことが最大の使命だと思います。
2747	地域の住民に分かりやすく、吉野川の問題などを教えていく。
2748	上流から下流まで川辺に近い住民が堤防の見廻りや清掃に務める集会ができて良いと思う。
2749	ご意見なし
2750	御用学者と言われても学識経験者である。中立をたてに議論しても何の説得力もない。今では大学卒の市民多く、又医師、弁護士などと言っても何の信用を得ることもありません。かえってあやしげばかり残る。従って公開という立場を取っている。流域住民のみならず県民全体で議論し、とくに利害関係者の全てが議論しなければ。例えば、石井町と上板町の間で改築するならば徳島市がなんとおもうと蚊帳の外となる。私にとってどうしたいかを個々に積み上げないと解決しない。全ての県民に意見を求めアンケートをし、集計すればたかだか50万人程度だから1年くらいでできるのではないかと思います。地域を限定すれば、その半分から7割程度で決定する。

Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
2751	ダム反対運動のとき、石井町の人は駄目と言われてました。徳島県民はどう思っているのでしょうか。無理に徳島市内にかけなくても、今あるところにかけておすのなら皆反対せずにいけるはず。私が徳島県知事や石井町長なら必ずつくります。でもお金も地位も何もないので立候補すらできません。ダムを造れば川は汚れます。そのことをはっきり言って、それよりも上回る貧乏県からの脱出、国の資金で道路もできる。工場も来てくれる。職場も増える。100年とまでは行かないが、少しは洪水もましになる。自然のことばかり言わないで、この貧乏徳島県が潤うことをもっとアピールせよ。
2752	先ず地域住民の意見を充分取り入れて各地区住民部落会に河川整備制度についての徹底説明意見交換が必要です。今までが行政主導型で取り組みに問題がある感があり、昔の河川が変貌している感がある。そこで中立、透明性を高め運営も一般地域の声が必要である。総合意見が原点をふまえ取り入れることにより吉野川の河川が美しく自然とのたわむれがいつそう充実するのでは吉野川の良さを広く知っていただく為に人工的河川では今後観光としても位置が難しくなる。
2753	ご意見なし
2754	山が荒れれば川が汚れ、川が汚れば海が汚れる。個人、企業の利益が川づくりにおいても重なってきます。自然のために人々の未来のために本当に必要なことだけをして過剰なことはしないようにして欲しいと思う。
2755	国、地方公共団体、学識経験者、流域住民の代表で検討し、その内容、結果は公報等で周知するようにするなど透明性のある場にしてもらいたい。
2756	ご意見なし
2757	ご意見なし
2758	利害関係の相反する人が集まっても無駄である。考え方の異なる(自然や川に対する立場の異なる)人の話し合いも同様である。各立場の代表者の多数決で決める問題ではない。自然と人間の共生、共存を考える有識者の意見をまとめるべきである。そうすれば、大多数の市、県民は納得するのではないか。
2759	学識経験者の意見と住民の意見が対立した場合、住民に理解してもらう為にパネルディスカッション等による討議会の場になってほしい。
2760	流域住民が主体性を持ち、学識経験者を話し合う。
2761	ご意見なし
2762	第十堰のときでも、学識経験者等の意見が正反対のことがあった。意見の集約が難しいかもしれないが、最後は流域住民の意志であると思う。検討の場は公開、透明性をたもってほしい。
2763	学識経験者等の意見を参考に、住民の意見を反映してもらえそうな場であってほしい。
2764	学識経験者と流域住民がかたよらなく自由な発言が出来る場。
2765	ご意見なし
2766	吉野川の存在は観光の面、水資源の面、自然環境の面等流域住民はいうに及ばず、四国の財産として守っていかなければならないと思う。子供から年配まで、幅広い意見を出してもらう事が大事なのではないでしょうか。
2767	徳島市の行った住民投票の結果は反対票が多かったが、投票しなかった人はどんな意見をもっているのか。また市長が反対に回ったが、これは自分の選挙の為にしか思われない。幅広く、人材の意見を反映してほしい。誰でも自由に自分の意見や考え方を発言出来る場であってほしい。
2768	Cさん。
2769	流域に生活している人と、外部から癒しの場として利用したいと考えている人との意見を公平に取り入れる機関があれば良いと思う。
2770	ご意見なし
2771	住民の意見が反映される場。
2772	ご意見なし
2773	最初に工事ありきという検討の場では良い意見はでないと思います。
2774	ご意見なし
2775	検討の場の委員選考にあたっては、行政主導でなく、学識経験者と流域住民、河川利活用等の方々で構成してもらいたい。また検討の場での意見等ではできるだけ公開し広く県民に周知できるよう。
2776	ご意見なし
2777	農業、林業、漁業、観光協会あるいはカヌーを楽しむ体育会などの各分野から代表を募り行政を加えて話し合ったらどうか。もちろん、学識経験者も交えて。
2778	ご意見なし
2779	思想的に偏った人は出来る限り員数を制限して欲しいと思う。
2780	地元町民の意見を大切にほしい。国の押しつけは必要ない。あくまでもアシストとして存在しては。
2781	フィールドワーク(現地学習)のような場で、個人の意見がスムーズに出るような場を設定してもらいたい。
2782	ご意見なし
2783	自由に皆が意見を言える場であってほしいが、意見を言う側も十分な裏づけを持ったものであることが重要である。そのような意見であれば少数意見で重要視すべきだと思います。単なる感覚的な意見や周囲に流された意見は困りものです。
2784	ご意見なし
2785	ご意見なし
2786	ご意見なし
2787	吉野川の自然を守る為に、住民や学識経験者の意見を十分にいかした場であってほしい。
2788	上流から下流までの人々の生活利益等を区別なく検討してほしい。
2789	ご意見なし
2790	ご意見なし
2791	ご意見なし
2792	毎回の検討概要を、地元新聞等、目に付きやすい媒体での広報して欲しい。
2793	学識経験者公聴会等により住民の意見を反映するのもいいが、それらの会の前に流域住民の意見を聞く会を徳島工事事務所が主催で広く、町村別流域住民を対象とした小会議を行ってほしい。小さな会の意見ほど真実性がある。



Q12-1.「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
2794	治水が一番大事なことであり、河川整備計画を検討する場では(遠い過去の話合いはあまりせず)川の現状を充分把握して、計画の作成にあたってほしい。
2795	現場ですか、その周辺で。
2796	政党、政党派閥にこだわらず皆で真剣に川づくりを話し合うことができる人選と組織が必要であらゆる意見をじっくり聞き話し合い共通理解が出来る態勢づくりと、その意見をまとめてくれる人を先ず選べないだろうか。(学識経験者等)。
2797	ご意見なし
2798	流域住民の意見をできるだけ尊重した場。
2799	公平、公正な場。
2800	専門家の意見も参考にしながら、県民の意見、要望を反映してほしい。
2801	ご意見なし
2802	話し合った意見をまとめてくれる人がいて、意見を反映していく事ができるような場。
2803	学識経験者はいいいが、住民とはどの範囲の者をいうのか。高知、香川の利水者は住民では無いが、真剣に考えている者がいる。利水上の住民と治水上の住民は定義が異なってもいいのではないか。さらに、治水上の住民でも大洪水の際、家も人も危険な地域の者と庭先に浸水する程度の者が、発言力に差が無いのは不公平ではないか。公聴会によって住民意見を反映するのは賛成だが、前述の点の整理が先決では。
2804	河川法(新しい河川整備の制度)
2805	種々な立場の意見が充分言える場であってほしい。透明性の確保も大切と思う。川遊びをする者の意見も聞いてもらえるとありがたい。検討状況を公開し、進み具合に応じてEメール、投書等で意見が言えるようにして欲しい。
2806	一部の人間で運営され検討するのではなく、一般から参加を自由に出来るものであってほしい。また素人考えで進めるのではなく、学識経験者等の意見を取り入れるのもいいが、もっと優先して欲しいのは地域住民の考えであって欲しい。
2807	ご意見なし
2808	主婦、子供が自由に発言できる場所。仕事関係の人は、必ず利害関係が生じるので別の形で参加。
2809	住民の意見を多く取り入れて欲しい。(そういう機会をつくる。)
2810	明確な意図のある場。
2811	ご意見なし
2812	ご意見なし
2813	住民側は反対ばかりを言わず、もっと考えをまとめて話し合う必要がある。反対した場合どのような方法が良いか、どのようにしたいかも考えて発言が必要。一人一人の意見だとまとまる物もまとまらない。学識経験者の意見はあくまでも参考にするべき。吉野川での模型実験をしていないことや発言も過去の事例ばかり。
2814	大人から子供まで参加できる検討の場。住民にも学識経験者にも同じレベルでわかりやすく。範囲が広がることとまとめるのが大変なので部分(地域等)で分け、まとめていく。
2815	己の主観を最も正しいと主張し、主観を押し付ける場であれば良い。
2816	昔より河川周辺に住んでいる者にとっては、吉野川は心の故郷である。現在は魚、虫、鳥の棲む場所として、河川に直接関係無い住民が話し合の場で声が大きくなっており、周辺住民への立場の理解がなされて無いように思う。もっと周辺住民の意見が反映される会であって欲しい。
2817	問題等が分かりやすい(理解しやすい)説明会の場。
2818	現在、世間orマスコミ等の風潮の中で流されすぎているような気がする。国土交通省も、世間を気にしすぎず、住民意見をうまく取り入れポリシーを持って、公共工事を推進して欲しい。検討の場の構想としては、基本的にいいが、「みんなで話し合う場」の進め方をもう一工夫して欲しい。例えば、町内会単位から始め、段々と大規模に波紋を広げていく等。
2819	住民の意見が反映される透明性のある場であって欲しい。
2820	何事も反対反対ではなく、建設的な意見交換の場であってほしい。
2821	流域住民の人選は誰がするのか。従来では工事に賛成する意識の人ばかり選定していた地方公共団体の長は整備計画の案に対しての意見となっているのが御用団体の可能性が高い。第十堰の審議会のような会ではダメ。
2822	ご意見なし
2823	自然保護や環境に関心のある人が自由に語り合える場であって欲しい。
2824	学識経験者と住民の意見も話し合う事が大切だと思います。
2825	政府議員を呼んだらどうですか。住民の意見も取り入れたらいいと思う。
2826	よくわかりません。
2827	ご意見なし
2828	今、子育て真っ最中なのであまり協力などできませんが、家の中だと視野や考え方が狭くなるので、できるだけ視野を広げるよう努力していますが、その1つとして大好きな吉野川がどうなるか興味があります。子連れでも検討の場、隅にでも参加できればいいと思います。
2829	中立、透明性は重要だと思う。なるべくいろいろな立場の人(流域住民)の意見、そして学識経験者や専門家(建設関係等)も交えて、自分の利益ばかりを考えずに、本当に吉野川の事を考えてやって欲しい。
2830	開催回数をなるべく多くして、多数の人間が複数回参加できる場、開催日も平日、土、日いろいろな開いてほしい。
2831	ご意見なし
2832	?
2833	だれもが気軽に、いつでも「こんにちは」と行かれる様な人達(民主導)で運営してほしい。大人だけでなく、小学生、中学生、高校生、大学生、地域のリーダー、老人会etc.にも参加してもらい、便利な場所(交通)。
2834	学識経験者の意見、地域住民の意見、他の地域の河川の状況とその地域の住民の意見等、いろいろな情報を集めて全てを透明にした話し合いの場であって欲しい。
2835	直接参加できない人の意見等も含めて、多くの人意見が反映される場であるとともに、検討内容の公開性が必要。
2836	安全な場所。
2837	中立、透明性が大切。

Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
2838	一部の人の意見で川を壊さないでください。
2839	話し合いをしても意見が1つにまとまることはないように思う。反対、賛成が(何を問題としても)出てくるので、全員一致という事態はないと思う。
2840	みんなで川を守っていく場。自然を残し、安全で美しい豊かな川を希望します。
2841	誰もが気軽に参加できる場。いろんな地区にあれば良い。
2842	流域住民、学識経験者等を交えて。
2843	建設業者、建設技術者のための場でない事。公正な人選、透明性の確保。ある発言をしたらどこからか圧力がかかったりしないこと。議事録の公開。もし、一般の人が参加しても何でも発言できる雰囲気。
2844	ご意見なし
2845	一部住民の人の意見にかたよらない場。一部土建業者(建設業)の意見にかたよらないような場。真に住民全体の検討の場にするのであれば政治学、いわゆる(地方公共団体の長の参加)はどうかと思う。
2846	地域のPTA、関係者、消防団、婦人会、老人会、子供会、青年団、(地域の)有志会等を参入させて、みんな(県民総ぐるみ)の運動に高めていったら川をきれいにする意識の啓もうにもつながって素晴らしいと思う。障害者会の人々にも花の種など扱ってでも(やさしい仕事)参加する喜びを与えてあげたいと思う。「学識経験者」という特別扱いの人はいらない。
2847	河川整備、自然保護のどちらかに偏ることなく両方が融合した川づくりにしてもらいたい。
2848	気楽に話せる場。
2849	ご意見なし
2850	自分の利益になるような発言をするような人は参加してほしくない。
2851	吉野川の各地域ポイントで遊びのできるイベントをもっと沢山あればいいのに。四季を通して。
2852	ご意見なし
2853	色々な人達を呼んで一つの意見にかたよる事のない話し合いをしてほしい。河川を整備する時は整備する場所の住民だけでなく上流域や下流域の人達も呼んで意見を聞くべきだと思う。
2854	流域住民のとらえ方がわからない。四国四県において検討の場を作ろうとしているのか。上流から下流までと考えると非常に多くの流域住民がおり、そのような場が1つでは問題ではないか。→よくわからない。
2855	今、市民(国民)の声が大きくなりすぎている感じがある。また行政もその影響を受けすぎの帰来がある。もっと住民の声を反映させる場が必要である。情報公開に向けて増々一般市民からの声(ある意味で無責任)が大きくなる。それらも十分取捨選択する行政主導の部分が必要である。
2856	ご意見なし
2857	昨今、他地域からの人々の発言が大きいように思われるが、基本は吉野川地域に住んでおられる方々の声を重視すべき。
2858	ご意見なし
2859	ご意見なし
2860	検討の場のあり方だが、住民意見をとる場合その場に参加した者の声がすべてとは思えない状況となっているのが現状である。したがって「Eメール」や「アンケート」など居ながらにして発言できる場も設けないと意見が偏ると思う。また、広く広報も必要である。小・中学校で子供としての意見をもらうのも一つの方策である。
2861	ご意見なし
2862	学識経験者が河川法に基づいた河川整備制度を住民のみなさんに理解出来る説明があつてしかるべきでは。地方公共団体の長も交え意見交感があり公共団体長により意見をまとめ、作成決定となるのではないのでしょうか。
2863	ご意見なし
2864	流域住民の意見を尊重しつつ、河川の整備等をきちんと解りやすくこまやかな気配りで説明する場を作ってほしいです。
2865	山、川、環境、地域各分野の学識経験者による原案。地方公共団体の長、流域住民の意見を反映して案の作成。既設場所があれば見学して検討する。
2866	ご意見なし
2867	ご意見なし
2868	フォローアップを考慮する必要がある。(事業着手後においても)
2869	ダムを作ってきたない川にして今頃話し合い、検討の場とは時すでに遅し。
2870	ご意見なし
2871	ご意見なし
2872	人間は自然の中で生かされてきた。人間本位でない自然を守るための話し合いの場としてほしい。吉野川(自然)を忘れて我欲(自分の主義・主張の発表、自分が目立ちたいために相手を責める。反対のために反対する。グループで煽動する等)に陥らない場とする。
2873	川づくりを話し合う検討の場は1本化されていなければいけないと思う。国土交通省と別の団体が存在すると、結果としてうまく機能しない。1本化された検討の場でテーマにより分科会を設けて活動するのはよい。運営のなかで全体が討論の場は必要だと思う。検討後の報告は新聞紙等で流す事を希望する。
2874	ご意見なし
2875	学識経験者等や公聴会住民意見を反映していただきたいです。
2876	吉野川の良さや悪さが皆に理解される場であって欲しい。
2877	吉野川の生態系を良く知っている人たちと吉野川の川筋に居住している人達がいろいろな意見を出し合える場となつてほしい。
2878	国の河川整備計画に反対と決めている団体の住民に片寄らないよう公平な人選をする事。
2879	ご意見なし
2880	流域住民とのコミュニケーションを保つためにイベントなどを考えては。
2881	参加できる機会を増やして欲しい。(仕事を持つ人はなかなかそのような会に出席できません。)関心を高める為に、絶えずその審議の内容を公報して欲しい。(マスメディアを使って、絶えずその動きを住民に知らせる欲しい。)
2882	ご意見なし
2883	ご意見なし

Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
2884	ご意見なし
2885	住民の意見を反映させて、川づくりに気軽に参加して話し合う検討の場を設けること。
2886	①河川整備計画の予定区間により組織は変わる。②国のタウンミーティングのように、開催地は地域地域を持ち回り。(交通弱者、学生、主婦等の参加を促すため)③20～30年後の川のイメージづくりであるから、積極的に若い世代の意見を。税金は若い世代が負担し、また、利用することにする。④細かい技術論で議論議論とならないように。基本は川づくりのイメージやキャッチフレーズ作り。⑤素人だけの組織では駄目。専門知識を持つ学識経験者が必ず参画し、アドバイザーとして意見やアドバイスが必要。(毎回の参加は必要なし。)
2887	ご意見なし
2888	わかりません
2889	地区、親子会、学校、住民一緒に検討する場が必要。
2890	ご意見なし
2891	川への生活の中での関わり合い(遊び方等)を、みんなのために考えてくれる人。また、将来の生活習慣についても予測ができる人が必要。
2892	各方面の人々による検討。(職業などが偏らない。出来れば、学識経験者も含めて。)
2893	ご意見なし
2894	アンケートなどたくさんの意見を聞く。
2895	ご意見なし
2896	ご意見なし
2897	ご意見なし
2898	ご意見なし
2899	P17他の河川の事例の通り。
2900	水質を第一に考えて欲しい。
2901	ご意見なし
2902	ご意見なし
2903	役所の意見ではなく、流域住民の意見を大切に、勝手に決めないで欲しい。学識経験者の意見も当てにならない。世の中おかしい。
2904	運営の方法は。
2905	ご意見なし
2906	気軽に集まれる場であって欲しい。
2907	ご意見なし
2908	ご意見なし
2909	幅広い年代の意見と学識経験者等の意見を、中立的な立場でまとめて欲しい。
2910	ご意見なし
2911	川を生活の場としている人、学習に使用している人、何らかの形で関与している全ての人々の意見を聞き、内容を理解して、今後の事業に取り組む必要がある。
2912	ご意見なし
2913	ご意見なし
2914	ご意見なし
2915	人それぞれ意見は違うもの。各個人の自覚の向上と協調性を重視することから始めて、後に改めて検討会、または学習会を持つと良いのではないのでしょうか。
2916	構成員の割合は、吉野川から2km以内の人が半数以上となるようにして欲しい。(一生、吉野川の恵みと恐怖を受けて生活しなければいけない人たちであるから。)
2917	ご意見なし
2918	住民に分かりやすい、参加しやすい場であって欲しい。
2919	ご意見なし
2920	ご意見なし
2921	学識経験者、住民代表の意見を聞くのは良いが、「中立・透明性」の中身が問題と思う。常に自然の後からついていくという気持ちのあり方が問われていて、もうごまかしは利かない所まで来ているということを国土交通省は考えるべきで省益を排することはもちろんだが、委員等に土木関係者や官僚的立場の人を排してこそ、「中立透明」と言えるのではないか？何に対して中立なのか、何に対して透明なのか、それを合意した上で選ぶべきと思う。要するに、地域エゴを排するというをもっと重く考えるべきだ。水害とか生命安全とかいうのであれば、もっと根本を直すべきだ。
2922	吉野川の四季が映像で見られたり、その場所に行くと、意見が述べられる設備があって欲しい。
2923	地域住民の意見等を反映しながら、学識経験者、地方公共団体の長等でよく意見を述べ合って、納得のいく線で話をしてもらいたいと思います。
2924	ただ意見の出し合いの場になってしまわないように、自然のことを良く研究していらっしゃる方にも入って頂いてどうしていったら良いか、具体的なものになっていくような場所であって欲しいと思います。
2925	ご意見なし
2926	今回のようなアンケートを何年かに一回はして欲しい。そして、住民の意見を反映させて欲しい。話し合う場で集めたアンケートの発表。日本国内にある他の川を見て回り、実際にその川に関わっている人等の意見を聞いて、それを吉野川のために役立てて欲しい。話し合う場に参加している人全員で吉野川を実際に見回りながら意見を交わすと良い。外での話し合いの方が意見がよく出ると思う。一回は、現状を皆で見ないと始まらないと思う。
2927	流域住民の誰もが自由に参加でき、意見を述べるができるような整備された環境が必要だと思います。地方公共団体の協力は不可欠です。検討結果などを速やかに、広く周知して欲しいと思います。
2928	ご意見なし
2929	流域住民の意見の反映は最も大切だと思う。観光、遊びで大切に思っている人々にも意見を聞く。
2930	ご意見なし
2931	1項～11項の行政の確立



Q12-1.「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
2932	みんなで川づくりをするには、いろいろな立場の人の意見を聞き、専門的な知識を持った人たちの意見を聞き、いろいろな方向から話し合える場であって欲しいと思う。中立、透明性が重要である。
2933	ご意見なし
2934	関係市町村で組織を作り、全体会で話し合ったことを皆に伝えて欲しい。
2935	ご意見なし
2936	検討の場で学識経験者等と出ていますが、机上論で考えるのは止めて欲しいです。実際にそこで生まれ育った生活経験者とか、川を本当に愛し、育む気力を持っている方。これからずっと残せる川になるように心から思います。
2937	学識経験者のみならず、周辺住民および川を利用するすべての人々が率直に意見交換できる場であって欲しい。
2938	検討の場で議論される意見が実際に反映される場であればいい。
2939	ご意見なし
2940	流域住民等の多くの意見を聞き、それを活かし、分かりやすく明確な結果にまとめるような場所であって欲しい。
2941	自然をそのままの工法をお願いしたい。
2942	川についての思い入れは、人さまざまだと思う。どのような形であれ、I LOVE RIVERの観点から多方面の議論をしてほしい。
2943	住民意見反映。公官民一対、学識、共同参加。
2944	郡単位か出来れば町村毎に組織が出来たら良い。
2945	ご意見なし
2946	ご意見なし
2947	学識経験者、住民代表、行政等による広範な意見が反映できる場であってほしい。
2948	先にものべたように学問的な件については、何もしりません。日頃吉野川に接している流域住民としての場にたちたい。
2949	自然をそのままにしておいてください。イベント等をすると汚くなるだけです。素足で遊べる、昔の川原に戻りたい。(缶やビンの割れあり傷をする)
2950	ご意見なし
2951	鶴見川や多摩川での先進地のようになればよいと思う。吉野川では、特に川から一km位までの区域の次のような住民の生の声を掘り起こして聞くことが重要であると思う。①水防活動をした人。②漁業をしている人。③町内会を代表する人。(その地区の人望のある人)
2952	本当に必要な整備を否定する場であってはならないと思います。
2953	政治の思惑が入らない場にして欲しい。その意味で、これまで政治活動に関与して来た人は遠慮して欲しい。
2954	鈴木宗男が何人もいるような思いで聞く時がある。自分の意見は言うが相手の話は聞かない人が多い。検討をどのように行うのか、という最初から具体的な進行について話し合うべきである。
2955	多くの人に参加してもらったら、交通が便利で無料の大きな駐車場がある所であれば良いと思います。自然に触れながら(現地で)意見交換したりするのも良いと思います。その意見をまとめて市や県に是非伝えて反映させてほしい。
2956	老若男女いろいろな人の意見を聞いて欲しい。
2957	色々な異見の出るのは必要。その意見を誠実にまとめるリーダーも欲しい。
2958	子供達も話し合いに参加できる場に。お年寄りの力も絶大。活躍できる場を支援。若者達が寄ってくる、興味を持てる場に。(吉野川を使って川の大会、祭典、フェスティバルは年一回なので他の季節にも、川沿いを一斉に使用するようなイベントを開催。)
2959	清い水の流れて夏がくれば水泳ができたり、しじみ、貝、魚とりができたり河川敷ではスポーツが出来る場をもっとつくる。お花畑、桜、梅、椿、桃その他花見が出来る場所。散歩道、ジョギング道。市民の方が楽しく出来る場を作って欲しい。
2960	行政の長(知事)に真に県民(住民)の為を考え行動してくれる人を選ぶことがまず先決。国土交通省も国民の為、住民の為を最優先にしてくれればと思う。住民はあくまで素人であるから、関係する有識者で構成される委員会は住民に対する諮問(教育)委員会的役割をするような検討場があればと思う。その間に入ってくれるのが国土交通省だと思しますのでよろしく。
2961	立場の違う人達のいろいろな意見がまず出し合えるような場と雰囲気作り。
2962	吉野川に近い所で生活している流域住民の話し合う場。
2963	中立透明性です。地方公共団体の長が学識経験者や流域住民を選ばない。できれば流域住民にまかせる。
2964	ご意見なし
2965	ご意見なし
2966	流域全体の意見が反映されることが大切と考える、たとえば各市町村の小中学校区などの小さな単位で、吉野川を身近な問題として考える『住民参加の場』と、それらが連合して流域全体を考える場(ネットワーク)のようなものが考えられる。住民が主体的に判断するためには、徹底的な情報公開が前提となる。また、住民意見がどのように反映されるか、その仕組みを明確にしないと、『アリバイづくり』になることが懸念されます。
2967	原案をたたき台にして 学識経験者、流域住民・地方公共団体の長・地方熱心な方・意見を持っている者を推薦して会に参加してもらう
2968	専門知識のある人からよく説明を聞く。みんなで勉強し検討して行く
2969	ご意見なし
2970	川はいじらないでほしい 特に利害関係者の言いなりになつてる計画を進めないで広く意見を聞いてほしい
2971	他の河川の事例を見本にして設置したらよいと思います
2972	わからない
2973	ご意見なし
2974	わからない

Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
2975	学識経験者と地域住民との意見がどちらの妥協も無くうまくまとまる形の話し合いが出来る場であってほしい。そのためには地域住民が学識経験者に教えてもらうこともあるだろうし、その逆もあると思う。よってお互いの意見に対する勉強会のようなものが必要でないかと思う。
2976	住民の意見が良く反映してほしい
2977	特になし
2978	ご意見なし
2979	このような場は現実的に考えても表面上の運営になったり、机上の空論ばかりが先行しがちだと考えています。ですから具体的にどのような方法で河川整備を行っているのか、その中で住民や個人レベルで不可能な整備をどのような方法で行って欲しいかを発表する。そこで知識を持っている人から、より具体的な意見をいただくという具体性が優先された場であってほしい。
2980	信頼できるリーダーが必要。話し合いの結果をリアルタイムに公表すべき。国土交通省は黒子に徹すべき。正確な情報(事実と意見、方針を明確にする事)が必要。
2981	下記と同様です。多くの方のアンケートを取り、説明会等も多く重ねることで理解は得られると考えます。加えて上流、中流、下流等意見も当然変わってくると思います。参加者が発言しやすい雰囲気を作ることが必要。
2982	ご意見なし
2983	学識者ばかりでなく一般の人(老婦青学)いろいろな集まりでの上で話しあえたらいいなと思います。
2984	整備をする前に検討する場には、たくしても安心できる経験者の方流域住民はもちろん農業、漁業代表者にて話し合いがあってできればアンケートを行うべきであると思います。
2985	ご意見なし
2986	ご意見なし
2987	ご意見なし
2988	できるだけ多くの人が参加でき活発な意見交換の出来る場であることはもちろん、きちんと情報が開示され中立で透明性のある運営がなされること。
2989	みんなでもっとも役職のある方ばかりが参加するのでは、一般の人の声が届かないので一般人が話せる場であってほしい。
2990	住民の意見を重視した検討の場にしてほしい。
2991	学識経験者、役場関係、学校の先生、生徒、流域住民 流域住民は無差別に選ぶ。準備会は国土交通省と県が先に立つ
2992	ご意見なし
2993	ご意見なし
2994	ご意見なし
2995	1. 私利私欲の排除2. 現在は「・・・を守る会」というとすべて正しいような錯覚をすることがある。報道関係(TV、新聞など)は反対する方を大きく取り扱う。推進派(賛成)の意見も公平に世論に発表してほしい。
2996	①国一流域住民②地方公共団体一流域住民①ア. 常に接触がないからなじまない。イ. 現場に乏しい。②意思の疎通が図りやすい。
2997	首長が自分の意に沿う人ばかりを集めた「検討の場」であればつづらない方がよい。
2998	今までは官庁主流で土建屋のための河川工事が多いように感じられるから、流域住民が本当に何を望んでいるか広い範囲の住民からの意見を反映できる場であってほしい。
2999	河川法に定めた方向でいいと思う。あくまで専門家の工学的満足せしめる方策を中心とし公聴の人々の賛同を得るのが重要であると思う。
3000	ご意見なし
3001	ご意見なし
3002	検討を行う時、意見の相違があるはずであるが、人の意見を中立な立場で透明性のある検討の場であってほしい。少数な意見、大半の意見などもあるので中立的でみんなの意見を最後にまとめてくれる人も必要である。
3003	①徳島にとっては、生命の水、母なる川としての吉野川ということとずっと前から大きな広い立場から検討してくださっていたように思います。その折は多様な役職、専門家、地域住民も含めて、本当に誠実な検討、研究を継続して下っていることを感謝しています。この方針とか姿勢は他の件に無い重みと、大切なことと考え、出来る限りの小さな力であってもご協力というか、参加させていただきたいと思います。②「過去、現在、現状改良、未来はもう始まっている」と思う。21世紀へのプラスアルファの発想も含めて検討する必要も感じています。私の関係する色々な会とか近所の方も河川敷の活用他様々の配慮を喜んでいただけるのを何ううれしく思っております。
3004	第十堰のときもそうだが、意見交換会や公聴会の場では建設に反対する意見がマスコミにクローズアップされるケースが多かったように思う。一般市民が数多く参加してくれれば、偏った意見ばかりが目立つ場所にはならないのでしょうか。先ず多くの人が出席しやすい検討の場づくりが急務のように思われます。
3005	ご意見なし
3006	国土交通省の基本方針を示していただき、地域住民にその意見が届くよう地方の公共団体を指導してもらいたい。そして住民の意見が反映できる場を提供してもらいたい。
3007	色々な年代の人が集まり、意見を出し合う場作り。
3008	広い会場に多くの人を集め、各町村から各分野の代表にパネラーになってもらい話し合うような場をつくってほしいです。
3009	ご意見なし
3010	今までにも回答してきたように、吉野川は徳島にとってなくてはならない自然の恩恵だと思います。美しい水、景観、またそこに生息している生物にとっても残しておいてもらいたいものだと思います。一昔前、吉野川では泳いで渡る人がいたり、水遊びの場として人々に愛されていたと聞きます。これ以上吉野川の水の汚れを損なう事のない様、また干潟に来る鳥たちの場を奪う事のない様。人間にとっては多少不便かもしれませんが、人と生物と自然が共存できる環境をつくって欲しいと思います。(私は今教えている子供達にも水を汚さないよう教えています。)
3011	各地域で住民が話し合えるところ。
3012	流域の声をまとめ、方向性を提出する際の理念を十分に論議してもらいたい。

Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
3013	河川法(新しい河川整備の制度)の原案から案と学識経験者と住民意見の反映を入れての案作りはまことに結構と思いますが、地方公共団体の長の判断意見もよろしいが、一番大切なのは地元で古老による意見の聴取と思います。第十堰の近くで漁業をしたり川で幼少から遊んだ古老に耳を傾けて欲しいです。知識と実態とは異なることを考えて欲しいです。今の第十堰の構造の耐久度が調査されず地元との人は知らないのです。
3014	関係者代表で検討し、よりよい吉野川づくりに力を入れて下さい。
3015	ご意見なし
3016	上流～下流で公平に参加できるようにして欲しい。上流、中流、下流と三つの流域に分けてそれぞれで話し合いの場をつくり三つの場所それぞれで話し合ったことを(同じ内容の事)持ち寄り、話し合うのはどうか。大事なのは中立の立場で、公平に、検討の場が運営されるかを見る人が必要だと思う。やはり第三者がいてちゃんと運営されているかを見ないと、どこかで表に出ない部分などがあると偏りかねない。中立の立場には弁護士会などがないのではないかと思う。
3017	流域住民を中心に学識経験者等の意見を大きく反映出来る場を作ってほしい。
3018	ご意見なし
3019	市街で住んでいますので時々吉野川の事をテレビで見えていますので、今まで皆様が意見を出しているのので良いと思います。
3020	ご意見なし
3021	大きな会合より地域の人達の集まりが良いと思います。例えば、魚釣の人、日頃川辺で遊ぶ人達、泳ぐ人達、地区の代表者、農業者、川辺に土地のある人、商人、等色々の立場で。
3022	すべての人達が気軽に参加でき中立、透明性を大切にし、政治力の無い場であってほしい。
3023	上流(水源)の実態をよくつかんだ上、長期視点で治山、治水を考える場であってほしい。100年後に森林を守る人がどれだけ残っているだろうか。
3024	ご意見なし
3025	広く一般人からの意見を聞く事。
3026	那賀川流域フォーラムの設立過程も一つの方法かとも思います。吉野川流域住民会議を第三者機関で設立(学識者と各流域住民)しこの機関を基として運営を図る。(もちろん中立性、ガラス張りの運営が大切。)吉野川の流域を上、中、下に分別して地域性を持たせる。人員の増減も加味する。選考は住民会議が行う。みんなで川づくりの話し合いの場(委員たち)で検討し、その結果をまとめて住民会議に提出する。
3027	あらゆる方面の学識経験者の方たちから、専門的なことを教えてもらい(正しく)流域住民の方や一般の人達も勉強して、吉野川をよく知り、永遠に大きく、美しく、県民の宝であり続けられる吉野川にするよう、検討の出来る場であれば良いと思います。
3028	ご意見なし
3029	気安く話し合え、親睦の持てるような場に。難しいことは分かりません。
3030	検討の場で治水、利水、観光開発等の案を学識経験者、住民で十分討議し、各々の案の利点、欠点が県民に分かるよう公表してほしい。
3031	ご意見なし
3032	ご意見なし
3033	気軽に話し合いが出来る公正な場。
3034	ご意見なし
3035	中立、透明性。
3036	特になし
3037	ご意見なし
3038	ご意見なし
3039	まず広く流域住民の意見を聞ける場でなければならないと考えます。そのために多くの場を設ける必要があると思います。流域ごとでも意見は違うでしょうし、又人によっても意見は違うと思います。その違う価値観を認め合いそこから吉野川をどのようにしていけばいいかを考えられる場となれば良いと思います。また、学識経験者の学術的な意見も聞く必要があると考えます。しかし、住民に理解できない水準の話をして意味が無いので、皆が理解できる話し合いになるべきだと思います。このように話し合っても意見が吉野川の川づくりに反映されなければ何の為の話し合いかわかりません。検討して出た意見が即、川づくりに反映するようにしなければならぬと考えます。
3040	山間の人の意見も取り入れて欲しい。
3041	ご意見なし
3042	地域住民の意見が反映される場にしてほしい。
3043	流域住民の意見や考え方も重視し、あわせて学識経験者の意見も参考にして、河川管理者が計画して河川整備を進めて欲しい。
3044	ご意見なし
3045	嘘の無い本当に美しい川を守っていく心を持った人達が集まり、検討できればと思います。世の中一つでも本当の集まりがあっても良いですね。そんなのをつくってください。お願いします。今の世の中うんざりです。美しい川に負けない川を守る会をそして一人でも多く誘い合いたいです。
3046	ご意見なし
3047	地域的には名田橋付近の川辺の運動場周り、時には変化のある場所も良いのでは。法的なことは庶民の私にはわかりません。集会しやすい所。
3048	ご意見なし
3049	公平な意見の出る場。
3050	ご意見なし
3051	本当に住民の意見が反映される場。住民には専門的なことがわからないので、専門家は的確な情報提供を望む。
3052	一般の人の意見が聞こえる場。
3053	ご意見なし
3054	ご意見なし
3055	ご意見なし



Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
3056	川について知識がある人は勿論だけれど、川が身近にある人、生活の一部にある人なども参加できる場。
3057	「川づくりを話し合う場」をもっとPRして県民の参加、関心を高める。
3058	吉野川において多くのイベントの企画、立案をしてほしい。
3059	ご意見なし
3060	地元吉野川に対して、本当に必要な手法がとられていない印象がある。勿論地域の安全に必要な整備も計画されているのだろうが、その弊害まで本当に検討されているか。
3061	各町民の声を聞き、まとめて代表者を決める。代表者ばかりが集まって、町で検討し会議に望む。会議に町民の声を反映していく。
3062	ご意見なし
3063	ご意見なし
3064	住民が気軽に討論の場に出席できる工夫をしてほしい。
3065	ご意見なし
3066	吉野川の周辺および働きについて学習し、子供から大人まで皆で検討し意見を出し合う場があればいいかな。
3067	皆の意見をまとめてくれる人が必要。
3068	ご意見なし
3069	ご意見なし
3070	中立、透明性は必要。何かをつくるというのではなく、川を生かしていくために変化させるような検討をしてほしい。そのためには時間がかかっても良いので、アンケートなどをする会を作ったほうが良い。
3071	川に関わるすべての人の意見が反映される会にして欲しい。
3072	例の意見は正しいと思います。そのためには一度皆で川づくりを話し合う場を持って(勿論学識経験者、流域住民参加)建設的な意見の発表討論会をもつべきだと思います。
3073	ご意見なし
3074	話し合いの参加者の選定が非常に難しい問題であると思う。学者、住民といっても様々な考え方がある中で利権や偏った考えにとらわれない純粋により良い意見を集約できる場づくりにアイデアなり思想を持った人選が出来るかが成否の大きな鍵となると思う。
3075	①流域住民と河川工学者、過去の歴史を検証出来る識者を交えて検討するべきである。(政治的意図のあるものは排除)②感情論で討議するのではなく、集中審議の後は和気あいあいの雰囲気ですべてで話し合いたい。
3076	ご意見なし
3077	テキストに図示例されている方式が良いと思うが、住民の意見が尊重されるものであってほしい。この意思が充分満たされていないと後で反対運動等起こり、結局運営に支障をきたす。ただし、検討の場の委員は特定のイデオロギー的意見の傾向のある人をできるだけ避け、中立的な立場で自由な論議が交わされる場が確保されるものでありたい。
3078	自然とか水の必要性についてマスコミや住民、県民全てに大切さを認識させる為にも公聴会やイベントを開き、行政も幅広く意見を出し合うのが良いと思う。行政と住民、流域の人達も交えて検討をしてほしい。
3079	ご意見なし
3080	エリートの方々だけでなく、一般市民の意見を大事にして欲しい。
3081	ご意見なし
3082	政治、宗教、思想などとらわれない場であること。経済的利害がとらわれない場であること。検討の場が意図された目的に利用されることのないこと。ともに誠実に、純粋に吉野川の今後のあり方を公平に自由に話し合える場であること。
3083	学識経験者の方、地方公共団体の長等に意見をいただくことはもちろん大切だと思いますが、一番は地域の住民、そこに住む人に話を聞くことが重要ではないかと思います。地域の住民、そこに住む人に話を聞く場を増やし、幅広く意見を聞いていただきたいと思っています。
3084	ご意見なし
3085	ご意見なし
3086	ご意見なし
3087	ご意見なし
3088	ご意見なし
3089	ご意見なし
3090	ご意見なし
3091	ご意見なし
3092	流域住民と学識経験者と地方公共団体の三者それぞれに意見があるので、話し合う場と言うのは難しいと思う。ただ住民があつての国、地方なので地元住民の意見を主において、もし災害で被害を受けたときでも事業主体への批判を避けるためにはそのほうが良いと思う。
3093	意見が出るのは構わないが、まとまりがつかなくなるようではいけないので準備会等でまとめておく。
3094	地元だけでなくアンケートをとる。
3095	ご意見なし
3096	ご意見なし
3097	ご意見なし
3098	ご意見なし
3099	ご意見なし
3100	ご意見なし
3101	大きな(多勢の)意見に流されるだけでなく、少数意見もみんなで真剣に考えて欲しい。
3102	ご意見なし
3103	ご意見なし
3104	ご意見なし
3105	ご意見なし
3106	様々な人が意見を言え、そのことがちゃんと議論される場。そして、そのすべての過程がみんなにわかるようにして欲しい。

Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
3107	ご意見なし
3108	ご意見なし
3109	ご意見なし
3110	ご意見なし
3111	ご意見なし
3112	ご意見なし
3113	森林の保護と水の多目的利用等総合的な計画にもっと前進的に取り組む場。
3114	ご意見なし
3115	ご意見なし
3116	流域住民の意見を十分反映できる場を提供し、行政が先走りすることのないよう検討会を深めていく。
3117	ご意見なし
3118	できる限り多く方の意見を集められる場に。
3119	ご意見なし
3120	ご意見なし
3121	ご意見なし
3122	出来るだけ各地でするように、住民に参加さす。
3123	ご意見なし
3124	上・下流が一体となった整備を話し合う場が欲しい。現在は人工的な施設の既得権を優先しすぎている。
3125	透明性など情報公開又インターネットの利便性などできるだけ一部の人達で決めないで欲しい。
3126	ご意見なし
3127	将来を見据えたプランの作成が必要である。県の都市計画の中に専門のセクションを設け基本プランを練り常に住民アンケートをやるなど、住民の意見を反映させるシステムをつくり、長い時間をかけて少しずつ取り組んだらどうか。
3128	ご意見なし
3129	学識経験者等の人達の案、意見も大切だが地域住民、各団体(例えば川をよく知っている仲間達とか、釣りをしている人)などが、ざっくばらんに意見が言える場。
3130	ご意見なし
3131	自然、子供、地域住民の立場に立って考え、少数意見も尊重できる場であってほしい。
3132	ご意見なし
3133	学識経験者ほど当てにならないものはない。エイズ事件にしろ「あの時点では最良の選肢だった」との逃げ道がある。行政としては意見をまとめるのは非常に難しいが、できるだけ多くの人と多くの時間を費やし、様々な角度からの検討することが大切。
3134	ご意見なし
3135	ご意見なし
3136	川は皆のものです。地域のごく一部の人の意見だけでなく(例えば漁協)、川を大切に思える人々の意見、地域住民も意見を聞いて欲しい。
3137	年齢別で10代から60代以上と色々な年代の人選をして年代別で色々な意見が提案があると思う。
3138	吉野川の水源地(高知県)から川口の各治線の町村の代表による吉野川を良くし、守る会をつくらばいい。
3139	流域住民の意見が反映出来るような場であって欲しい。
3140	国土交通省が設定するのではなく、第三者、中立で設定して欲しいものです。
3141	住民の意見が100%まとまることはない。
3142	それぞれの町から何人かの担当者を決め検討してほしい。
3143	本当の意味で徳島県民、国民が議論して決めて欲しいと思う。当然最終判断は住民投票によって決めるべきでは。国、県は徳島県民に全ての情報を開示し討論の場を公開し、そして住民投票を行うのです。徳島テレビでの討論会等を実施するのも一つの方法ではないでしょうか。県民にはこの判断に参加する義務と権利があると考えます。
3144	吉野川について学習する場であってほしい。吉野川の実状について色々な角度からの勉強の場であってほしい。結論、方向付けをゆっくりと皆で話し合っ決めて決める場であってほしい。
3145	ご意見なし
3146	特になし
3147	理想論ばかりでなく実際に出来ることを話し合っしてほしい。
3148	皆が本当に純粋に徳島の未来と子供達の未来の事だけを考えて、よりベターな方法を話し合う場であってほしい。
3149	人が集まるのは難しいのでは。インターネットの活用など多くの人々の意見が取り入れられるように。
3150	Aさん。Cさん。
3151	官中心で公共事業をしているが、今までの考え方を見直して欲しいです。有識者などといわれている人も正しい考えばかりとは限りません。もっと広くゆっくりと話し合うべきです。住民投票も大切ですが、出来るだけ戦いのない事業にして欲しいものです。長良川河口堰が良い結果です。諫早湾の事業でも人を苦しめ貴重な生物や自然をなくしてしまった。人間は自然の恩恵を忘れてはいけないと思います。災害を最小限に防ぐには森林の保全、防災工事の工法をもっと地元の人々の意見を聞く事です。
3152	ご意見なし
3153	ご意見なし
3154	ご意見なし
3155	ご意見なし
3156	朝の7時の四国放送スタジオ。
3157	今の姿でよいと思います。
3158	自然は時々大暴れして、又平常に戻る。それを受け入れるところから議論を出発させて、どうすべきかを考える。そういう場を望む。
3159	上流、中流、下流の方々との話し合う場を持つこと。
3160	ご意見なし
3161	ご意見なし

Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
3162	よくわかりません。
3163	上下流、左右岸で利害が異なる。多くの住民は自分の周辺の事しか知らない。先ず身近なグループで話し合う場が必要。例えば市町村単位ぐらい。次にその代表者が集まって、もう少し広い範囲で話し合う場が必要。吉野川クラスになると徳島県内だけでも3段階ぐらいにする必要があると思う。身近な問題を流域全体の問題と分けて検討する。
3164	流域住民と対話をし、それぞれの立場で話し合える場があればいいと思う。
3165	ご意見なし
3166	川の改修による地方団体、企業への分配というような前提での川作りはどうかと思う。自然は自然で何ら改修を希望していないと思う。その必要性が本当にありますか？
3167	？
3168	流域住民がそれぞれ責任をもって清流を取り戻すことを考える場であって欲しい。
3169	ご意見なし
3170	ご意見なし
3171	四国の順廻りで山の整備をして保水を考えて頂きたい。
3172	ご意見なし
3173	改めてそのような場を設けなくとも、例えば学校での授業の中に取り入れたり、職場や自治会などで意見を集約するなどすれば足りるのではないか。場を設けると興味のある人は集まるが、そうでない人は関わってこない。関心の低い人たちをどれだけ掘り起こすかが大事と思う。
3174	なし
3175	河川整備計画(原案)の時から住民の代表を参加に加えて欲しい。視点の違いで計画がずいぶん変わってくると思う。第十堰の問題がそうであったように。これからは住民なくしては出来ない事業(特にボランティアに呼びかける事業)が多くなってくると思います。住民の意識が高まっている今こそ協力を求めるべきだと思います。
3176	ご意見なし
3177	早明浦ダムができて第十堰の役割は終わったと思います。第十橋が出来るのを一日も早く望んでいます。(慢性的な交通渋滞に悩まされています。)吉野川の近くにすんでいる人達と徳島の工学部の人達が中心になって話し合う場であって欲しいです。
3178	準備会も検討の場もガラス貼りの明るい場であって欲しいものです。
3179	ご意見なし
3180	流域住民の意見が取り入れてもらえる場所。透明性が大切。
3181	もし、多くの流域住民の参加を望んでおいでるのなら、各市町村の代表が行くのがやっとなんかになるのではないのでしょうか？多分会場は徳島県で遠すぎる事となります。その工夫がいるのではないのでしょうか？
3182	中立、透明性はもちろん大切です。
3182	流域住民の参加に行政はあまり深入りしないほうがみんなが話し合える。
3183	民間にあってもいいが、行政のほうからは捨てておくこと。民間独自の意見が行政に施策を求めてきたとき、その人たちと相談したらよい。場合によっては専門家に参加してもらったら良い。
10001	公開された場、本当に吉野川のことを考える人の集まる場であって欲しい。
10002	学識経験者はいらぬ住民投票により行う
10003	「吉野川〇〇会」といった会は既にたくさんあり、しかしメンバーは重複しまくっている、というのが現状だと思いますがいかがでしょう。四国は海が近く、川もたくさん流れているため、カヌーや釣りが大好きな人がたくさんいます。漁師さんも比較的多いところ。こんな方こそ、本当に吉野川を知り、愛している人たちだと思います。でも、この人たちは仕事や遊びに忙しくてわざわざ「会」には参加してくれないでしょう。年配の方もたくさんおられます。そこで、(官民の方にとっては書類上の問題もあるかもしれませんが、)夜なべ談義方式、24時間アクセス可能なネットでチャット方式などはいかがでしょうか。
10004	cさんの意見を反映する。
10005	ご意見なし
10006	ご意見なし
10007	吉野川のことを本当に理解している人をお願いしたい。(メンバーを公募して、吉野川についての基本的な試験を行う。)
10008	中立、公平
10009	役所自体の方針でなく地域住民の意見も聞き入れて考慮する
10010	自然保護を第一に考える場であってほしい。
10011	ご意見なし
10012	河川整備を行うにしても、賛否両論の意見がでるのは当たり前だが、一人の意見を尊重するより、多くの人が望む河川整備を行ってほしい。
10013	必要なし、あなた方は自分たちの利益になる方々ばかりを見事に抽出し、会を運営するのが得意だから。当然、政治的な意図を一切排除したものであり、関係者はボランティアが望ましいと思う。また数値や論理で表せないものを大いに考慮した議論をする場でもあって欲しい。さらに、「みんなで～」という名前の意味を尊重することも大切。
10015	第十堰の建設に反対の者を全員死刑にして建設を強行するべき！
10016	住民投票の結果が全てを物語っていると思います。つまり可動堰は、はっきり言っていない。話し合う、話し合わない以前に、答えは出ているとおもいます。どうしても作るというのなら、吉野川は死んでしましますよ。そうなったらいったい誰が責任を取るのでしょうかね？
10017	声の大きい人に影響されず、中立性が保たれる場であってほしい。
10018	「川づくり」の言葉を使う事が、間違っている。川とどう関わるかで、つくるなんて吉野川に失礼
10019	全ての意見が同じ重みで聞いてもらえるような場。有力者、漁協が有利な場にはしてほしくない
10020	学識経験者の立場が問題です。どう思っているのか、はっきり言える場であれば意味がありません。それに、みんなが参加しやすいように住民に呼びかけるなど野必要があります。
10021	住民もある程度の知識が必要になりますね。
10022	中立・公平・透明性を確保して欲しい。内容はすべて公表して欲しい。中山前建設大臣の暴言のようなことは二度とあってはならない。



Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
10023	みんなが必要だと認識したものを作ってあげれば良い、そのためには情報の公開が必要だと思う。施策には合理的な根拠が必要と思う。
10024	検討内容を、ホームページなどで、常に公開して欲しいです。また、このように、インターネットを使った意見収集は、行って欲しいです。
10025	ご意見なし
10026	人口構造物を建設すれば必ず利権が発生するので出来るだけ建設しなくても良い方法をかんがえる。
10027	いろんな考えの方がいるので、いろんな方々が意見をいいやすい場所。考え方が反対の人もあつまり、ざっくばらんに徹底的に話しができる場所となるように希望します。第十堰だけでも考え方がいろいろあるので、まずはそのいろんな意見の方々みなさんが参加して、吉野川全体！について徹底討論。国も悪いことをしようとしてるわけではないのに、何だか悪者のようにいわれるのは気の毒だ。とにかく、何回でも何度でも意見の折り合い(気が済むまで)話し合い。大変すぎるでしょうか。。。
10028	皆の意見をまとめるコーディネーターの人選は透明性が必要。第十堰問題でも一人一人時間をかけて説明すれば改築の理解は得られた。費用がかかっても皆に見てもらえる広報が必要。皆に自由に意見を出してもらっても、田中と鈴木の答弁と同じでかみ合わない。科学的な資料、根拠は行政側が作って、それをたたき台にして発展させていく。
10029	吉野川に限らず各支流について、上水道を確保している地域がある。各支流の地域住民及び農民を参画させ盛大に議論していただきたい。
10030	公正中立
10031	上流域で山に関わる人や、下流域で漁業に従事している人、スポーツを楽しむ人達が参加し、住民と行政の人が対等な立場で話し合うことが必要だと思います。その際、行政は住民のためにある事を第一に考え、充分理解を得る様にすべきだと考えます。
10032	参加者みんなの意見が抽出される場であって欲しい
10033	ご意見なし
10034	学識経験者等の意見及び公聴会の開催等による住民意見を反映し河川が蘇るのを望みます。
10035	流域の住民だけでなく、県内外の興味のある人はもちろん同じく大きな川を持つ他県の人意見も必要だと思います。
10036	今みたいにいがみ合うのではなく、流域の方が誰でも意見を言える場を作してほしい。ただ、みんなが集まることは出来ないで流域内に部会等を作りその代表が全体の話し合いが出来るような場を作ってもらいたい。(部会毎に代表者を作るのは難しいため代表者が出ないところについては全体の会(話し合いの場)より派遣しても良いかも)
10037	計画が中止になって、はっきり言ってまず20年間は計画は進まないでしょう。感心するような考えができれば、設計されると思うが、それでも反対者が出てくる。皆さんそれぞれ自分だけが正しいと思う人が表に出ているため(必要とは表も)、水利権の確率が吉宗の時代に確立されているのに、争いは絶えない。それだけ水は大事
10038	河川改修(目的)のために、それを是認してくれる人ばかり集めてもダメ。目的を提示するなら、その目的が必要かどうかを多くの人にとことん議論させて欲しい。とくに公共(土木)事業のための河川改修型プロジェクトは、時代遅れです。
10039	本当にみんなが参加できる話し合いの場であってほしい。一部の人のみで決めないでほしい
10040	公開する場となってほしい。
10041	・「検討の場」で、様々な世代や立場、視点から意見が出れば良いと思います。いろんな立場の人を包括できる場になってほしいです。・「検討の場」で、自分とは違う人の意見を聞いてみたいと思います。・川だけではなく、これからの地域をどうしていくか、住民が関心を持てる場になり、前向きで積極的な住民活動につながるきっかけになればと願っています。・意見対立の場ではなく、和気あいあいと話し合いが進む場になってほしいと思います。地域やテーマごとに部会を設けたり、学識委員と一般住民と一緒にフィールドワークをする、現地視察をするなどの活動が積み重なって、参加者の意思疎通が進むことを願います。
10042	専門的な人も必要だし、地元の人も必要。いろんな人が集まって、自由に意見の言える場。
10043	建設的な議論ができ、多くの人が納得できる中立な運営が必要。そのためには、透明性が必要でありまた、人選についても透明性が必要。
10044	自分の言いたいことだけを言って人の言うことを聞かない人。だから私はあの時、こう言ったじゃないのといつまでもこだわる人。こんな人が集まっても何にもならない。人の言うことに、自分の考えは横において耳をかたむけられるひと。そして、その意見を尊重できる人が集わないとダメ。川づくり案の内容よりも、合意を目指す姿勢を持つ人。こんな話し合う場。になってほしいね。
10045	三者三様の意見が出る場
10046	話し合いの場に参加した人の意見が平等に尊重される場であってほしい。声の大きな人や有名人の意見だけが強調されるようではいけない。
10047	みんなが自由に意見を出し合えて透明性のある場であってほしい。

注) 受付番号 10001~10047 迄はインターネット受付分となっています。

Q12-1. 「みんなで川づくりを話し合う場(検討の場)」について、あなたはどのような場であって欲しいと思いますか。

受付番号	ご意見・ご提案
681別紙	<p>徳島県へ管理権を渡す意味について、別紙は君が代という日本の国歌の意味で有ります。地球の未来を予言しているのです。やがて地球の193カ国は皆つぶれて、地球が一つの国になるのです。地球が一つの国になると、河川だ、山だと言うことになると、その地方に任せねばならなくなるのです。日本の国が管理権をもって居ても、国が無くなると官僚という職業は、管理権が無くなるのです。徳島県にその管理権を渡す意味は、ここに有るのです、</p> <p>君が代の国歌が私たちに教えて居るのです。地球全体の意味をお知らせして居ることを、お知らせしたいのであります。今君が代以外にうまくこの事を説明できるものは無い、しかしグローバル化、地球統一化と言う言葉が有るように、世紀末が過ぎて居る今日こそ、理解しなければならぬと思います。ノアの箱舟とはこの吉野川平野に浮いた意味が出てくるのです。これを説明すると長くなりますので、ここでは一応止めておきます。</p> <p>聖書の啓示の16の16に有るように「王たちは、ヘブライ語でハルマゲドンに集められる」と有るように大変革の時が来て居ることを、知らなければならぬのです。追伸、この封書には・君が代の国歌について・天才政治・国歌の意味・原爆の賠償金をアメリカに要求しよう・核拡散防止・第十堰漏水と環境・阿波町長峰の意味・遊水地帯の活用・吉野川平野の氾濫・詞3編が同封してあります。</p> <p>原爆の賠償金をアメリカに要求しよう。1. 原爆投下は人道に反する。原爆はどう判断しても、人道に違反なので、原爆によって何世代も人が、放射能に苦しんでいるのです。こんなに長く人を苦しめる戦争兵器を、裁判上でも認める訳が無いでしょう。2. アメリカは日本にあやまれ。昭和20年、日本に原爆を放り付けなくても、すでに勝負はついているものを、世界に睨みをきかせるために、日本を犠牲にした原爆である。勝負を離れてアメリカのエゴイズムによって、使った行為を許せるものではないのです。アメリカは日本に詫びてほしい。原爆症に苦しんでいる人に謝ってください。</p> <p>3. 50年以上も経過して苦しんでいる人に賠償金を。アメリカは今、中国に対して人道主義を要求している。それは良いことであり推進してほしいが、アメリカ自身が54年前に取った行為についても、考えを及ぼしてほしいのであります。中国系の人たちも多くなっているはずであります。アメリカの良識ある判断をお待ちしております。4. 世界に拡散した核はアメリカの責任。アメリカの無法な恐ろしさを感じたのが、当時のソビエト連邦である。国の総力をあげて原爆を開発し、世界から情報を集めたそして完成し拡散が始まった。</p> <p>5. 千年王国に備えるように。この地球上で新しい時代を迎えるにあたっては、どうしても必要なのが、反省と、懺悔であります。新しい千年王国に心を備えられますようお願いいたします。</p> <p>6. 核拡散防止。地球上で初めて広島で原爆が爆発した。3日めには長崎に投下された。アメリカが独占していた核が日本で爆発したのである。このアメリカの無法な使用の仕方に警戒したのがソ連であった。ソビエトは国力の総力を上げて、情報網の総力を上げて、開発に成功したのであった。ここから核の拡散が始まったのであった。アメリカ、ソビエト、イギリス、フランス、中国、インド、パキスタンと核保有国は確実に広がっている。</p> <p>核をもった国が隣の国を核で脅して、脅された国が巨大な費用をかけて、核を開発するという愚かな方法で広がっているのである。人類にとって、地球の自然にとって、まったくなんの利益もなく、人類を死に導くだけの核を、膨大な費用をかけて開発する愚かな人類の姿をみせているのである。新興国に核保有国が自分も核を廃棄するから、あなたは開発をやめるよう説得するのなら話はわかるが、核で核開発をおどしながら、</p> <p>新興国だけ開発させないところに、大きな無理があるのである。本当の核不拡散はアメリカが日本に謝り、賠償金を支払い、保有国に協力に核不使用条約を結ばせ、核で隣の国を脅す事無く、それを監視しながらリーダーシップを取ることこそ、アメリカの役割であると思います。</p> <p>天才政治。千年続く選挙制度。これからの政治は地上の人すべてに試験をして、その結果によって人を選ぶ資格得ることができる。地域上の人口構成は、知識的に普通の人45%、普通より一割ぐらい優秀な人が25%、普通より一割ぐらい劣る人たちが25%、普通より3割ぐらい優秀な人2%、普通より3割ぐらい劣る人2%、普通より5割ぐらい優秀な人が0.5%、普通より5割ぐらい劣る人たちが0.5%。と言う構成になっている。天才政治とは普通より5割以上優秀な0.5%の人に、政治の中心に立っていただくのです。しかもその人を選ぶのは、普通より10%以上の優秀な人に選んで頂くのです。</p> <p>そのことによつて一層優秀なる指導者が選出できるのである。政治の本質とは自分より劣る人たちの、面倒を見ることであり、全体的にそうなった時に、本当の平和な地球となる。これを天才政治と言うのであり、世界政府の制度であり、660年間変わる事の無い制度であり、人道的人類主義とでも言うべきであり、如何に広大な宇宙といえども、これ以上の制度は無いであろう。しかし今日の政治は普通の人金が力、当選して権力と金力とに結びつくため、癒着が怒り国民のための政治とかけ離れてゆくのである。アメリカの意見を聞きすぎるのも、歪みが生じる原因であり、国の罪なのであります。</p> <p>国歌の意味。「君が代は千代に八千代にさざれ石の巖となりて苔の蒸すまで」これは日本国歌の歌詞であります。さざれ石とは大きな岩にくっついて、小さな石であります。小さな石とは小さな意志であります。アメリカ、ロシア、イギリス、パナマ……など188の国や地域があるのです。これらに国境があるから国境争いが起こる、個人の畑があるから相手の畑との境界ができる、ここに境界争いが起きる。これらの境界をすべて廃止して、これらの国境をすべて廃止して、国境争いをなくし、地球がひとつの国になることを意味しているのです。西洋の国歌のように旗の下に集まれ、</p> <p>心をついにせよ、手を結び合えなどという言葉は無くても、日本の国歌は地球の未来を予言しているのです。やがて日本の民族の中のサンカと言う民族の中から、地球を一人で治められる「君」が出ておいでになります。君の時代が長く続く事が千代に八千代にと言う言葉に表されている。その岩に苔が生えてくる、その上にまた覆い被さるように生えてくる。長い期間に全体を覆うことを蒸すと表現している。ゴツゴツした世の中が、触れれば柔らかい、自然体の地球に成って行くことを意味しているのです。宇宙の真理にそった、争いの無い、競争の無い、相手のために想うような優しい地球に成って行くことを、日本国歌は予言している。</p>

「君」とはヨの中を1人で口を利かれる方なのです。地球をお一人で御支配なされる事を意味しているのです。

イギリスやミャンマーやアメリカの様な団結しようと呼びかけ無くても団結出来る民族であると言う事に成る。その様な具体的な言葉が無くても日本人は団結出来るのでしょ。是は一つの民俗性と言う干天に立って居ると思うのです。人間の野団結と言うのはお互いの信頼関係の上に立っての社会で有ると思うのです。信頼関係無くして団結はあり得ないのでは無いでしょうか。

此の様な意味や事柄を超越しているのが此の君が代の内容であります。・君=きみ=幹と言う語源になる。幹と言うのは大きな木の幹と言う意味を持って居るのです。大きな幹と言う事はその大木の全てを支えているのです。それを差さえそして葉を茂らせて、花を咲かせ、身を成らせると言う事が行われる。其れは統べて此の幹のお陰で有ります。その中を樹液が流れ、水を吸い上げて、大きな風にも絶える丈夫な物であります。寄らば大木の影と言う様に今日まで長い長い風雪に耐えて来ている。周囲を守り、其処にその大木の時代を築き、年輪を重ねて来ている。幹ありて大木在りと言う事に成ります。

日本は此の世界の国々の幹と成るべき国なのです。世界に160ヶ国有ろうとも日本以外に幹と成る国無しで有ります。日本以外の国々は統べて日本の植民地と言う時代がやって来るのです。日本は是を纏めて治めて行く責任が有るのです。従って日本は清く無ければ成らないのです。其れは世界に対する責任という清潔さが居るのです。素朴さが必要なのです。質素にしてその自然を守るを守る責任がある。自然と言う唯一の神様のお守りをする責任が有るのです。自然破壊を止める、地球に対する人間の破壊を止めさせる、

そして自然を守り、自然の人間を守る事に成るのです。地球の大自然を守り、周辺の環境を守り、人間の自然体を守り、自然に生存する動物の形態を守り、山や木の自然体を守る日本人の責任が有るのです。その中心を為す責任が日本人に有る事を意味しているのです。・君が代とは誰かと言いますと是れはサンカと言う日本の少数民族の統領の意味に成るのです。此の民族の代表者は世界の幹に成る人なのです。世界の天皇に成られて地球全体を治められるのです。世界天皇を努められるのは此の民族なのです。

純粹の人間人と言うのは此の民族の意味合いを持って居るのです。吾々大和民族はサンカ、クグツ、マタギ、タタラ、アイヌ等多くの民族の混血と言う事に成るのです。此等の少数民族から日本の土地を割り当てて貰って住んでいた。其れが何時の間にか攻守が逆転して、此等の少数民族を山に追い込み、海の方に競りだした。今日是れを精算しなければ成らない時が来たのです。世界天皇は日本人であります。此の天皇の時代が長く続くので有ります。660年間と言う長期に於ける政権が続くのです。

地球に大自然を取り戻し、山や川には大自然の姿が見えて来る。自然界の動物はその自然体の姿で生存する時代に成ります。昆虫も、爬虫類も、両棲類も、人間と共に仲良く住む時代が訪れるのです。地球を治められる世界天皇の時代と言うのは此の様な人間も、動物も、木や草も共に生きて行く時代という事に成るのです。・さざれ石=さざれいし=ざれ石さと言う語源になる。積み上げると崩れてしまうのです。高く積み上げて見ますとコロコロと崩れる意味を持って居るのです。此の様な小さな石の事をさざれ石と呼んで居るのです。

地球上には実に多くの国や地域が有るのです。此等の国や地域は其々に利害関係を持って居るのです。互いに所有権を主張し合って争っている。石油や鉱物資源の埋蔵が発見されて争いが生じて来る。250カイリと言う領海を主張して其処に他国の船を通さないとと言う領海権で争っている。領海を主張する中へ入って魚を捕ると拿捕される。魚という自然の海で回遊して居るものを自国の魚で有ると主張する争いも有るです。

小さな石が其々の意志によって統制の取れない行動を起こして纏らない状態を指して居るのです。纏まりの無い此の様な世界を纏めるような力と言う物がどうしても必要に成るのです。小さな石は小さな力では纏る事はない。石と言う堅くて重たい物質は小さな圧力では固まら無いのです。強力なる地熱と、強力なる地球の圧力が必要になるのです。世界の国はいま経済で争い、国境で対立し、権力争いに明け暮れ、宗教で争いもあり、貿易で争い、領海で争う、小さな意志(石)同士の争いには事欠かないのです。争わず平和な地球を取り戻す必要がある。そして大きな岩と成ると言う日本の予言の歌なのです。

・さざれ石は何処で取れるのか。此のさざれ石は徳島県で産出されて居る。徳島県の中央部で有ります、名東郡佐那河内村や名西郡神山町に有ると言われて居るのです。青石系の此の石は海底に有った石が地熱と、地球の圧力による強力な作用によって固められたとされている。一つ一つの小さな石が寄り集まって大きな岩を形成して居るのです。その岩の表面には元の小さな石の形がそのまま突き出して居るのです。小さな石も一つにまとまれば此の様な大きな岩を形成出来ると言う見本が此処にある。

其れを日本国歌に読み込んで有るのです。日本の国歌は此の様な次の時代を予言して居るのです。

世界にも類の無い貴重な歌で有ると言う事に成るのです。徳島県は此の様なさざれ石の産地と言う事になります。神山町、佐那河内村の山の中には此の様な石が山肌に表れて居るのを見る事が有るのです。日本列島が太平洋の海底から組成させている。太平洋プレートが日本列島に潜り込んでその時の圧力による出来上がるのでしょう。私達には此の様な日本列島の組成と、これからの世の中の仕組みと、大きな圧力が掛かって出来る事を教えてくれて居るのです。・巖=いわお=岩をと言う語源になる。辞書などで巖と引いて見ると大きな岩石と言う答えが書いて有るのです。従って岩盤では無いのです。固まりに成っている独立している岩と言う意味が有るのです。「さざれ石の岩をとなりて」と言う小さな石の集団が大きな岩に成っている事を言い表している。

小さな国が、小さな地域が、寄り集まって一つの地球的な大きな国になる意味を持って居るのです。小さな王国が寄り集まって小さな共和制の国々が寄り集まって、小さな社会制度を持った国々が寄り集まって、地球が一つになる。地球が一つとの国に成って行く。宇宙が一つの制度に成って行くのです。此等が是れから起こるべき事柄に成るのです。岩をと成る事が最優先になる時代で有り要求される事になる。争いの無い、一つの体制と言う、皆が協力し合う此の様な世の中が間もなく出現するのです。



・千代に八千代に 此の様な世界が一つに成った世の中が、地球が一つの国に成った世の中が、そして地球を一人の指導者が支配すると言う時代が、千代に八千代に続くと言う予言が為されて居るのです。千代(せんだい)と言うと25才で子供を作って2万5千年になる。八千代(はつせんだい)は20万年も続くと言う事に成るのです。未来永劫に此の様な時代と言うものが続く事を意味して居るのです。大和民族は水に浮いて居る民族であります。地に付いて居るのはサンカ、クグツ、マタギと言う少数民族と言う事に成るのです。

私たちは此の様な民族の持っている宿命がある。此の宿命を背負って居るのです。生れ乍らにしての人間の持っている、民族の持って居る宿命なのです。大和民族は此の様な難局に対処しなければ成らない。家を持ち、畑を耕して、固定した生活をして安定した生活に慣らされて来た。其処には境界を作り、農耕と言う固定した文明を作り出して居るのです。そして偶像崇拜と言う宗教を作り出して居る。

吉野川のゴミを拾う ・公德心=こうとくしん=信仰説くという語源になる。吉野川の堤防を健康の為に散歩して居ますと捨てゴミの多さに驚くのです。自分の歩く道筋を手の届く範囲に散歩の序でに拾って歩く事にしたのです。その多さに驚いたのです。多い処では300メートルも行くと袋が一杯になってしまうのです。其れもジュースの缶ばかりで有ります。ピンは重量があり持ち歩くのは重たいので次の機会にしたのです。公德心と言うのは信仰を説くと言う意味に成る様で有ります。自然を守る信仰であり、自然に従う信仰であり、大自然を尊敬する信仰に成るのです。公德心と言う言葉の中には此の様な自然に対する人間の心の持ち方を自分に、他人に言聞かせると言う意味が含まれて居るのです。自然に対する信仰の無さが此の様なゴミ捨ての環境破壊につながって居る様で有ります。

・苔のむすまで 自然発生的に全体に苔が回るには何百年と言う年月が必要に成って来るのでしょうか。つまり苔が生えるのでは無く、苔が蒸すのです。何重にも苔が重なり全体を覆う意味がある。此の神代の時代と言う事は660年間も続くので有ります。神様の御意志のままに世の中が統一されて居るのです。地球が一つに成って居る時代なのです。集団生活の中に、協力と、強調と、調和の取れた争いの無い世界が形成されるのです。

地球が一つですから国境の争いは無くなる。指導者が一人ですから権力で争う事も無くなる。全ての人が平等ですから争いは起きない事に成る。固い石が(意志)柔らかな苔に覆われる。苔むすと言う意味には此の様な事柄が含まれて居る様に思います。・サンカと言う民族 サンカと言う民族は家を持たず、畑や固定して土地を持たず、移動する民俗性を持って居るようです。従って家庭生活がスムーズに行かず、人口が増え無いのです。何千年も人口構成は変わらないのでは無いでしょうか。此の為に山に入り、海の方へ進出して、地形や土地の悪い方に押しやられて居るのです。しかしそのお陰で境界は作らず、神様に違反する事無く、大自然の生活で出来ている地球に優しい民族に成っている。従って世界を治める事が出来るのです。地球を一つの国として纏める事が出来るのです。サンカでは無くては出来ない事なのです。大和民族には逆立ちしても出来無いので有ります。日本は偉大な民族を持って居るのです。

・アインシュタインの言葉 アインシュタインが言っている言葉は此の民族を指しているのです。「世界の未来は進だけ進み、その間幾度かの争いが繰り返されて、最後の戦いに疲れる時が来る。その時人類は誠の平和を求めて、世界的な盟主を挙げなければ成らない。この世界の盟主成るものは、武力や金力では無く、あらゆる歴史を抜き越えた。最も古くも尊い家柄でなくては成らない。世界の文化はアジアに始まって、アジアに帰る。

それはアジアの高峰日本に立ち戻れば成らぬ。我々は神に感謝する。吾々に日本と言う尊い国を作って置いて下さった事を」このアインシュタインの貴重な言葉の意味と意義、そして特に日本人に対する日本の尊さを知ってほしいのです。・世界天皇 此のサンカと言う民族は此の様な民族性を持ち、世界に君臨する天皇家を持って居るのです。世界を傘下に治める意味がある様です。清潔、素朴、質素をその民族の生活信条として今日まで生活を続けて来ているのです。

省エネの生活に徹し、共同の生活に徹し、強調の生活に徹してきて居る。此の様な民族こそ強い結びつきに寄って強い力を発揮するのです。世界を治められる天皇は此等の人たちの代表者で有ります。世界にその清潔、素朴、質素を普及される指導者で有られるのです。天体と意志を通じ合い、地球との意志を通じ合い、大自然を最も尊ばれる指導者で有られるのです。大自然も、地球も、宇宙も待ち望む指導者で有ります。大きな力で此等の事を実行させるのです。

・地球は一つ 地球は一つ、宇宙も一つ、世界は一つと言うスローガンに成ります。神代の時代と言う言葉の中には地球は一つと言う大きな岩と成るのです。地球が一つの岩となる時が近付いている。宇宙の支援を得てこの事が実現するのです。地球の内部より地球の自浄作業が働いてくる。心ある人間が此等の事柄を踏まえて実現に協力するのです。三昧一体と成ってこの事の実現に力をあわせる事に成るのです。美しい地球を取り戻す時が近付いた、大自然に地球に戻す時期が近付いた、元の神様の地球にお返しする時期が近付いたのです。

宇宙の人工衛星から見た地球には国境などは全然無いと言っている。現実には無くするものです。そして世界が一つに成って行くのです。・国旗も不要、国歌も不要 小さな国が無くなって地球が一つの国になると国旗も、国歌も全く不要に成るのです。其々の国にはその国の民族に合った規制があった。しかし地球が一つに成ると再早此等は不要なのです。宇宙の理念が全てを支配するのです。地球の自然が支配するのです。自然体の人間が支配をするのです。地球地域に於ける個性は不要なのです。言葉も日本語に統一されるでしょう。此の様な時代がすぐ其処まで来ているのです。吾々が此の様な時代に活着ている事が不思議な感じがするのです。世界は統一される。

・宇宙は一つの政策の下に 宇宙は大きい。広大なる宇宙は、全て地球の上に表示されて居るのです。宇宙にある物は地球に有ると言う。其れは宇宙の支配を受けて居る事に成るのです。宇宙の支配の下で地球の秩序が成り立って居るのです。地球と言う天体は地球だけの物では無いのです。大きな銀河系の中に有るほんの小さな天体なのです。宇宙の秩序を知って、私達は対処しなければ成らない時が来て居るのです。

宇宙の政策とは大自然に他ならないのです。大自然こそ宇宙の、地球の人間の生活に根源になるのです。・聖書の666の意味 此の様に宇宙の秩序は永遠の昔から確立されている。確立されて居る此の原則を突き崩して居るのは人間なのです。大和民族なのです。是れに違反して居る吾々は素直に反省する時が来て居る事を報せて居るのです。神代の時代は666年間続くのです。サンカと言う民族の下での平和な日々が訪れるので有ります。地球上に於ける夜明けの時が此処に有るのです。地球の上に春が来るのです。

・領土争い、領海争い、国境争い 日本にも何箇所かの国境における領有権の問題を抱えている。しかし最終的には日本人が世界を治める利のだから小さな紛争は譲っておくのが賢明なのです。是れこそ負けるが勝ちなのです。余分な争いは避けるべきです。

阿波町の長峰の意味 長峰は阿波町にあり、阿讃山脈から吉野川に向かって伸びている。高さは40ぐらいありその巾は100程度もあります。普通の平地とは何の変わりも無く。畑もあれば水田もある、果樹園もあれば農家もある。長峰の上を走ってみると不思議な物を感じるのです。その第一は丁度吉野川の川幅だけ峰がとぎれているのである。もし峰の続きの吉野川の川幅が隆起すると、穴吹、脇、三野、貞光、半田町は大きな湖となる。しかも水のはげ口が無いために長期に涉って水が退かず、ノアの洪水と同じ様相を呈するのであります。

同時に群発地震も発生して、高いビルは傾き、集中豪雨は山崩れ、山津波を起してしまうのである。今日まで潜んでいた色々な疫病迄も蔓延して、環境の悪化と共に、不衛生が極みに達するのである。植物も、昆虫も、動物も、人間も、生きものにとっては生存の危機に貧するのであり、千年王国と言う大変平和な時代を目前にして、地球の環境破壊を行ってきた人たちに對して地球の自然が報復をすると言う事になる。自然というものは生きものなのです。この自然の生きものを人間が、半殺しにしている事実をだれしも認めない訳にはいかないのです。

人間の今日までの愚かな、自然破壊、争い、自分本位の行動、諸々の境界、に對して鉄槌が下るのである。

吉野川の利水と治水について 遊水地帯の川床下げ 吉野川は西から真東にむかって流れている、日本で唯一の大河であります。今この川の堰の在り方が問題になっています。現在の堰を残すか、新しく可動堰を建設するか？の先に治水、利水には遊水地帯の活用は欠かせないのである。太古の昔から遊水地帯がすべてを解決してきている。

水の確保の面から言えば、また洪水対策からみても遊水地帯を十分に活用するのが、この問題の一番の解決法だと思います。善入寺島、舞中島などの遊水地帯の土を除いて低くし、洪水で無くても常に1～2の水を貯めるぐらいな調整池を作ることが、一番おおきなメリットではないかと思ひます。

これは可成な土木工事を伴うものでもあり、膨大な土砂の搬出先も確保しなければならないのであるが、吉野川の砂という良質なものであるだけに、薩摩芋の畑に使うこともできるのです。水の確保ができる、洪水の時の遊水地帯となる、良質の砂が確保できる、と言うように一石三鳥の効果が有ると思ひます。

吉野川平野の氾濫 1. 吉野川の方は完全な形でまづ徳島市を、堤防で囲んで居る。そして鳴門、松茂、川内、下板地方は完全に堤防に囲まれて、既に完成して居る。この高さは普通の家では、二階の座敷ぐらいな高さであり、座敷が浸るぐらいのものと思うのです。三階以上に住んで居ると大氾濫が起きても水には、濡れることは無いが150日という、長期にわたる長雨のために食糧不足が起り、飲み水が無くなり、疫病が発生して、人と人が争うようになり、重大なる結果が待って居るのである。

我々の想像を絶するような、自然からの仕返しという怨念が、人間を襲うのである。しかしこれは長年言われ続けて来たことであり、いつ起こるか分からないのである。2. 人間は中途半端な技術によって、腐らないビニール、ポリエチレンなどを作り地球の自然を、大きく破壊して居る。政治家は汚れ、官僚は汚れ、企業は金儲け一辺倒で汚れており、食べ物に添加物で汚れ、野菜は農薬で汚れ、弱い物は置き去りにされ、強いものだけの社会を形成して居る。政治の本質は弱いものの面倒を見ることである。

3. 吉野川はこのような世の中の、矛盾だらけの者を一番に押し流すであろう。新しい時代の息吹きの始まる時が、近いことを知らせてくださって居るのであります。人間みんなが素直になって、天の声を聞くべき時が来ている事を、知って欲しいのであります。

4. 吉野川と言う名前は、小豆島から頂いているのであり、エルサレムの12の基礎石の一つである吉野は、日本一の断層帯であり日本一良く揺れる、土地の上に住んで居ることになるのである。中央構造線と言う上に住んで居る事を知っておきましょう。

5. 阿波町の長峰は、阿讃山脈から吉野川に向かって伸びて来て居る。二千年前はこれが南側の山と、手をつないで居たので穴吹、脇町、貞光、半田方面は完全な状態で大きな、湖の底になって居たのである。またあれから2000年過ぎた今日、岩津の方面が隆起して、完全な形で水をせき止める地殻変動が起きようとしている、歴史学よりも、未来学の方に力点を置いて欲しいと思うのである。

6. 美馬町の当たりにも此のような長峰があり、同じことを多分起こるでありましょうこれは全て時代の、させる技であり、全ては人間が悪いために、自然からの仕返しが始まっていることを、知って欲しいのであり、お互いに勉強をしなければ成らないのである。

第十堰漏水と環境 堰は川にはあまり必要ないものである。それは自然に流れる水を堰止めるため、水が痛むのである。しかし第十堰は積み石のため、その透き間から漏水して、堰下の水が腐らないのである。自然の有り難い漏水なのであります。

有り明け海の潮止めも、此の様な漏水があるとあのようなノリの色変わり、海水の変色、堰内の水の変色、濁り、これらの公害は少しでも緩和されたであろう。自然を無視する日本政府の、公害なのである。外務省のタクシー水増し請求、沖縄サミットのホテル水増し請求、に代表される官僚の、政治の淀みが、有明海の淀みなのである。第十堰の漏水を見習うべきである。水は常に動いていることに困ってのみ、生きて居るものなのである。水は流れて川なのである。川に大きなダムは不要なのである。

ダムはムダなのであり、ムダなダムを作るから、ムダの2字を使ってダムと名付けたのである。ダムは川の自然態を著しく破壊している。流れる川をせき止めて、水の動きを止めるという自然に反逆している。コップに水を入れて3日間置くと、表面にオリが浮いてくる。これは水が動きを止めたために、痛んで来ているのである。川に作ったダムは明らかに水を痛めているのである。腐りかけた水を国民にのませている、日本政府の政策は修正するべきである。

ダムは順次解体して、昔の川のように蛇行させ、常に酸素取り入れながら、移動する水を確保して、それを国民に供給する義務が政府にあるのである。全国の河川を国が管理するから、国民に腐りかけた水を飲まされるのである。これからは地球が一つの国になる時代である。最早地球上にある国々は、その国の国民は守ることはできないであろう。国境は取り払い、さざれ意志(石)は廃止して、その指導者は「ハルマゲドン」に集められる。人間よ力を持つな、天に従おう、天の作られた、自然を大切に考えよう。人や社会には奉仕をしよう、自分のためより人のために、お金は使うだけあれば良いではないか、地球のために行動しよう。

神社の鳥居の意義を知るようにと教えて居られるのです。鳥居と言うのは鳥がとまるから鳥居と名づけられたと言われる「入り戸」を逆様に読むと鳥居と言うことに成るのです。建物への出入り口と言う意味なのです。鳥居の持つ本当の意味は、世界中が一つのものになるという教えが込められているのです。これは宇宙の神がまず世界に先駆けて日本人に教え賜ったものであります。

南向きの神社であれば、西がイスラエル、東側が日本であります。イスラエルのユダヤ人と日本民族が力を合わせて世界を一つにせよと言う教えに他ならないのです。言い換えればユダヤ人の発想と日本人の産能力とを一つのものとして世界にその大きな鳥居を作りなさいと言う教えなのです。①小豆島鳥居 宇宙の神が地球上に作られた一番ちいさな鳥居は小豆島にあります。1. 東の柱の大角鼻は日本を現します 2. 池田町の岬になっているところが地蔵崎でありイスラエルを現します。2. 池田町の岬になっているところが地蔵崎でありイスラエルを現します。鳥居の二本の柱を現します。3. 小豆島の胴体が上の横柱であります。4. 東から突き出している所すなわち港の小さな分教場にあった田浦の半島の二十四の腫で有名などころでありますこれが鳥居の下の横柱になるのです。

②関西鳥居 大分大きくなって1. 東は和歌山であり日本を現します。2. 西が九州でありイスラエルであります。3. 上の横柱は中国地方。4. 下の横柱は四国を現すのです。その額は島根半島の位置にあります。この鳥居の形は実に美しく素晴らしい神様の作られた鳥居なのです。③アジア鳥居 1. その鳥居は東がインドシナ半島であります。2. 西がインド半島であります。3. 上の横柱は中国の意味になるのです。

4. 下の横柱はネパール及びブータンであります。これがアジアの小さいほうの鳥居であります。④アジアの大鳥居 1. 東がオーストラリアであります。2. 西がアフリカ大陸であります。3. 上の横柱はヨーロッパ大陸になるのです。4. 下の横柱がアジア大陸であります。⑤地球上の鳥居 1. 東立つ柱が南アメリカ大陸であります。2. アフリカ大陸が西の柱になるのです。3. 上の横柱はヨーロッパ大陸からアラスカ、カナダと言うことになり。4. 下の横柱はアジアからハワイとなります。長年の痛みにより壊れているのです。⑥精神鳥居 精神的には日本が東の柱になり、イスラエルが西の柱になり一体の鳥居となってその影響を境内に及ぼして何時も美しくしておくようにと言う教えなのです。

⑦神社の二本の石柱 神社に行くと石柱が立っている所があります。鳥居と本殿の中間にあります。これはイスラエル、日本の二ヶ国の役割を意味する二本の石柱であります。・万邦皇化・天下泰平・神政復古・神久相和・天祥永昌・神海崇高・孝弟通於神昭・神祖溢四海・五穀豊穰・郷中平穩・光八紘・天地創造・神徳洽四遐・永久感謝・敬神崇祖などいろいろな標語が刻まれて居るのです。標語と言うよりも日本とイスラエルにしか出来得ない事ばかりであると思うのです。日本とイスラエルが将来合併して一つになると言う意味がここに込められているのであります。ユダヤ人の発想、日本人の粒揃いの産体制が一つになる、そんな意味がこの鳥居には有るのです。

詩 石と語る おい 大岩よ おまえは一体何から出来たのだ 小石や砂が固まって出来たのだ 石よ おまえは何から出来たのだ 砂が固まって出来た それから大岩が砕けて出来た 砂よ おまえは何から出来たのだ 岩や石が砕けて出来たのだ 砂よ 石よ 岩よお前たちは何から出来た エッ 気体から出来た 水素原子から始まった 水素が核分裂を起こした ヘリウムが核融合を起こした

また核分裂を起こした また核融合を起こした 段々重たい物質になってゆく 燃えるものが無くなるまで燃え尽きた 長い年月燃え尽きた 燃えるものが無くなるまで燃え尽きた 最早核分裂も 核融合も起こさなくなった 100億年前の水素の姿が此処にある 重たい物質ばかりになった 地球を形成する物質になった 月を形成する岩になった 金星や水星の星を形成している 太陽系の天体はみな100億年の歳を経た水素だった 太陽が製造したのよ この星は 水素が燃え残った灰だった

吉野川 静かな流れ 吉野川 ひらがなでかくと よしのがわ カタカナデカクト ヨシノガワ 数字で書くと 44ノ川 読み方変えると 獅子の川 生きているのは 四肢の皮 前の足 後ろ足には 4指の爪 徳島県は徳島 鳴門で二本足 阿南 小松島で後ろ二本足 徳島県も4市の足 段々下へと結びつく 天に向かって結びつく 小豆島には獅子の形 愛媛県も東の向いた獅子の形 四国は無論獅子の元 日本列島赤い獅子 青森県は獅子の口 房総半島その足だ

首をねじって勇ましい 宇宙に連なる大星座 獅子座の勇士眺めれば 吉野川を持つ意味が 日本の川から浮き出して 東に流れる唯一の 日の出を拝む吉野川 宇宙につながる吉野川 ひらがなでかくと よしのがわ カタカナガキデ ヨシノガワ 数字で書くと 44ノ川 すごいな 44ノ川

第十堰 土成町には御所があり 京都を真似て作られた そんなイメージを抱かせる 吉野町には 一条二条 五条あり 上板町には6条 7条 第十條あり 第十條の条を省いた地名なり この第十に堰があり 雄大成るかな此の青石積みの堰 第十とは重大なる意味を持つ 石積堰を直せば良いのに 可動堰だと建設省が 13キロ地点に作り替え 全てを電気で作動かす仕組み

洪水時には木や芥 水を塞ぎ止め力は二倍 堰より堤防絶えられず 堰は動かず水溢れ 100日間の水浸し 多くの人が食糧不足 水と飢えとで病気が蔓延 こんな時に役立つ今の堰 多くの人が修理を望む 意味を解せず目の前の 事業にまつわる其の傘下 群がる人の多かりき 重大なる事態を抑えるために 可動堰は建設されるのか? 堰の寿命は40年で 重大なる第十の意味今知ろう 第十の重大性を今知ろう 第十堰は重大な堰



吉野川のゴミを拾う・公德心＝こうとくしん＝信仰説くという語源になる。吉野川の堤防を健康の為に散歩して居ますと捨てゴミの多さに驚くのです。自分の歩く道筋を手の届く範囲に散歩の序でに拾って歩く事にしたのです。その多さに驚いたのです。多い処では300メートルも行くと袋が一杯に成ってしまうのです。其れもジュースの缶ばかりで有ります。ピンは重量があり持ち歩くのは重たいので次の機会にしたのです。公德心と言うのは信仰を説くと言う意味に成る様で有ります。自然を守る信仰であり、自然に従う信仰であり、大自然を尊敬する信仰に成るのです。公德心と言う言葉の中には此の様な自然に対する人間の心の持ち方を自分に、他人に言聞かせると言う意味が含まれて居るのです。自然に対する信仰の無さが此の様なゴミ捨ての環境破壊につながって居る様で有ります。

・ゴミ袋＝ごみふくろ＝含み頃と言う語源になる。昔からゴミは家庭に中で一所に積んで腐らせて肥料にして居たのです。掃き溜めと言って畑の草、木の落葉、家庭の生ゴミ等を詰んで置いて堆肥にして居たのです。自然の循環と言うのでしょうか。有機質の不足しがちな畑に戻すという自然農法で有ったのです。しかし今では此の様な掃き溜めは何処にも無くなっている。

この頃見かけるのはゴミ焼却場と言う事に成るのです。家庭は家庭で小さな焼却炉を置いている。事業所は其れなりの焼却炉を備えている。此等の無い家庭に於いてはゴミは袋に入れて置いて市町村などのゴミ回収車に委ねるのです。ゴミ集めの車に運んでもらって公共の焼却炉で処置して貰って居るのです。

今日のように多くのゴミもなく自然に腐敗するものばかりで有った。したがって時間の差こそ有れ全ての物は腐って堆肥に生まれ変わっていった。自然の細菌や酵素によって分解されていた。そして肥料になった。自然体の中にゴミが利用されて循環して居たので有ります。循環する事に因って土に返り、自然農法が出来て居たので有ります。自然と言う中でゴミが含まれ「含み頃」であった。

全てが自然に含まれ居た。このような意味を持って居る事に成るのです。今日のゴミはビニールと言う腐敗しない物質で出来ている。ジュースの缶のように鉄で出来たり、アルミと言う缶で出来ているので腐り難いのです。・自然を守れ ジュースの缶を捨てるのはおそろしく自動車中からでは無いでしょうか。捨て缶の多いのは良く自動車の出入りして居る処の近く、堤防から下りた処で人目の死角に成って居る処、と言う事に成るのです。自動車は重たく無いのですからゴミは積んで置くべきです。是れから製造する自動車には必ずゴミ入れを設置すべきです。

缶や牛乳の空に成った物は積んで置いて家庭で捨てるべきです。自分の家は綺麗にして置いて堤防や、畑にポイ捨てる今日の行為はあまりにもお粗末です。人間として地球に生きる動物として、自然を破壊する行為は許せないのです。自分の心を清めると言う事はこの様な処から始めるべきで有ります。自分の車のなかは美しく、自分の家庭は美しくする為に自分の心を汚して居る事に気付くべきです。自動車にはゴミ入れを設置させる必要が有るのではないのでしょうか。

・潰れた缶は厚い袋で、薄いビニールの袋に潰れている缶を入れると風が吹いてビニールが揺れ、肩に担いで揺ると自然に袋が破れてくるのです。潰れた缶と言うのは何処かに必ず尖った先が出来るのです。ビニールが揺れる度に此の缶の先がビニールを突き刺すのです。そして薄いビニールは小さな穴だらけ成ってすぐに破れてしまうのです。潰れた缶は厚い農業用の肥料袋に入れて持ち歩くのが良い。強い厚いビニールを使う必要が有るのです。しかも車で踏み潰されている缶は嵩の割に重量があり重たいので有ります。

・自動車にゴミ入れを 自動車には必ずゴミ入れをそなえるべきで有ります。新車には此の設置を義務づけて全ての車にはゴミ入れを常備するべきで有ります。是れはただ環境を守るのにみならず、人に迷惑を掛けない、人の為を思い、資源の無駄をしないと言う人間の基本に立ち戻る第一歩と言う事に成るのです。皆が捨てて居るから自分も捨てる。人が拾わないから自分も拾わない。多くのゴミで公共の場所が汚れても見て見ぬ振りをする。是れが今の風潮では無いでしょうか。

人間環境に左右され、多くの方に付いて行く。多くの人に付いて行けば間違いが有っても言い訳になる。この様な今は時代に成って居るのです。しかし世の中の真実は一つなのです。少数派で有ろうとも、只の一人で有ろうとも、真実は真実であるのです。

私達を今日まで育ててくれた宇宙の神様の思召しなのです。生かされて居る自分が見え無くては成らないのです。自動車と言う便利な乗り物に乗っていて、喉を潤して其の空缶を放り捨てる人間の神経。自然と言う神様を冒瀆する所作の何物でも無いのです。自然を大切に、環境を汚さぬ様に、地球の自然を守れと口を酸っぱくして叫んでも無駄のようです。其れよりも車にゴミ入れを設置する事こそ其の心を汚れに結び付けさせない方向づけではないのでしょうか。捨て無くても置いて置く場所がある。是れだけでも心のゆとりに成るのでは無いでしょうか。其れでも路上に捨てる奴は最早救い様が無いので有ります。

・何時すれば良いのか。此等の掃除はいつ頃が良いのだろうか。1. 吉野川(四四川)でありますから4月4日でしょう。2. 塵やゴミを無くする意味で(無くする)七月九日でしょう。3. ゴミを拾って徳を積むから十月九日がいいでしょう。4. 年の瀬を迎えるので十二月六日が良いのでしょうか。この様な意味合いを持って一年間に4回の掃除日を設けて川筋や、土手の清掃を実施する様にしたいと思うのです。5月は5月30日がゴミ0の日に成って居るので此処の行事予定からは外して置いたのです。しかも草は大きく成ってビニールやジュースの缶は草に覆い隠されている事に成ります。

・皆で守ろう堤防 年寄りに聞くと昔は此の堤防の草は個人が管理して居たという。区切りを決めて草を生やせて其の草を山羊や、牛の餌にして居た時期が有ったと言う。堤防に近い人達には大きな恩恵が有ったと言う事であった。しかし何故に是れが中止に成ったのかと聞くと此の土手の草に肥料を施して草を茂らせると言う事をしたと言う。何故肥料を施すとダメなのかと聞くと、堤防は畑や田圃では無いのだ。堆肥を施し、肥料を施すと土が肥沃になる。大量にみみずが繁殖してそのみみずを食べるモグラが土手に穴を空けて行くのだと言う。モグラと言う動物は地中を浅く、深く、穴を空けて行く。そして深い位置に巣を作り、子育てをすると言う。畑や田圃なら作物の被害と言う事で有りますが、堤防に穴をあけると言う事は是れは大変な事で有ります。水を防ぐ為の堤防に穴を空ける動物が居る。是れでは建設省が堤防の管理が出来ないのです。そこで個人管理を徹底的に廃止して今日に様に建設省と言う国が管理する様に成ったと言われる。

・ビンには腐らない ジュースの缶に次いで多いのが小さなビンに入った飲料水用のビンなのです。是れは拾い上げると重量感があるのです。此のビンは何百年経過しても決して腐らないのです。そして壊れると危険が伴うのです。草刈りの刃物を痛めるのです。吾々の生活の中には無くては成らない容器でありますが、一度余って捨てた物は公害物質の何物でも無いのです。嵩は小さくならないし、缶よりもはるかに重たいのです。しかも割れる心配が有るのです。確かに透明の容器の中身を見ながら飲む事が出来るのです。しかし其れは飲むまでの事であり、飲み終えたと缶も、ビンも何の変わりも無いのです。捨てられて居るゴミが其の処に有ると言うだけの事に成るのです。環境破壊のゴミの一種でしか無いのです。公害というのは物質文明のもたらした有り余る物質の事に成るようです。一時的には必要な時が有っても用が済めば公害物質と成るのです。此のビン、空缶、ビニール類、是れが日本のポイ捨てゴミの主を為して居るように思うのです。

しかも是れは安価に出来て、腐る事無く、燃やすと有害ガスが出るのです。このポリ製の容器も多く捨てられて居るのです。飲料水の入って居たもの、オイルや油類の入って居た物、しょうゆや調味料の入って居た物、畑のトンネルに使うビニール、スーパーの買い物袋、と言う様に多方面に使われている。あらゆる処に使われ、しかも多量に使用されて居るのです。堤防の斜面には此のビニールの切れ端や、その他のビニール類のゴミが兎に角多いのです。

風に吹き飛ばされて土手の斜面の草に引っ掛かっているのです。腐る事もなく、大きな風が吹けばまた何処かへ飛ばされて行くので有ろう。ビニールの公害の在り方は早叢だけでは無いのです。水の中にも此のビニールは漂って居るのです。水の中ではクラゲと間違えて魚が食べて消化しなく成って死んで行くと言う。川の水の淀んでいる付近にはビニールが良く浮いて居るのです。海へ流れだして腐る事無く永久に海に漂い魚達を苦しめるので有ります。人間とはこの様な物を考え出して、人間には便利で有っても他の動物を苦しめる事を現実にして居るので有ります。

私達が苦しんで居る以上に他の動物たちが苦しんで居る事を知って欲しいのです。ビニールと言う文明の利器が動物を苦しめて居る。そして殺している。やがて人間の首も此のビニールでくる時が来るであろう事は想像できるのです。

・一番困る犬の糞、特に団地に近い堤防は足の踏み場が無いほど犬の糞場になっている堤防を何と心得て居るのだろうか。反省を促したい。  
・煙草の吸い殻 煙草の吸い殻の多さには驚くのです。一所にまとめて灰皿を捨てて有るのです。是れは煙草の吸い口のフィルターが腐らないのです。しかも白いから良く目に付くのです。是れは吸い口付きの煙草の製造を中止するべきで有ります。  
・農作物 畑の人参の屑を処理したのだから車で放りに来ている。大根の葉や屑大根が捨ててある。

その外畑で使用してあるビニール、骨材、等など。  
・その他子供のもつき、自動車、自動車のタイヤ、自転車、多量の縫製屑、大きなダンボール箱、荷造り様テープ、此等は本当の所困るのです。手に持つ事が出来ず、一所で時間が掛かりすぎるのです。兎に角モラルの無さが良く分かるのです。

・土手の清掃奉仕を 土手は国の物、国民の物、地域の人たちの物なのです。これを読んで呼んで頂いた方は此の堤防の清掃奉仕に協力して頂きたいのです。飢えに書いてある日取りに都合を合わせて頂いて誰の為でも無いのです。自分の為に此の行儀を続けて行きたいと思っております。徳島県の此の川の私達の宝で有ります。此の吉野川の源流は愛媛県の瓶が森と言うミヤマ熊笹の見渡す限りの笹山で有ります。

笹に浄化された美しい源流から流れだして居る水なのです。此の川には神が宿って居る様で有ります。美しい此の川を缶や、ビンや、ビニールで汚しては成らないのです。心有るものだけで好いのです。一人でも、二人でも地球の為を思える物だけで好いのです。缶の一つから、ビンの一つから、ビニールの切れ端から拾う事を共にやりましょう。此の地域に住んで居る者の責任でも有るのです。今日まで神様に違反して来ている私たちが出来る地球に対する恩返しでも有ります。宇宙の自然に対する感謝の気持ちでも有り、私達を生かして下さっている神様へのお礼の奉仕行でもあるのです。

・吉野川というのは 吉野川と言うのは宇宙につながって居るのです。宇宙からは獅子座が下界を眺めているのです。獅子=四四なのです。四国の獅子(四国の四四)と言う数字に成るのです。此の吉野川も(四四の川)と言う同じ数字に成って来るのです。従って四国八十八ヶ所の八十八というのは四国の獅子の(四国の四四)の雄と雌の二匹の意味が有るのです。雄の四四、雌の四四、これで八八と成るのです。

吉野川と言う川は四国四県から流れ出ていると言う意味もあります。四国の獅子、愛媛県の獅子、徳島県の四市、動物は四肢、獅子は4指、と言う様に此の吉野川の意味と言うのは大変な広がりを持って居るのです。日本には東西に流れて居る川は少ないのです。とくに東に向かって流れて居る川は吉野川だけでは無いでしょうか。日本で唯一の川、と言う事が言えるのです。吉野と言う名前は小豆島から頂いて居るのです。小豆島と言う世界一の生地から頂いて居る事を知って欲しいので有ります。聖書の舞台であります日本の国のその中心になるのが、此の小豆島と言う精霊に満ちて居る不思議な島なのです。

・運動場を造ろう 藍住町名田の河川敷に運動公園が凡そ出来上がって来たので、今度はこの姥が島の河川敷に運動場を造る順番に成って来ました。十分な水量を確保する為に河口堰を造る計画が進んでいる。応神方面の地下水脈の塩分濃度の上昇にも効果があるでしょう。続く日照りに際しても少しでも地下水を補う事が出来ると思うのです。河川敷の上に乗上げる程の水位を保つ必要は無いのです。

旧吉野川に流して下板地方の水量を確保できれば良いのでは無いでしょうか。藍住、北島、松茂、徳島市の川内、応神地方に送る水と言うことに成る。また淡路島と言う溜め池の多い島への補給も欠かせない要素に成るのでしょう。此等の意味合いを含めても姥が島の河川敷に運動場が取れない理由には成らないのです。私たちの先祖が大水に苦しめられて来た吉野川に運動場を造り、子供からお年寄りまでスポーツに講じる事が出来る様にしたいものです。

堤防を越えると運動場が有ると言う事だけでも豊かな心に成るのです。野球に、サッカーに、陸上競技にと思い思いの運動が楽しめる事に成ります。私たちに無くては成らない吉野川の水、其の河川敷を利用しての運動場を皆さんと一緒に実現したいものです。ご協力の程をお願い致します。藍住町、板野町、上板町と中間点にある此の位置は利用価値の多い運動場に成るはずで有ります。皆で力を合わせて出来ない時には致し方無いですが誘致運動を開始したいと思います。

今此の河川敷は牧草地として牛の草を栽培しているのです。是れは建設省がおそらく許可を出しての期限を決めている物と思います。乳牛の牧草地としての堆肥や、尿の散布があって其の匂いが時々風に乘って匂ってくるのです。この様な事も無くなって来る。ゴミをも捨てる事が出来ない様な美しい環境が出現するでしょう。

吉野川を源流まで歩いて・吉野川(44ノ川)を数字に置き換えるとこの様に成ります。丁度四国88ヶ所の半分と言う事に成ります。四国を南北に割っている事に成るのでしょうか。そして四国88ヶ所の44番札所大宝寺は吉野川の源流の石鎚山の裾野にあるのです。

何処のお寺にも墓地があり、多くの墓が有って、時節には線香の匂いが漂う所なのですが、この44番札所には一切の墓が無いのです。大自然の豊富なるお寺なのです。寺と言う物の何か本質を見るような気がするのです。死んでから仏になるのでは無く、「本来全てに仏性あり」是れが仏教の持つ本来の姿ではないのかと言う気がして成らないのです。特に此の44番札所の所在を知ってから、墓と言う意味に対する人間の本来の在り方を考えさせられるのです。大自然のなかに生まれてきた人間は、大自然に帰ると言う儀式の中で本来の人間の在り方がうっすらと見えて来る様で有ります。

・兎角この世は男と女 動物は雄と雌 雌雄一対で一人前と言う事に成りますが、四国は女性の意味を持って居る事に成ります。その四国を半分に割っている吉野川(44ノ川)雌雄一対にして88と言う事に成るようであります。雄の獅子44、雌の獅子44、此処に88の意味が合体されて来るように思います。夫婦二人で一生涯掛かって子供の数が1.4人と言う事は日本人が極端に減って行くのです。

人口的に大きな危機に差し掛かって居る事に成ります。若者が元気をだして子供を生む事に目覚めないと大変な事に成ってくるのです。事故や災害で無くなる事も多い中で日本人の血を守れと叫ばねば成らないのです。それほど此の問題は大きな要素を持って居る事に成ります。女性の自覚を促して子供を造る事に関心を持たねば成らないのです。88と言うのは人間が二人揃っている姿をみるよう有ります。夫婦の姿を現しているのでしょうか。二人して力を合わせて子孫を増やすと言う意味も含んでいる様で有ります。

・もともとこの88は、宇宙の教えに他ならないのです。地球から見る事の出来る正座は88で有ると言われるのです。日本から見る事の出来る正座は66と聞いています。是れは銀河系のなかの太陽系の位置を表す事になるのでは無いでしょうか。地球上の陸地の88分の66が北半球に有ると言う現実からも読み取れるようです。従って南半球には88分の22の陸地しか無いと言う事にあるのです。南半球は水半球、北半分は陸半球と言う事になります。銀河系の厚さは10万光年と言われて居るのです。

宇宙には方角なんて無さそうですが、地球の北半球側に75%の星のくずが有る事を物語っている様です。南半球側には25%の星や星座しかないと言う事を物語っている様であります。その中心になる所に日本列島があるのです。世界のバランスは日本が取っている事になるのです。1. 大宇宙には獅子座があります。

2. 青森県を頭にして居る日本列島の獅子が居る。3. 四国の獅子は獅子狛の原型になります。

4. 愛媛県には同じ方向に向いている獅子が居る。5. 次には小豆島の獅子が居るのです。是れが宇宙から小豆島まで繋がっている獅子なのです。6. 徳島県は4市で有ります。鳴門市、徳島市、小松島市、阿南市で有ります。7. ライオンは4肢で有ります。

8. 神社にある獅子狛は全て4肢で有ります。9. そして此の吉野川(44ノ川)に繋がって来るのです。この様に宇宙に繋がっている吉野川の意味が此処に出てくるのです。不思議な川なのです。神社に有ります獅子狛と言う四国の原型はこの様な吉野川がその口となっている。その様な繋がりを持って居る事に成ります。

・日本全国に多くの川が有りますが、東西に流れている川は大変少ないのですしかも河口が東にある川というのは吉野川ぐらいな物です。四国の獅子の口と言う所が此の河口の位置に成って来るのです。神社で使っている白い素焼きの瓢箪型の徳利は此の四国を縦に見た物であります。此の河口が徳利の口になっている。

・出雲大社を参拝いたしますと2礼4拍手で参拝くださいと書いてある。2礼をして4拍手というのは四国の意味を持っている。つまり四国が常に出雲大社に参拝している。是れを出雲大社の拝礼の作法に取り入れている事を意味している様です。四国の女性が参拝している姿が此処に見えてくるのです。

・河口は徳島市ですが此の北側には鳴門市が有ります。鳴門市こそカラオケの発祥地と言う事に成ってまいります。1. 淡路島と言うマイクロホンに向かって四国の獅子が歌を歌っている姿が此処に見えてくるのです。2. 大毛島=おおけ=桶と言う語源になる。桶を淡路島でたたいて拍子取る意味が有る。何か木魚の原型を見る様な気が致します。3. 鳴門=戸鳴ると言う語源になる。男女が仲良く此の音楽を楽しんで居る姿を見る事が出来る。カラオケと言う意味は中が空洞になって居る物で、良い音がするものを総称している様に思います。

・次には順次通過地点の地名の語源を求めてみますと次のように成るのです。徳島市=組ましとと言う語源になる。男女が仲良くダンスを踊る組み合わせ。板野郡=居たのと言う語源になる。居ないものと思っていたのにあら居たの。阿波郡=A~F始めと終わりの意味を持っている言葉となるのです。美馬郡=まー見という語源になる。初日の出眺める深い山の熊。三好郡=見良し麗しき眺めを見たり山の里。男女のなかは所選ばず。高知県長岡郡=顔がなという語源になる。高知県の顔が此処に有るようです。土佐郡=通さと言う語源になる。岡山や広島県の県外の皆様にはこの様な意味を持っている所を歩いて頂いた事になるのです。吉野川の河口から源流までを歩くとと言う発想のすばらしさはこの様な意味を持っている所を通る事への意味の深さに繋がっている事に成ると思います。

・私は歩く練習の時に歩くだけでは無く道に落ちている缶を拾うのです。缶を拾っていると其れに気を取られて何時の間には時間を過ぎて居る事に成ります。多くの缶を拾って徳島市、藍住町、石井町、上板町はそのゴミ袋を集めて下さったのです。運動には成る、道は美しくなる、拾う者の精神修養にも成る。時々感謝の気持ちを以てこちらの方を見てください。

車の掃除をして放る所に通り掛かると放るのをやめて車に積み込んだ光景も見せてもらった。朝の通学時間にはお早うございますと言う子供の元気な声も聞く事が出来ます。県道などでは近くの伯母さんが其の辺りの缶拾いを応援して下さるのです。一挙両得と言う事とはこの事では無いでしょうか。



・一日に8時間と言う訓練をして出発したのですが、現実には15時間と言う強行軍であった。しかも連日の強行軍という事で自分の漠然とした計画が脆くも崩れた。足の豆、筋肉の痛み、腰の痛みと良い所が無い程で有った。しかし歩く事への関心は一気に盛り上がり歩く事が大変楽しく成ってきた。帰省してからは道に落ちているジュースの缶を拾いながら堤防や、県道を歩く事に心がけて居ります。自転車を通いながら仕事に出掛ける時も出来るだけ歩きながら缶を拾って行くのです。

・缶を拾うと言う事は歩くだけよりも良いのです。時々腰を曲げて腰の運動になる。そして異なった筋肉の使い方によって全身運動に変えることが出来る。歩くだけよりも目標までの距離が短く感じられる。兎に角道のゴミが拾えて清掃奉仕が自然に出来る。朝通学の学生などに会おうと挨拶をしてくれる。「お早う御座います」と言う声を掛けてくれる嬉しさが味わえる。そして此の子供たちに公德心を知ってもらえる事が出来る。その様な色々な要素を持って居ることになる。

・公德心 こうとくしん 信仰説くと言う語源に成るのです。人間は今日のような汚れのなかに生活すると其の汚れが自分では気づかなくなっているのです。此処に汚れを拾いだすと切りが無いのですが少し書いてみますと、1. 地球における無類の環境破壊で有ります。とくに北半球における破壊度は大きいのです陸地が多いだけに多くの環境が破壊されているのです。2. 金銭における人身の汚れであります。国会議員から、地方議員、そして役人という何かすべての人々の係わっている様相を呈してきているのです。3. この吉野川のような美しい川が汚れているのです。4. 人間に今、人を思いやる心が無くなったと言う事になります。物を取り合いはしても人に与える心を失っている日本人の現状を嫌という程見せてもらっているのです。与える心の 大切さを知る必要が大切なのです。

・缶拾いを通じて、公共の集積場でその区別の仕方を教えられます。普通の生ゴミ、缶や金属類、ビンに属するガラス類の区別になっている様です。私達の毎日の主婦のしている分類の仕方を私は知らなかったのです。燃えないゴミはビンも缶も一緒にして居たのであった。恥ずかしい限りで有りました。ゴミ集積場のお年寄りに注意をされて初めて気が付いたので有ります。しかも其処にはちゃんと大きな文字で区別の文字が書かれて居たのであった。その地域のお年寄りたちが此のゴミ集積場の維持管理しているの有ろう。いつも美しく管理されて居るのであった。

・全国河川遡行クラブに参加させて頂いて本当に良かった。訓練はしていた積もりでも自分の足の弱さにびっくりした。そして初めての人達ばかりの中で親切にして頂いた。しかし初めて会う人たちが二回の会合では顔と名前が結びつかないのです。毎晩のミーティングが有っても全員は覚えられないでしょう。新しい缶拾いの要素を加えて公民館や体育館の借りられ安い条件を整えると毎晩の打合せが出来ることになる。顔つながらがもって出来たと思います。

・物理学者アインシュタインは次のように言っているのです。世界の未来は進だけ進み、その間幾度か争いが繰り返されて、最後の戦いに疲れる時が来る。その時人類は誠の平和を求めて、世界的な盟主を挙げなければならない。この世界の盟主成るものは、武力や金力でなく、あらゆる国の歴史を抜き越えた。最も古くも尊い家柄で無くてはならぬ。世界の文化はアジアに始まって、アジアに帰る。それはアジアの高峰、日本に立ち戻られねば成らない。吾々は神に感謝する。吾々に日本という尊い国を作って、置いてくださったことを。此の不思議なアインシュタインの言葉を日本人としてどう受けとめるか。私たちに課せられた運命なのでしょうか。かの大学者の言葉として日本人に対する深い意味合いを持って居るように思います。日本に対しての深い研究の中から生まれた言葉として受け取らねばならないと思います。

・最後に皆様方のご健康とご多幸をお祈りいたします。この様な世紀末を迎えて一段と厳しさが増してくる中で一人一人が其れに心を備えて下さいますよう重ねてお祈りいたします。国土交通省も県も●●●●も手を携えて広葉植樹という共通の目標に向かって共に行きましょう。